

**SHARP**<sup>®</sup>

形名： MX-M860  
MX-M950  
MX-M1100

# イメージ送信ガイド



# もくじ

本書の記載内容について	5
• 取扱説明書の種類について	6

## 1 イメージ送信機能を使用する前に

本機のイメージ送信機能について	7
イメージ送信機能を使用するための準備	9
• 主電源が“入”になっていることを確認する	9
• 日付・時刻を確認する	9
• 送信者登録・発信元登録を行う	10
• Webページで必要な設定・登録を行う	10
• 各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する	11
• デスクトップ送信スキャンの送信先登録について	12
• ファクスとして使用するための準備	13
基本画面について	15
• 基本画面	16
• アドレス帳画面	19
• アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する	20
イメージ送信の流れ	22
原稿サイズについて	24
• 送信できる原稿サイズ	24
• セットした原稿サイズについて	24

## 2 送信先の入力方法について

アドレス帳から送信先を呼び出す	25
• 送信先を呼び出す	26
• 指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する	27
検索番号で送信先を呼び出す	28
手動で宛先を入力する	29
グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す	30
再送信機能を使う	33
ファクス番号の入力について	34
• 数字キーで相手先番号を入力する	34
• 複数の番号をつなげる（チェーンダイヤル）	35

## 3 送信のしかた

スキャナモードで送信する	36
• 件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変える	40
USBメモリースキャンモードで送信する	43
• ファイル名を入力する	47
インターネットFaxモードで送信する	48
• 件名、ファイル名、メール本文を変える	51
ファクスモードで送信する	54
• メモリー送信モードで送信する	54
• 直接送信モードで送信する	57
• オンフックダイヤルで送信する	59
• ファクス宛先確認機能について	61
• 相手が話し中のときは	62
• 通信エラーが発生したときは	62
• 送信原稿の自動縮小機能	62
• ファクシミリ通信網（Fネット）について	62
複数の宛先に同じ原稿をまとめて送信する（順次同報送信）	63
• インターネットFaxやファクスの送信先が含まれる同報送信について	66
原稿の読み込み設定について	68
• 原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）	69
• 原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）	70
• 原稿の濃度と画質（原稿種類）を変える	76
• 原稿の解像度（画質）を変える	78
• フォーマットを変える	81
• カラーモードを変える	85
コンピュータのデータを送信する	86

## 4 特別機能について

特別機能の種類について	87
送信操作を登録して使用する（プログラム）	90
まわりに影ができないようにスキャンする（枠 消去）	92
原稿を2ページに分割して送信する（ページ分 割）	95
時刻を決めて通信する（時刻指定通信）	98
色の薄い部分を白くしてスキャンする（下地消 去）	100
カードの表裏を1枚にまとめて送信する（カー ドスキャン）	102
大量の原稿を一度にまとめて送信する（大量原 稿モード）	105
大きさの違う原稿をまとめて送信する（混載原 稿）	107
薄い紙の原稿をスキャンする（薄紙読み込み）	109
読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する（ 原稿枚数カウント）	111
読み込み済みの原稿にスタンプを押す（済スタ ンプ）	113
2枚の原稿を1枚にまとめて送信する（2in1）	115
通信結果表のプリント設定を変更して送信する （通信結果表）	118
発信元情報を付けずに送信する（発信元印字）	120
• インターネットFaxモード	120
• ファクスモード	122
• ファクスの発信元情報を一時的に変更する （発信元選択）	124

## 5 ファクス特有の通信機能について

こちらの操作で相手の原稿を受信する（ポーリ ング受信）	125
• 手動操作でポーリング受信する	127
相手からの操作でこちらの原稿を送信する（掲 示板）	128
• 掲示板を利用できる相手を限定する（ポー リング保護）	128
• 掲示板用の原稿をメモリーボックスに読み 込む	129
• 掲示板用に保存した原稿をプリントする	131
• 掲示板用に保存した原稿を消去する	132
Fコード通信について	133
• Fコード通信のしくみ	133
• 本機にFコード通信専用のメモリーボックス を作成する	134
• Fコード通信のダイヤル	134
Fコードを使って親展通信する	135
• Fコード親展送信する	136
• Fコード親展受信した受信データをプリント する	137
Fコードを使ってポーリング受信する	139
Fコードを使って掲示板送信する	141
• Fコード掲示板用の原稿をメモリーボックス に読み込む	141
• Fコード掲示板用に保存した原稿をプリント する	144
• Fコード掲示板用に保存した原稿を削除する	145
Fコードを使って中継同報指示送信する	146
Fコードを使って中継同報送信する	148
外部電話機を使用する	149
• お手持ちの電話機を接続して使う（外部電 話機接続）	149
• 着信を判別し自動的に電話／ファクスを切 り替える	149
• 接続した電話機で電話に出てファクスを受 信する（リモート受信）	150
• 留守番電話を使用する（留守接続）	151
• 電話をかける／受ける	151

## 6 受信機能について

インターネットFaxを受信する	152
• インターネットFaxを手動で受信する	153
ファクスを受信する	154
• ファクスの受信モードについて	155
• ファクスを手動で受信する	155
パスワードで保護されている受信データをプリントする (受信データ印字ホールド)	156
受信したデータをE-mailアドレスに転送する (受信データのE-mail転送設定)	157
• 受信データのE-mail転送設定を行う	157

## 7 メタデータ送信について

メタデータ送信 (データ入力) とは	160
メタデータ送信を行うための準備	161
• Webページに必要な設定・登録を行う	161
• デスクトップ送信スキャンでメタデータ送信を行うときは	161
メタデータ送信のしかた	162
• メタデータフィールドについて	164

## 8 通信状況を確認する

ジョブ状況画面について	165
• 予約/実行中画面と完了画面について	166
• 予約/実行中ジョブが完了したときの動作について	169
• 予約/実行中ジョブの内容を確認する (ファクスモード)	170
• 完了ジョブの内容を確認する	171
通信中や予約中のジョブを中止する	172
あとから送信予約したジョブを優先して送信する	173
通信記録を確認する (通信記録表)	174
• 通信記録表のプリントについて	174
• 通信結果欄の内容について	174

## 9 システム設定

システム設定を行うには	176
システム設定リスト	177
宛先登録	178
• アドレス帳	178
• ユーザーインデックス	181
• プログラム	181
• Fコードメモリーボックス	183
受信/転送設定	185
• インターネットFax設定	185
• ファクス設定	186

## 10 困ったときは

• 送信に関して	189
• スキャン結果に関して	191
• ワンタッチキー/グループキーに関して	192
• 受信に関して	193
• ファクス固有の動作に関して	194

# 本書の記載内容について

本書では、本機のイメージ送信機能（スキャナモード、USBメモリスキャンモード、インターネットFaxモード、ファクスモード、データ入力モード）の使用方法について説明しています。

## 必要な拡張キットについて

イメージ送信機能の各モードを使用するには、次の拡張キットが必要です。本書は、これらの拡張キットがすべて装着された状態で説明しています。

モード	必要な拡張キット	フルカラー／グレースケールでの読み込みに必要な拡張キット
スキャナモード※、 USBメモリスキャンモード※	ネットワークスキャナ拡張キット	カラー拡張キット
インターネットFaxモード	インターネットファクス拡張キット	—
ファクスモード	ファクス拡張キット	—
データ入力モード※	• ネットワークスキャナ拡張キット • アプリケーション拡張キット	カラー拡張キット

※ カラー拡張キットを装着していない場合、カラーモードは白黒2値に固定されます。

## お願い

- ネットワークスキャナ機能を使用するためには、Webページでネットワークスキャナの基本設定、SMTPサーバやDNSサーバなど各サーバの設定、送信先や送信者アドレスの登録などを行う必要があります。それぞれの設定・登録方法については、本書の記載に従ってください。また、これらの設定にはネットワーク関連の知識を必要とするため、ネットワーク管理者が行ってください。
- OS（オペレーティングシステム）に関する事柄については、必要に応じてOSの説明書またはヘルプ機能を参照してください。
- この取扱説明書では、画面の説明や操作手順は、Windows® XPでお使いになる場合を主体に説明しています。OS（オペレーティングシステム）のバージョンにより表示される画面が異なることがあります。
- この取扱説明書でMX-xxxxと記載しているところは、“xxxx”にお使いのモデル名を入れてお読みください。
- この取扱説明書は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気付きのことがありましたら、セーフティガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはセーフティガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および別売品の使用誤りや、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## ご注意

- この取扱説明書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- この取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 本文中で説明しているイラスト、操作パネル、タッチパネルについて

周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた本機の種類によっては、一部標準装備されているものもあります。この取扱説明書では、MX-M1100にフィニッシャー、パンチユニット、サドルユニット、紙折りユニット、インサーター、大容量3段給紙トレイ、手差しトレイを装着した状態で説明しています。

本機の機能や使いかたを説明するために、上記と異なる周辺装置の装着状態で説明している場合があります。

取扱説明書に記載している操作画面、表示されるメッセージ、キー名称などは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

# 取扱説明書の種類について

本機には、印刷物の取扱説明書と内蔵ハードディスクに格納されたPDF形式の取扱説明書が付属しています。本機を使用する際に該当する取扱説明書をお読みいただき、本機の機能や使用方法をご確認ください。

## 印刷物の取扱説明書

取扱説明書名	記載内容
セーフティーガイド	本機を安全にお使いいただくための注意事項や、本機と周辺装置の仕様について記載しています。
ソフトウェアセットアップガイド	プリンタ機能など、本機をコンピュータの操作で使用するために必要な、ソフトウェアのインストール方法および設定方法について記載しています。
かんたん操作ガイド	本機で使用できる機能をわかりやすく1冊にまとめた取扱説明書です。各機能の詳細な説明については、PDF形式の取扱説明書に記載しています。
メンテナンスガイド	消耗品の交換や紙づまりの対処法など、本機のメンテナンス方法に関して記載しています。





## PDF形式の取扱説明書

PDF形式の取扱説明書は、本機の詳細な操作方法を機能別に記載しています。PDF形式の取扱説明書を参照するときは、本機の内蔵ハードディスクからダウンロードしてください。ダウンロード方法については、かんたん操作ガイドの「PDF形式の取扱説明書をダウンロードする方法」を参照してください。

取扱説明書名	記載内容
ユーザズガイド	用紙の補給方法など、基本的な操作方法について詳しく記載しています。
コピーガイド	コピー機能の操作方法について詳しく記載しています。
プリンタガイド	プリンタ機能の操作方法について詳しく記載しています。
イメージ送信ガイド (本書)	イメージ送信機能（スキャナ、USBメモリースキャン、インターネットFax、ファクス、データ入力）の操作方法について詳しく記載しています。
ドキュメントファイリングガイド	ドキュメントファイリング機能の操作方法について詳しく記載しています。ドキュメントファイリング機能は、原稿やプリントデータを内蔵ハードディスクに読み込んで保存しておき、必要に応じて再利用できる機能です。
管理者ガイド	管理者権限が必要なシステム設定など、本機を管理/制御するための設定や機能について記載しています。


## 絵表示について

各取扱説明書で使用している絵表示は、次の事からを説明しています。

	本機を傷つけたり、故障させる危険がある内容について説明しています。		システム設定の項目名とその内容について説明しています。 「システム設定：」と記載している場合 一般設定の項目について説明しています。 「システム設定（管理者）」と記載している場合 管理者設定の項目について説明しています。 各項目の詳細については管理者ガイドを参照してください。
	機能や操作手順について補足説明しています。		
	操作の中止方法や訂正方法について説明しています。		

# 1 イメージ送信機能を使用する前に

本機のイメージ送信機能を使用する前に知っておく必要のある事からについて説明しています。

 本機のイメージ送信機能を使用するには、モードごとに拡張キットが必要です。「必要な拡張キットについて」(5ページ)を参照してください。

## 本機のイメージ送信機能について

本機のイメージ送信機能は、読み取った原稿をさまざまな方法で送信することができます。本機のイメージ送信機能では、次のモードと送信方法が利用できます。

### スキャナモード

 スキャナモードで送信する (36ページ)

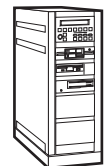
#### E-mail送信スキャン

スキャンしたファイルをE-mailで送信します。



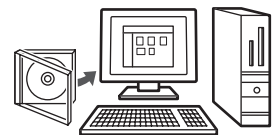
#### ファイルサーバ送信スキャン

スキャンしたファイルを指定したFTPサーバのディレクトリに送信します。送信時に、あらかじめ登録しておいた宛先へメールを送信し、ファイルの保存場所をお知らせすることもできます。(ファイルサーバ送信スキャン (ハイパーリンク) と呼びます。)



#### デスクトップ送信スキャン

スキャンしたファイルをお使いのコンピュータの指定フォルダに送信します。デスクトップ送信スキャンを行うには、ネットワークスキャナ拡張キットに付属の「Sharpdesk/ネットワークスキャナユーティリティ」CD-ROMからソフトウェアをインストールする必要があります。ソフトウェアの動作環境については、このCD-ROMに収録されている説明書 (PDF形式) またはReadmeファイルを、インストール方法についてはネットワークスキャナ拡張キットに付属の「Sharpdeskインストールガイド」を参照してください。




#### 共有フォルダ送信スキャン

スキャンしたファイルを本機と同一ネットワーク上のWindowsコンピュータに作成された共有フォルダに送信します。



## USBメモリースキャンモード


 [USBメモリースキャンモードで送信する](#) (43ページ)

### USBメモリースキャン

スキャンしたファイルを本機に接続したUSBメモリーに送信して保存します。

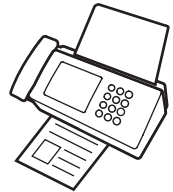


## インターネットFaxモード

 [インターネットFaxモードで送信する](#) (48ページ)

### インターネットFax送信

スキャンしたファイルをインターネットFax送信します。また、インターネットFaxの受信も可能です。

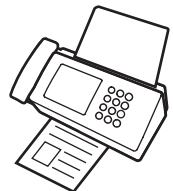


## ファクスモード

 [ファクスモードで送信する](#) (54ページ)

### ファクス送信

ファクスを送受信します。本機のファクスモードはFコードにも対応しており機密性の高い通信を行うことができます。また、外部電話機を接続することで電話機として使用することもできます。



## データ入力モード

 [7. メタデータ送信について](#) (160ページ)

### メタデータ送信

アプリケーション拡張キットとネットワークスキャナ機能を組み合わせて、スキャンした画像ファイルにメタデータ※ファイルを添付して送信します。(メタデータ送信と呼びます。)

本機のタッチパネルから入力したり、本機が自動的に生成した情報を、XML形式のメタデータファイルとしてFTPサーバのディレクトリやコンピュータ上のアプリケーションなどに送信することができます。


※メタデータとは、データに関する情報や処理方法、他のオブジェクトとの関係情報を示すデータのことです。







# イメージ送信機能を使用するための準備

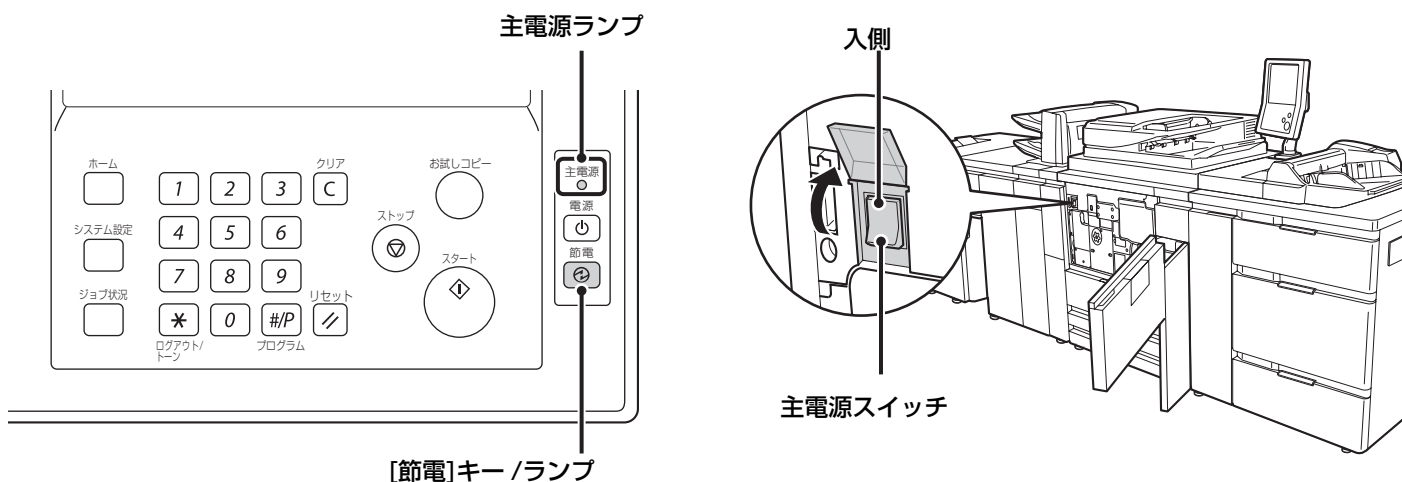
## 主電源が“入”になっていることを確認する

操作パネル右側の主電源ランプが点灯していると主電源が“入”になっています。

主電源ランプが消灯しているときは、主電源が“切”になっていますので、主電源スイッチを“入”にして操作パネルの[電源]キー（）を押してください。

インターネットFax機能やファクス機能をお使いいただく場合、特に夜間の受信や時刻指定送信を行うときは、主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。


 [節電]キー（）のランプが点滅しているときは、オートパワーシャットオフの状態です。この時点で[節電]キー（）を押すと、[節電]キー（）のランプが消え、しばらくしてから通常状態になります。



## 日付・時刻を確認する

本機の日付・時刻が正確に設定されているか確認してください。

日付・時刻の設定は、本機のシステム設定で行います。操作パネルの[システム設定]キーを押すと、タッチパネルにシステム設定のメニュー画面が表示されます。[初期設定]→[日付・時刻設定]→[時刻設定]へと進み、年・月・日・時・分をそれぞれ指定して時刻を合わせてください。

 システム設定（管理者）の「日付・時刻設定の変更禁止」が設定されている場合、日付・時刻設定を行うことはできません。

# 送信者登録・発信元登録を行う

## E-mail送信スキャン機能を使用する場合

返信先を指定しなかったときに適用される返信先の名前を「送信者名」、E-mailアドレスを「返信アドレス」として登録します。



### システム設定（管理者）：標準送信者登録

返信先を選択しなかった場合に適用される返信先の名前とE-mailアドレスを登録します。

## インターネットFax機能を使用する場合

利用者の名前を「発信元名」、インターネットFaxのアドレスを「発信元アドレス」として登録します。



### システム設定（管理者）：発信元登録（インターネットFax初期設定）

発信元名・発信元アドレスを登録します。

## ファクス機能を使用する場合

利用者の名前を「発信元名」、ファクス番号を「発信元番号」として登録します。



### システム設定（管理者）：発信元登録（ファクス初期設定）

発信元名・発信元番号を登録します。

# Webページで必要な設定・登録を行う

スキャナモードやインターネットFaxモードを使用するためには、Webページでネットワークスキャナの基本設定、SMTPサーバやDNSサーバなど各サーバの設定、送信者アドレスの登録などを行う必要があります。

## •各サーバの設定

Webページのメニューにある[ネットワーク設定]→[サービス設定]をクリックして行います。(管理者権限が必要です。)

## •ネットワークスキャナ設定

Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナ設定]の各項目を設定します。(管理者権限が必要です。)

## •インターネットFax設定

Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[インターネットFax設定]の各項目を設定します。(管理者権限が必要です。)

# 各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する

ファイルサーバ送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダ送信スキャンを利用するときは、送信先をアドレス帳に登録する必要があります。また、E-mail送信スキャン、インターネットFax、ファクスの送信先は、送信時に手動入力したり、グローバルアドレス帳から検索して利用することができますが、アドレス帳に登録しておくことで宛先指定操作が簡略化できます。それぞれの送信先は、次の方法でアドレス帳に登録してください。

## スキャナモードの送信先

- ファイルサーバ送信スキャン： Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[FTP]を選択して登録を行います。
- 共有フォルダ送信スキャン： Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[共有フォルダ]を選択して登録を行います。
- E-mail送信スキャン： Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[E-mail]を選択して登録を行います。また、システム設定でも登録できます。
- デスクトップ送信スキャン： 「[デスクトップ送信スキャンの送信先登録について](#)」(12ページ)を参照してください。また、Webページでも登録できます。Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[デスクトップ]を選択して登録を行います。

**インターネットFaxモードの送信先：** Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[インターネットFax]を選択して登録を行います。また、システム設定でも登録できます。

**ファクスモードの送信先：** Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[ファクス]を選択して登録を行います。また、システム設定でも登録できます。



システム設定：[アドレス帳](#) (178ページ)

E-mail送信スキャン、インターネットFax、ファクスの送信先を登録することができます。

# デスクトップ送信スキャンの送信先登録について

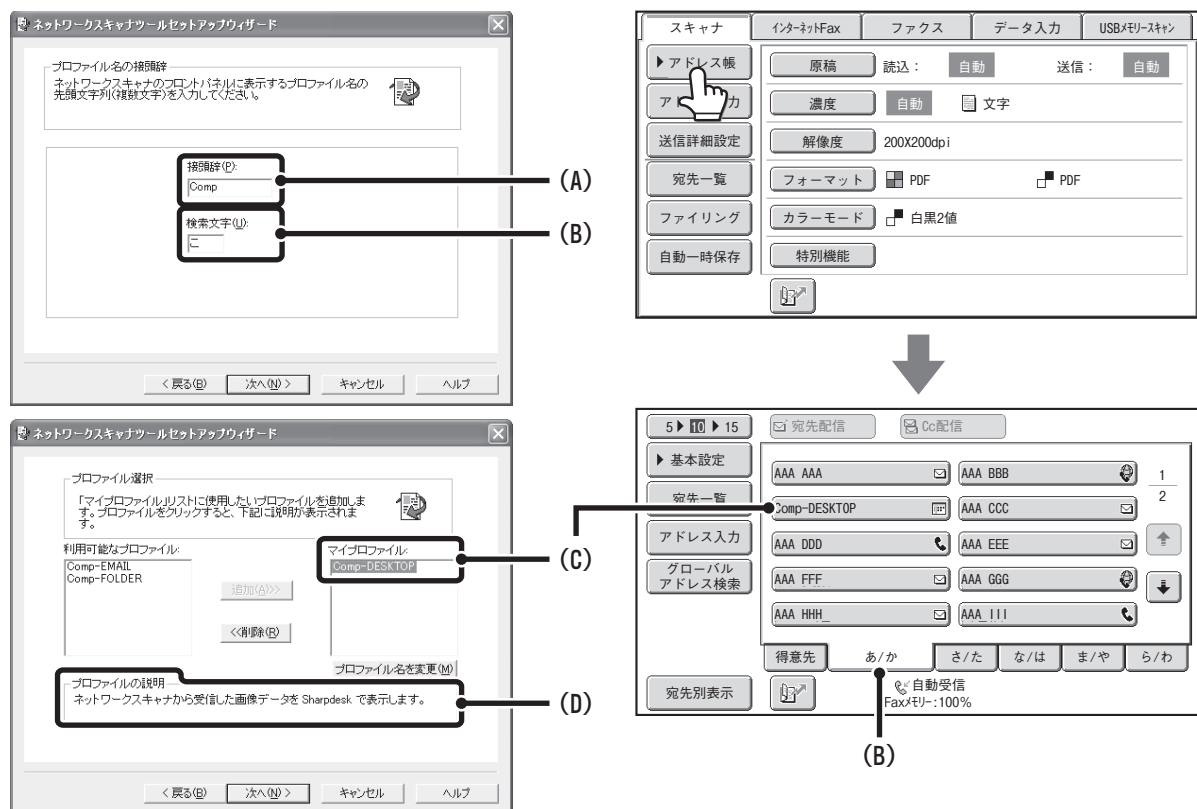
お使いのコンピュータをデスクトップ送信スキャンの送信先として本機に登録するには、ネットワークスキャナ拡張キットに付属の「Sharpdesk/ネットワークスキャナユーティリティ」CD-ROMからネットワークスキャナツールをインストールする必要があります。お使いのコンピュータでネットワークスキャナツールが起動していないと、スキャンデータを送信することはできません。

## ネットワークスキャナツールのインストールについて

ネットワークスキャナツールのインストールについては、ネットワークスキャナ拡張キットに付属の「Sharpdeskインストールガイド」を参照してください。ネットワークスキャナツールは、標準インストールを行うとSharpdeskといっしょにインストールされます。

ネットワークスキャナツールをインストールしたあとコンピュータを再起動すると、ネットワークスキャナツールのセットアップウィザードが自動的に起動します。このウィザードに従ってセットアップを行うと、お使いのコンピュータがデスクトップ送信スキャンの送信先として本機に登録されます。登録した送信先は、アドレス帳画面にワンタッチキーで表示されます。

ネットワークスキャナツールのセットアップ中に下記画面が表示されます。「マイプロフィール」(C)に選択した項目がワンタッチキーの名称になります。



プロフィール名は、「接頭辞」(A)に入力した文字と、プロフィール※の組み合わせにより決まります。ワンタッチキーは、「検索文字」(B)に入力した文字を元に、アドレス帳画面のインデックスタブに割り振られます。※コンピュータに送信された画像データに対して、どのような処理を行うかを定義したものです。プロフィールの説明(D)を参照してください。

## 送信先の追加について

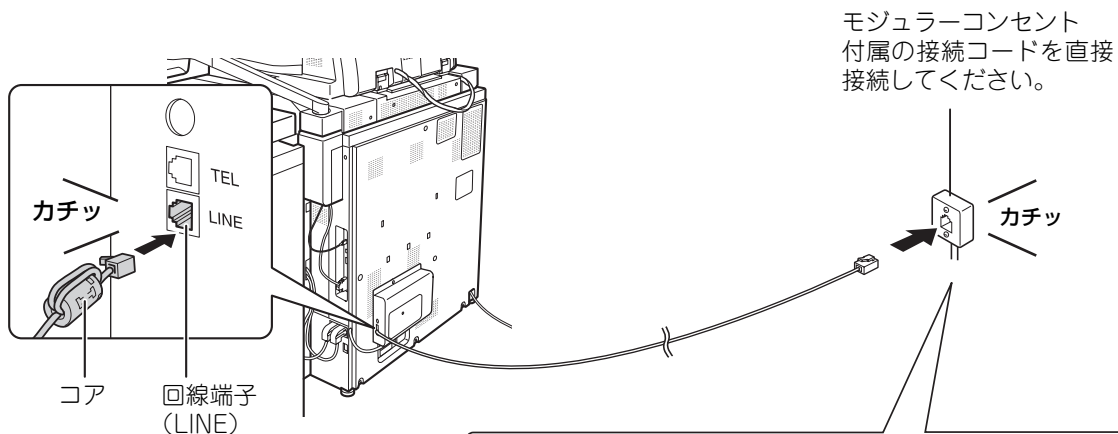
デスクトップ送信スキャンの送信先として登録できるコンピュータ数は、「Sharpdeskインストールガイド」に記載されているライセンス数を参照してください。それ以上登録したいときは、ライセンスキットが必要です。デスクトップ送信スキャンの送信先登録は、それぞれのコンピュータにネットワークスキャナツールをインストールして行ってください。

# ファクスとして使用するための準備

本機をファクスとして使用するときは、電話回線を接続し、電話回線の種類を設定してください。

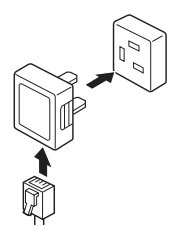
## 電話回線に接続する

本機器と電話線コンセントとの接続は、必ず付属の接続ケーブルをお使いください。接続する際、図のように接続ケーブルのコアが付いている方を本機にある回線端子（LINE）に差し込んでください。もう一方の端子（コアが付いていない方）を電話線コンセントに差し込んでください。

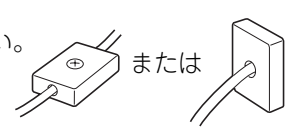


接続ケーブルのコアが付いている方を、回線端子（LINE）に差し込みます。

●**3ピンプラグコンセントの場合**  
市販の3ピンプラグ変換アダプターをお求めください。



●**直結配線方式の場合**  
もよりのNTTにご相談ください。

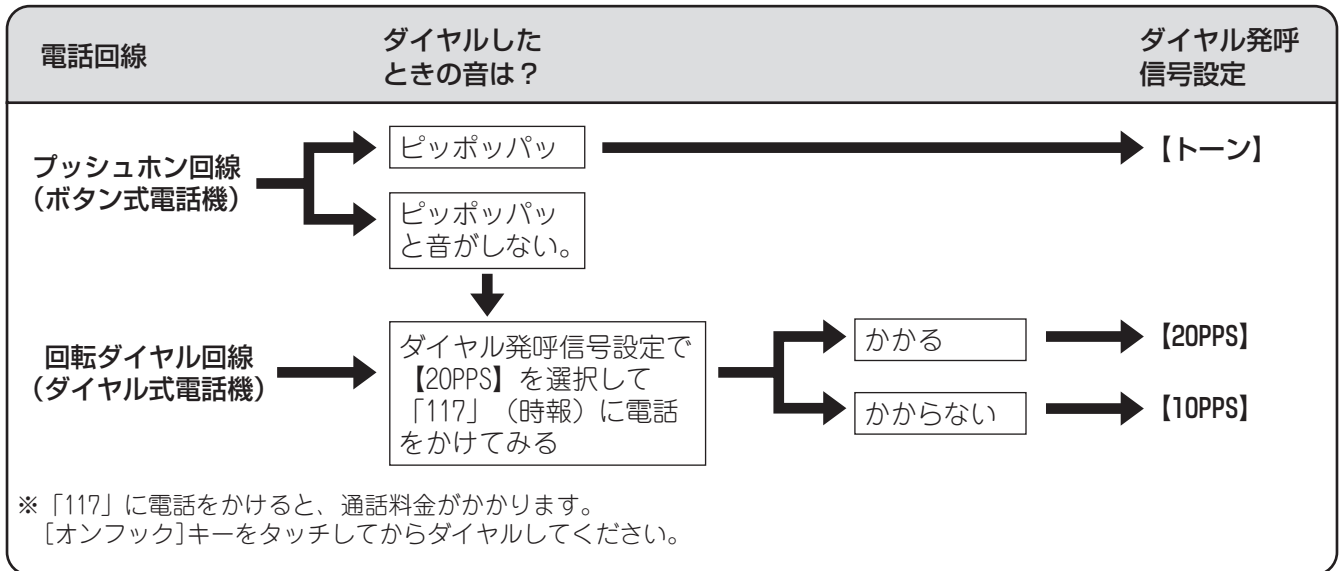


または

## 電話回線の種類を設定する

お使いの電話回線の種類に合わせて本機の設定を行います。  
正しく設定されていない場合、電話がかからなかったり違う相手先にかかったりします。  
システム設定（管理者）「ダイヤル発呼信号設定」で[自動検出]キーをタッチしてください。お使いの電話回線に合わせて自動的に設定を行います。

以下の操作でお使いの電話回線種別を確かめて、システム設定（管理者）「ダイヤル発呼信号設定」を手動で設定することもできます。



電話回線の種類を設定したあとは、むやみに切り替えしないでください。

# 基本画面について

本機のスカナモード、USBメモリスキャンモード、インターネットFaxモード、ファクスモードを使用するときは、それぞれの基本画面から操作を行います。基本画面を表示するときは、タッチパネルの[イメージ送信]キーをタッチし、送信モード切り替えタブをタッチしてそれぞれのモードを選択してください。

[イメージ送信]キーをタッチして最初に表示される基本画面は、周辺装置の装着状況によって異なります。最初に表示される画面は、システム設定で変更することができます。

本書では、[イメージ送信]キーをタッチしたときにスカナモードの基本画面が表示されるものとして以降の手順などを説明しています。

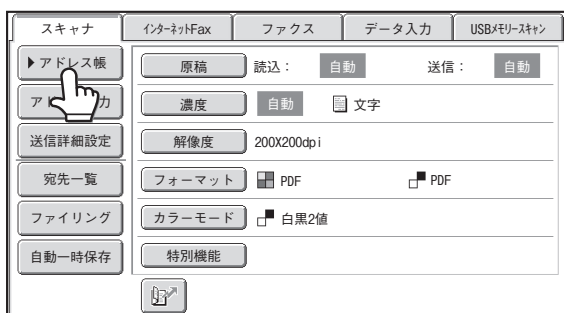


周辺装置の装着状態により、使用できないモードのタブは表示されません。  
必要な拡張キットについて (4ページ)

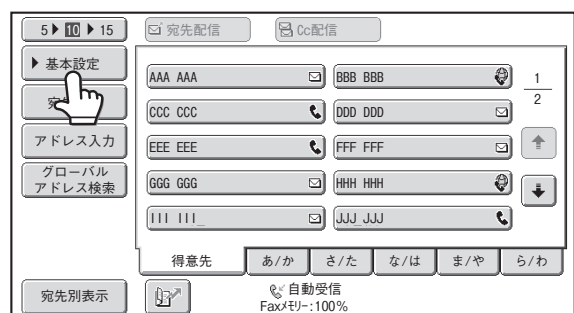
また、送信するときに、登録した宛先をアドレス帳画面から呼び出して使用できます。アドレス帳画面は各モード共通で使用します。

基本画面の[アドレス帳]キーをタッチするとアドレス帳画面に切り替わり、アドレス帳画面の[基本設定]キーをタッチすると基本画面に切り替わります。

## スカナモード基本画面



## アドレス帳画面



本書では、各モードで共通の操作を説明するとき、スカナモードの基本画面を例として使用しています。



### システム設定 (管理者) : デフォルト表示画面

[イメージ送信]キーをタッチして最初に表示される画面を次の中から設定します。

- 各モード基本画面 (スカナ・インターネットFax・ファクス・データ入力)
- アドレス帳画面

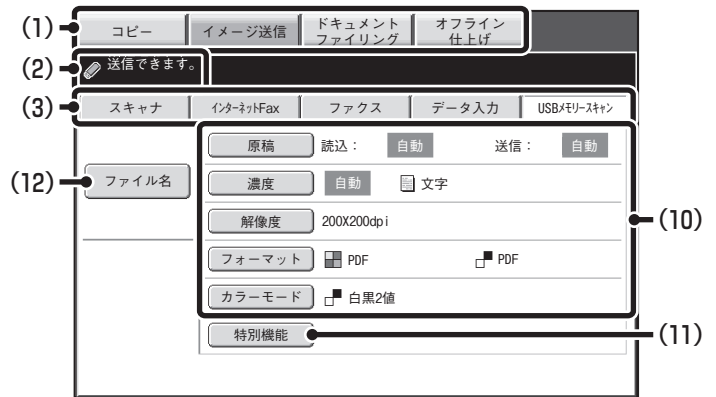
# 基本画面

それぞれのモードの設定操作を行う画面です。

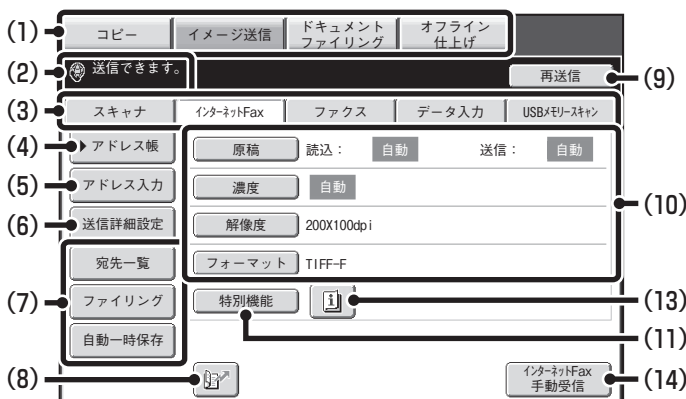
スキャナモード基本画面



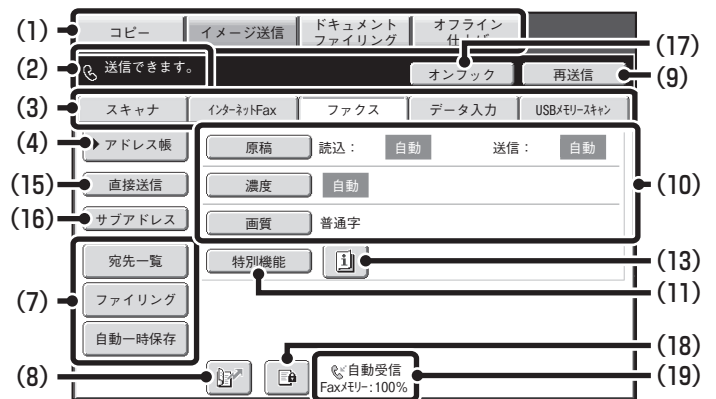
USBメモリースキャンモード基本画面



インターネットFaxモード基本画面



ファクスモード基本画面



画面のキーをクリックすると、説明箇所へジャンプします。

(1) モード切り替えキー

各機能を切り替えるときにタッチします。イメージ送信モードに切り替えるときは、[イメージ送信]キーをタッチしてください。

(2) 各種メッセージを表示します。

選択しているモードのアイコンが左側に表示されます。

(3) 送信モード切り替えタブ

「イメージ送信」機能のモードを切り替えるときにタッチします。周辺装置の装着状態により、使用できないモードのタブは表示されません。アプリケーション拡張キットを装着している場合は、[データ入力]タブが表示されています。[データ入力]タブをタッチして行うメタデータ送信については、「7. メタデータ送信について」(160ページ)を参照してください。

(4) [アドレス帳]キー

登録したワンタッチキーやグループキーを使用するときにタッチします。このキーをタッチするとアドレス帳画面に切り替わります。  
 ⓘ アドレス帳から送信先を呼び出す (25ページ)

(5) [アドレス入力]キー

ワンタッチキーを使わず送信先の宛先を手動で入力するときにタッチします。  
 ⓘ 手動で宛先を入力する (29ページ)

(6) [送信詳細設定]キー

あらかじめWebページで登録されている件名、ファイル名、返信先名、およびメール本文を選択したり、入力するときにタッチします。  
 スキャナモード：  
 ⓘ 件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変える (40ページ)  
 インターネットFaxモード：  
 ⓘ 件名、ファイル名、メール本文を変える (51ページ)

(7) カスタマイズキー

ここに表示されるキーはお好みの設定項目に合わせて変更することができます。  
 ⓘ お好みに合わせてキー表示を変更する (カスタマイズキー) (18ページ)

(8) ⓘ キー

検索番号※を使用して送信先を指定するときにタッチします。  
 ※ 送信先の登録時に割り当てる3桁の番号です。  
 ⓘ 検索番号で送信先を呼び出す (28ページ)



(9) [再送信]キー／[次宛先]キー

E-mail送信スキャン、インターネットFax、ファクスモードで送信した宛先は、最後に送信したものから過去8件まで記憶されており、これらの宛先を選択するときにタッチします。宛先が選択または入力されると、[次宛先]キーに切り替わります。

- ☞ [再送信機能を使う](#) (33ページ)
- ☞ [送信先を呼び出す](#) (26ページ)

(10) 原稿の読み込み設定

原稿の読み込み設定（原稿サイズ、濃度、解像度(画質)、フォーマット、カラーモード）を行うことができます。

- ☞ [原稿の読み込み設定について](#) (68ページ)

(11) [特別機能]キー

特別機能を使用するときにタッチします。

- ☞ [4. 特別機能について](#) (87ページ)

(12) [ファイル名]キー

USBメモリーに書き込むファイル名を入力するときにタッチします。

- ☞ [ファイル名を入力する](#) (47ページ)

(13)  キー

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みが設定されているときに表示されます。このキーをタッチすると設定されている内容を表示します。

- ☞ [特別機能の設定状態を確認する](#) (18ページ)

(14) [インターネットFax手動受信]キー

インターネットFaxを手動受信するときにタッチします。

- ☞ [インターネットFaxを手動で受信する](#) (153ページ)

(15) [直接送信]キー

直接送信を行うときにタッチします。[直接送信]キーが反転表示していないときは、通常の送信（メモリー送信モード）の状態です。

- ☞ [直接送信モードで送信する](#) (57ページ)

(16) [サブアドレス]キー

Fコード通信のサブアドレスとパスコードを入力するときにタッチします。

- ☞ [Fコード通信のダイヤル](#) (134ページ)

(17) [オンフック]キー／[ポーズ]キー／[スペース]キー

オンフックダイヤルを使用するときにタッチします。ダイヤル入力時は[ポーズ]キーに、サブアドレス入力時は[スペース]キーに切り替わります。

- ☞ [オンフックダイヤルで送信する](#) (59ページ)

(18)  キー

「受信データ印字ホールドの設定」がされているとき、データを受信すると表示されます。キーをタッチするとパスワード入力画面が表示されます。設定したパスワードを入力するとプリントが開始されます。

- ☞ [パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）](#) (156ページ)

(19) 選択されているファクス受信モードとファクス用メモリーの残量を表示します。

- ☞ [ファクスを受信する](#) (154ページ)

## お好みに合わせてキー表示を変更する（カスタマイズキー）

特別機能の設定キーなどを基本画面に表示させておくことができます。表示させるキーをよく使う機能に変更しておくと、ワンタッチで設定操作に入ることができ便利です。お好みに合わせてキー表示を変更するときはWebページの「カスタマイズキー設定」で変更します。工場出荷時は、次のキーが表示されています。

### • [宛先一覧]キー

アドレス帳で選択されている送信先を一覧表示して確認するときにタッチします。アドレス帳画面にある[宛先一覧]キーと同じです。

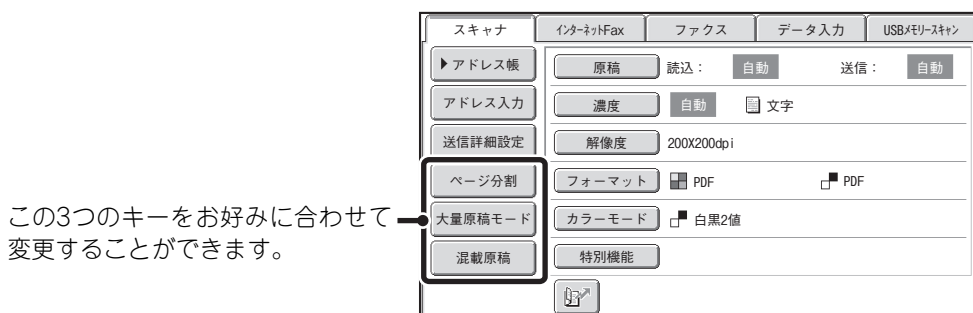
### • [ファイリング]キー、[自動一時保存]キー

ファイリング、自動一時保存などドキュメントファイリング機能を使用するときにタッチします。ドキュメントファイリング機能については、ドキュメントファイリングガイドを参照してください。

### USBメモリースキャンモードでは…

カスタマイズキーは表示されていませんが、お好みに合わせて最大3つまでキーを追加して表示させることができます。

### 例：「ページ分割」、「大量原稿モード」、「混載原稿」の設定キーをカスタマイズキーに表示させた場合




- プログラムが登録されているキーを表示しておくで基本画面からワンタッチでプログラムを呼び出すことができます。  
☞ 送信操作を登録して使用する（プログラム）（90ページ）
- 設定できるカスタマイズキーは、モードによって異なります。




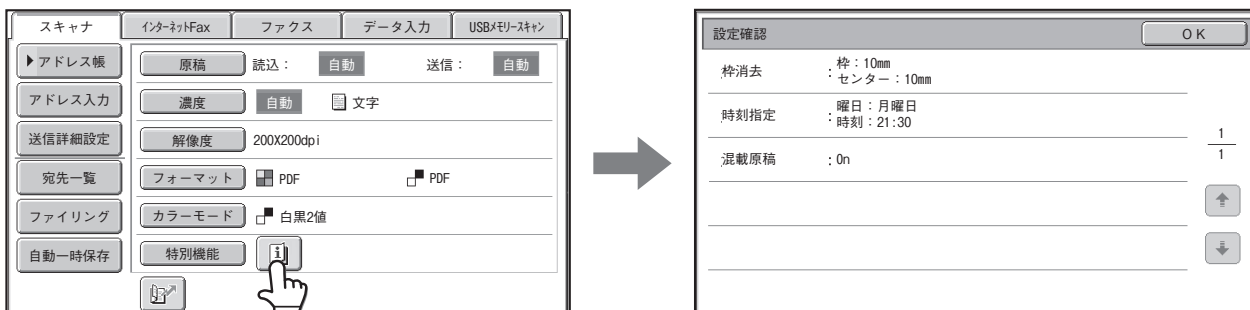
### システム設定（管理者）：カスタマイズキー設定

Webページのメニューにある[システム設定]→[操作設定]の「カスタマイズキー設定」で登録します。

## 特別機能の設定状態を確認する

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みが設定されているときは、基本画面に  キーが表示されます。

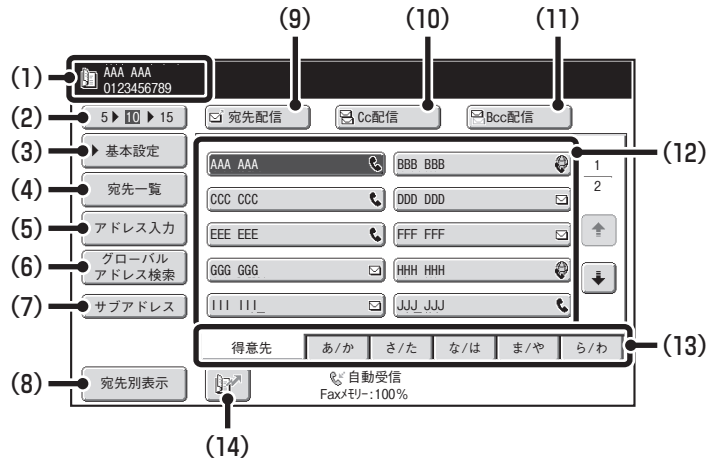
 キーをタッチすると設定内容が表示されます。設定内容の確認画面を閉じるときは[OK]キーをタッチしてください。



設定確認画面から特別機能の設定を変更できません。[OK]キーをタッチして設定確認画面を閉じてから、[特別機能]キーをタッチして変更したい機能を設定し直してください。

# アドレス帳画面

送信先を指定する画面です。



- (1) 選択した送信先を表示します。
- (2) 表示件数切り替えキー  
アドレス帳画面に一度に表示する送信先（ワンタッチキー）の個数を変更するときにタッチします。タッチするごとに5件、10件、15件と切り替わります。
- (3) [基本設定]キー  
送信の設定操作を行うときにタッチします。このキーをタッチすると基本画面に切り替わります。  
☞ [基本画面](#)（16ページ）
- (4) [宛先一覧]キー  
選択されている送信先を一覧表示して確認するときにタッチします。送信先の選択を訂正することができます。  
☞ [指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する](#)（27ページ）
- (5) [アドレス入力]キー  
ワンタッチキーを使わず送信先の宛先を手動で入力するときにタッチします。  
☞ [手動で宛先を入力する](#)（29ページ）
- (6) [グローバルアドレス検索]キー  
本機のWebページでLDAPサーバが利用できるように設定されている場合に、グローバルアドレス帳から送信アドレスを取得するときにタッチします。  
☞ [グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す](#)（30ページ）
- (7) [サブアドレス]キー  
Fコード通信のサブアドレスやパスコードを入力するときにタッチします。このキーは、ファクス宛先の登録されたキーを選択したときのみ表示されます。  
☞ [Fコード通信のダイヤル](#)（134ページ）
- (8) [宛先別表示]キー  
インデックスタブをユーザーインデックスに切り替えるときや、ワンタッチキーを送信モード別に表示させるときにタッチします。  
☞ [アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する](#)（20ページ）
- (9) [宛先配信]キー  
選択した送信先（ワンタッチキー）を確定するときにタッチします。  
☞ [送信先を呼び出す](#)（26ページ）  
ネットワークスキャナ機能やインターネットFax機能が使用できる状態に拡張されていない場合、このキーは表示されません。
- (10) [Cc配信]キー  
E-mail送信スキャンを行うときに、[宛先配信]キーをタッチして選択した送信先以外に同じ内容をCc（Carbon copy）として送信したいときにタッチします。
- (11) [Bcc配信]キー  
E-mail送信スキャンを行うときに、[宛先配信]キーをタッチして選択した送信先以外に同じ内容をBcc（Blind carbon copy）として送信したいときにタッチします。Bcc配信として指定した宛先は、他の宛先の受信者には知られません。  
このキーは、システム設定（管理者）の「Bcc配信設定」でBcc配信が有効に設定されているときのみ表示されます。
- (12) ワンタッチキー表示部  
各インデックスに登録されている送信先（ワンタッチキー）を表示します。本書では、送信先が登録されたキーやグループ登録されたキーをワンタッチキーと呼びます。ワンタッチキーには、送信に使用されるモードのアイコンが表示されています。  
☞ [アドレス帳から送信先を呼び出す](#)（25ページ）
- (13) インデックスタブ  
インデックスを切り替えるときにタッチします。  
☞ [インデックス表示について](#)（21ページ）
- (14) キー  
検索番号※を使用して送信先を指定するときにタッチします。  
※ ワンタッチキーやグループキーの登録時に割り当てる3桁の番号です。  
☞ [検索番号で送信先を呼び出す](#)（28ページ）

- アドレス帳への送信先登録については、「[各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する](#)」(11ページ)を参照してください。
- デスクトップ送信スキャンの送信先を登録するには、ネットワークスキャナ拡張キットに付属のCD-ROMからネットワークスキャナツールをインストールする必要があります。デスクトップ送信スキャンの送信先登録については、「[デスクトップ送信スキャンの送信先登録について](#)」(12ページ)を参照してください。

- **システム設定：アドレス帳 (178ページ)**  
E-mail送信スキャン、インターネットFax、ファクスの送信先をワンタッチキーに登録できます。
- **システム設定 (管理者)：宛先の表示件数切替**  
アドレス帳画面に表示されるワンタッチキーの標準の個数を変更できます。
- **システム設定 (管理者)：Bcc配信設定**  
Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面に[Bcc配信]キーが表示されます。
- **システム設定 (管理者)：アドレス帳のデフォルト設定**  
アドレス帳画面を表示したときの宛先の並び方を次の項目で設定できます。
  - インデックスタブの種類 (50音順・ユーザー)
  - 宛先の種類 (すべて・グループ・E-mail・FTP/Desktop・共有フォルダ・インターネットFax・ファクス)

## アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する

アドレス帳画面で特定の送信モードのみを表示したり、50音で表示しているインデックスを任意で作成したインデックス (ユーザーインデックス) に切り替えて表示することができます。送信先の選択などの操作は変わりません。

1

**[宛先別表示]キーをタッチする**

2

**表示方法を変更する**

**(1) 表示させるモードやタブのキーをタッチする**

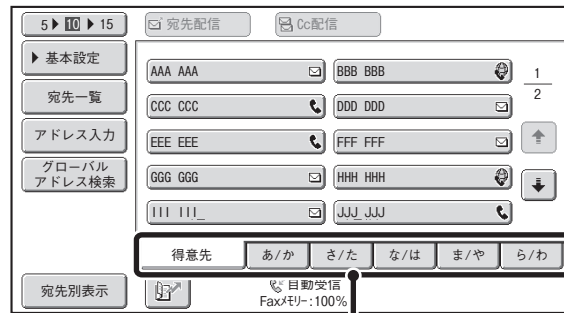
- 特定の送信モードのワンタッチキーのみを表示させるときは、「宛先の種類」から表示させるモードのキーをタッチしてください。
- インデックスタブをユーザーインデックスに切り替えるときは、「タブ切替」の[ユーザー]キーをタッチしてください。

**(2) [OK]キーをタッチする**

## インデックス表示について

インデックスを使用することで、目的の送信先（ワンタッチキー）をかたんに探すことができます。送信先は、検索文字で50音のインデックスに分けて表示されます。登録されている送信先は、インデックスタブをタッチして表示します。よく使う送信先は、[得意先]に表示されるように登録しておく便利です。

☞ [宛先登録](#)（178ページ）



インデックスタブ

また、表示している送信先を検索文字で50音順に並べ替えることができます。

表示しているインデックスタブをタッチすることにより検索番号（28ページ）順→名前昇順→名前降順→検索番号順…と表示する順番が切り替わります。表示する順番を変更すると、他のインデックスタブでも同じ順番で表示されます。



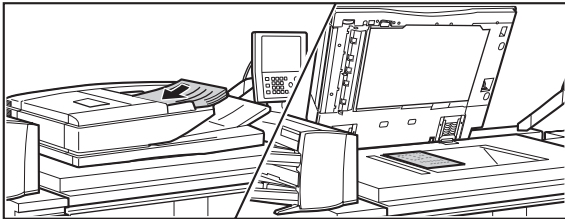
システム設定の「ユーザーインデックス」でインデックスの名前を任意で変更でき、ワンタッチキーをわかりやすくグループ別に分けるなどして使用することができます。

- **システム設定：ユーザーインデックス**（181ページ）  
ユーザーインデックスに名称を登録します。送信先登録したワンタッチキーを、どのユーザーインデックスに分けるかは、送信先登録時に設定します。
- **システム設定（管理者）：表示順番切り替えの禁止**  
アドレス帳画面に表示されるワンタッチキーの表示順番切り替えを禁止します。禁止したときは、禁止時に選択されていた表示順番に固定されます。

# イメージ送信の流れ

ここでは、イメージ送信の基本的な手順を説明しています。下記の順に設定を行うと、円滑に送信操作が行えます。詳しい設定方法については、それぞれの説明ページを参照してください。

## 原稿をセットする



送信する原稿を、原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。

- ☞ **原稿サイズについて**（24ページ）
  - スキャナモードで送信する（36ページ）
  - USBメモリースキャンモードで送信する（43ページ）
  - インターネットFaxモードで送信する（48ページ）
  - ファクスモードで送信する（54ページ）



## 送信先を入力する

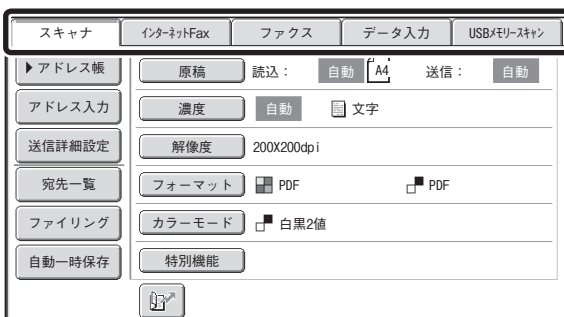


スキャンデータを送信する宛先を指定します。

- [アドレス帳]キー：
  - ☞ **アドレス帳から送信先を呼び出す**（25ページ）
  - ☞ **グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す**（30ページ）
- [アドレス入力]キー：
  - ☞ **手動で宛先を入力する**（29ページ）
- [検索]キー：
  - ☞ **検索番号で送信先を呼び出す**（28ページ）
- [再送信]キー：
  - ☞ **再送信機能を使う**（33ページ）
- 数字キー（ファクスモードのみ）：
  - ☞ **数字キーで相手先番号を入力する**（34ページ）



## モードを切り替える

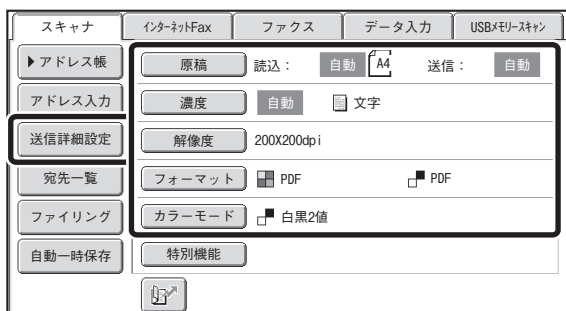


イメージ送信を行うモードに切り替えます。

- ☞ **基本画面について**（15ページ）



## 原稿の設定



読み込む原稿の設定を行うことができます。

- ☞ [原稿の読み込み設定について](#) (68ページ)
- ☞ [送信詳細設定](#)
  - スキャナモード、データ入力モード：(40ページ)
  - USBメモリースキャンモード(ファイル名)：(47ページ)
  - インターネットFaxモード：(51ページ)



## 特別機能の設定

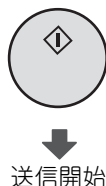


特別機能の設定を行うことができます。

- ☞ [4. 特別機能について](#) (87ページ)



## 送信を実行する





送信開始


原稿を読み込んで送信を実行します。

原稿台(ガラス面)に原稿をセットしたときは、次の操作でスキャン送信を実行します。

- (1) [スタート]キー (⏻) を押す
- (2) セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替える
- (3) [スタート]キー (⏻) を押す
- (4) 上記操作の(2)~(3)を繰り返してすべての原稿を読み込む
- (5) [読み込み終了]キーをタッチする

 送信終了後は、原稿の設定や特別機能の設定は解除されます。

 **読み込み操作を中止するには...**  
[ストップ]キー (⏻) を押して中止してください。

 **システム設定 (管理者)：デフォルト表示画面**  
読み込み終了後も設定内容を一定時間保持させることができます。


# 原稿サイズについて

## 送信できる原稿サイズ

送信できる原稿サイズは下表のとおりです。

	最小原稿サイズ (mm)	最大原稿サイズ (mm)
原稿自動送り装置を使用するとき	140 (縦) x 140 (横)	297 (縦) x 800* (横)
原稿台 (ガラス面) を使用するとき	—	297 (縦) x 432 (横)

\* 長尺原稿を送信できます。(白黒2値で読み込まれます。)

 ファクスモード：  
Fネットを利用する場合、原稿サイズについて制限があります。詳しくはFネットのパンフレットを参照してください。

## セットした原稿サイズについて

規定サイズの原稿をセットすると、自動的に原稿サイズを正しく検知し、基本画面の「読込」サイズに検知したサイズが表示されます。

原稿自動検知機能がはたらいっているときに、規定サイズ以外の原稿をセットした場合、原稿サイズに近い規定サイズが表示されたり、原稿サイズが表示されない場合があります。このときは、手動で正しい原稿サイズを設定してください。

☞ [原稿の読み込みサイズを指定する \(原稿サイズで指定する\) \(71ページ\)](#)

[原稿の読み込みサイズを指定する \(サイズを数値で指定する\) \(72ページ\)](#)

## 規定サイズについて

規定サイズとは、本機が自動検知できる原稿サイズを指します。規定サイズはシステム設定 (管理者) の「原稿検知装置の設定」によって設定されます。工場出荷時は「AB-1」に設定されています。

### 原稿検知装置の設定リスト

選択項目	規定サイズ (原稿検知サイズ)	
	原稿台 (ガラス面)	原稿セット台 (原稿自動送り装置)
AB-1	A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R	A3、A4、A4R、A5、A5R、B4、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"
AB-2	A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx330mm (8-1/2"x13")	A3、A4、A4R、A5、A5R、B4、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-3	A3、A4、A4R、A5、B4、8K、16K、16KR	A3、A4、A4R、A5、A5R、B4、B5、B5R、8K、16K、16KR、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-4	A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")	A3、A4、A4R、A5、A5R、B4、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")
INCH-1	11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"	11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、5-1/2"x8-1/2"R、A3、B4、A4、B5、B5R
INCH-2	11"x17"、216mmx330mm (8-1/2"x13")、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"	11"x17"、216mmx330mm (8-1/2"x13")、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、5-1/2"x8-1/2"R、A3、B4、A4、B5、B5R
INCH-3	11"x17"、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"	11"x17"、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、5-1/2"x8-1/2"R、A3、B4、A4、B5、B5R

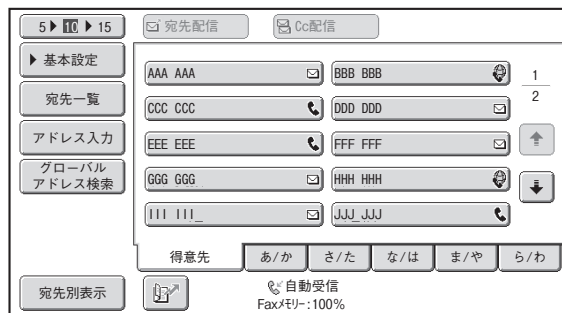


## 2 送信先の入力方法について

アドレス帳から送信先を指定したり、検索番号を入力して送信先を呼び出すなど、送信先を指定する方法について説明しています。

### アドレス帳から送信先を呼び出す

アドレス帳画面では登録されている送信先をワンタッチキーでわかりやすく表示します。送信先は検索番号順に表示されます。検索しやすいように、送信先名で50音のインデックスに分けられています。



アドレス帳画面では、イメージ送信機能の各モードで使用する送信先がすべて表示され、ワンタッチキーに送信先名と使用するモードをアイコンで表示しています。

アイコン	使用するモード
	ファクス
	E-mail送信スキャン
	インターネットFax
	宛先が複数登録されているグループキー

アイコン	使用するモード
	ファイルサーバ送信スキャン
	共有フォルダ送信スキャン
	デスクトップ送信スキャン

- アドレス帳への送信先登録については、「[各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する](#)」(11ページ)を参照してください。
- デスクトップ送信スキャンの送信先を登録するには、ネットワークスキャナ拡張キットに付属のCD-ROMからネットワークスキャナツールをインストールする必要があります。デスクトップ送信スキャンの送信先登録については、「[デスクトップ送信スキャンの送信先登録について](#)」(12ページ)を参照してください。

**システム設定：アドレス帳 (178ページ)**  
E-mail送信スキャン、インターネットFax、ファクスの送信先をワンタッチキーに登録できます。

# 送信先を呼び出す

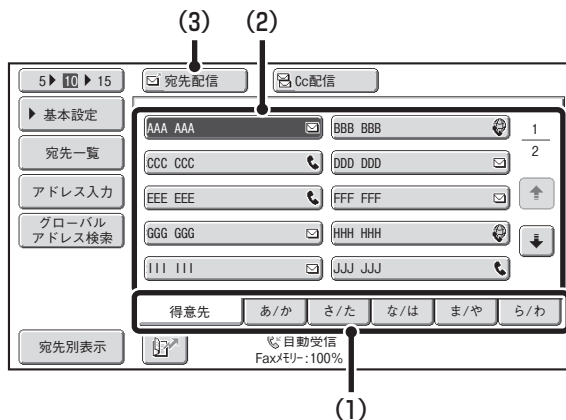
送信する宛先のワンタッチキーを選択して呼び出します。

1



## [アドレス帳]キーをタッチする

2



## 送信先を指定する

(1) 送信先が登録されているインデックスタブをタッチする

(2) 送信先のワンタッチキーをタッチする

送信先をまちがって選択したときは、もう一度キーをタッチすることで指定を解除できます。

(3) [宛先配信]キーをタッチする

選択した送信先を確定します。

ファクスの送信先が登録されたワンタッチキーを選択している場合、この操作は不要です。



よく使う送信先は、[得意先]に表示されるように登録しておくると便利です。送信先登録時に[得意先]インデックスに表示するように設定してください。

■ [宛先登録](#) (178ページ)

• 続けて別の送信先を指定するときは…

スキャナモード (E-mail送信スキャン、ファイルサーバ送信スキャン、デスクトップ送信スキャン)、インターネットFaxモード、ファクスモードの宛先は複数選択して同報送信することができます (最大500件)。この手順の(1)~(3)を繰り返してください。システム設定 (管理者) の「同報時の次宛先キー入力」が設定されているときは、次の送信先を指定する前に[次宛先]キーをタッチしてください。

E-mail送信スキャンを行うときは、ワンタッチキーをタッチしたあと[Cc配信]キーまたは[Bcc配信]キーをタッチしてCc配信やBcc配信することができます。

• ファクスモード：

ネットワークスキャナ拡張キット、インターネットファクス拡張キットが装着されていない場合、[宛先配信]キーや[Cc配信]キーは表示されません。



• システム設定 (管理者)：送信禁止設定

「アドレス帳からの選択禁止」で禁止されているモードの宛先は選択することができません。

• システム設定 (管理者)：Bcc配信設定

Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面に[Bcc配信]キーが表示されます。

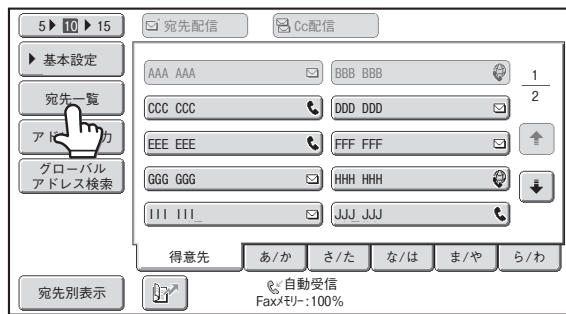
• システム設定 (管理者)：同報時の次宛先キー入力

次の送信先を指定する前に[次宛先]キーを省略するかどうか設定します。工場出荷時の状態では、[次宛先]キーの入力を省略できるように設定されています。

# 指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する

複数の送信先を指定したときに、送信先を一覧表示して確かめます。また、指定した送信先を解除する（選択からはずす）こともできます。

1



[宛先一覧]キーをタッチする

2

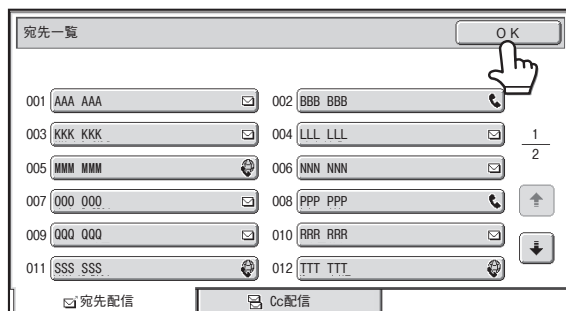


Cc配信またはBcc配信に送信先を指定したときは、それぞれのタブをタッチし、画面を切り替えて確認してください。

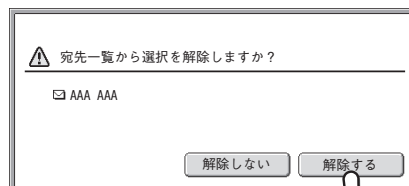


**指定した送信先を取り消すときは…**


取り消したい送信先のワンタッチキーをタッチします。確認のメッセージが表示されるので[解除する]キーをタッチしてください。



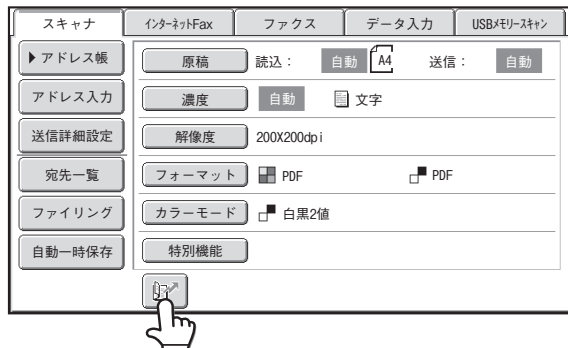
送信先を確かめて[OK]キーをタッチする




# 検索番号で送信先を呼び出す

 キーからアドレス帳に登録されている送信先を呼び出します。各モードの基本画面やアドレス帳画面から使用できます。


1



 キーをタッチする


2



- 検索番号は送信先をアドレス帳に登録するときに設定します。
- 検索番号がわからないときは、システム設定「宛先登録リスト」でワンタッチアドレスリストをプリントして確認してください。
- 検索番号が「001」や「011」の場合「0」の入力を省略することができます。たとえば、「001」の場合は「1」を入力して  キーまたは[次宛先]キーをタッチしてください。



検索番号をまちがえたときは…

[クリア]キー（）を押してまちがえた番号を消去し、入力し直してください。



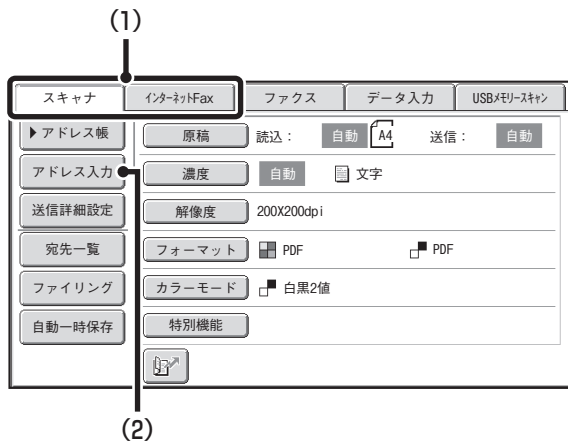
## 数字キーで検索番号（3桁）を入力する

検索番号を3桁入力すると、登録されている宛先が呼び出され、送信先に指定されます。

# 手動で宛先を入力する

E-mail送信スキャンやインターネットFax送信の送信先アドレスは手動で入力することができます。  
ファクス宛先の手動入力（数字キーでの入力）については、「[ファクス番号の入力について](#)」（34ページ）を参照してください。

1



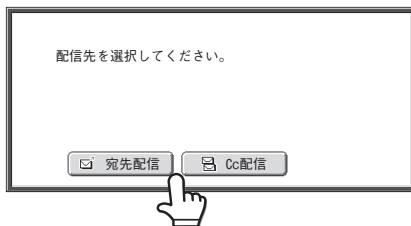
## アドレス入力画面を表示する

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
- (2) [アドレス入力]キーをタッチする



アドレス帳画面にある [アドレス入力] キーをタッチすることでもアドレス入力画面は表示できます。

2



## 送信先アドレスを入力する

- (1) スキャナモードを選択しているときは、**配信方法のキーをタッチする**

通常は[宛先配信]キーをタッチしてください。入力したE-mailアドレスが送信先に指定されます。

- (2) **表示される文字入力画面で送信先アドレスを入力する**

送信先アドレスを入力して[OK]キーをタッチしてください。

文字入力のしかたはユーザズガイドの「7. 文字入力について」を参照してください。



- 入力した送信先をCcで送信するときは、[Cc配信]キーをタッチしてください。
- システム設定（管理者）の「Bcc配信設定」でBcc配信が有効に設定されているときは、[Bcc配信]キーが表示されます。入力した送信先をBccで送信するときは、[Bcc配信]キーをタッチしてください。
- インターネットFaxモードを選択している場合は、送信先アドレスを入力したあと、基本画面に戻りますが、システム設定（管理者）の「送達確認機能有効設定」が有効に設定されていると、送達確認要求の設定画面が表示されます。要求する場合は[はい]キーを、しない場合は[いいえ]キーをタッチしてください。



### システム設定（管理者）：送達確認機能有効設定

インターネットFax送信時に送達確認を要求します。直接アドレス入力により送信先を指定したときは、送達確認要求を行うかどうかのメッセージが表示されます。

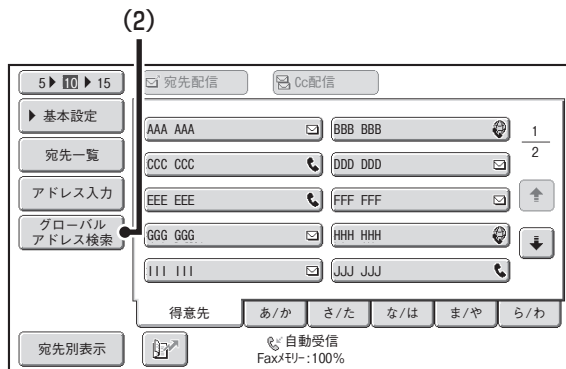
### システム設定（管理者）：Bcc配信設定

Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面や配信方法の選択画面に[Bcc配信]キーが表示されます。

# グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す

本機が接続されているネットワークでグローバルアドレス帳を利用している場合は、WebページでLDAPサーバを設定することにより、グローバルアドレス帳に登録されているアドレスやファクス番号を取得して送信することができます。

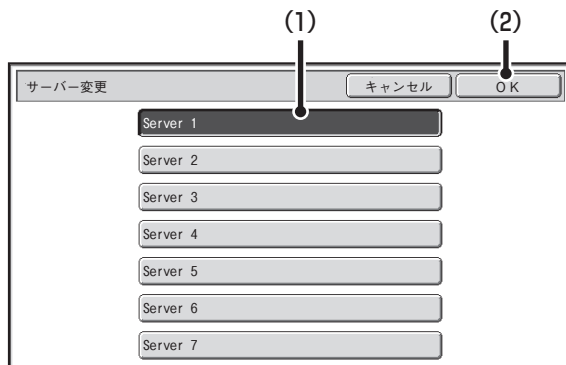
1



## グローバルアドレス検索画面を表示する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) [グローバルアドレス検索]キーをタッチする

2



## 送信先を検索する

LDAPサーバが1件のみ設定されているときは、(1)、(2)の操作は不要です。(3)から操作を行ってください。

- (1) 使用するLDAPサーバのキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする
- (3) 表示される検索画面で送信先を検索する

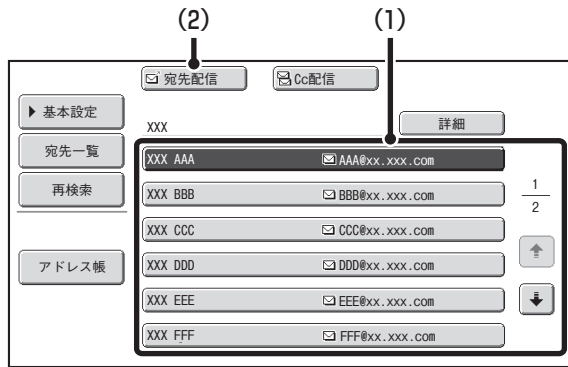
送信先の検索文字を入力し、[検索]キーをタッチしてください。しばらくすると検索結果が表示されます。文字入力のしかたはユーザーズガイドの「7. 文字入力について」を参照してください。



### 検索のしかた

検索文字は半角64文字（全角32文字）以内で入力してください。検索文字で始まる送信先名を検索します。検索文字に\*（アスタリスク）を使うと次のように検索することができます。

- XXX\* : 「XXX」で始まっている名前
- \*XXX : 「XXX」で終わっている名前
- \*XXX\* : 「XXX」を含んでいる名前
- AA\*XX : 「AA」で始まり「XX」で終わっている名前



## 送信先を選択する

### (1) 送信先のキーをタッチする

該当する宛先がなかったときは、メッセージが表示されません。[OK]キーをタッチしてメッセージを閉じ、[再検索]キーをタッチして検索をやり直してください。

### (2) [宛先配信]※キーをタッチする

選択したキーを確認します。

別の送信先を入力するときはこの手順の(1)(2)を繰り返し操作してください。

※ネットワークスキャナ機能やインターネットFax機能が使用できる状態に拡張されていない場合、[宛先配信]キーの表示は[宛先選択]キーになります。



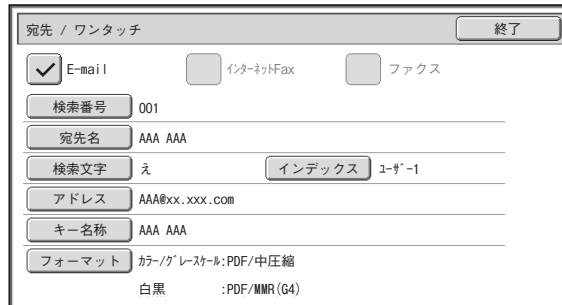
- 検索結果が30件以上あった場合、画面にメッセージが表示されます。[OK]キーをタッチしてメッセージを閉じてください。検索結果は最大300件表示されます。該当する宛先がなかった場合は、[再検索]キーをタッチし、検索文字を追加して再度検索してください。
- **送信先の登録内容を確認するときは…**  
送信先のキーをタッチし、[詳細]キーをタッチしてください。選択した送信先の登録内容が表示されます。登録内容を確認し、[OK]キーをタッチして検索結果画面に戻ってください。
- **宛先に適用する項目の選択画面が表示されたときは…**  
選択した送信先にE-mailアドレス、インターネットFaxアドレス、ファクス番号が登録されているとき、宛先に適用（使用）する項目を選択します。[E-mail]、[インターネットFax]、[ファクス]のいずれかのキーをタッチして適用する宛先を選択してください。ただし、Webページの「グローバルアドレス帳の設定」で[本体操作パネルで選択を可能にする]が設定されていない場合は、Webページで指定されているモードの宛先が選択されます。

## グローバルアドレス帳の送信先を本機のアドレス帳に登録するには

グローバルアドレス帳に登録されている情報を、本機のアドレス帳に送信先（ワンタッチキー）として登録することができます。

グローバルアドレス帳の検索結果画面（31ページ手順3の画面）にある[詳細]キーをタッチすると、選択した送信先の詳細情報が表示されます。詳細情報画面の[アドレス登録]キーをタッチし、宛先に適用する項目（[E-mail]、[インターネットFax]、[ファクス]のいずれか）をタッチすると、登録画面が表示されます。

例：E-mail宛先登録画面



選択した項目（E-mail、インターネットFax、ファクス）によって登録内容は異なります。

グローバルアドレス帳に登録されている情報は、自動で入力されます。（必要に応じて設定を変更することもできます。各項目の詳細については、「宛先登録」（178ページ）を参照してください。）ただし、次の項目は手動で設定してください。[終了]キーをタッチすると、登録が完了します。

### 各モード共通項目

- [検索文字]キー： 50音インデックス内での分類とワンタッチキーの表示順を設定します。ひらがな5文字以内で検索文字を入力してください。
- [インデックス]キー： ユーザーインデックス表示に切り替えたときに分類されるインデックスを設定します。また、登録する送信先をアドレス帳の「得意先」タブに表示させるかどうか設定することができます。

### E-mail送信スキャン

- [フォーマット]キー： E-mail送信時のフォーマットを設定します。フォーマットはあらかじめ標準値が設定されていますが、登録する送信先ごとにフォーマットを設定しておく、送信するたびに設定する必要がなく便利です。

### インターネットFax

- [圧縮形式]キー： インターネットFax送信時の圧縮形式を設定します。
- [送達確認要求]キー： インターネットFax送信時に送達確認を要求するように設定します。

### ファクス

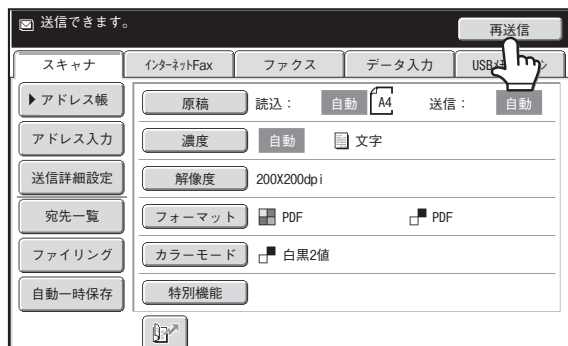
- [国際通信モード]キー： 「通信速度」と「国際通信モード」を設定します。あらかじめ設定されていますが、海外や通信エラーが起こりやすい相手先の場合のみ、必要に応じて設定を変更してください。



# 再送信機能を使う

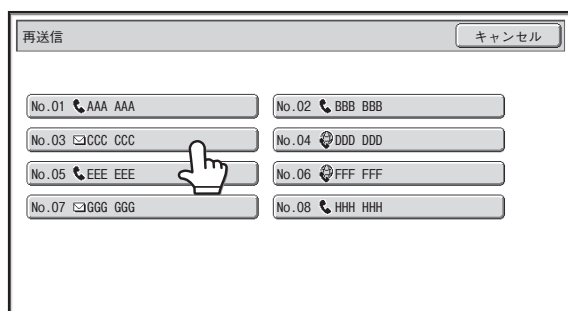
E-mail送信スキャン、インターネットFax、ファクスの送信先は、最後に送信した宛先から8件記憶されており、選択して再送信することができます。

1



[再送信]キーをタッチする

2



再送信する宛先のキーをタッチする

最後に送信した宛先から8件までが表示されています。E-mail送信スキャンの宛先を選択したときは、配信方法の選択画面が表示されます。通常は[宛先配信]キーをタッチしてください。



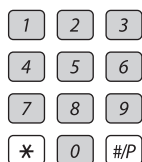
- [再送信]キーをタッチして送信先を選択したときは、選択した送信先のモードに切り替わります。
- 以下の宛先には再送信できません。
  - 複数の送信先を登録したワンタッチキー（グループキー）
  - ファイルサーバ・デスクトップ・共有フォルダ送信スキャンの宛先
  - 同報送信の宛先
  - Bcc配信のみの宛先
  - プログラム送信した宛先
- ファクスモード：  
前回の通信中に数字キーが押されていた場合、正しく再ダイヤルできないことがあります。




- **システム設定（管理者）：送信禁止設定**  
「イメージ送信モードからの[再送信]の禁止」が設定されている場合、再送信機能を使うことはできません。


# ファクス番号の入力について

## 数字キーで相手先番号を入力する



数字キー（10キー）を押して相手先番号を入力する

 相手先番号はまちがいのないように正しく入力してください。

 番号をまちがえたときは…  
[クリア]キー（**[C]**）を押してまちがえた番号を消去し入力し直してください。


## 番号の間にポーズ（待ち時間）を入力する

構内交換機（PBX）経由で0発信するときの「0」のあとや、国際電話の国番号のあとなどに、ポーズ（待ち時間）を入力してダイヤルします。



### [ポーズ]キーをタッチする

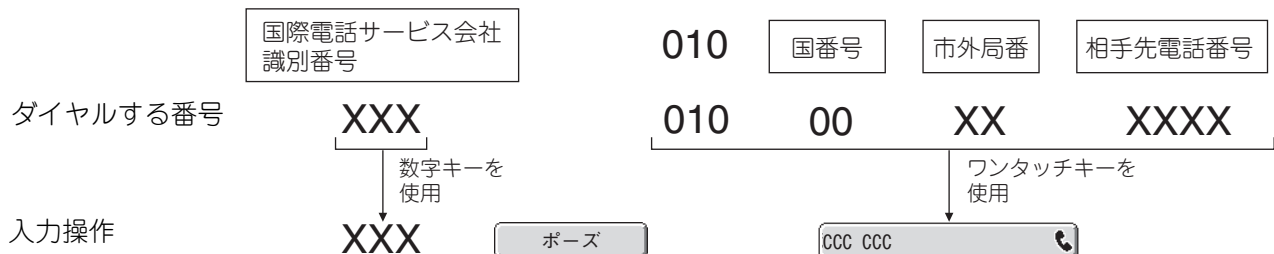
[ポーズ]キーを1回タッチすると「-（ハイフン）」が入力されます。

 **システム設定（管理者）：ポーズ時間の設定**  
ポーズ（待ち時間）の長さを設定します。工場出荷時は2秒間に設定されています。

# 複数の番号をつなげる（チェーンダイヤル）

数字キーやワンタッチキーで入力した番号をポーズで続けて入力し組み合わせて使用します。  
海外の相手先などの長い番号の場合、国番号や市外番号などをワンタッチキーに分けて登録しておいてチェーンダイヤルでつなげて使用します。

例：海外の相手先にダイヤルする場合の入力方法



## システム設定（管理者）：ポーズ時間の設定

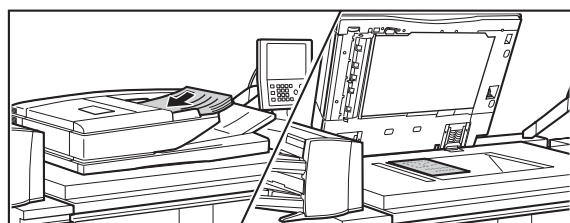
ポーズ（待ち時間）の長さを設定します。工場出荷時は2秒間に設定されています。

# 3 送信のしかた

## スキャナモードで送信する

スキャナモード（E-mail送信スキャン、ファイルサーバ送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダ送信スキャン）の基本的な送信のしかたを説明します。

システム設定（管理者）「デフォルト宛先設定」で初期状態の宛先を設定している場合、モードの切り替えや、送信先の変更・追加ができません。モードを切り替えるときや、送信先を変更する場合は、タッチパネルの[キャンセル]キーをタッチしてから下記操作を行ってください。



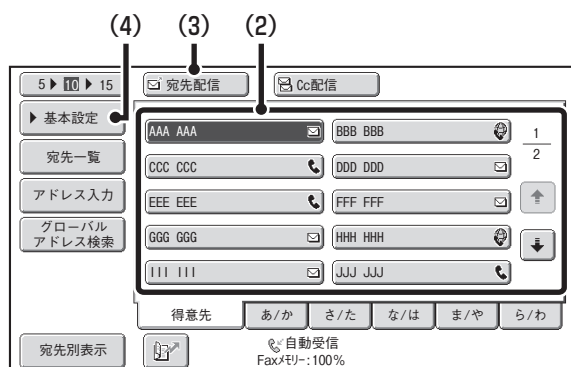
### 原稿をセットする

1 原稿をセットするときは次の向きでセットしてください。

原稿	原稿セット台 原稿は上向きにセットしてください。	原稿台（ガラス面） 原稿は下向きにセットし、原稿台スケール左上の▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
縦向きの場合※ 		
横向きの場合 		

※大きなサイズの縦向き原稿をセットするときは、上の図の「横向きの場合」と同じように横長方向にセットし、手順4で原稿のセット方向を指定してください。

- A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。



## 送信先を指定する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 送信先のワンタッチキーをタッチする

ワンタッチキーに登録されている送信先の種類は、キーに表示されるアイコンで確認できます。

- : E-mail送信スキャン
- : ファイルサーバ送信スキャン
- : 共有フォルダ送信スキャン
- : デスクトップ送信スキャン

(3) [宛先配信]キーをタッチする

送信先に指定されます。

(4) [基本設定]キーをタッチする

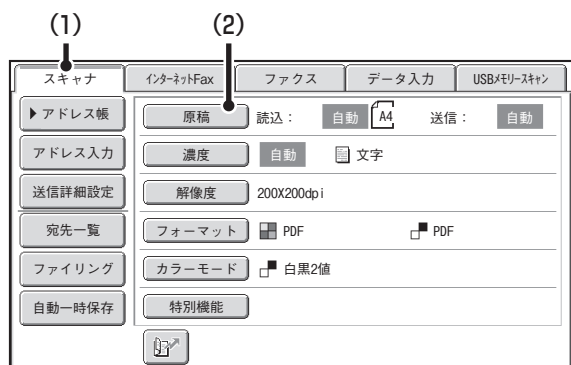


- ワンタッチキーをタッチしたあと、[宛先配信]キーをタッチせずに画面を切り替えたときは、自動的に宛先配信として送信先に指定されます。
- E-mail送信スキャンを行うときは、別の宛先へCcやBccで送信することができます。送信先のキーをタッチしたあと[Cc配信]キーまたは[Bcc配信]キーをタッチしてください。
- 送信先に複数の宛先を指定することができます。その場合は、(2)(3)の操作を繰り返してください。ただし、共有フォルダ送信スキャンの送信先を指定したときは、複数の宛先を指定することはできません。
- 複数のワンタッチキーを選択してから[宛先配信]キー（または[Cc配信]キー、[Bcc配信]キー）をタッチして、まとめて送信先に指定することもできます。
- 送信先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、E-mail送信スキャンの送信先は手で入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[2. 送信先の入力方法について](#)」(25ページ)を参照してください。



### システム設定 (管理者) : Bcc配信設定

Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面に[Bcc配信]キーが表示されます。



## 原稿設定画面を表示する

(1) スキャナモードが選択されていることを確認する

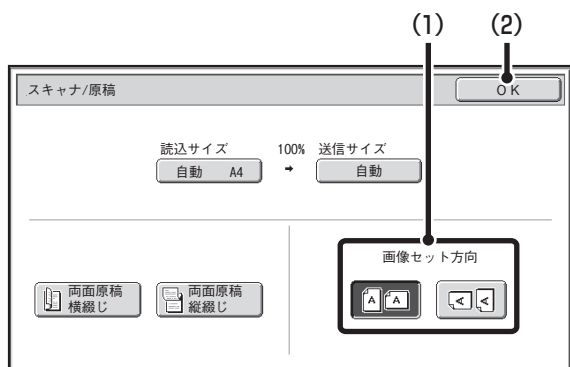
スキャナモードが選択されていない場合は、[スキャナ]タブをタッチしてください。

(2) [原稿]キーをタッチする



[原稿]、[濃度]、[解像度]、[フォーマット]、[カラーモード]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。カラー拡張キットを装着していない場合は、[カラーモード]キーは表示されません。

- ☞ [原稿の表裏を自動的に読み込む \(両面原稿\)](#) (69ページ)、[原稿の読み込みサイズ/送信サイズを指定する \(拡大・縮小\)](#) (70ページ)、[原稿の濃度と画質 \(原稿種類\) を変える](#) (76ページ)、[原稿の解像度 \(画質\) を変える](#) (78ページ)、[フォーマットを変える](#) (81ページ)、[カラーモードを変える](#) (85ページ)、[4. 特別機能について](#) (87ページ)



## 原稿のセット方向を指定する

原稿を正しい向き（ディスプレイの上部に原稿の天部が表示される向き）でスキャンするために、手順1でセットした原稿の向きを指定します。

### (1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは **[A/A]** キーを、左向きにセットした場合は **[</>]** キーをタッチしてください。

### (2) [OK]キーをタッチする

手順3の画面に戻ります。



原稿のセット方向は、最初 **[A/A]** に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

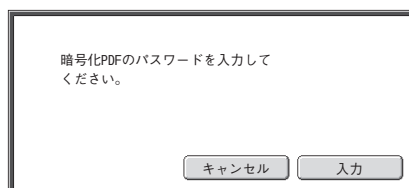
## [スタート]キー（Ⓢ）を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、タッチパネルに[読み込み終了]キーが表示されます。原稿が1枚のときは手順7へ、続けて原稿を読み込むときは、次の手順へ進んでください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。



- カラー拡張キットを装着している場合、カラーモード設定が[自動]に設定されているときは、原稿で使用されている色を自動検知してフルカラー、グレースケールまたは白黒2値で読み込まれます。カラー拡張キットを装着していない場合は、白黒2値で読み込まれます。
- ファイル形式を[暗号化PDF]に設定しているときは、[スタート]キー（Ⓢ）を押すとパスワードの入力を要求する画面が表示されます。

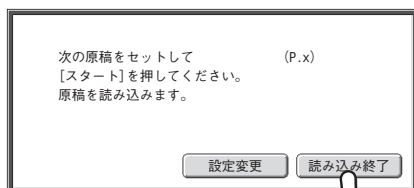


[入力]キーをタッチしてキーボード画面に切り替え、パスワードを半角32文字以内で入力して[OK]キーをタッチしてください。入力したパスワードは、受信側が暗号化PDFを開くときに必要となります。

暗号化PDF形式をやめるときは、[キャンセル]キーをタッチしてください。フォーマット設定画面に切り替わり、ファイル形式を変更することができます。変更後は[スタート]キー（Ⓢ）を押して送信操作を行ってください。

## 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、次の原稿と入れ替えて、[スタート]キー（）を押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。



### [読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。  
原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出してください。




- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。



- 原稿の読み込みがすべて終了すると、「予約しました。」のメッセージとジョブの管理番号を表示します。通信結果表または通信記録表で通信記録を確認する際に、この管理番号で通信記録を調べることができます。また、同報送信を行った際にジョブ状況画面から通信結果を確認する場合、この番号がジョブのキーに表示されますので、この番号を控えておくことでジョブの確認が容易に行えます。
- 原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、メッセージを表示して原稿の読み込みを中止します。
- E-mail送信スキャンを行う際は、送信するデータのサイズが大きくなりすぎないように注意してください。サイズが大きくなりがちな複数枚の原稿を送信したいときなどは、原稿の読み込みページ数を減らしたり、送信サイズを小さくするなど工夫が必要です。
- メールフッターの登録について**  
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加することができます。コーポレートポリシーなど、定型文の付加をするときに便利な機能です。付加する文章の内容は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナ設定]→[管理設定]をクリックして入力します。（管理者権限が必要です。）最大全角450文字（半角900文字）入力できます。（メール本文の最大入力文字数には含まれません。）システム設定（管理者）の「メールフッターのプリセット」で、メールフッターを付加するかどうか設定できます。



### 原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（）を押して中止してください。



- システム設定（管理者）：イメージ送信設定**  
原稿の解像度や濃度の初期状態を変更する設定、標準で使用するカラーモードやファイルフォーマットの設定、同報時のファイル圧縮形式の設定、E-mail送信スキャンを行うときの送信するデータのサイズを制限する設定、標準で使用する送信者や送信先の設定など、スキャン送信に関する設定ができます。
- システム設定（管理者）：メールフッターのプリセット**  
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加するかどうか設定します。工場出荷時の状態では、付加しないように設定されています。

# 件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変える

スキャン送信を行うときに、件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変更することができます。文字を直接入力することもできます。

- ファイルサーバ送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダ送信スキャンを行うときは、ファイル名のみ適用されます。
- 件名、ファイル名を変更しないときは、Webページで設定された内容が使用されます。
- 返信先を変更しないときは、システム設定（管理者）の「標準送信者登録」で設定された内容が使用されます。設定されていない場合は、Webページのメニューにある[ネットワーク設定]→[サービス設定]→[SMTP設定]の返信アドレスを使用します。（管理者権限が必要です。）
- 件名、ファイル名、メール本文の候補は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナ設定]をクリックして登録します。
- 文字入力のしかたはユーザズガイドの「7. 文字入力について」を参照してください。

## 基本画面の[送信詳細設定]キーをタッチする

1

基本画面（16ページ）

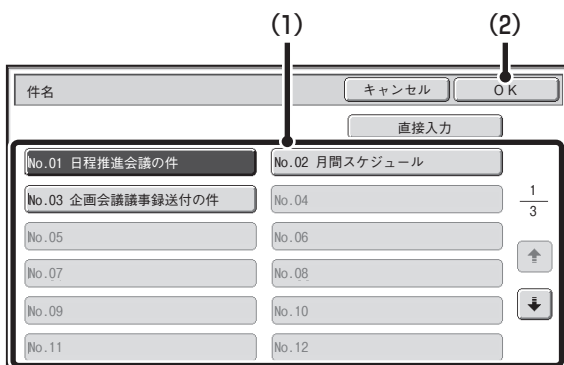
ファイルサーバ送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダ送信スキャンの宛先に送信するときは、手順4へ進んでください。

2



件名を変更するときは[件名]キーをタッチする

3



件名を入力する

- (1) 定型文のキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

- 文字を直接入力するときは[直接入力]キーをタッチして文字入力画面に切り替えます。件名を入力して[OK]キーをタッチしてください。
- 定型文のキーをタッチしてから[直接入力]キーをタッチすると、定型文を編集することができます。文字入力画面に切り替わり、選択した定型文が入力された状態が表示されます。（Webページを使って登録する場合は、最大全角40文字（半角80文字）入力できますが、タッチパネルでは、最大全角30文字（半角60文字）※までしか編集できません。）  
※定型文の表示件数が6件の場合



4

## ファイル名を変更するときは[ファイル名]キーをタッチする

- ファイル名の入力方法は、件名の入力方法と同様の操作で行ってください。
- ファイルサーバ送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダ送信スキャンの宛先に送信するときは、手順9へ進んでください。

5

## 返信先を変更するときは[返信先名]キーをタッチする



ユーザー認証機能を使用している場合は、ログインしたユーザー情報が適用されるため、返信先を変更することはできません。

6

## 返信先を指定して[OK]キーをタッチする

- 返信先に使用するキーをタッチしてください。
- 返信先の選択と同様に、[グローバルアドレス検索]キーをタッチしてグローバルアドレス帳に登録されているユーザーを返信先に指定することができます。また、[アドレス入力]キーをタッチしてE-mailアドレスを直接入力することもできます。



- [ユーザー]キーをタッチすると、システム設定(管理者)の「ユーザーリスト」であらかじめ設定されている「登録No.」を入力して返信先を指定することができます。
- 返信先に使用するキーを選択するには、システム設定(管理者)の「ユーザーリスト」で登録するユーザーにE-mailアドレスを設定しておく必要があります。

7

メール本文を変更するときは[本文]キーをタッチする

8

メール本文を入力し、[OK]キーをタッチする

- あらかじめWebページで登録した定型文を選択するときは、[定型文選択]キーをタッチしてください。
- 本文を直接入力するときは、[編集]キーをタッチしてください。



- 最大全角で900文字、半角で1800文字入力できます。(改行は半角1文字となります。)
- 入力した全内容を消去するときは、[全内容消去]キーをタッチしてください。このキーをタッチすると、選択している行だけでなくメール本文の全内容が消去されます。
- 入力した文章は、 キーで行単位で選択できます。選択した行を編集したいときは、[編集]キーをタッチしてください。文字入力画面に切り替わり、選択した文章が入力された状態で表示されます。

9

[OK]キーをタッチする



[返信先をCc宛先を選択する]チェックボックスをタッチして  にしたときは、返信先にCcで送信することができます。



件名およびファイル名の定型文は、Webページで登録するときは最大全角40文字（半角80文字）入力できます。



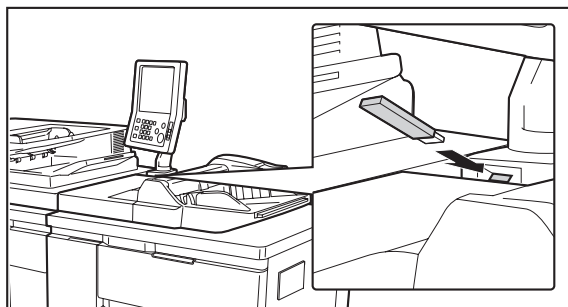
- **システム設定（管理者）：件名/ファイル名/本文表示件数切替**  
一度に表示する件名とファイル名の個数を6件、12件、18件に変更します。
- **システム設定（管理者）：標準送信者登録**  
返信先を選択しなかった場合に適用される返信先の名前とE-mailアドレスを登録します。

# USBメモリースキャンモードで送信する

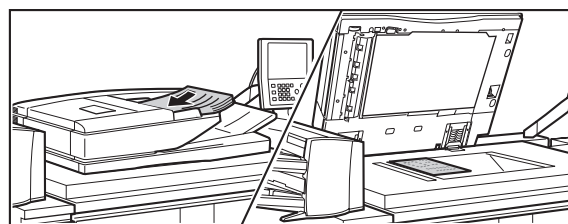
スキャンしたデータを本機に接続した市販のUSBメモリーに送信して保存します。

- 使用できるUSBメモリーについては販売店にお問い合わせください。
- システム設定（管理者）「デフォルト宛先設定」で初期状態の宛先を設定している場合、モードの切り替えができません。USBメモリースキャンモードに切り替える場合は、タッチパネルの[キャンセル]キーをタッチしてから下記操作を行ってください。

1




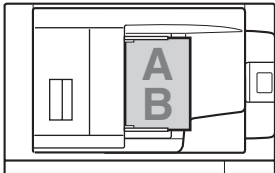
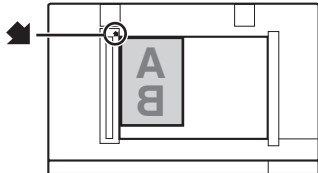

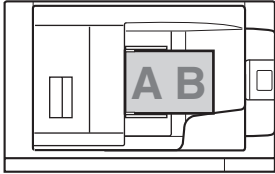
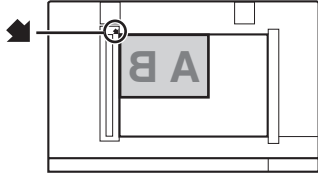
本機のUSBコネクタ（Aタイプ）にUSBメモリーを接続する





原稿をセットする

2

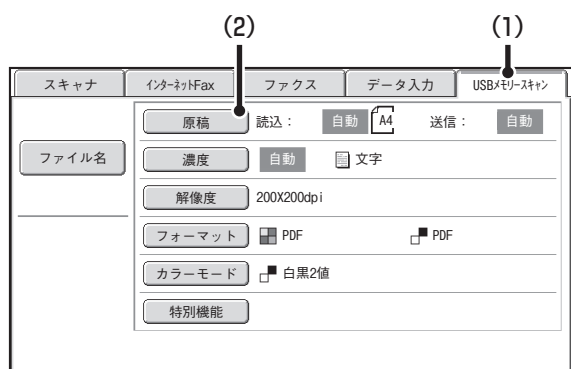
- 原稿をセットするときは次の向きでセットしてください。

原稿	原稿セット台 原稿は上向きにセットしてください。	原稿台（ガラス面） 原稿は下向きにセットし、原稿台スケール左上の ▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
縦向きの場合※ 		
横向きの場合 		

※大きなサイズの縦向き原稿をセットするときは、上の図の「横向きの場合」と同じように横長方向にセットし、手順4で原稿のセット方向を指定してください。

- A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

3



## USBメモリースキャンモードに切り替え、 原稿設定画面を表示する

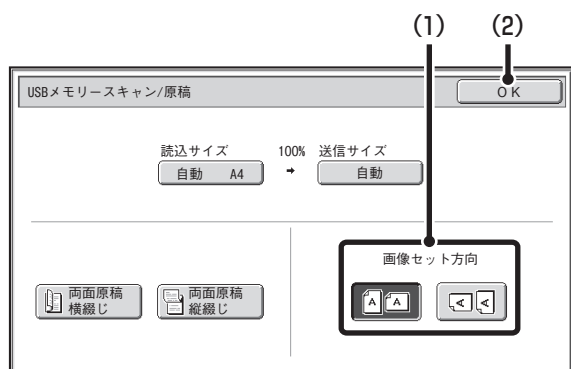
(1) [USBメモリースキャン]タブをタッチする

(2) [原稿]キーをタッチする



- USBメモリーにスキャンデータを送信するときは、送信先を指定する必要はありません。
- すでに他のモードの送信先が指定されているときにUSBメモリースキャンモードに切り替えたときは、送信先などの設定内容をクリアする確認メッセージが表示されます。[OK]キーをタッチし、次の手順へ進んでください。
- [原稿]、[濃度]、[解像度]、[フォーマット]、[カラーモード]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。カラー拡張キットを装着していない場合は、[カラーモード]キーは表示されません。
  - 原稿の表裏を自動的に読み込む (両面原稿) (69ページ)、原稿の読み込みサイズ/送信サイズを指定する (拡大・縮小) (70ページ)、原稿の濃度と画質 (原稿種類) を変える (76ページ)、原稿の解像度 (画質) を変える (78ページ)、フォーマットを変える (81ページ)、カラーモードを変える (85ページ)、4. 特別機能について (87ページ)

4



## 原稿のセット方向を指定する

原稿を正しい向き (ディスプレイの上部に原稿の天部が表示される向き) でスキャンするために、手順2でセットした原稿の向きを指定します。

(1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは **[A/A]** キーを、左向きにセットした場合は **[</>]** キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

手順3の画面に戻ります。



原稿のセット方向は、最初 **[A/A]** に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

## 5 [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

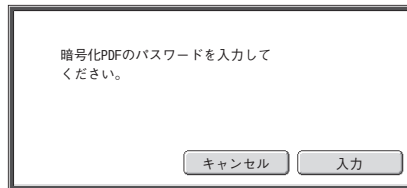
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、タッチパネルに[読み込み終了]キーが表示されます。原稿が1枚のときは手順7へ、続けて原稿を読み込むときは、次の手順へ進んでください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴り、送信を開始します。手順8へ進んでください。



タッチパネルに「データ書き込みが完了しました」と表示されるまでUSBメモリーは抜き取らないでください。



- カラー拡張キットを装着している場合、カラーモード設定が[自動]に設定されているときは、原稿で使用されている色を自動検知してフルカラー、グレースケールまたは白黒2値で読み込まれます。カラー拡張キットを装着していない場合は、白黒2値で読み込まれます。
- ファイル形式を[暗号化PDF]に設定しているときは、[スタート]キー (Ⓢ) を押すとパスワードの入力を要求する画面が表示されます。



[入力]キーをタッチしてキーボード画面に切り替え、パスワードを半角32文字以内で入力して[OK]キーをタッチしてください。入力したパスワードは、受信側が暗号化PDFを開くときに必要となります。

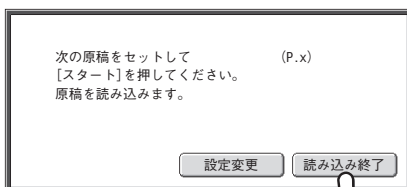
暗号化PDF形式をやめるときは、[キャンセル]キーをタッチしてください。フォーマット設定画面に切り替わり、ファイル形式を変更することができます。変更後は[スタート]キー (Ⓢ) を押して送信操作を行ってください。

## 6

## 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、次の原稿と入れ替えて、[スタート]キー (Ⓢ) を押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。

## 7

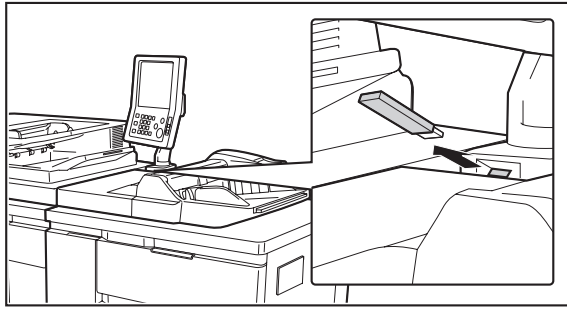


## [読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴り、読み込み操作が完了します。原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出してください。



- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。



タッチパネルに「データ書き込みが完了しました」と表示されたら、USBメモリーを抜き取る



タッチパネルに「処理中です」や「データ書き込み中です」と表示されているときは、USBメモリーを抜き取らないでください。



- USBメモリーへの送信が完了すると、「データ書き込みが完了しました」のメッセージが表示されます。しばらくするとメッセージが消え、イメージ送信モードの基本画面に戻ります。(イメージ送信モードの基本画面とは、操作パネルの[イメージ送信]キーをタッチしたときに表示される画面です。)
- **原稿の読み込み中にUSBメモリーがいっぱいになったときは…**  
メッセージが表示され、原稿の読み込みが中止されます。データは保存されません。ただし、ファイルフォーマットにJPEGを指定、または「ページ毎にファイル化」チェックボックスを有効にした場合、書き込みが完了したファイルはUSBメモリーに保存されます。



- **原稿の読み込みを中止するには…**  
[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。
- **USBメモリーへの書き込みを中止するには…**  
スキャンデータの保存中は、「データ書き込み中です」というメッセージと[キャンセル]キーがタッチパネルに表示されます。データの保存を中止するときは、[キャンセル]キーをタッチしてください。



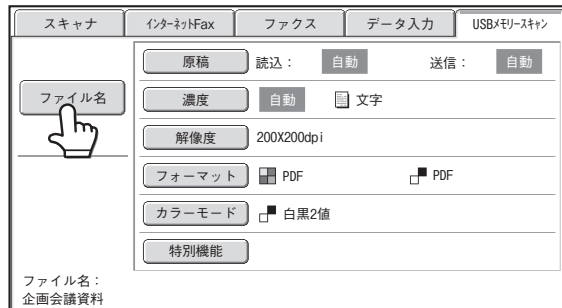
- **システム設定：USBデバイス確認**  
本機に接続されているUSB機器の接続状況を確認できます。
- **システム設定（管理者）：スキャナ設定**  
標準で使用するカラーモードやファイルフォーマットの設定ができます。
- **システム設定（管理者）：スキャン機能の禁止**  
USBメモリースキャンの使用を禁止することができます。

# ファイル名を入力する

スキャン送信を行うときに、ファイル名を直接入力することができます。



- ファイル名を入力しないときは、Webページで設定された内容が使用されます。
- 文字入力のしかたはユーザーズガイドの「7. 文字入力について」を参照してください。



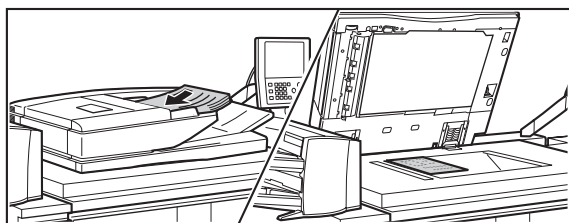
[ファイル名]キーをタッチすると、文字入力画面が表示されます。ファイル名を入力して[OK]キーをタッチしてください。



- 入力したファイル名を修正したいときは、再度[ファイル名]キーをタッチしてください。

# インターネットFaxモードで送信する



システム設定（管理者）「デフォルト宛先設定」で初期状態の宛先を設定している場合、モードの切り替えや、送信先の変更・追加ができません。インターネットFaxモードに切り替える場合は、タッチパネルの[キャンセル]キーをタッチしてから下記操作を行ってください。



## 原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

1

- A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
- **回転送信について**  
A4、B5R、A5Rの原稿は、90° 回転してそれぞれA4R、B5、A5の向きで送信されます。（A4R、B5、A5サイズの原稿は回転送信できません。）



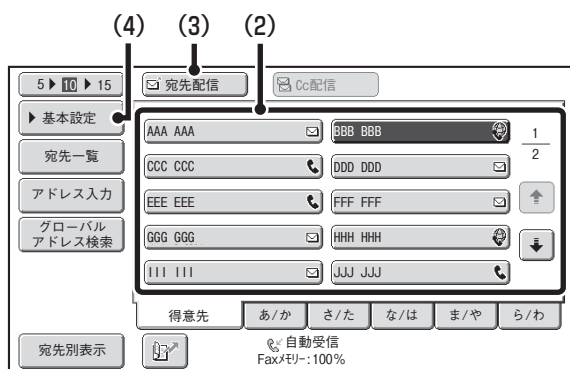
- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

## システム設定（管理者）：回転送信の設定

読み込んだ原稿を90° 回転させて送信するかどうかを設定します。

工場出荷時は、A4原稿をA4Rの向き、B5RをB5の向き、A5RをA5の向きに回転して送信するように設定されています。


2



## 送信先を指定する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 送信先のキーをタッチする

インターネットFaxのアドレスが登録されたワンタッチキーは、のアイコンを表示しています。

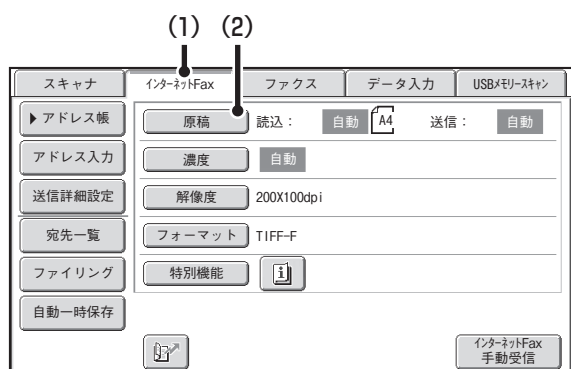
(3) [宛先配信]キーをタッチする

送信先に指定されます。

(4) [基本設定]キーをタッチする

- ワンタッチキーをタッチしたあと、[宛先配信]キーをタッチせずに画面を切り替えたときは、自動的に送信先に指定されます。
- 送信先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、手動で入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[2. 送信先の入力方法について](#)」（25ページ）を参照してください。





## 原稿設定画面を表示する

### (1) インターネットFaxモードが選択されていることを確認する

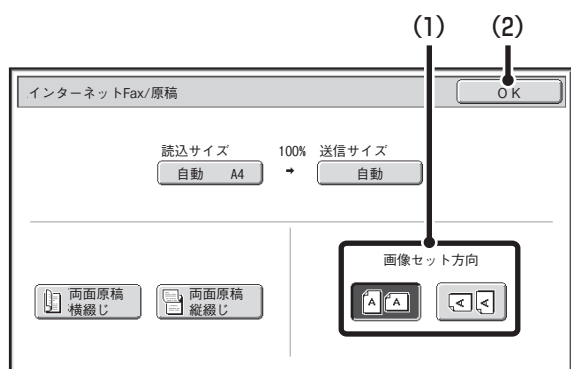
インターネットFaxモードが選択されていない場合は、[インターネットFax]タブをタッチしてください。

### (2) [原稿]キーをタッチする



[原稿]、[濃度]、[解像度]、[フォーマット]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。

- 原稿の表裏を自動的に読み込む(両面原稿) (69ページ)、原稿の読み込みサイズ/送信サイズを指定する(拡大・縮小) (70ページ)、原稿の濃度と画質(原稿種類)を変える (76ページ)、原稿の解像度(画質)を変える (78ページ)、フォーマットを変える (81ページ)、4. 特別機能について (87ページ)



## 原稿のセット方向を指定する

送信する画像の向きを設定するために、手順1でセットした原稿の向きを指定します。

### (1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは **[A A]** キーを、左向きにセットした場合は **[< <]** キーをタッチしてください。

### (2) [OK]キーをタッチする

手順3の画面に戻ります。



原稿のセット方向は、最初 **[A A]** に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

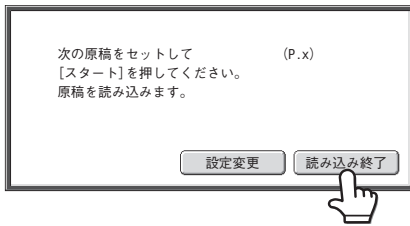
## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿台(ガラス面)に原稿をセットしたときは、タッチパネルに[読み込み終了]キーが表示されます。原稿が1枚のときは手順7へ、続けて原稿を読み込むときは、次の手順へ進んでください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。

## 原稿台(ガラス面)に原稿をセットしたときは、次の原稿と入れ替えて、[スタート]キー (Ⓢ) を押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。



## [読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。  
原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出してください。



- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「2in1」および「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。



- 原稿の読み込みがすべて終了すると、「予約しました。」のメッセージとジョブの管理番号を表示します。通信結果表または通信記録表で通信記録を確認する際に、この管理番号で通信記録を調べることができます。また、同報送信を行った際にジョブ状況画面から通信結果を確認する場合、この番号がジョブのキーに表示されますので、この番号を控えておくことでジョブの確認が容易に行えます。
- 原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、メッセージを表示して原稿の読み込みを中止します。
- **メールフッターの登録について**  
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加することができます。コーポレートポリシーなど、定型文の付加をするときに便利な機能です。付加する文章の内容は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナ設定]→[管理設定]をクリックして入力します。(管理者権限が必要です。)最大全角450文字(半角900文字)入力できます。(メール本文の最大入力文字数には含まれません。)  
システム設定(管理者)の「メールフッターのプリセット」で、メールフッターを付加するかどうか設定できます。



### 原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー(Ⓢ)を押して中止してください。



- **システム設定(管理者)：インターネットFax送信設定**  
送達確認に関する設定、回転送信の設定、送信するデータのサイズを制限する設定、発信元情報の添付に関する設定など、インターネットFax送信に関する設定ができます。
- **システム設定(管理者)：メールフッターのプリセット**  
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加するかどうか設定します。工場出荷時の状態では、付加しないように設定されています。

# 件名、ファイル名、メール本文を変える

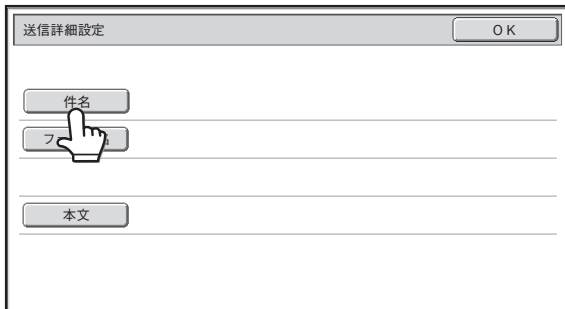
インターネットFax送信を行うときに、件名、ファイル名、メール本文を変更することができます。文字を直接入力することもできます。

- 件名、ファイル名を変更しないときは、Webページで設定された内容が使用されます。
- 件名、ファイル名、メール本文の候補は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナ設定]をクリックして登録します。
- 文字入力のしかたはユーザズガイドの「7. 文字入力について」を参照してください。

## 1 基本画面の[送信詳細設定]キーをタッチする

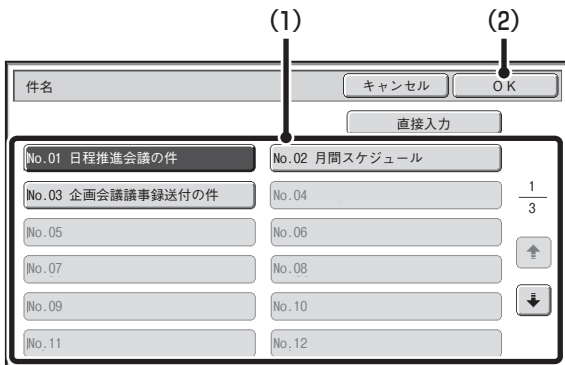
基本画面 (16ページ)

2



件名を変更するときは[件名]キーをタッチする

3



件名を入力する

- (1) 定型文のキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

- 文字を直接入力するときは[直接入力]キーをタッチして文字入力画面に切り替えます。件名を入力して[OK]キーをタッチしてください。
- 定型文のキーをタッチしてから[直接入力]キーをタッチすると、定型文を編集することができます。文字入力画面に切り替わり、選択した定型文が入力された状態で表示されます。(Webページを使って登録する場合は、最大全角40文字(半角80文字)入力できますが、タッチパネルでは、最大全角30文字(半角60文字)※までしか編集できません。)  
※定型文の表示件数が6件の場合

4

送信詳細設定 OK

件名 日程推進会議の件

ファイル名

本文

## ファイル名を変更するときは[ファイル名]キーをタッチする

ファイル名の入力方法は、件名の入力方法と同様の操作で行ってください。

5

送信詳細設定 OK

件名 日程推進会議の件

ファイル名 企画会議資料

本文

## メール本文を変更するときは[本文]キーをタッチする

6

本文入力 全内容消去 OK

いつもお世話になっております。さて、ご依頼のありましたスキャン画像を添付し  
送付させていただきます。

定型文選択 編集

## メール本文を入力し、[OK]キーをタッチする

- あらかじめWebページで登録した定型文を選択するときは、[定型文選択]キーをタッチしてください。
- 本文を直接入力するときは、[編集]キーをタッチしてください。



- 最大全角で900文字、半角で1800文字入力できます。(改行は半角1文字となります。)
- 入力した全内容を消去するときは、[全内容消去]キーをタッチしてください。このキーをタッチすると、選択している行だけでなくメール本文の全内容が消去されます。
- 入力した文章は、▼ ▲ キーで行単位で選択できます。選択した行を編集したいときは、[編集]キーをタッチしてください。文字入力画面に切り替わり、選択した文章が入力された状態で表示されます。

送信詳細設定

OK

件名 日程推進会議の件

ファイル名 企画会議資料

本文 いつもお世話になっております。さて、ご依頼のありましたスキ

[OK]キーをタッチする




件名およびファイル名の定型文は、Webページで登録するときは最大全角40文字（半角80文字）入力できます。



**システム設定（管理者）：件名/ファイル名/本文表示件数切替**

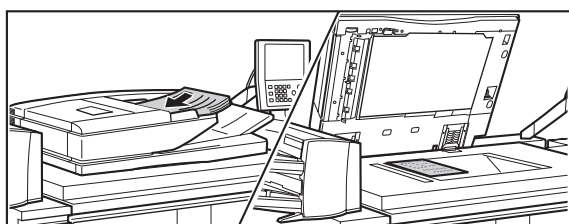
一度に表示する件名とファイル名の個数を6件、12件、18件に変更します。

# ファクスモードで送信する

 システム設定（管理者）「デフォルト宛先設定」で初期状態の宛先を設定している場合、モードの切り替えや、送信先の変更・追加ができません。ファクスモードに切り替える場合は、タッチパネルの[キャンセル]キーをタッチしてから下記操作を行ってください。




## メモリー送信モードで送信する

通常はこの方法で送信します。セットされた原稿を本機のメモリーに読み込んでから送信します（メモリー送信）。原稿自動送り装置に複数枚の原稿をセットした場合、他の通信中でなければ、原稿の読み込みと並行して読み込みが終わったページから順番に送信が行われます（クイックオンライン送信）。相手先が話し中などですぐに送信できないときは、原稿をすべて読み込み送信予約されます。




### 原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

- 1
-  A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
  - **回転送信について**  
A4、B5R、A5Rの原稿は、90° 回転してそれぞれA4R、B5、A5の向きで送信されます。（A4R、B5、A5サイズの原稿は回転送信されません。）




- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

-  **システム設定（管理者）：回転送信の設定**  
読み込んだ原稿を90° 回転させて送信するかどうかを設定します。工場出荷時は、A4原稿をA4Rの向き、B5RをB5の向き、A5RをA5の向きに回転して送信するように設定されています。

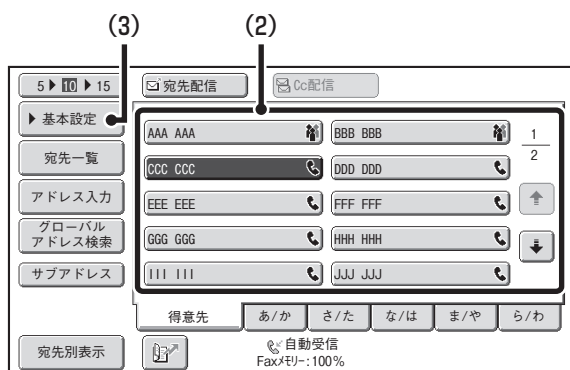
## 送信先を指定する


(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 送信先のキーをタッチする

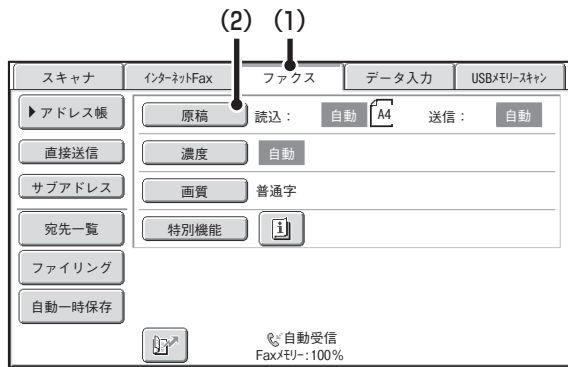
ファクス番号が登録されたワンタッチキーは、のアイコンを表示しています。

(3) [基本設定]キーをタッチする



- 2
-  [宛先配信]キーをタッチする必要はありません。
  - ネットワークスキャナ拡張キット、インターネットファクス拡張キットが装着されていない場合、[宛先配信]キーや[Cc配信]キーは表示されません。
  - 送信先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「2. 送信先の入力方法について」（25ページ）を参照してください。

3



## 原稿設定画面を表示する

(1) ファクスモードが選択されていることを確認する

ファクスモードが選択されていない場合は、[ファクス]タブをタッチしてください。

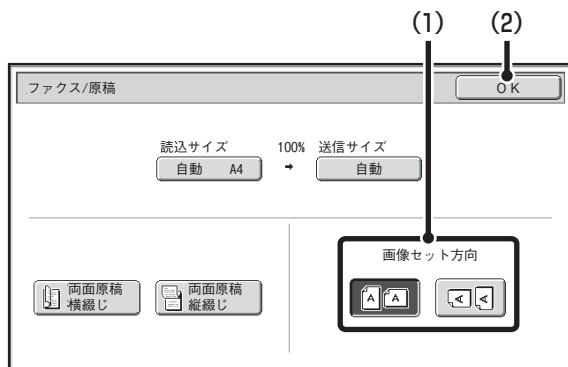
(2) [原稿]キーをタッチする



[原稿]、[濃度]、[画質]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。

- ☞ [原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）](#)（69ページ）、[原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）](#)（70ページ）、[原稿の濃度と画質（原稿種類）を変える](#)（76ページ）、[原稿の解像度（画質）を変える](#)（78ページ）、[4. 特別機能について](#)（87ページ）

4



## 原稿のセット方向を指定する

送信する画像の向きを設定するために、手順1でセットした原稿の向きを指定します。

(1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは キーを、左向きにセットした場合は キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

手順3の画面に戻ります。



原稿のセット方向は、最初 に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

## [スタート]キー（）を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、タッチパネルに[読み込み終了]キーが表示されます。原稿が1枚のときは手順7へ、続けて原稿を読み込むときは、次の手順へ進んでください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴ります。

5

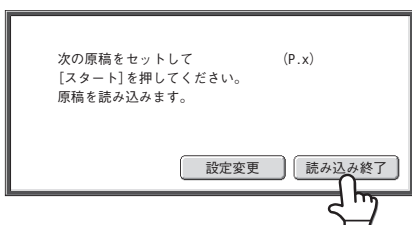


システム設定（管理者）の「ファクス宛先確認機能」が設定されている場合は、宛先の確認メッセージが表示されます。「[ファクス宛先確認機能について](#)」（61ページ）を参照してください。

6

## 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、次の原稿と入れ替えて、[スタート]キー（）を押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。



## [読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴ります。

原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出ししてください。



- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や画質、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「2in1」および「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。



- 原稿の読み込みがすべて終了すると、「予約しました。」のメッセージとジョブの管理番号を表示します。通信結果表または通信記録表で通信記録を確認する際に、この管理番号で通信記録を調べることができます。また、同報送信を行った際にジョブ状況画面から通信結果を確認する場合、この番号がジョブのキーに表示されますので、この番号を控えておくことでジョブの確認が容易に行えます。
- 送信操作をしたときに送受信中のファクスがあった場合、その送信は予約されて送受信中のファクスが終了してから送信されます。
- 原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、メッセージを表示して原稿の読み込みを中止します。そのとき、クイックオンライン送信で送信中の場合は読み込みが済んでいる原稿を送信します。クイックオンライン送信が設定されていないときは送信を中止します。
- 1枚目の原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、送信が中止されます。
- 原稿台（ガラス面）を使用して送信するときは、クイックオンライン送信がはたらきません。
- 次のような場合、自動的に送信予約（メモリー送信）されます。
  - 相手先が話し中や通信エラーでつながらなかったときに、自動で再送信させる設定を有効にしているとき  
 相手が話し中のときは（62ページ）、通信エラーが発生したときは（62ページ）
  - 他のファクスが送受信中や電話中で本機の回線が使用中のとき
  - 先に送信予約されているファクスがあるとき
  - 次の機能を使用して送信しているとき  
 順次同報送信、Fコード通信、時刻指定通信、ページ分割、2in1、カードスキャン、大量原稿モード、原稿枚数カウント
  - 原稿台（ガラス面）を使用して送信しているとき（オンフックダイヤル時を除く）
- 最大で94件まで送信予約できます。
- 送信が完了すると原稿データは消去されます。ただし、ドキュメントファイリング機能を使用している場合、送信した原稿のデータを保存しています。  
 ドキュメントファイリングガイド
- ファクスの送受信中に次の送信操作を行って、送信ジョブを予約することができます。予約された送信ジョブは、ジョブ状況画面を表示して確認することができます。  
 8. 通信状況を確認する（165ページ）



### 原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（）を押して中止してください。



### システム設定（管理者）：原稿読み込み終了音の設定

原稿を読み込むときの終了音を設定できます。

### システム設定（管理者）：クイックオンライン送信

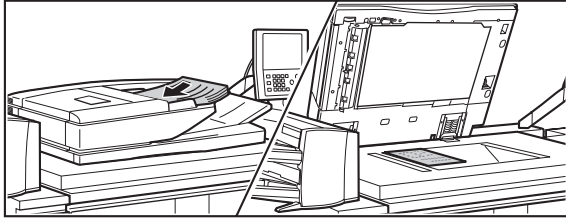
クイックオンライン送信がはたらかないように設定できます。その場合、送信予約（メモリー送信）で送信されます。



# 直接送信モードで送信する

送信予約されているファクスより先に送信したいときは、直接送信モードで送信してください。セットした原稿をメモリーに読み込まないで、相手先に送信します。直接送信モードで送信すると、現在通信中のファクスの次に割り込んで送信されます。

直接送信モードで原稿台（ガラス面）から送信できる原稿は1回に1枚です。





## 原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

1



• A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。

### • 回転送信について

A4、B5R、A5Rの原稿は、90° 回転してそれぞれA4R、B5、A5の向きで送信されます。（A4R、B5、A5サイズの原稿は回転送信されません。）



• 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

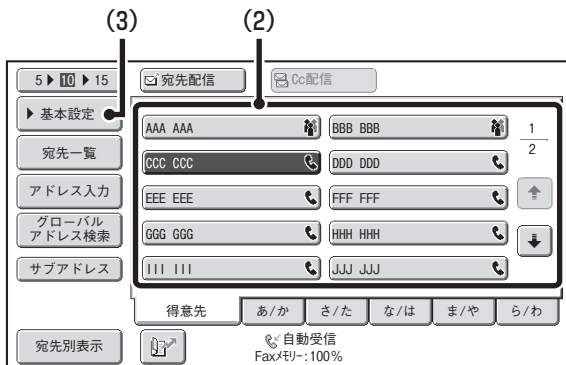


### システム設定（管理者）：回転送信の設定

読み込んだ原稿を90° 回転させて送信するかどうか設定します。

工場出荷時は、A4原稿をA4Rの向き、B5RをB5の向き、A5RをA5の向きに回転して送信するように設定されています。


2



## 相手先番号を入力する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

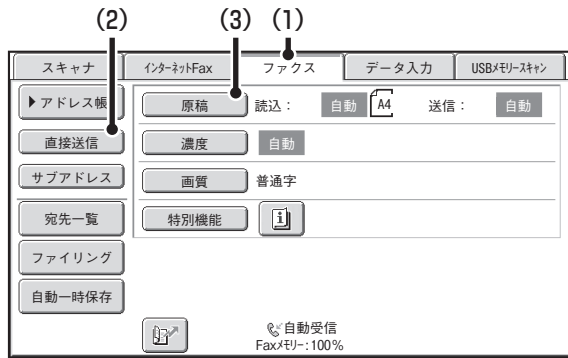
(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

ファクス番号が登録されたワンタッチキーは、のアイコンを表示しています。

(3) [基本設定]キーをタッチする



- 入力できる相手先は1件のみです。複数の相手先が登録されているワンタッチキー（グループキー）は使用できません。
- [宛先配信]キーをタッチする必要はありません。
- ネットワークスキャナ拡張キット、インターネットファクス拡張キットが装着されていない場合、[宛先配信]キーや[Cc配信]キーは表示されません。
- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「2. 送信先の入力方法について」（25ページ）を参照してください。



## 直接送信モードに切り替え、原稿設定画面を表示する

(1) ファクスモードが選択されていることを確認する

ファクスモードが選択されていない場合は、[ファクス]タブをタッチしてください。

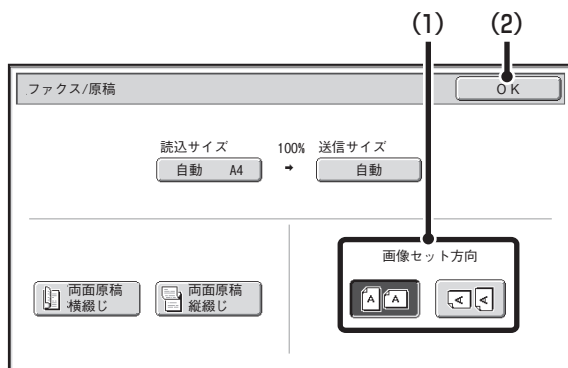
(2) [直接送信]キーをタッチする

(3) [原稿]キーをタッチする



[原稿]、[濃度]、[画質]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。

☞ 原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）（69ページ）、原稿の読み込みサイズ/送信サイズを指定する（拡大・縮小）（70ページ）、原稿の濃度と画質（原稿種類）を変える（76ページ）、原稿の解像度（画質）を変える（78ページ）、4. 特別機能について（87ページ）



## 原稿のセット方向を指定する

送信する画像の向きを設定するために、手順1でセットした原稿の向きを指定します。

(1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは キーを、左向きにセットした場合は キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

手順3の画面に戻ります。



原稿のセット方向は、最初 に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

## [スタート]キー（）を押す

送信が始まります。



システム設定（管理者）の「ファクス宛先確認機能」が設定されている場合は、宛先の確認メッセージが表示されます。「[ファクス宛先確認機能について](#)」（61ページ）を参照してください。



送信を中止するには…

「ダイヤル中です。[]キーで中止します。」と表示されているときに、[ストップ]キー（）を押してください。

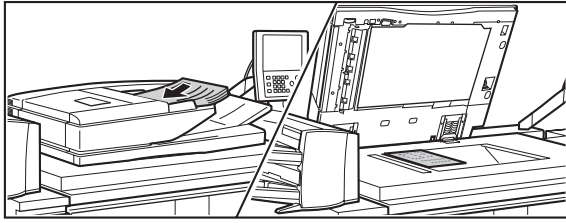


- 直接送信では次の機能が使用できません。  
プログラム、時刻指定、2in1、カードスキャン、大量原稿モード、原稿枚数カウント、掲示板、ファイリング、自動一時保存、両面原稿読み込み、グローバルアドレス帳検索
- 通信エラーなどで送信ができなかった場合でも再コールしません。
- 送信操作をしたときに通信中のファクスがあった場合、その通信が終わるまでそのまま待機します。通信が終わると送信を開始します。送信待機中は、[ジョブ状況]キーを押してジョブ状況画面を表示することができます。それ以外の操作はできません。  
☞ [8. 通信状況を確認する](#)（165ページ）
- 直接送信モードで送信が終わると、自動的にメモリー送信モードに戻ります。

# オンフックダイヤルで送信する

相手先にダイヤルして回線を接続してから原稿を送信します。その際、相手側の声は聞こえますがこちらから話すことはできません。

オンフックダイヤルで原稿台（ガラス面）から送信できる原稿は1回に1枚です。





## 原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

1



- A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
- **回転送信について**  
A4、B5R、A5Rの原稿は、90° 回転してそれぞれA4R、B5、A5の向きで送信されます。（A4R、B5、A5サイズの原稿は回転送信されません。）



- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

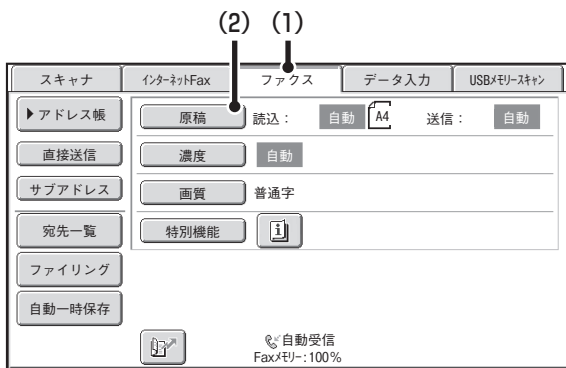


### システム設定（管理者）：回転送信の設定

読み込んだ原稿を90° 回転させて送信するかどうかを設定します。

工場出荷時は、A4原稿をA4Rの向き、B5RをB5の向き、A5RをA5の向きに回転して送信するように設定されています。

2



## ファクスモードに切り替え、原稿設定画面を表示する

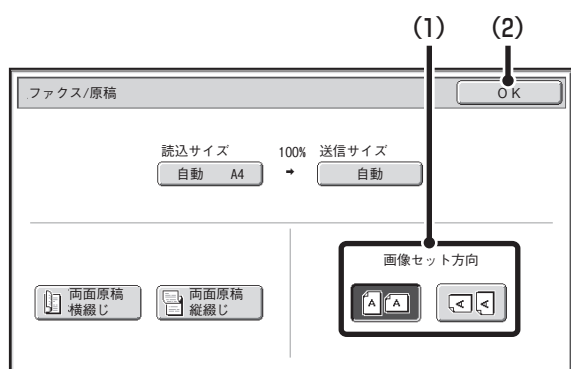
- (1) [ファクス]タブをタッチする
- (2) [原稿]キーをタッチする



[原稿]、[濃度]、[画質]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。

- **原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）**（69ページ）、**原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）**（70ページ）、**原稿の濃度と画質（原稿種類）を変える**（76ページ）、**原稿の解像度（画質）を変える**（78ページ）、**4. 特別機能について**（87ページ）

3



## 原稿のセット方向を指定する

送信する画像の向きを設定するために、手順1でセットした原稿の向きを指定します。

### (1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは **[A A]** キーを、左向きにセットした場合は **[< <]** キーをタッチしてください。

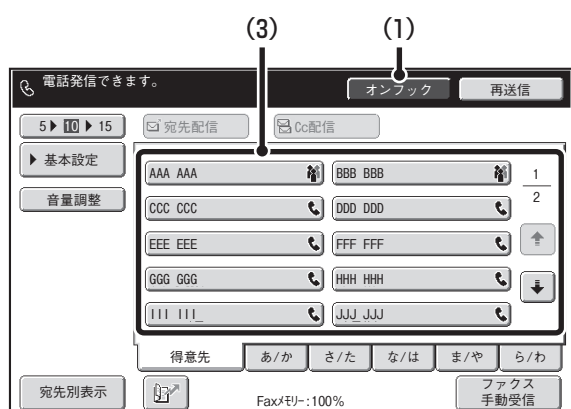
### (2) [OK]キーをタッチする

手順2の画面に戻ります。



原稿のセット方向は、最初 **[A A]** に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

4



## 相手先番号を入力する

### (1) [オンフック]キーをタッチする

「ツーン」という発信音が本機のスピーカーから聞こえます。

### (2) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

### (3) 相手先のワンタッチキーをタッチする

ファクス番号が登録されたワンタッチキーは、**[電話機アイコン]**のアイコンを表示しています。



- 入力できる相手先は1件のみです。複数の相手先が登録されているワンタッチキー(グループキー)は使用できません。
- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[2. 送信先の入力方法について](#)」(25ページ)を参照してください。
- [オンフック]キーをタッチしたあとに、[音量調整]キーをタッチしてスピーカーから聞こえる音の音量を調節することができます。[音量調整]キーをタッチするごとに音量が切り替わります。お好みの音量に調節してください。

5

## 相手先につながったら[スタート]キー (Ⓢ) を押す

送信が始まります。



送信を中止するときは…

[スタート]キー (Ⓢ) を押す前に、[オンフック]キーをタッチしてください。通話が切れて送信が中止されます。



- オンフックダイヤルでは原稿をメモリーに読み込まないで送信します。
- Fコード (サブアドレス、パスコード) の入った相手先は使用できません。



### システム設定 (管理者)：ファクス宛先確認機能

ファクス送信を行うときに、宛先確認のメッセージを表示するように設定することができます。この機能を設定しているとき、送信先にファクス宛先を含むグループキーやプログラムキーは選択できません。また、オンフック送信やファクス宛先を含む同報送信を行うことはできません。

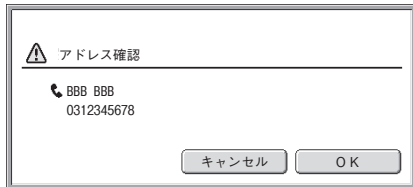
### システム設定 (管理者)：音設定

音設定の「オンフック」でオンフックダイヤル時のスピーカー音量の初期値を設定します。

# ファクス宛先確認機能について

ファクス宛先確認機能は、ファクス送信を行うときに宛先確認のメッセージを表示させることでファクスの誤送信を防止する機能です。システム設定(管理者)で設定することができます。この機能が設定されている場合にファクス送信を行うと、[スタート]キー(Ⓢ)を押したときに宛先の確認メッセージが表示されます。表示される確認メッセージは、宛先の指定方法によって異なります。

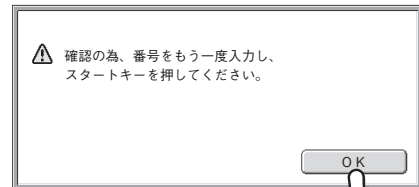
## ワンタッチキー／検索番号で宛先を指定した場合



確認メッセージに表示されている宛先が正しいか確認して[OK]キーをタッチすると、原稿の読み込みが開始されます。

宛先をまちがえていた場合は、[キャンセル]キーをタッチし、宛先を選択し直してください。

## 数字キー、[再送信]キー、[グローバルアドレス検索]キーで宛先を指定した場合



[OK]キーをタッチしたあと、数字キーで宛先を再入力して[スタート]キー(Ⓢ)を押してください。

再入力した宛先が正しい場合は、原稿の読み込みが開始されます。

再入力した宛先が正しくない場合はメッセージが表示されるので、[OK]キーをタッチしてから再入力してください。確認入力を3回まちがえると、それまでに行った設定がすべてキャンセルされ、基本画面に戻ります。



- [サブアドレス]キーをタッチしてサブアドレスやパスコードを入力した場合は、確認の際ファクス番号を再入力する必要があります。その際も、[サブアドレス]キーをタッチしてサブアドレスやパスコードを入力してください。
- チェーンダイヤルで入力した場合は、確認の際も[ポーズ]キーをタッチして"- "を入力してください。

## 制限される機能について

「ファクス宛先確認機能」が設定されている場合、送信先は常に1件となるため、次の機能を使用することができなくなります。

### • ファクス宛先を含む複数宛先への同報送信

複数のファクス宛先が登録されたグループキー、プログラムキーが指定できなくなります。また、宛先を1件指定したあとは、他のワンタッチキー、[次宛先]キー、[アドレス入力]キー、[グローバルアドレス検索]キーなどがタッチできなくなります。

### • オンフック送信

[オンフック]キーをタッチしたあとに宛先を指定できなくなります。






### システム設定 (管理者)：ファクス宛先確認機能

ファクス送信を行うときに、宛先確認のメッセージを表示するように設定することができます。




## 相手が話し中のときは

送信した相手先が話し中だった場合、自動的に時間をあけて送信し直します。この機能はメモリー送信モードで送信した場合にはたつきません。直接送信モードや手動送信で送信した場合は送信がキャンセルされます。時間をあけて送信し直してください。

-  **送信を中止するときは…**  
ジョブ状況画面から送信を中止してください。  
 [通信中や予約中のジョブを中止する](#) (172ページ)
-  **システム設定 (管理者)：宛先ビジー時の再コール設定**  
相手先が話し中などで回線が接続できなかった場合に再コールする時間 (間隔) と回数を設定します。工場出荷時は3分間隔で2回に設定されています。

## 通信エラーが発生したときは

何らかのエラーが発生し、送信が正常に行われなかったときや相手側を一定時間呼び出しても応答がなかった場合、自動的に時間を空けて送信し直します。この機能はメモリー送信モードで送信した場合にはたつきません。



-  **送信を中止するときは…**  
ジョブ状況画面から送信を中止してください。  
 [通信中や予約中のジョブを中止する](#) (172ページ)
-  **システム設定 (管理者)：通信エラー時の再コール設定**  
何らかのエラーで正常に送信できなかった場合に再コールする時間 (間隔) と回数を設定します。工場出荷時は3分間隔で2回に設定されています。

## 送信原稿の自動縮小機能

送信する原稿サイズの幅が相手機用の紙サイズの幅より大きい場合、相手機用の紙幅に合わせて原稿サイズを自動的に縮小します。



例：縮小サイズと縮小倍率

送信する原稿幅	相手機用の紙幅	縮小サイズ	倍率
A3	B4	B4	1 : 0.84
A3	A4	A4R	1 : 0.71
B4	A4	A4R	1 : 0.84

-  Fネットを利用する場合は、相手機の機種によってFネット内で縮小が行われます。詳しくは、Fネットのパンフレットを参照してください。
-  **システム設定 (管理者)：自動縮小送信**  
工場出荷時設定は、自動縮小するように設定されています。解除すると原稿が原寸で送信され、送信した原稿の一部が欠けることがあります。

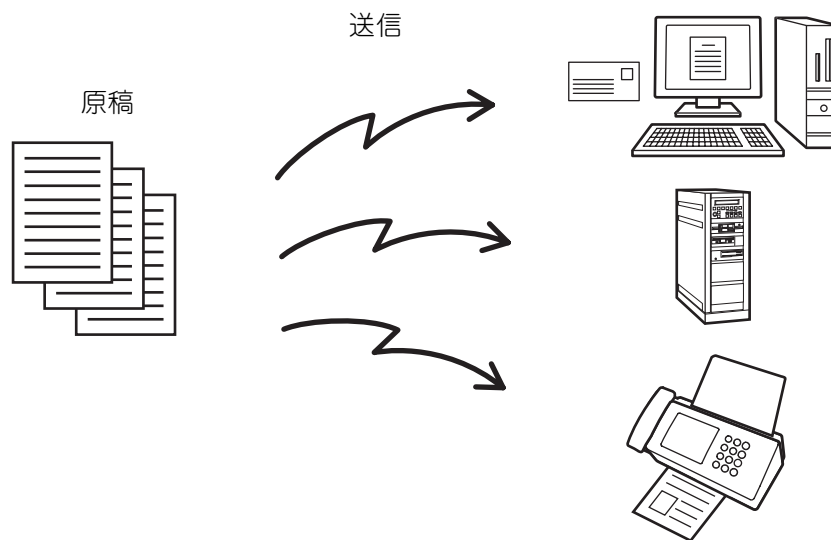
## ファクシミリ通信網 (Fネット) について

本機は、ファクシミリ通信網 (Fネット) のサービスを利用することができます。ご利用については利用契約が必要ですので、お買いあげの販売店にお問い合わせのうえNTTの支店や営業所へお問い合わせください。ファクシミリ通信網 (Fネット) の詳細についてはパンフレットをご覧ください。

- 
  - 本機で行うポーリング受信、掲示板、Fコード通信、電話／ファクス自動切り替えは使用できません。
  - 原稿画質の、「精細」、「高精細」、「中間調」は使用できません。
-  **システム設定 (管理者)：Fネット設定**  
本機でFネットサービスを利用する設定を行います。

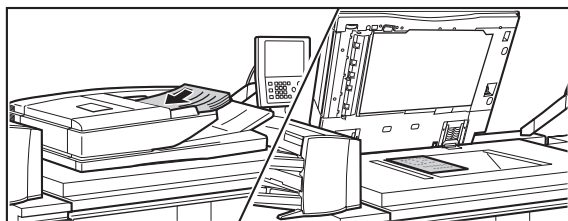
# 複数の宛先に同じ原稿をまとめて送信する (順次同報送信)

スキャナモード（E-mail送信スキャン、ファイルサーバ送信スキャン、デスクトップ送信スキャン）、インターネットFaxモード、ファクスモードの宛先をまとめ、1回の操作で同じ原稿をスキャン送信することができます。1回の操作で最大500件（ファイルサーバ送信スキャンとデスクトップ送信スキャンは合わせて200件）まで送信できます。



- 同報送信を頻繁に行う送信先は、グループキーに登録しておく便利です。グループキーの登録については、「[宛先登録](#)」(178ページ)を参照してください。
- グループキーを使用した場合、グループキーに登録されている送信先数が件数となります。送信先が10件登録されているグループキーを使用した場合、送信先は10件となります。

1

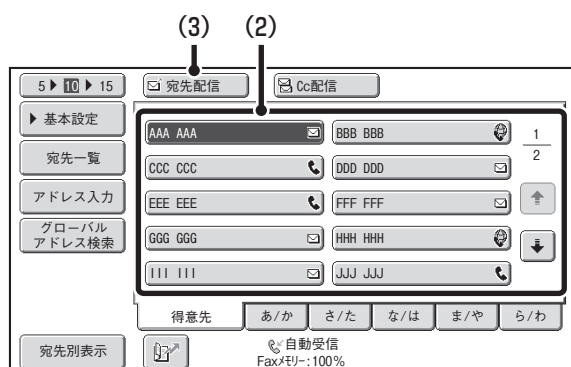


## 原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

## 送信先を指定する

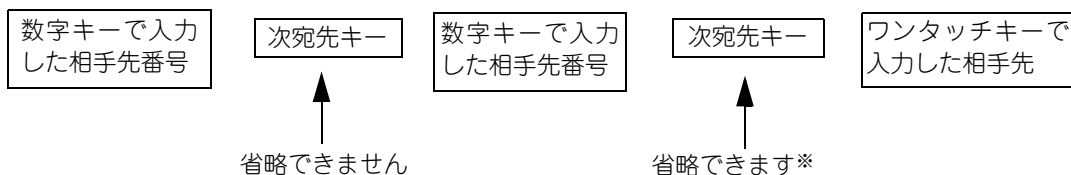
- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 送信先のワンタッチキーをタッチする
- (3) [宛先配信]キーをタッチする  
送信先に指定されます。
- (4) すべての宛先を選択するまで (2)(3) の操作を繰り返す



## 2



- 送信先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、手動で入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「2. 送信先の入力方法について」(25ページ)を参照してください。
- Cc配信やBcc配信で送信するときは、それぞれの宛先に[Cc配信]キーまたは[Bcc配信]キーをタッチして指定する必要があります。
- 数字キーで宛先を入力したあと、続けて次の宛先を数字キーで入力するときは、次の宛先を入力する前に[次宛先]キーをタッチしてください。ワンタッチキーで入力した宛先の前後では、[次宛先]キーの入力を省略できます。ただし、システム設定(管理者)の「同報時の次宛先キー入力」が設定されているときは、次の送信先を指定する前に[次宛先]キーをタッチする必要があります。



※ システム設定(管理者)の「同報時の次宛先キー入力」が設定されているときは省略できません。

- 同報送信できないモードのワンタッチキーは、薄く表示されタッチできません。
- 同報送信を行うときにファイルサーバ送信スキャン(ハイパーリンク)の宛先を指定したときは、ハイパーリンクのメール送信はできません。

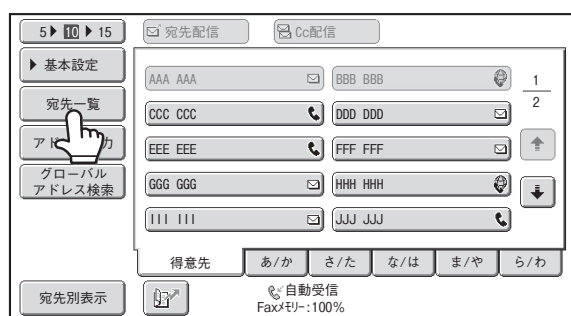


### システム設定(管理者): 同報時の次宛先キー入力

同報送信の相手先を入力するときに[次宛先]キーの入力を省略できないように設定します。

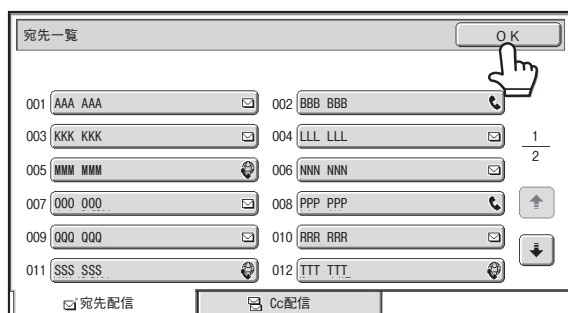
## 3

## [宛先一覧]キーをタッチする





## 4



## 送信先を確かめて[OK]キーをタッチする



Cc配信やBcc配信に設定した送信先があるときは、[Cc配信]タブまたは[Bcc配信]タブをタッチして同様に確認します。



## 指定した送信先を取り消すときは…

取り消したい送信先のワンタッチキーをタッチします。確認のメッセージが表示されますので[解除する]キーをタッチしてください。

[指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する](#) (27ページ)

## 5

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台(ガラス面)に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



同報送信を行うときにインターネットFaxやファクスモードの宛先が含まれている場合は、白黒2値での読み込みになります。



## 原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



- 「時刻指定通信」と組み合わせて、夜間など任意の時刻に順次同報送信することができます。
- ファクスモード：  
ファクスの順次同報送信はメモリー送信でのみ行えます。



## システム設定 (管理者)：ファクス宛先確認機能

この機能が設定されている場合、ファクス宛先を含む同報送信を行うことはできません。

# インターネットFaxやファクスの送信先が含まれる同報送信について

スキャナモード、インターネットFaxモード、ファクスモードの送信先が混在する同報送信を行うときは、次の内容に注意してください。


原稿セット方向	インターネットFaxモードやファクスモードのセット方向が優先されます。システム設定（管理者）の「回転送信の設定」が有効になっていると、画像を90度回転して送信するため、正しい向きで表示されない場合があります。	
送信サイズ	インターネットFaxモードのフォーマットを[TIFF-S]に設定したときは、A4Rサイズでしか送信できません。	
濃度	インターネットFax／ファクスモードの設定が優先されます。（インターネットFaxモードとファクスモードの濃度設定は連動しています。）	
解像度（画質）	ファクス、インターネットFax、スキャナの順に設定は優先されます。ただし、インターネットFaxモードのフォーマットを[TIFF-S]に設定したときは、インターネットFaxの設定が優先されます。	
ファイルの圧縮形式	システム設定（管理者）の「同報時のファイル圧縮形式」で設定した圧縮形式に統一されます。	
カラー読み込み	カラーモードの設定にかかわらず白黒2値で送信されます。	
特別機能	2in1	スキャナモードでは設定できませんが、インターネットFaxモードやファクスモードで設定されたときのみ、スキャナの宛先にも適用されます。
送信データサイズ	システム設定（管理者）の「送信データ上限値設定（E-mail）」または「送信データ上限値設定（FTP／デスクトップ／共有フォルダ）」でデータサイズの上限が設定されている宛先と同報送信を行う場合、設定されていない宛先も制限を受けます。（制限は、E-mail送信スキャンまたはインターネットFaxの設定が優先されます。）	

## 順次同報送信で送信に失敗した送信先に再送信する

ジョブ状況画面から、終了した順次同報送信の送信結果を表示して確認します。送信に失敗した宛先があった場合、その宛先に再送信します。

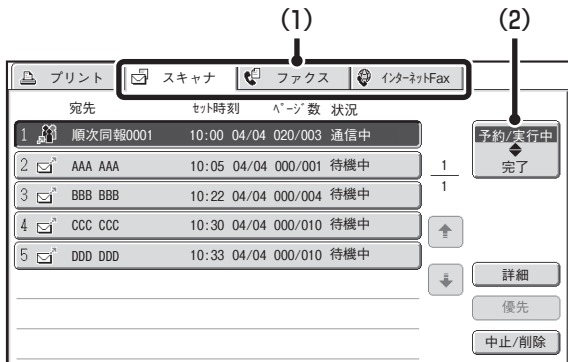
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す


2

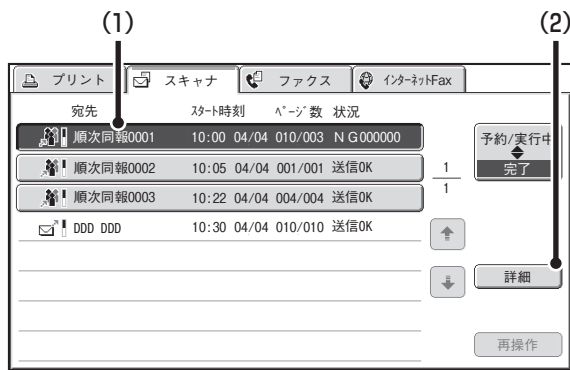


送信完了したジョブを表示する

(1) 表示するモードのタブをタッチする

(2) [完了]キーをタッチする

 モードの異なる送信先を含む同報送信を行ったときは、含まれるモードそれぞれに、同じ順次同報送信のキーが表示されます。

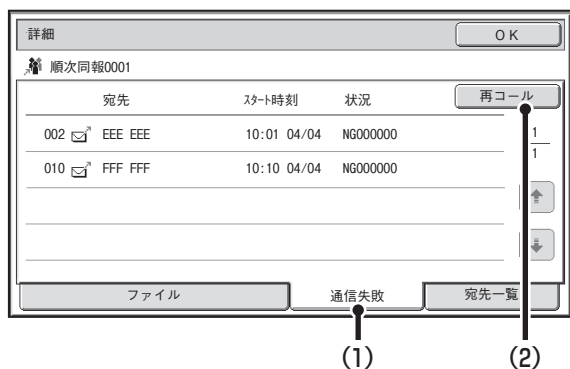


### 順次同報送信の詳細を表示する

- (1) 送信が終了した順次同報送信のキーをタッチする
- (2) [詳細]キーをタッチする



順次同報ジョブキーの宛先は「順次同報xxxx」と表示されます。“xxxx”には原稿読み込み終了時にタッチパネルに表示されるジョブの管理番号が入ります。



### 送信に失敗した宛先に再送信する

- (1) [通信失敗]タブをタッチする
- (2) [再コール]キーをタッチする



- ドキュメントファイリング機能を使用している場合と使用していない場合では[再コール]キーをタッチしたあとの操作が異なります。

#### ドキュメントファイリング機能を使用していないとき

送信に失敗した宛先が入力された状態で基本画面を表示します。原稿をセットして順次同報送信の操作を行ってください。

#### ドキュメントファイリング機能を使用しているとき

送信に失敗した宛先が入力された状態でドキュメントファイリングの再送信画面を表示します。ドキュメントファイリング再送信の操作を行ってください。(原稿を再読み込みする必要はありません。)

ファクスモード：

親展フォルダに保存されたジョブ、親展ファイルがある場合は、[再コール]キーをタッチしたあとパスワード入力画面でパスワードを入力してください。

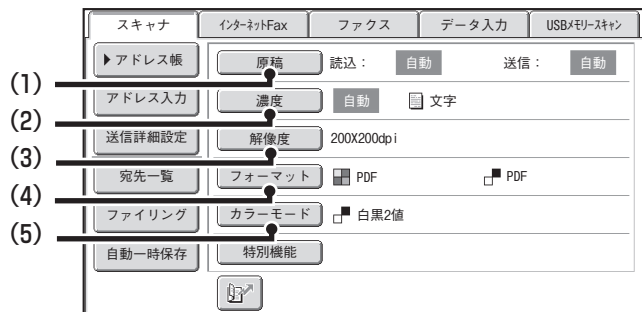
詳細は、ドキュメントファイリングガイドを参照してください。

- (1)で[宛先一覧]タブをタッチすると送信した宛先をすべて表示します。画面に表示されている[再コール]キーをタッチして送信した宛先すべてに再送信することができます。

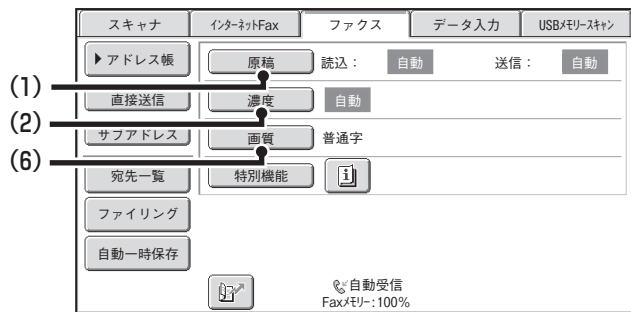
# 原稿の読み込み設定について

原稿の読み込み設定は、各モードの基本画面から行います。各設定を行うキーの右側には、それぞれの現在の設定状態が表示されています。

## 例：スキャナモード基本画面



## ファクスモード基本画面



画面のキーをクリックすると、説明箇所へジャンプします。

### (1) [原稿]キー

原稿の読み込みサイズ、送信サイズ、原稿のセット方向、両面読み込みの設定を行うときにタッチします。

- ☞ 原稿の表裏を自動的に読み込む(両面原稿) (69ページ)、原稿の読み込みサイズ/送信サイズを指定する(拡大・縮小) (70ページ)

### (2) [濃度]キー

原稿読み込み時の濃度を設定するときにタッチします。

- ☞ 原稿の濃度と画質(原稿種類)を変える (76ページ)

### (3) [解像度]キー

原稿読み込み時の解像度を設定するときにタッチします。

- ☞ 原稿の解像度(画質)を変える (78ページ)

### (4) [フォーマット]キー

読み込んだ原稿をデータ化するときのフォーマット(ファイルタイプ)を変更するときにタッチします。

- ☞ フォーマットを変える (81ページ)

### (5) [カラーモード]キー

原稿読み込み時のカラーモードを設定するときにタッチします。

カラー拡張キットを装着していない場合は、[カラーモード]キーは表示されません。また、インターネットFaxモードでは、このキーは表示されません。

- ☞ カラーモードを変える (85ページ)

### (6) [画質]キー

原稿読み込み時の画質を設定するときにタッチします。

- ☞ 原稿の解像度(画質)を変える (78ページ)

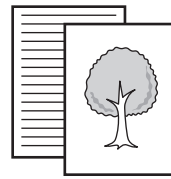
# 原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）

原稿自動送り装置を使用して原稿の表裏を自動的に読み込みます。



両面原稿

スキャン送信



表裏2ページをスキャン

## モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

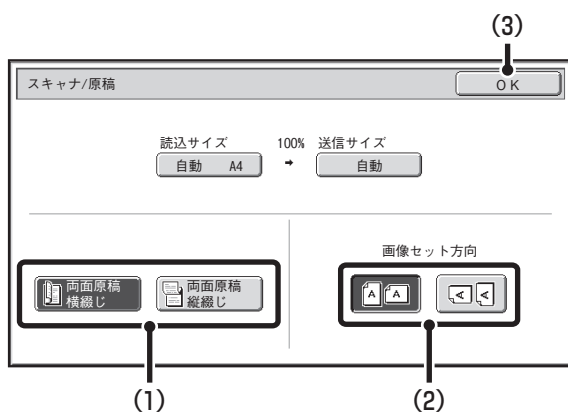
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [原稿]キーをタッチする

☞ [原稿の読み込み設定について](#)（68ページ）

2



## 両面原稿の綴じ方向と原稿の画像セット方向を指定する

(1) [両面原稿横綴じ]キーまたは[両面原稿縦綴じ]キーをタッチする

横綴じ、縦綴じとは以下のような綴じかたのことです。

横綴じ



縦綴じ



(2) セットした原稿の画像と同じ向きの「画像セット方向」のキーをタッチする

この設定が正しくないと、適切な画像が送信されないことがあります。

(3) [OK]キーをタッチする



両面読み込みをやめるときは、反転しているキーをタッチして反転表示を解除してください。



- 両面原稿読み込みは、設定した送信操作が終了すると解除されます。
- ファクスモード：  
直接送信時は両面原稿読み込みができません。

# 原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する(拡大・縮小)

原稿をセットすると、原稿サイズが自動的に検知されて基本画面に表示されます。  
セットした原稿サイズが読み込みサイズ、送信するサイズが送信サイズとして表示されます。



上記画面の場合は読み込みサイズ(セットした原稿)がA4で送信サイズが自動となっていますが、たとえば読み込みサイズをA4、送信サイズをB5とすると縮小して送信されます。



- 原稿サイズを自動検知できるのは規定サイズの原稿をセットしたときです。
  - 🔍 [規定サイズについて](#) (24ページ)
- 規定サイズ以外の原稿をセットしたときや、原稿サイズが正しく検知されなかったときは原稿の読み込みサイズを手動で指定してください。
  - 🔍 [原稿の読み込みサイズを指定する\(原稿サイズで指定する\)](#) (71ページ)
  - 🔍 [原稿の読み込みサイズを指定する\(サイズを数値で指定する\)](#) (72ページ)

# 原稿の読み込みサイズを指定する（原稿サイズで指定する）

規定サイズ以外の原稿をセットしたときや読み込みサイズを変更したいときは、[原稿]キーをタッチして手動で原稿サイズを指定する必要があります。原稿セット台または原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたあと、以下の操作を行います。

## モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

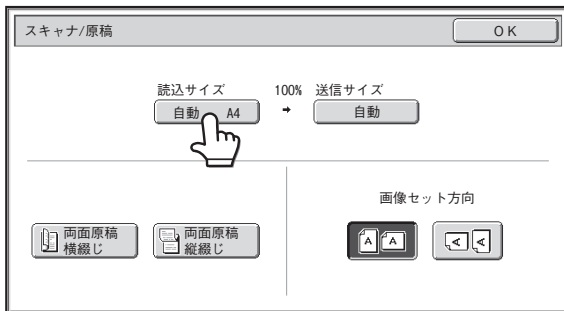
1

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
- (2) [原稿]キーをタッチする

[原稿]キーの右側には、自動検知された原稿サイズが表示されます。

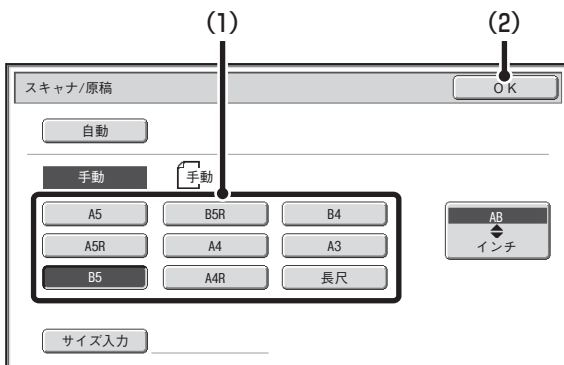
☞ [原稿の読み込み設定について](#)（68ページ）

2



## 「読み込みサイズ」のキーをタッチする

3



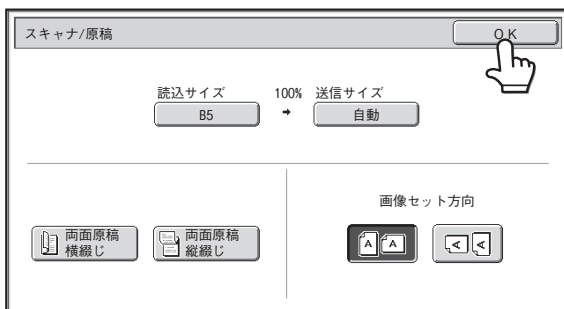
## 読み込みサイズを指定する

- (1) 原稿サイズのキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする



- 長い原稿（長尺原稿）を送信するときは、[長尺]キーをタッチしてください。長尺原稿は原稿自動送り装置を使用して読み込みます。最長800mmまで（縦幅は297mm以内）読み込むことができます。
- [長尺]を選択したときは、両面読み込み設定や送信サイズの変更はできません。また、読み込みは白黒2値で行われます。
- インチ系の読み込みサイズを設定する場合は、[AB◆インチ]キーをタッチして[インチ]部分を反転表示させてから読み込みサイズを指定してください。

4



## [OK]キーをタッチする

# 原稿の読み込みサイズを指定する（サイズを数値で指定する）

カードやはがきなど、定形サイズで指定できないサイズを読み込みたいときは、以下の手順で原稿サイズを指定してください。原稿サイズは、横幅（X）：64mm～432mm、縦幅（Y）：64mm～297mmの範囲で指定できます。

## モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

1

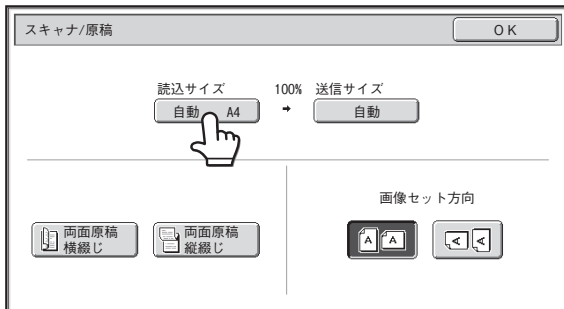
(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [原稿]キーをタッチする

[原稿]キーの右側には、自動検知された原稿サイズが表示されます。

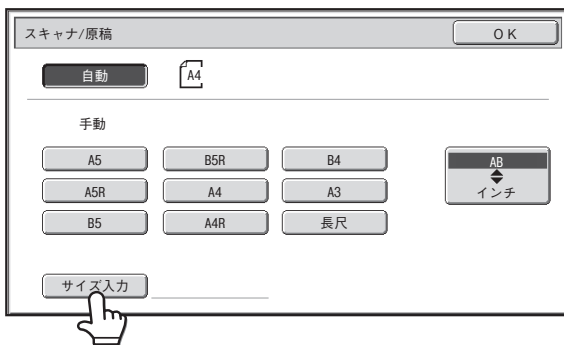
☞ [原稿の読み込み設定について](#)（68ページ）

2



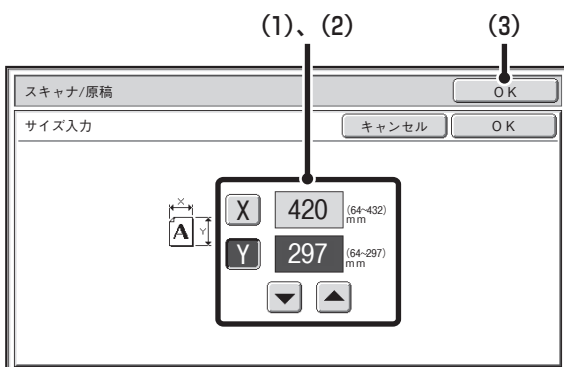
「読み込みサイズ」のキーをタッチする

3



[サイズ入力]キーをタッチする

4



読み込みサイズ（原稿サイズ）を入力する

(1) [X]キーをタッチし、▼▲キーでX（よこ）方向のサイズを入力する

(2) [Y]キーをタッチし、▼▲キーでY（たて）方向のサイズを入力する

(3) [OK]キーをタッチする

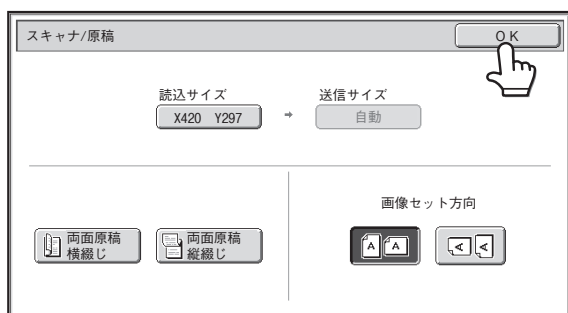
[キャンセル]キーの横にある[OK]キーをタッチすると、設定を完了して手順3の画面に戻ります。



システム設定（管理者）：原稿検知装置の設定

サイズ入力画面を「ミリ単位」「インチ単位」のどちらかに設定することができます。





## [OK]キーをタッチする

「読み込みサイズ」のキーに指定したサイズを表示しています。

- 読み込みサイズを数値で指定したときは、送信サイズは指定できません。
- 原稿自動送り装置を使用すると、横幅が432mmよりも長い原稿（最長800mm）を読み込むことができます。その場合は、手順3の画面で[長尺]キーをタッチしてください。  
🔗 [原稿の読み込みサイズを指定する（原稿サイズで指定する）](#)（71ページ）

## 原稿の送信サイズを指定する

原稿を送信するサイズを用紙サイズで指定します。読み込みサイズより大きなサイズを指定すると拡大、小さなサイズを指定すると縮小してスキャンします。

- 読み込みサイズで[長尺]を選択したときや読み込みサイズを数値(mm)で指定したときは、送信サイズは指定できません。
- インターネットFaxモードのフォーマットで[TIFF-S]を選択したときは、送信サイズは指定できません。(常にA4Rサイズで送信されます。)

### モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

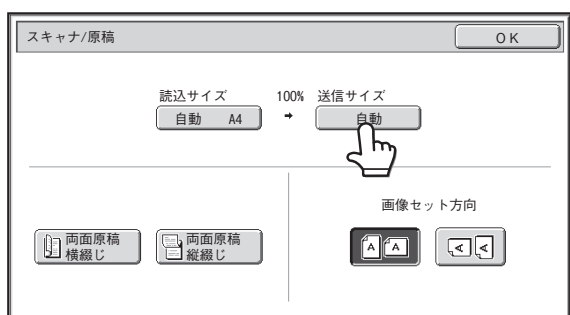
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [原稿]キーをタッチする

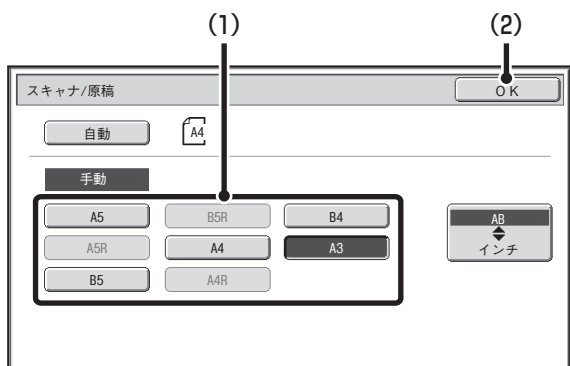
☞ [原稿の読み込み設定について](#) (68ページ)

2



「送信サイズ」のキーをタッチする

3

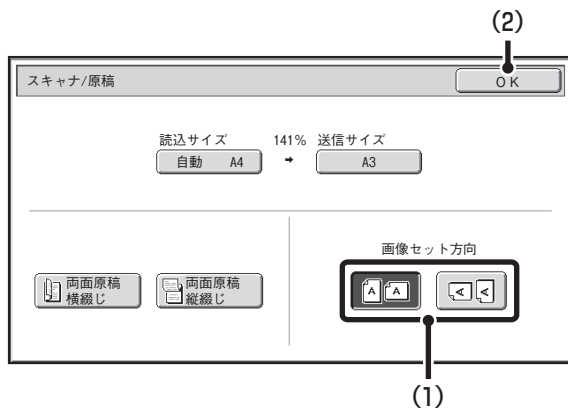


送信するサイズを指定する

(1) 送信するサイズのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

- 「読み込みサイズ」で指定されている原稿サイズによっては、「送信サイズ」に指定できないサイズがあります。「送信サイズ」に指定できないサイズのキーは薄く表示されてタッチできません。
- インチ系の送信サイズを設定する場合は、[AB ◆ インチ]キーをタッチして[インチ]部分を反転表示させてから送信サイズを指定してください。



## 原稿の画像セット方向を指定する

(1) セットした原稿の画像と同じ向ききの「画像セット方向」のキーをタッチする

変倍送信時、この設定が正しくないと、適切な画像が送信されることがあります。

(2) [OK]キーをタッチする



「読みサイズ」と「送信サイズ」のあいだに、原稿が拡大または縮小される倍率が表示されます。

# 原稿の濃度と画質（原稿種類）を変える

原稿の濃さに合わせて、送信原稿の濃度を変えます。また、スキャナモードおよびUSBメモリースキャンモードでは、原稿の種類に合わせて画質を設定することができます。

下表で濃度や原稿種類の選びかたを確認し、操作を行ってください。

## 濃度の選びかた

濃度	選びかた	
自動	原稿の濃淡に合わせて、自動的に濃度調整されます。	
手動	1~2	全体に濃い文字で書かれている原稿のときに選択します。
	3	普通の濃さの原稿のときに選択します。
	4~5	全体に淡い文字で書かれている原稿のときに選択します。

## 原稿種類の選びかた

設定項目	説明
文字/印刷写真	雑誌やカタログなどの印刷物をスキャンする際、グラビア写真部分の画質だけでなく、記事などの文字部分の画質も重視したい場合に適しています。
文字/印画紙写真	印画紙の写真を貼りつけた文字原稿などをスキャンするのに適しています。
文字	通常の文字原稿に適しています。
印画紙写真	印画紙の写真をスキャンするのに適しています。
印刷写真	雑誌やカタログなどの印刷物を原稿としてスキャンする際、グラビア写真部分の画質を優先したい場合に適しています。
地図	淡い色などで色分けされ、細かい文字の入った地図をスキャンするのに適しています。

## モードを切り替え、濃度設定画面を表示する

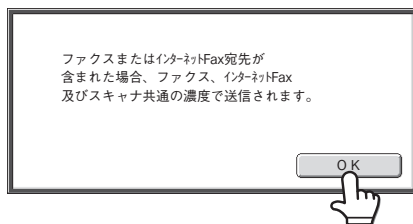
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [濃度]キーをタッチする

🔊 [原稿の読み込み設定について](#) (68ページ)

2



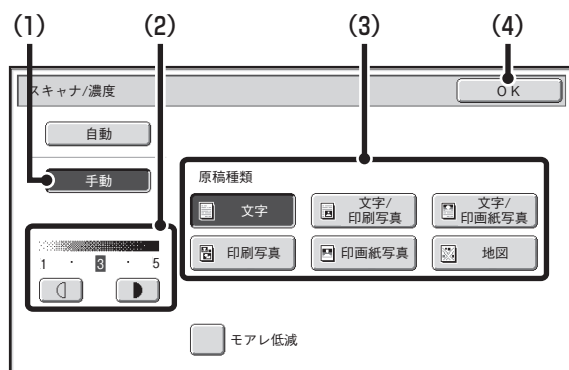
## 表示されたメッセージを確認し、[OK]キーをタッチする

USBメモリースキャンモード、インターネットFaxモード、ファクスモードでは表示されません。次の手順へ進んでください。



送信モードが混在した同報送信を行うときは、インターネットFaxモード/ファクスモードの濃度設定が優先されません。

### スキャナモード、USBメモリスキャンモード



## 濃度と原稿種類を選択する

### (1) [手動]キーをタッチする

### (2) [濃度調整]キーで濃度を調整する

濃度を[自動]に設定しているときは、[濃度調整]キーはタッチできません。

[濃度調整+]キーをタッチすると濃度が濃く、[濃度調整-]キーをタッチすると濃度が薄くなります。

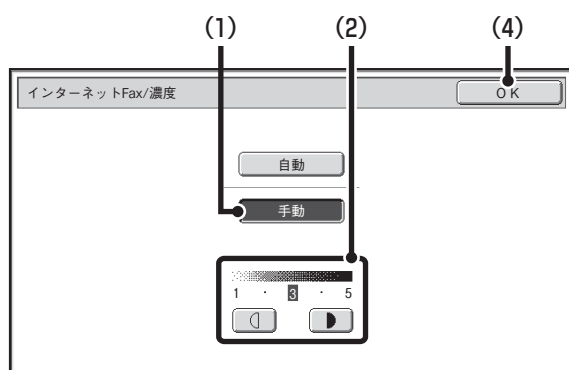
濃度を自動に戻すには[自動]キーをタッチしてください。

### (3) 原稿種類を選択する

原稿の種類に合わせて原稿種類選択キーをタッチしてください。

### (4) [OK]キーをタッチする

### インターネットFaxモード、ファクスモード



- インターネットFax/ファクスモードでは、原稿種類およびモアレ低減を設定することはできません。
- 濃度を[自動]に設定しているときは、[印刷写真]、[印画紙写真]、[地図]は表示されません。
- 原稿種類を[印刷写真]、[印画紙写真]、または[地図]に設定しているときは、[自動]は表示されません。
- [モアレ低減]チェックボックスをタッチして☑にすると、印刷物などの原稿を読み込む際に多少できるしま模様(モアレ)の発生を低減させることができます。



原稿台(ガラス面)を使って原稿を読み込む場合、原稿を入れ替えるときに濃度を変更することができます。原稿自動送り装置を使用している場合、原稿読み込み途中に濃度を変更することはできません。(ただし、特別機能の「大量原稿モード」を設定しているときは、原稿を入れ替える際に濃度を変更することができます。)



#### システム設定(管理者): 標準濃度設定

原稿の濃度設定の初期状態を変更することができます。

# 原稿の解像度（画質）を変える

文字の大きさ、色の濃さ、写真の有無など、原稿の種類に合わせて原稿の読み込み解像度（画質）を設定することができます。

☞ スキャナモード、USBメモリースキャンモード、インターネットFaxモード（下記参照）  
ファクスモード（80ページ）

## スキャナモード、USBメモリースキャンモード、インターネットFaxモード

### モードを切り替え、解像度設定画面を表示する

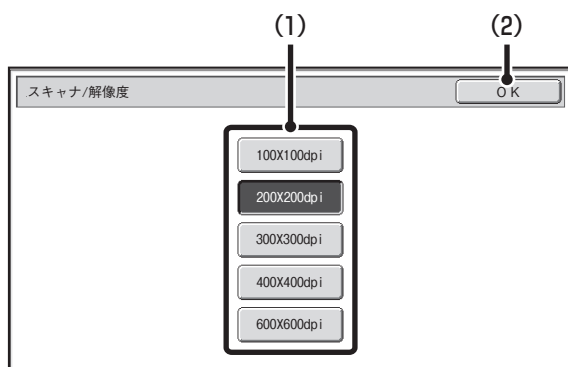
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [解像度]キーをタッチする

☞ 原稿の読み込み設定について（68ページ）

#### スキャナモード、USBメモリースキャンモード



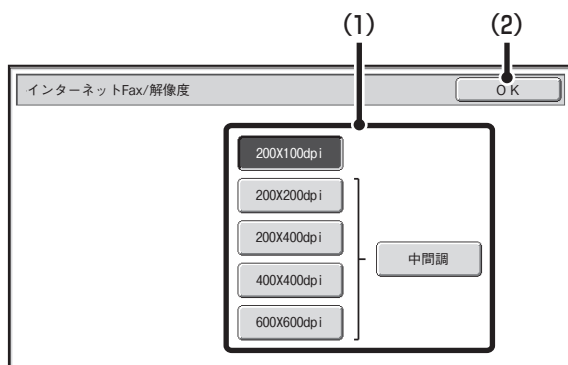
### 解像度を選択する

(1) 設定する解像度のキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

2


#### インターネットFaxモード



インターネットFaxモードでは、[中間調]キーをタッチして中間調を設定できます。（[200X100dpi]を選択した場合は設定できません。）写真やカラーのイラストなど、濃淡の部分が多い原稿を読み込むときに設定すると、通常よりもきれいな画質で送信することができます。

## 解像度の選びかた

一般的な文字原稿を送信する場合は、200X200dpi（インターネットFaxは200X100dpi）の設定で十分判読できる画像データを作成できます。写真やイラストなどの画像を送信する場合は、高解像度（600X600dpi）に設定すると、高精度なデータを送信できます。ただし、高解像度設定時はデータのサイズが大きくなりますので送信できない可能性があります。この場合は原稿の読み込みページ数を減らしたり、送信サイズを小さくするなどの工夫が必要です。

 [フォーマットを変える](#)（81ページ）

[原稿の送信サイズを指定する](#)（74ページ）



- 原稿台（ガラス面）を使って原稿を読み込む場合、原稿を入れ替えるときに解像度を変更することができます。原稿自動送り装置を使用している場合、原稿読み込み途中に解像度を変更することはできません。（ただし、特別機能の「大量原稿モード」を設定しているときは、原稿を入れ替える際に解像度を変更することができます。）
- インターネットFaxモードでフォーマットを[TIFF-S]に選択しているときは、[200X100dpi]または[200X200dpi]のみ選択できます。



### システム設定（管理者）：標準画質設定

原稿の解像度設定の初期状態を変更することができます。

# ファクスモード

## ファクスモードに切り替え、画質設定画面を表示する

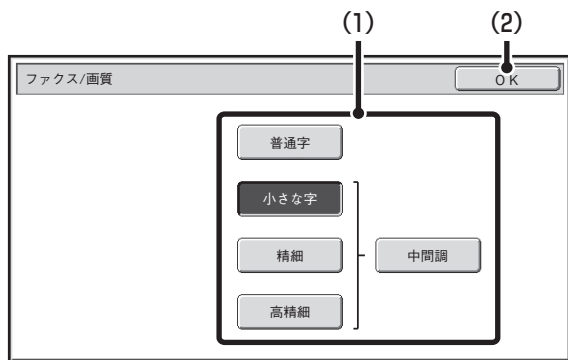
1

(1) [ファクス]タブをタッチする

(2) [画質]キーをタッチする

🔊 [原稿の読み込み設定について](#) (68ページ)

2



### 画質を選択する

(1) 設定する画質のキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

🔧 [小さな字][精細][高精細]を選択したときは、[中間調]キーをタッチして中間調を設定できます。

- 🔧 原稿台（ガラス面）を使って原稿を読み込む場合、原稿を入れ替えるときに画質を変更することができます。原稿自動送り装置を使用している場合、原稿読み込み途中に画質を切り替えることはできません。（ただし、特別機能の「大量原稿モード」を設定しているときは、原稿を入れ替える際に画質を変更することができます。）
- 送信側で画質を[高精細][精細][小さな字]に設定しても、受信するファクスの機種によって画質が低下することがあります。
- F ネットを利用して原稿を送信する場合、画質選択に制限があります。詳しくは、F ネットのパンフレットを参照してください。

🔧 **システム設定（管理者）：標準画質設定**  
原稿の画質設定の初期状態を変えることができます。

## 画質の選びかた


画質	選択のしかた
普通字	通常の大きさの文字（本書程度）の原稿の場合に選択します。
小さな字	小さな文字や細かな図が描かれている原稿の場合に選択します。 [普通字]の2倍の密度で読み取ります。
精細	複雑な絵やイラストなどを含む原稿の場合に選択します。 [小さな字]よりもきれいな画質で送信できます。
高精細	複雑な絵やイラストなどを含む原稿の場合に選択します。 もっともきれいな画質で送信できます。他の画質に比べて、やや送信時間がかかります。
中間調	写真や色に濃淡のある原稿（カラー原稿など）の場合に選択します。 「小さな字」「精細」「高精細」単独よりも、さらに鮮明に送信することができます。 「普通字」を選択したときは中間調を設定できません。



# フォーマットを変える


送信時のフォーマットを変更できます。

- ☞ スキャナモード、USBメモリースキャンモード（下記参照）
- インターネットFaxモード（84ページ）

 この機能は、ファクスモードでは使用できません。

## スキャナモード、USBメモリースキャンモード

スキャン送信時のフォーマット（ファイル形式、圧縮形式／圧縮率）を変更します。また、読み込んだ原稿を分割してファイル化するときの1ファイル当たりのページ数を変更できます。

 スキャン送信時のフォーマットは、送信先をワンタッチキーに登録するときに設定されていますが、送信ごとにフォーマットを変更することができます。

### モードを切り替え、フォーマット設定画面を表示する

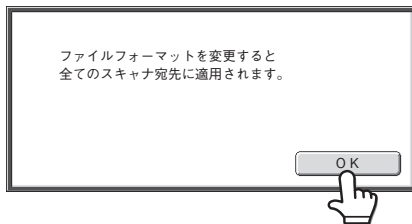
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [フォーマット]キーをタッチする

- ☞ [原稿の読み込み設定について](#)（68ページ）

2



### 表示されたメッセージを確認し、[OK]キーをタッチする

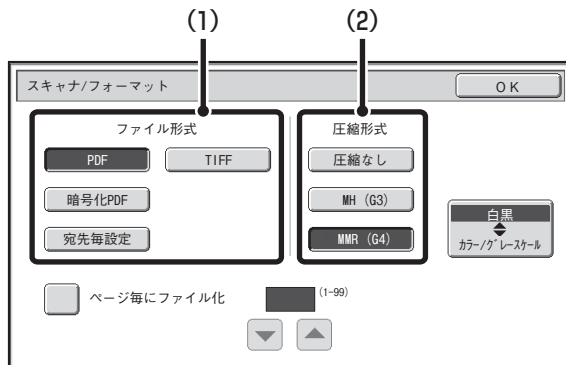
USBメモリースキャンモードでは表示されません。次の手順へ進んでください。

## フォーマットを設定する

### ● 白黒2値で読み込む場合

(1) ファイル形式を選択する

(2) 圧縮形式を選択する



### ● カラー／グレースケールで読み込む場合

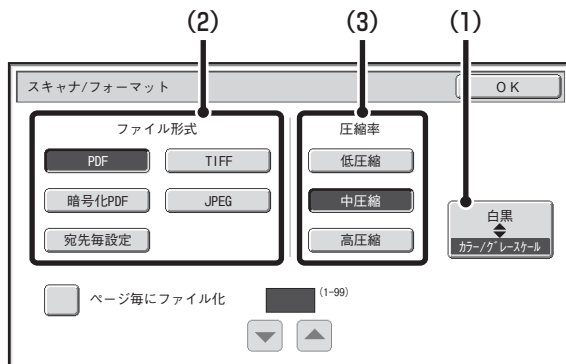
(1) タッチして [カラー/グレースケール] モードに切り替える

[カラー/グレースケール] が反転表示しているときが [カラー/グレースケール] モードです。

(2) ファイル形式を選択する

(3) 圧縮率を選択する

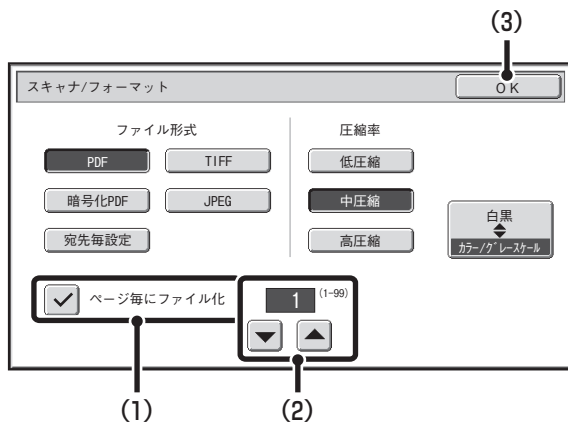
高圧縮にすると、作成されるファイルのデータサイズは小さくなりますが、画質が若干劣化します。



3



- USBメモリスキャンモードでは、[宛先毎設定]キーは表示されません。
- カラー拡張キットを装着していない場合は、[カラー/グレースケール]モードの設定画面は表示されません。
- この画面を表示したときは、最初[白黒]モードの設定画面が表示されます。
- [白黒]モードのフォーマット設定は、カラーモードが[白黒2値]に設定されている場合のファイルフォーマットになります。(カラー拡張キットを装着していない場合はこのファイルフォーマットが適用されます。)
- [カラー/グレースケール]モードのフォーマット設定は、カラーモードが[自動]、[フルカラー]、[グレースケール]に設定されている場合のファイルフォーマットになります。
- [白黒]モードと[カラー/グレースケール]モードのファイル形式は連動しており、別々のファイル形式を設定することはできません。(カラー/グレースケールモードで[JPEG]を選択したときは、[白黒]モードでは自動的に[TIFF]が選択されます。)



1ファイル当たりのページ数を変更するときは、ページ数を入力し、フォーマットの設定を終了する

- (1) [ページ毎にファイル化]チェックボックスをタッチして☑にする
- (2) ▼▲キーで1ファイル当たりのページ数を設定する
- (3) [OK]キーをタッチする



- [ページ毎にファイル化]チェックボックスが☐のときは、読み込んだ原稿の全ページを1ファイルで作成します。
- 「ページ毎にファイル化」を設定したとき、作成されたファイル名には連番が追加されます。
- ファイル形式で[JPEG]を選択したときは、常に1ページごとにファイル化されます。そのため、[ページ毎にファイル化]チェックボックスは画面に表示されません。



[暗号化PDF]を選択したときは、スキャン送信実行時に[スタート]キー (⊙) を押すと、パスワードの入力を要求する画面が表示されます。  
表示された画面の[入力]キーをタッチするとキーボード画面に切り替わります。パスワードを半角32文字以内で入力し、[OK]キーをタッチするとスキャン送信を開始します。



#### システム設定 (管理者)：標準ファイルフォーマットの設定

スキャン送信を行うときの標準ファイルフォーマットを設定します。

# インターネットFaxモード

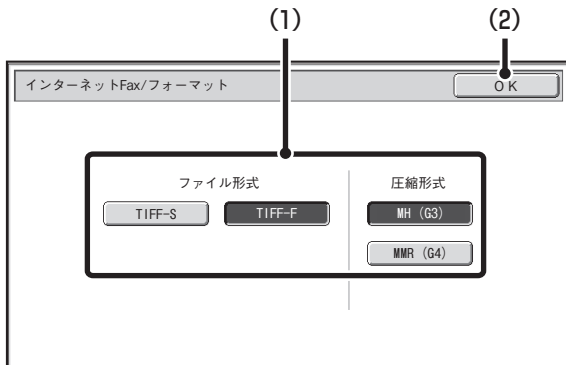
インターネットFax送信時のフォーマットは、通常[TIFF-F]に設定されています。送信先のインターネットFax機がフルモードに対応していない場合（シンプルモード対応機）は、次の手順で[TIFF-S]を選択してください。

## インターネットFaxモードに切り替え、フォーマット設定画面を表示する

1


- (1) [インターネットFax]タブをタッチする
  - (2) [フォーマット]キーをタッチする
- ☞ [原稿の読み込み設定について](#)（68ページ）


2




## フォーマットを選択する

- (1) フォーマットのキーをタッチする  
[TIFF-F]を選択したときは、圧縮形式を選択してください。
- (2) [OK]キーをタッチする

-  [TIFF-S]を選択すると、次の送信設定が制限されます。
- 解像度： [200X100dpi]または[200X200dpi]からの選択となります。[200X400dpi]、[400X400dpi]、[600X600dpi] 選択後に[TIFF-S]を選択した場合は、自動的に[200X200dpi]に変更されます。
  - 送信サイズ： 常にA4Rで送信されます。送信サイズ変更後にフォーマットを[TIFF-S]に変更した場合は、自動的にA4Rに固定されます。A4よりも大きいサイズを読み込んだときは、自動的にA4Rサイズに縮小して送信されます。同報送信にこのフォーマットが含まれていると、すべての宛先に対してA4Rサイズで送信されます。
  - 特別機能： ページ分割、カードスキャン、2in1、混載原稿のそれぞれと、変倍送信および原稿サイズをサイズ入力した場合の組み合わせはできません。

-  **システム設定（管理者）：標準圧縮形式設定**  
インターネットFaxを使用して送信操作を行うときの標準圧縮形式を設定します。

# カラーモードを変える

スキャン送信時に[スタート]キー（）を押したときの原稿の読み取り色を変更します。



- この機能は、インターネットFaxモード、ファクスモードでは使用できません。
- カラー拡張キットを装着していない場合は、[カラーモード]キーは表示されません。

モード		読み取り方法
自動	グレースケール	原稿が白黒かカラーを判別して、自動的にフルカラーと白黒（白黒2値またはグレースケール）を切り替えてスキャンします。
	白黒2値	
フルカラー		原稿をフルカラーでスキャンします。カタログなどのフルカラー原稿に適しています。
グレースケール		原稿で使用されているカラーにかかわらず、原稿を白黒（グレースケール）でスキャンします。
白黒2値		原稿で使用されている色を白か黒かに置き換えてスキャンします。文字のみの原稿に適しています。

## モードを切り替え、カラーモード設定画面を表示する

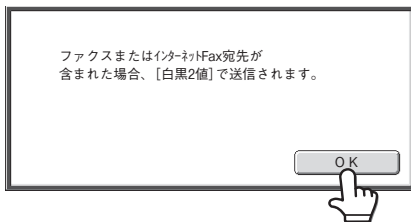
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [カラーモード]キーをタッチする

 [原稿の読み込み設定について](#)（68ページ）

2



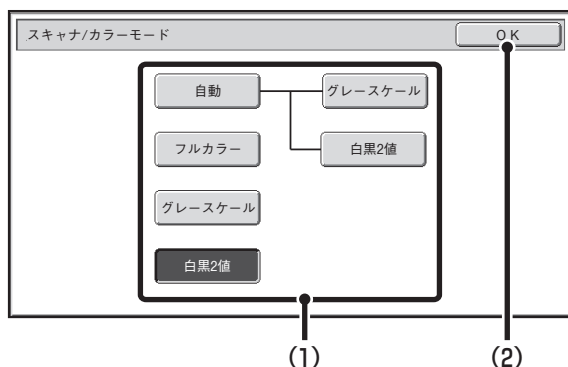
## 表示されたメッセージを確認し、[OK]キーをタッチする

USBメモリスキャンモードでは表示されません。次の手順へ進んでください。



送信モードが混在した同報送信を行うときは、白黒2値で送信されます。

3



## カラーモードを選択する

(1) 設定するカラーモードのキーをタッチする

[自動]を選択した場合は、原稿が白黒原稿として認識されたときに、グレースケールか白黒2値のどちらでスキャンするかを選択してください。ただし、ファイルフォーマットにJPEGを指定している場合はグレースケールでスキャンされます。

(2) [OK]キーをタッチする



- システム設定（管理者）：標準カラーモード設定**  
カラーモードの初期状態を変更することができます。
- システム設定（管理者）：カラー自動時の白黒設定変更を禁止する**  
カラーモードで[自動]を選択したときの白黒原稿の読み取り設定を禁止します。

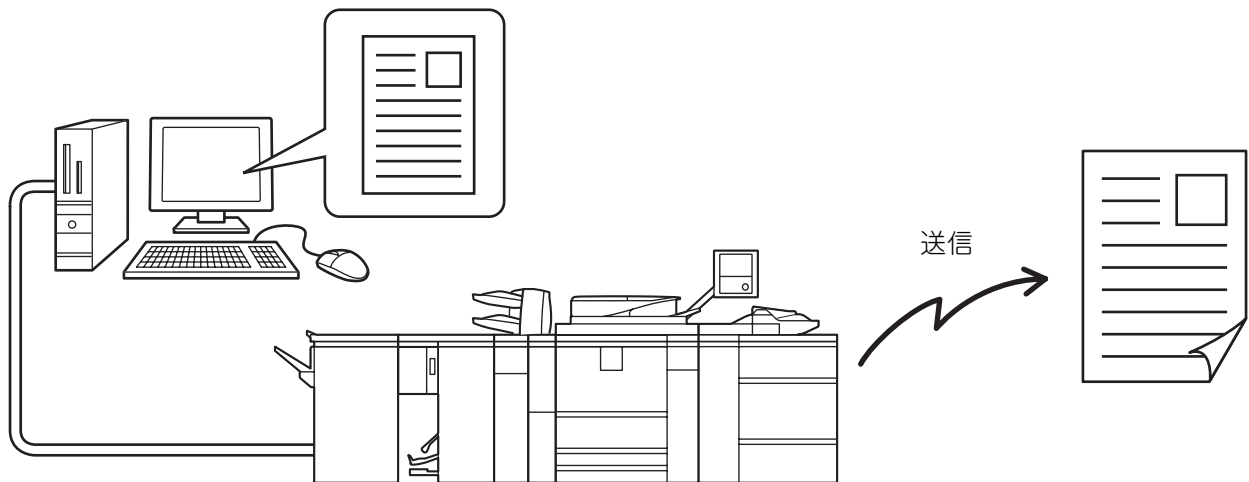
# コンピュータのデータを送信する

## PCインターネットFax（インターネットファクス拡張キット装着時）

コンピュータ上のデータを、本機を経由してインターネットFax送信します（PCインターネットFax機能）。PCインターネットFax機能を利用したインターネットFax送信は、プリントと同様の操作で行います。お使いのコンピュータのプリンタドライバをPC-Faxドライバに切り替えてプリント操作を行うと、送信用の画像データが作成され、インターネットFax送信が行われます。

## PC-Fax（ファクス拡張キット装着時）

コンピュータ上のデータを、本機を経由してファクス送信します（PC-Fax機能）。PC-Fax機能を利用したファクス送信は、プリントと同様の操作で行います。お使いのコンピュータのプリンタドライバをPC-Faxドライバに切り替えてプリント操作を行うと、送信用の画像データが生成され、ファクス送信が行われます。



PCインターネットFax、PC-Faxの操作方法については、PC-Faxドライバのヘルプを参照してください。

- PC-Fax 機能を利用してファクス送信するには、PC-Faxドライバをインストールする必要があります。詳しくは、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。
- PC-Faxドライバは、プリンタ拡張キットに付属のCD-ROMに収録されています。プリンタ拡張キットを装着していない場合のPC-Faxドライバの入手方法については、お買いあげの販売店にご確認ください。
- PCインターネットFax機能を利用してインターネットFax送信するには、PC-Faxドライバをインストールし、インターネットファクス拡張キットに付属のCD-ROMでアップデートする必要があります。詳しくは、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。
- この機能は、お使いのコンピュータが、Windows環境の場合のみ使用できます。
- この機能は、送信のみ行えます。本機が受信したデータを、接続されているコンピュータ上で受信することはできません。



### システム設定（管理者）：送信禁止設定

システム設定で送信が禁止されている場合、この機能を使用することはできません。

# 4 特別機能について

この章は、スキャン送信するときを使用できる特別機能について説明しています。

## 特別機能の種類について

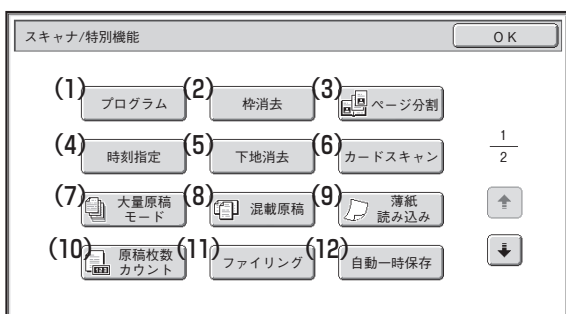
基本画面の[特別機能]キーをタッチすると、特別機能のメニュー画面が表示されます。特別機能のメニュー画面は2画面あります。[↓] [↑] キーをタッチして画面を切り替えてください。特別機能のメニュー画面で[OK]キーをタッチすると、設定を完了して基本画面に戻ります。

☞ インターネットFaxモード (88ページ)

ファクスモード (88ページ)

## スキャナモード、USBメモリースキャンモード、データ入力モード

### 1画面目



### 2画面目



画面のキーをクリックすると、説明箇所へジャンプします。

(1) [プログラム]キー※1、2 (90ページ)

(2) [枠消去]キー (92ページ)

(3) [ページ分割]キー (95ページ)

(4) [時刻指定]キー※1 (98ページ)

(5) [下地消去]キー※3 (100ページ)

(6) [カードスキャン]キー (102ページ)

(7) [大量原稿モード]キー (105ページ)

(8) [混載原稿]キー (107ページ)

(9) [薄紙読み込み]キー (109ページ)

(10) [原稿枚数カウント]キー※1 (111ページ)

(11) [ファイリング]キー※1

ドキュメントファイリング機能のファイリングを行うときに使用します。ファイリングについてはドキュメントファイリングガイドを参照してください。

(12) [自動一時保存]キー※1

ドキュメントファイリング機能の自動一時保存を行うときに使用します。自動一時保存についてはドキュメントファイリングガイドを参照してください。


(13) [済スタンプ]キー※4 (113ページ)

※1 USBメモリースキャンモードでは表示されません。

※2 データ入力モードでは表示されません。

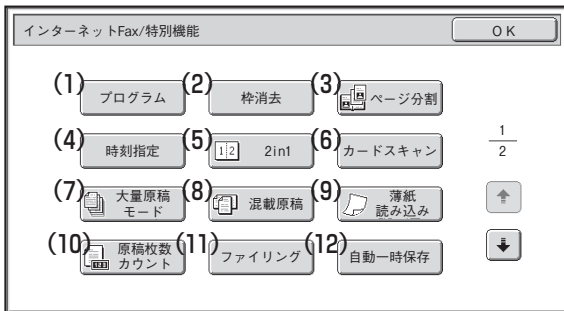
※3 カラー拡張キットを装着していない場合は表示されません。

※4 済スタンプユニットを装着していない場合は表示されません。

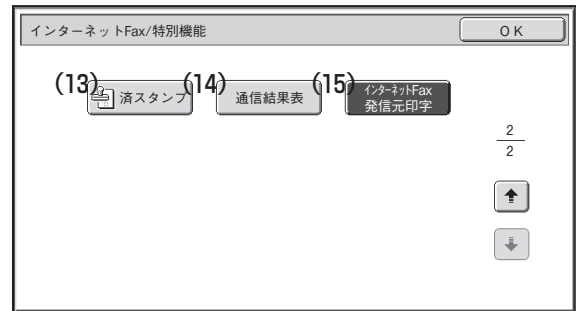
 特別機能は他の特別機能と組み合わせて使用することができますが、特別機能の種類によっては、組み合わせて使用できない場合があります。その場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。

# インターネットFaxモード

## 1画面目

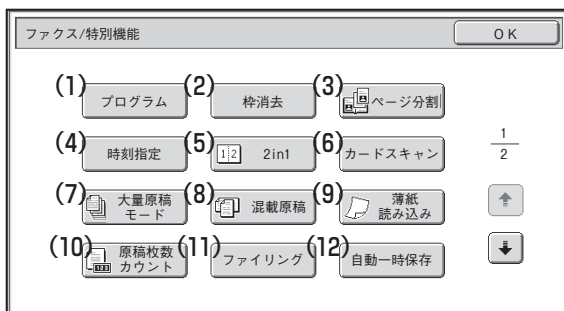


## 2画面目

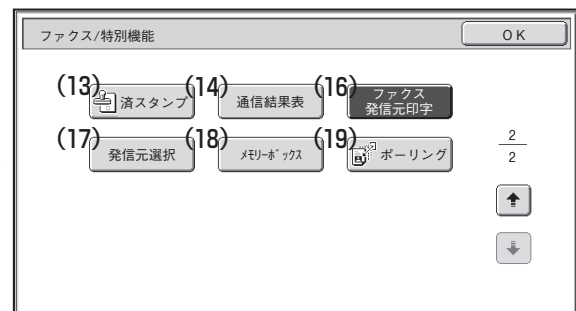


# ファクスモード

## 1画面目



## 2画面目



画面のキーをクリックすると、説明箇所へジャンプします。

(1) [プログラム]キー (90ページ)

(2) [枠消去]キー (92ページ)

(3) [ページ分割]キー (95ページ)

(4) [時刻指定]キー (98ページ)

(5) [2in1]キー (115ページ)

(6) [カードスキャン]キー (102ページ)

(7) [大量原稿モード]キー (105ページ)

(8) [混載原稿]キー (107ページ)

(9) [薄紙読み込み]キー (109ページ)

(10) [原稿枚数カウント]キー (111ページ)

(11) [ファイリング]キー

ドキュメントファイリング機能のファイリングを行うときに使用します。ファイリングについてはドキュメントファイリングガイドを参照してください。

(12) [自動一時保存]キー

ドキュメントファイリング機能の自動一時保存を行うときに使用します。自動一時保存についてはドキュメントファイリングガイドを参照してください。

(13) [済スタンプ]キー※ (113ページ)

(14) [通信結果表]キー (118ページ)

(15) [インターネットFax発信元印字]キー (120ページ)

(16) [ファクス発信元印字]キー (122ページ)

(17) [発信元選択]キー (124ページ)

(18) [メリボックス]キー (128ページ)

(19) [ポーリング]キー (125ページ)

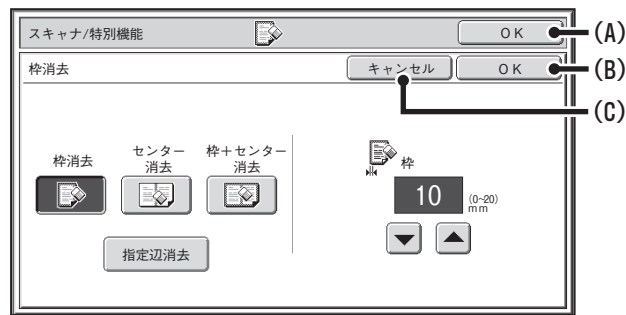
※済スタンプユニットを装着していない場合は表示されません。

特別機能は他の特別機能と組み合わせて使用することができますが、特別機能の種類によっては、組み合わせて使用できない場合があります。その場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。



## [OK]キーと[キャンセル]キーについて

特別機能の各設定画面には2つの[OK]キーと1つの[キャンセル]キーが表示されている場合があります。それぞれのキーの役割は次のとおりです。



(A) 特別機能の設定を確定して、基本画面に戻ります。



(B) 特別機能の設定を確定して、特別機能のメニュー画面に戻ります。引き続き他の特別機能を設定するときにタッチしてください。


(C) 特別機能を設定中の場合は、設定を行わず特別機能のメニュー画面に戻ります。設定が完了している場合は、その設定を解除して、特別機能のメニュー画面に戻ります。

# 送信操作を登録して使用する（プログラム）

送信先や原稿の設定、使用する機能をあらかじめ登録しておいて、かんたんな操作で呼び出してスキャンします。たとえば、毎月A4サイズの資料をファイル化して各地の支店に送信するとします。

- (1) 各地の支店に同じ資料を送信する
- (2) 見開きの資料を1ページずつ順番に送信する
- (3) 書面のふちの汚れを消して送信する

プログラムを登録していない場合	プログラムを登録している場合
<p>各支店の宛先を指定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ページ分割を設定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>枠消去を設定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[スタート]キー（）を押す 原稿を読み込んで送信します。</p>	<p>登録しているプログラムのキーをタッチする</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[スタート]キー（）を押す 原稿を読み込んで送信します。</p>
<p>毎月送信するごとにこのような入力や設定を行う必要があります。たいへん時間がかかります。また、途中で設定をまちがうこともあり、送信ミスもあります。</p>	<p>プログラムを使用すると登録しているキーをタッチするだけのかんたんな操作で設定が完了します。また、登録内容に従って送信するので設定によるミスがありません。</p>

-  プログラムの登録、修正、削除についてはシステム設定の「宛先登録」から行います。「[宛先登録](#)」（178 ページ）を参照してください。
- プログラムの登録は、Webページでも行えます。Webページのメニューにある[ジョブプログラム]→[イメージ送信]をクリックして行います。
- 登録したプログラムは、送信を行ったあとも登録内容は消去されません。同じ登録内容で繰り返し送信できます。
- プログラムに登録できる内容は次のとおりです。
  - スキャナモード、インターネットFaxモード
    - 送信先
    - 原稿設定：解像度、濃度
    - 特別機能：枠消去、ページ分割、下地消去、2in1、インターネットFax発信元印字
  - ファクスモード
    - 送信先
    - 原稿設定：画質、濃度
    - 特別機能：ポーリング受信、ファクス発信元印字、枠消去、ページ分割、2in1
    - Fコード通信：Fコードが含まれている相手先を登録するとFコード通信を行います。
- プログラムは48件まで登録できます。
- プログラム1件に送信先は500件まで登録できます。（送信先に共有フォルダを選択したときは、1件のみ登録できます。）
- この機能は、USBメモリスキャンモードおよびデータ入力モードでは使用できません。

## 1 原稿をセットする

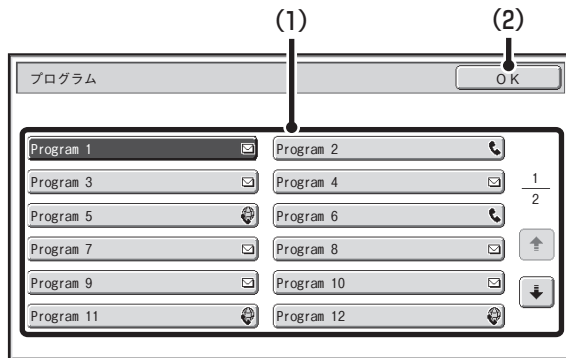
プログラムに登録されている機能に応じて、原稿セット台または原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。

## 2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
- (2) [プログラム]キーをタッチする

☞ 特別機能の種類について（87ページ）

## 3



### 登録したプログラムを呼び出す

- (1) 実行するプログラムのキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

## 4



### 追加設定を行う

プログラムに登録できない機能を追加で設定します。次の項目を設定することができます。

- 原稿の読み込み設定：原稿の読み込みサイズ、送信サイズ、両面読み込み、フォーマット、カラーモード
- 送信詳細設定
- 特別機能：時刻指定、カードスキャン、大量原稿モード、混載原稿、薄紙読み込み、済スタンプ、ファイリング、自動一時保存、通信結果表、発信元選択、原稿枚数カウント

- カラー拡張キットを装着していない場合は、[カラーモード]キーは表示されません。
- プログラムに登録されている宛先によって、表示される画面は異なります。
- ここでは、モードの切り替えはできません。
- ここでは、プログラムで設定されている機能は解除できません。

## 5

### [スタート]キー（Ⓢ）を押す

原稿の読み込みが始まります。

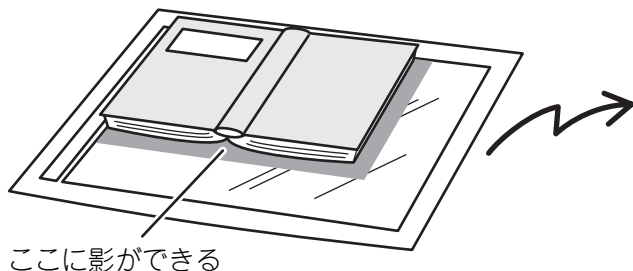
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー（Ⓢ）を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。

- ☞ 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー（Ⓢ）を押して中止してください。

# まわりに影ができないようにスキャンする (枠消去)

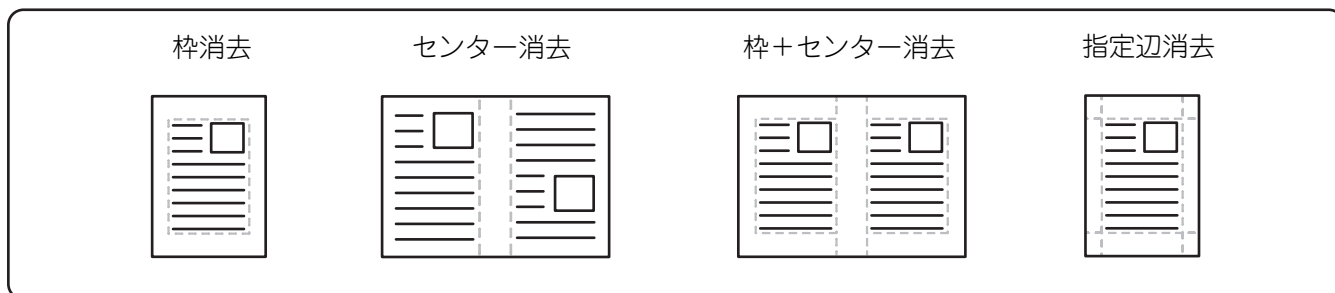
厚手の原稿や本などの見開き原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消すことができます。(影が出やすい範囲の画像を消去します。影を検知して消去するわけではありません。)

## 厚みのある本を読み込む場合



枠消去機能を使わない	枠消去機能を使う
読み込んだ画像に影ができる。	影ができずに読み込まれる。

## 枠消去の種類



- 原稿自動送り装置を使用する場合も、原稿の周囲を消去して送信できます。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

## 1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

## 2 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#) (25ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### (2) [特別機能]キーをタッチする

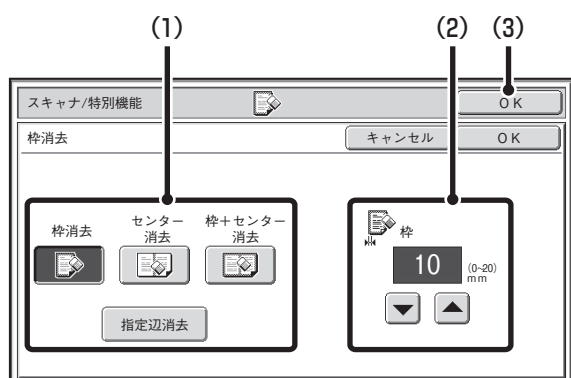
### (3) [枠消去]キーをタッチする

🔍 [特別機能の種類について](#) (87ページ)

3



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

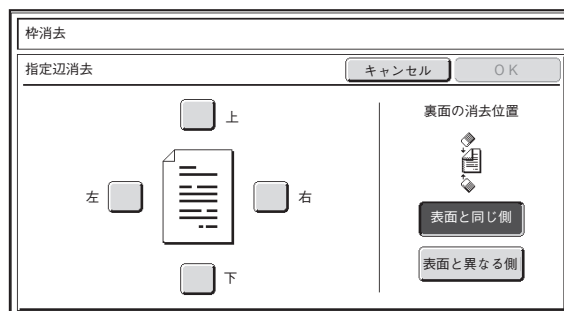


## 枠消去を設定する

### (1) 消去する位置をタッチする

4種類から選びます。

[指定辺消去]キーをタッチすると次の画面が表示されます。



消去したい辺のチェックボックスをタッチして、になっていることを確認します。

両面読み込みを行うときは、裏面の消去位置を設定してください。

- [表面と同じ側]キーをタッチすると、表面と同じ位置に枠消去が設定されます。
- [表面と異なる側]キーをタッチすると、表面と反対の位置に枠消去が設定されます。

設定が完了したら、[OK]キーをタッチしてください。

### (2) キーで消去幅を設定する

0mm~20mmの範囲で設定できます。

### (3) [OK]キーをタッチする

4

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



枠消去を使用してスキャンする場合は、原稿サイズの外周に対して枠消去されます。したがって縮小または拡大が同時に設定されていると、枠消去幅は設定倍率に合わせて変わります。たとえば、10mmの枠消去幅を設定したあとに70%に縮小してスキャンした場合、枠消去幅は7mmになります。



枠消去の設定を解除するには…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。



システム設定（管理者）：枠消去幅の標準値設定

消去する枠の幅の標準値はコピー機能のシステム設定と連動しており、0mm～20mmの範囲で設定できます。工場出荷時は10mmに設定されています。

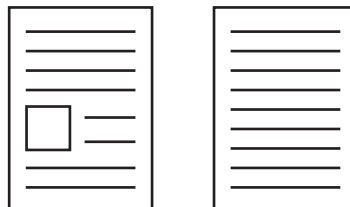
# 原稿を2ページに分割して送信する (ページ分割)

1枚の原稿を左右で分割して、2ページの原稿として読み込むことができます。本などの見開き原稿を1ページずつ順番に読み込みたいときに便利です。

例：本の左右ページをスキャン送信する場合



本などの見開き原稿



2ページに分割してスキャン送信されます。

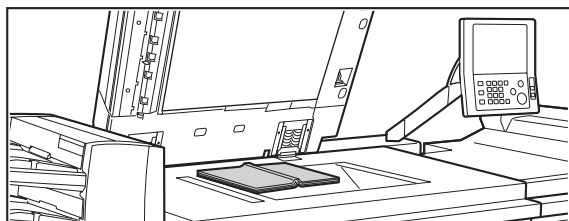
例

読み込み原稿サイズ	送信される原稿
A3×1枚	A4×2枚
B4×1枚	B5×2枚



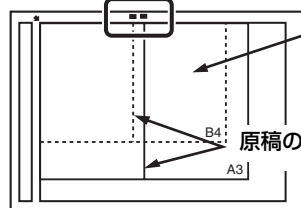
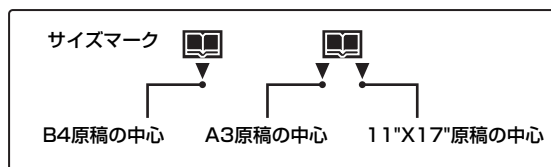
- ページ分割送信では原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。
- 原稿の送信サイズを変更することはできません。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



## 原稿を原稿台（ガラス面）に下向きにセットする

原稿をセットするときは、原稿の中心をサイズマークの▼に合わせてセットしてください。



こちら側のページから読み込まれていきます。

2

## 送信先を指定する

☞ 2. 送信先の入力方法について (25ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

3

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

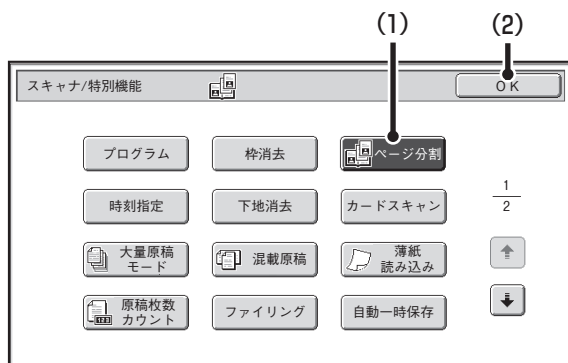
### (2) [特別機能]キーをタッチする

📖 [特別機能の種類について](#) (87ページ)



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

4



## ページ分割を設定する

(1) [ページ分割]キーをタッチして反転表示にする

(2) [OK]キーをタッチする

5

## [スタート]キー (⏻) を押して、最初の原稿を読み込む



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⏸) を押して中止してください。

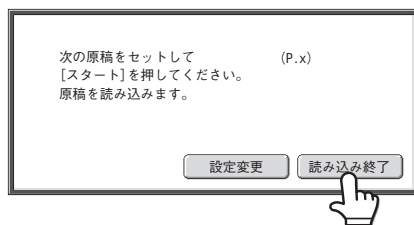
6


## 次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (⏻) を押す



最後の原稿を読み込むまでこの操作を繰り返してください。





## [読み込み終了]キーをタッチする



 [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度（画質）、読み込みサイズを変更することができます。送信サイズを変更することはできません。

 **原稿の読み込みを中止するには…**  
[ストップ]キー（）を押して中止してください。

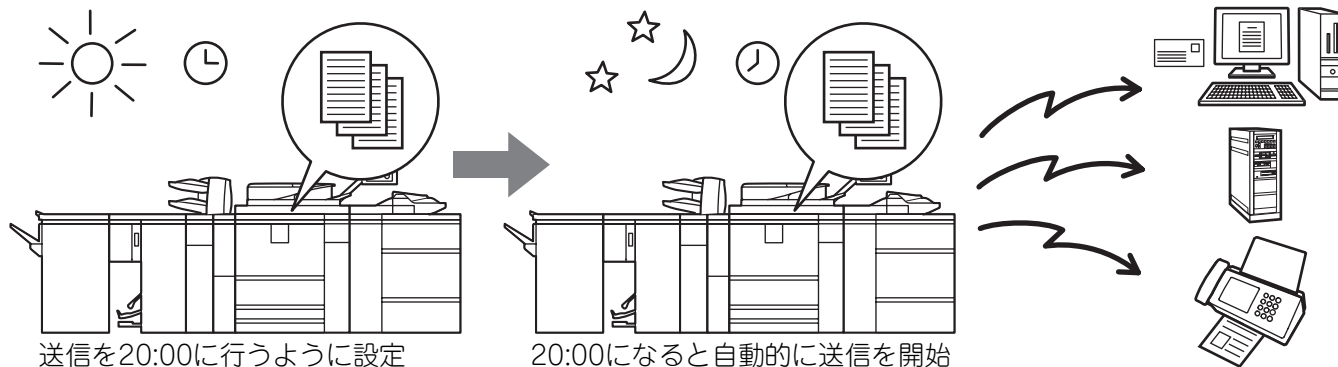
-  • 本などの見開き原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消すために、枠消去と組み合わせて使用すると便利です。（ただし、「センター消去」および「枠+センター消去」と組み合わせることはできません。）
- 原稿の読み込みサイズを数値で指定している場合、この機能は使用できません。

 **ページ分割の設定を解除するには…**  
手順4の画面で[ページ分割]キーをタッチして反転表示を解除し、[OK]キーをタッチしてください。

# 時刻を決めて通信する（時刻指定通信）

送信や順次同報送信に時刻を指定し、自動的に送信させる機能です。指定された時刻になると自動的に送信を開始します。

ファクス通信の場合は、不在時や通信料金が安い夜間に、送信予約や順次同報送信などの通信を行うときに便利です。また、ポーリング受信に時刻指定を行うと不在時でも相手先から原稿を受信することができます。



- 時刻指定送信を設定したときは、主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。指定した時刻に主電源スイッチが“切”になっていると送信できません。
- 時刻指定送信では、あらかじめ原稿を読み込んで本機のメモリー内に記憶しておく必要があります。原稿を原稿セット台または原稿台（ガラス面）にセットし、送信予約した時刻に読み込ませることはできません。
- 時刻指定送信で設定した内容（濃度、解像度（画質）、特別機能など）は、送信後自動的に消去されます。（ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したときは、読み込んだ原稿とその設定内容を内蔵のハードディスクに保存しています。ドキュメントファイリング機能の詳細については、ドキュメントファイリングガイドを参照してください。）
- この機能は、USBメモリースキャンモードでは使用できません。

## 1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

## 2 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#)（25ページ）

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

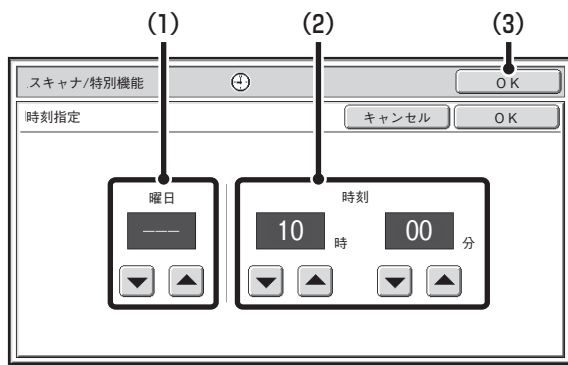
使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### 3 (2) [特別機能]キーをタッチする

### (3) [時刻指定]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#)（87ページ）

☞ 送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。



## ▼ ▲ キーで時刻を指定する

### (1) 曜日を指定する


曜日を指定しないときは、[---]を選択してください。この場合、(2)で指定した時刻がきたときに送信が開始されます。

### (2) 時刻（時、分）を指定する

時刻は24時間制で指定してください。

### (3) [OK]キーをタッチする




この画面を表示したとき、設定値には現在時刻が表示されます。時刻が異なっているときは[リセット]キー（)を押して操作を中止し、システム設定で時刻を修正してから操作を行ってください。

 [日付・時刻を確認する](#) (9ページ)


## [スタート]キー（)を押す

原稿の読み込みが始まります。


- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信待機状態になります。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー（)を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信待機状態になります。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（)を押して中止してください。



- 最長1週間先までの時刻を指定できます。
- 時刻指定できる送信は94件までです。
- 指定した時刻に他の送信が実行中の場合、その送信が終了してから時刻指定した送信を開始します。
- 時刻指定送信を設定したあと、他の送信は通常どおり行うことができます。
- 時刻指定したジョブは、ジョブ状況画面で削除できます。
- ジョブ状況画面で時刻指定したジョブを優先させると、時刻指定が解除されます。実行中のジョブが終了後、送信が行われます。  
 [あとから送信予約したジョブを優先して送信する](#) (173ページ)

ファクスモード：

- ポーリング受信は1件のみ時刻指定を設定できます。複数の相手先からポーリング受信したいときは、順次ポーリングを時刻指定してください。
- この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。

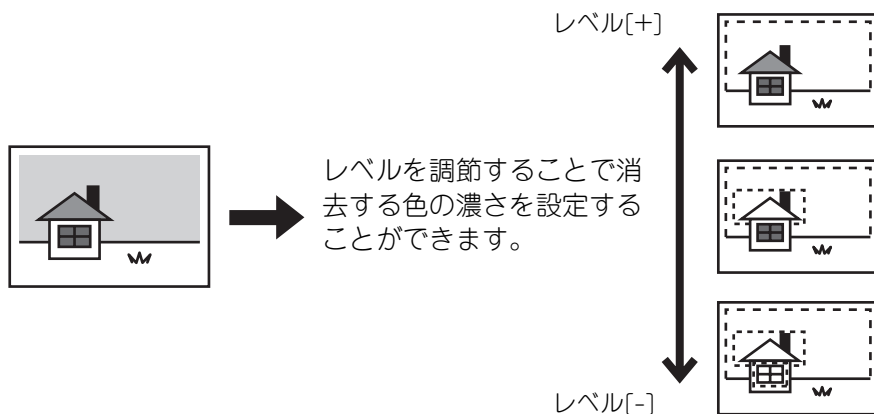


時刻指定送信を解除するときは…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

# 色の薄い部分を白くしてスキャンする (下地消去)

原稿の濃度の薄い部分を下地として消去することができます。



- この機能は、インターネットFaxモード、ファクスモードでは使用できません。
- カラー拡張キットを装着していない場合は使用できません。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

## 1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

## 2 送信先を指定する

 [2. 送信先の入力方法について](#)（25ページ）

2



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

## 3 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### (2) [特別機能]キーをタッチする

### (3) [下地消去]キーをタッチする

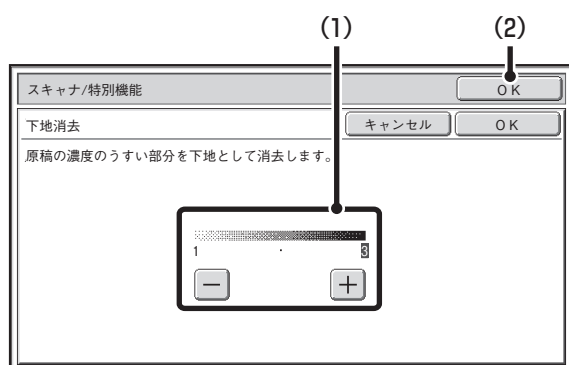
メッセージが表示されるので、内容を確認して[OK]キーをタッチしてください。

🔍 [特別機能の種類について](#) (87ページ)



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

## 4



## 下地消去を設定する

### (1) 下地を消去するレベルを調整する

[+]キーをタッチすると薄い下地のみ消去します。

[-]キーをタッチすると薄い下地から濃い下地まで消去します。

### (2) [OK]キーをタッチする

## 5 [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。

「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。

セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。

「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



原稿が[白黒2値]で読み込まれた場合、下地消去機能ははたらきません。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。

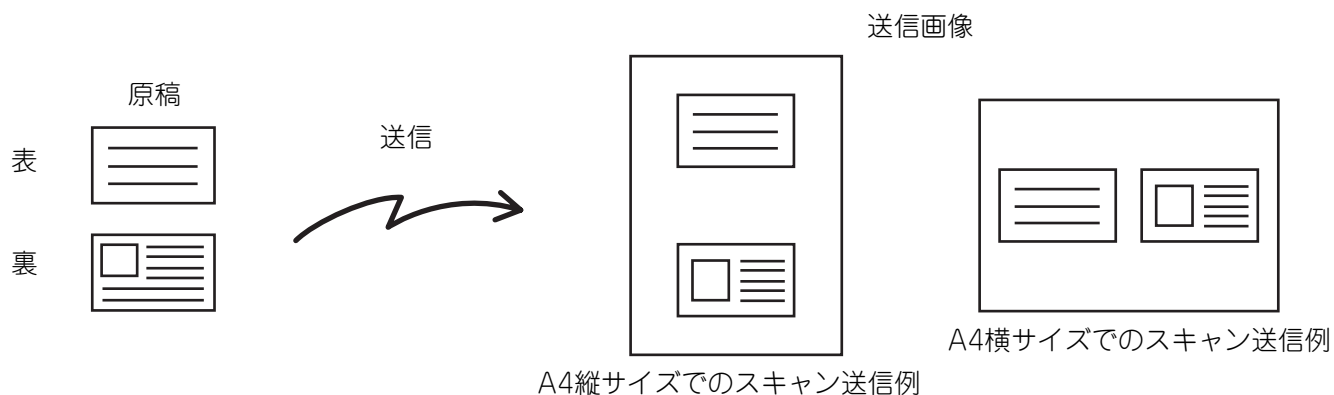


下地消去の設定を解除するには…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

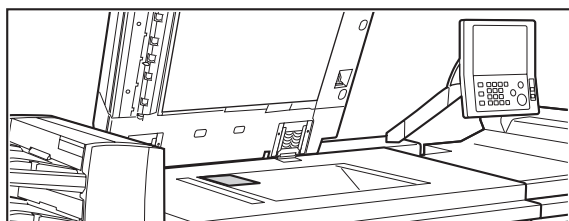
# カードの表裏を1枚にまとめて送信する (カードスキャン)

各種カードの表と裏を別々に送信することなく、1枚にまとめて送信できます。



- カードスキャン送信では原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにセットする

2

## 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#) (25ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

3

### (2) [特別機能]キーをタッチする

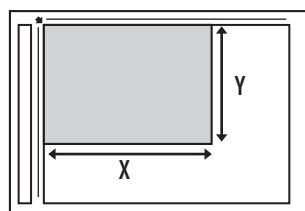
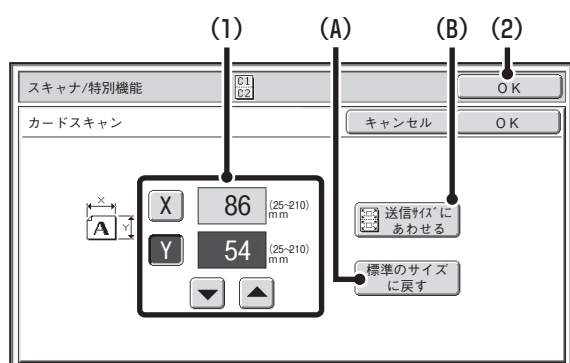
### (3) [カードスキャン]キーをタッチする

🔍 [特別機能の種類について](#) (87ページ)



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

4



## 原稿のサイズを設定する

### (1) 原稿のサイズを入力する

- [X] キーをタッチし、▼▲キーで原稿の横幅 (X) を入力してください。
- [Y] キーをタッチし、▼▲キーで原稿の縦幅 (Y) を入力してください。

(A) 原稿サイズを標準状態に戻したいときは、[標準のサイズに戻す]キーをタッチしてください。

(B) 原稿を送信サイズに合わせて自動で拡大または縮小したい場合は、[送信サイズにあわせる]キーをタッチしてください。入力した原稿サイズのまま読み込みたいときは、このキーをタッチする必要はありません。

### (2) [OK]キーをタッチする



- 送信サイズは、入力した原稿サイズを元に自動選択されます。
- カードスキャンを設定したあと、基本画面の[原稿]キーをタッチして原稿の読み込みサイズや送信サイズを変更することができます。この場合、読み込みサイズのキーをタッチすると、この手順の画面が表示されます。送信サイズの設定については、「[原稿の送信サイズを指定する](#)」(74ページ)を参照してください。

## [スタート]キー (⏻) を押して、表面を読み込む

5




原稿の読み込みを中止するには…



[ストップ]キー (⏻) を押して中止してください。

## カードを裏面に入れ替えて[スタート]キー（）を押して、裏面を読み込む

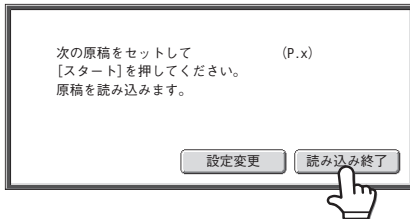
表面読み込み時に適用されたカラーモードで読み込まれます。

6


 裏面を読み込むとき、タッチパネルに表示されている[設定変更]キーをタッチして濃度を変更することができます。



 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー（）を押して中止してください。


7



### [読み込み終了]キーをタッチする

 続けてカードの表面を読み込むときは、[設定変更]キーをタッチして濃度や解像度（画質）、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。

-  原稿の倍率指定や回転送信はできません。
-  ファクスモード：  
この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。

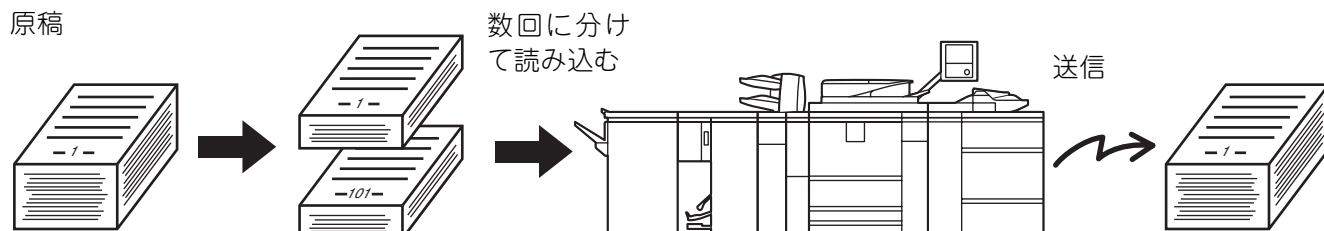
 カードスキャンを解除するには…  
手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。



# 大量の原稿を一度にまとめて送信する (大量原稿モード)

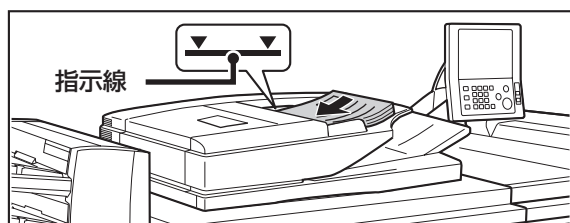
ページ数の多い原稿を原稿自動送り装置で数回に分けて読み込み、一度に送信します。スキャンしたい原稿が一度にセットできる枚数を超えている場合に使用してください。

分割した原稿を読み込むときは、先頭ページの束から読み込んでください。最初にセットしたときの設定は最後の束を読み込むまでそのまま利用できます。



- 原稿は最大で999枚まで読み込むことができます。ただし、他の通信などでメモリーを使用している場合は読み込みできる枚数が少なくなります。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



## 原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2

## 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#) (25ページ)

- USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

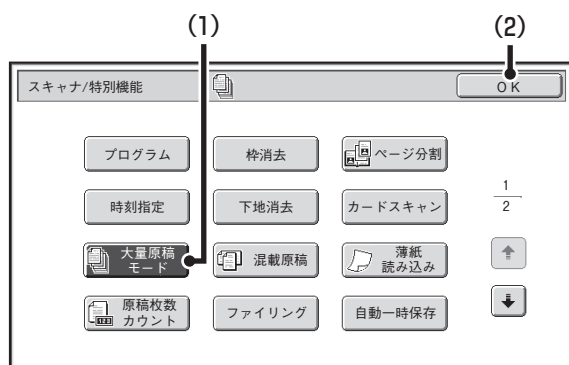
使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### (2) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (87ページ)

- 送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

4



## 大量原稿モードを設定する

- (1) [大量原稿モード]キーをタッチして反転表示にする
- (2) [OK]キーをタッチする

5

## [スタート]キー (Ⓢ) を押して、最初の原稿を読み込む

- ⏪ 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー (Ⓣ) を押して中止してください。

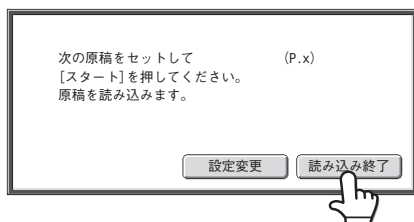
6

## 次の原稿をセットして、[スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返してください。

- ⏪ 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー (Ⓣ) を押して中止してください。すべての読み込みデータが消去されます。

7



## [読み込み終了]キーをタッチする

- ✎ 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- ✎ [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度(画質)、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「2in1」と組み合わせて使用している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。



- 途中でメモリーがいっぱいになるとメッセージが表示され、送信操作が中止されます。
- ファクスモード：  
この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。



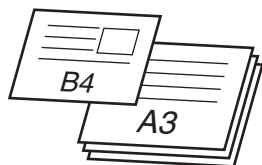
- 大量原稿モードを解除するには…  
手順4の画面で[大量原稿モード]キーをタッチして反転表示を解除してください。

# 大きさの違う原稿をまとめて送信する (混載原稿)

A3サイズ原稿の中にB4サイズ原稿が含まれているような場合でも、すべての原稿を一度にまとめて送信することができます。原稿を読み取る際に自動的に原稿の大きさを判別して送信できます。

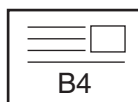
## 原稿

(A3の原稿にB4の原稿が混ざっている場合)



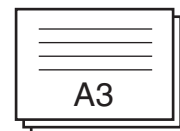
## 作成されたファイル

1ページ目



B4で読み込まれる

2~4ページ目



A3で読み込まれる

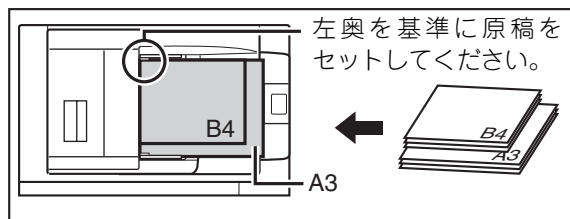
混載原稿では次の原稿サイズの組み合わせの場合のみ使用できます。

- A3とB4
- A3とB5
- B4とA4
- A4とB5
- A4RとB5
- B4とA4R
- B4とA5
- B5とA5
- 11"x17"と8-1/2"x14"
- 11"x17"と8-1/2"x13"
- 11"x17"と5-1/2"x8-1/2"



USBメモリスキャンモードで使用するときには、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



左奥を基準に原稿をセットしてください。

## 原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿セット台の左奥を基準にそろえてセットしてください。

2

## 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#) (25ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときには、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

## 3 特別機能を選択する


基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

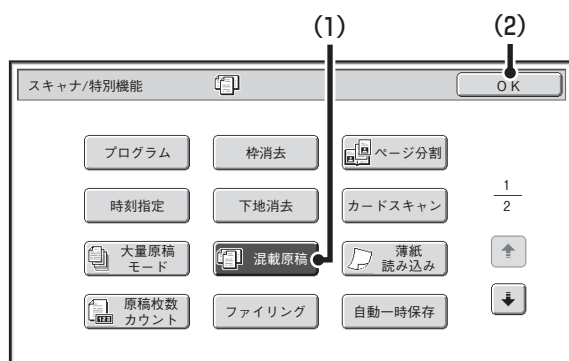
使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### (2) [特別機能]キーをタッチする

📖 [特別機能の種類について](#) (87ページ)

 送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。


## 4



## 混載原稿を選択する


(1) [混載原稿]キーをタッチして反転表示にする


(2) [OK]キーをタッチする


 原稿の読み込みサイズを指定していると、[混載原稿]キーをタッチしたときにメッセージが表示されます。混載原稿の設定を有効にするには、読み込みサイズの設定を自動にしてから、もう一度[混載原稿]キーをタッチしてください。


## 5 [スタート]キー (⏪) を押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー (⏸) を押して中止してください。

-  混載原稿を設定したあとに原稿の読み込みサイズを指定すると、読み込みサイズの設定が有効になり、混載原稿の設定は解除されます。
- 原稿の読み込みサイズを設定すると、混載原稿の設定は行えません。混載原稿の設定を行うときは、読み込みサイズの設定が[自動]の状態で行ってください。
- システム設定(管理者)の「原稿検知装置の設定」で検知サイズが[AB-3]に設定されているときは、混載原稿を設定することはできません。
- 混載原稿設定時は回転送信しません。

 混載原稿の設定を解除するには…  
手順4の画面で[混載原稿]キーをタッチして反転表示を解除してください。

 システム設定(管理者)：原稿給紙モード  
常に混載原稿で原稿を読み込むように設定できます。

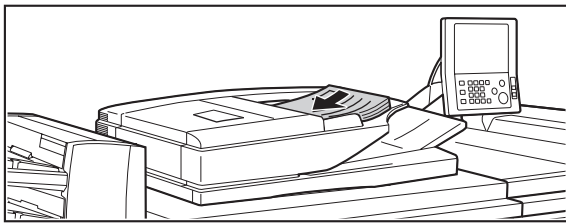
# 薄い紙の原稿をスキャンする（薄紙読み込み）

原稿自動送り装置を使って薄い紙の原稿を読み込みたいときに使用します。この機能を使うことにより、薄い紙の原稿がつまりにくくなります。



USBメモリスキャンモードで使用するときには、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



**原稿セット台に原稿を上向きにセットする**  
原稿ガイドはゆっくりと動かしてください。



原稿をきつく押し込むと、薄紙原稿がよじれて原稿づまりの原因となります。

2

## 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#)（25ページ）



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときには、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

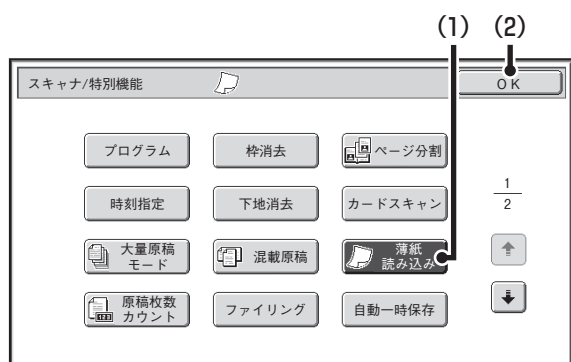
### (2) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#)（87ページ）



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

4



## 薄紙読み込みを設定する

- (1) [薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示にする
- (2) [OK]キーをタッチする

5

## [スタート]キー (⏻) を押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

- ⏪ 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー (⏹) を押して中止してください。

✎ この機能を設定したときは、自動両面読み込みはできません。

⏪ 薄紙読み込みの設定を解除するには…  
手順4の画面で[薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示を解除してください。

⚙ システム設定 (管理者)：原稿給紙モード  
常に薄紙読み込みで原稿を読み込むように設定できます。

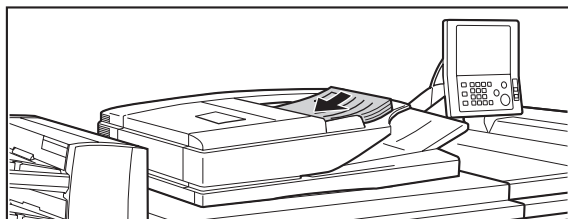
# 読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する (原稿枚数カウント)

読み込んだ原稿の枚数をカウントして、送信する前に表示させることができます。読み込んだ原稿の枚数を確認することで送信ミスを減らすことができます。



- この機能は、USBメモリースキャンモードでは使用できません。
- この機能は、各モードで独立して設定できます。

1



## 原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2

## 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#) (25ページ)

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

3

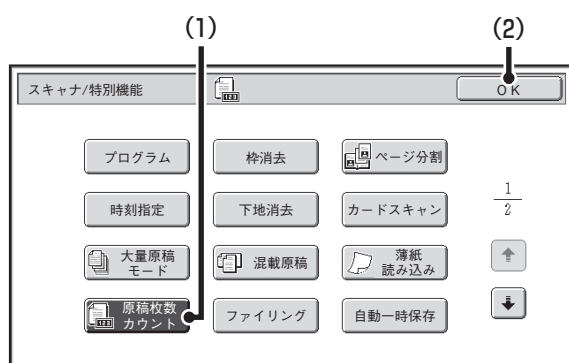
### (2) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (87ページ)



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

4



## 原稿枚数カウントを設定する

(1) [原稿枚数カウント]キーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

## 5 [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

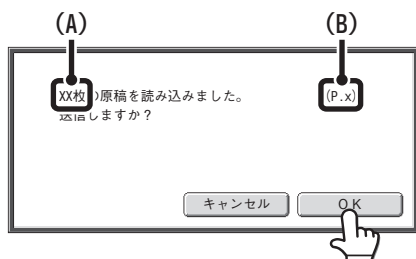
5



### 原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓣ) を押して中止してください。すべての読み込みデータが消去されます。

6



## 読み込みが終了したら、原稿枚数を確認して、[OK]キーをタッチする

送信が開始されます。

- 大量原稿モードを使用している場合は、[読み込み終了]キーをタッチしたあとに、確認のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるメッセージには、読み込んだ原稿の枚数(A)と面数(B)が表示されます。たとえば、原稿1枚の両面を読み込んだ場合、(A)には“1”、(B)には“2”と表示されます。



確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、すべての読み込みデータや設定内容が消去され基本画面に戻ります。自動的に読み込みを終了して送信予約されません。



### 表示されている原稿枚数が実際の枚数と異なるときは…

[キャンセル]キーをタッチし、表示されたメッセージ画面の[OK]キーをタッチすると、すべての読み込みデータが消去されます。読み込み設定や宛先など設定内容は消去されません。原稿をセットし直し、[スタート]キー (Ⓢ) を押して原稿を読み込み直してください。



同報送信を行う場合、いずれかのモードで原稿枚数カウントが設定されていると、すべての宛先に対してこの機能が適用されます。



### 原稿枚数カウントの設定を解除するには…

手順4の画面で[原稿枚数カウント]キーをタッチして反転表示を解除してください。



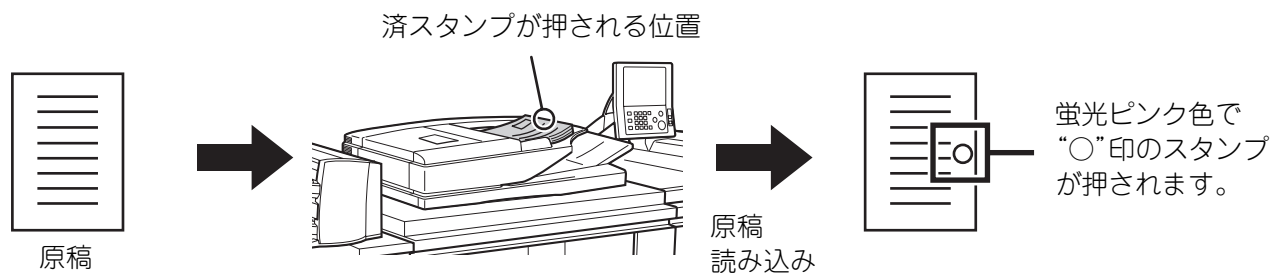
### システム設定 (管理者)：原稿枚数カウントの標準状態設定

常に原稿枚数カウントを行うように設定できます。設定は各モード個別に行えます。



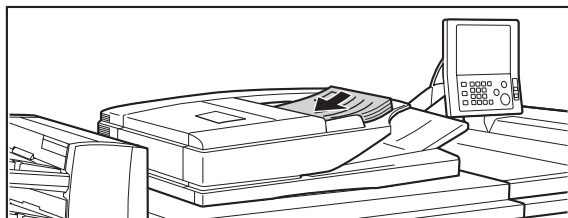
# 読み込み済みの原稿にスタンプを押す（済スタンプ）

原稿自動送り装置を使用して読み込んだ原稿に読み込み済みの印を付けることができ、すべての原稿が正しく読み込まれたか確認することができます。



- この機能は、別売品の済スタンプユニットが装着されているときに使用できます。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



## 原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2

## 送信先を指定する

☞ [2. 送信先の入力方法について](#)（25ページ）



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

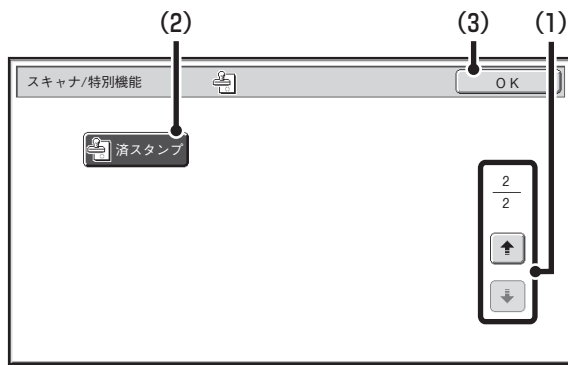
使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### (2) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#)（87ページ）



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。



### 済スタンプを設定する

- (1) [↓] [↑] キーで画面を切り替える
- (2) [済スタンプ] キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK] キーをタッチする

### [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

- ⏪ 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。

- ✎ • 両面原稿読み込みを設定した場合は、原稿の表面に済スタンプが2回押されます。
- ✎ • 原稿の読み込み中にエラーが発生したときに、読み込まれなかった原稿に済スタンプが押される場合があります。
- ✎ • 原稿に押されるスタンプ（“○”印）が薄くなってきた場合は、済スタンプカートリッジを交換してください。済スタンプカートリッジの交換方法については、メンテナンスガイドの「済スタンプカートリッジの交換」を参照してください。

- ⏪ 済スタンプの設定を解除するには…  
手順4の画面で[済スタンプ]キーをタッチして反転表示を解除してください。

- ⚙️ システム設定（管理者）：デフォルト済スタンプ設定  
常に済スタンプを押すように設定できます。

# 2枚の原稿を1枚にまとめて送信する (2in1)

2枚の原稿を半分の大きさに縮小し、1枚の用紙に割り付けて送信します。

縦向き原稿



横向き原稿



この機能は、インターネットFaxモードとファクスモードで使用できます。

## 原稿をセットする



原稿をセットするときは次の向きでセットしてください。

原稿	原稿セット台 原稿は上向きにセットしてください。	原稿台 (ガラス面) 原稿は下向きにセットしてください。
縦向きの場合 		
横向きの場合 		

1

## 2

### 送信先を指定する

☞ 2. 送信先の入力方法について (25ページ)

### 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

#### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

## 3

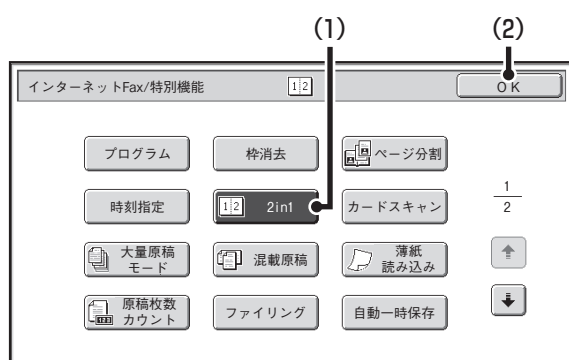
#### (2) [特別機能]キーをタッチする

☞ 特別機能の種類について (87ページ)



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。

## 4



### 2in1を設定する

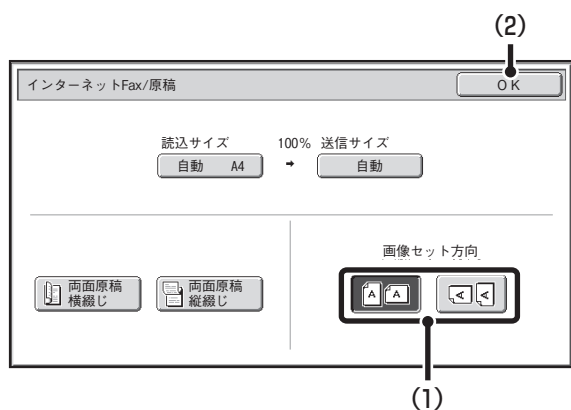
(1) [2in1]キーをタッチして反転表示にする

(2) [OK]キーをタッチする

## 5



### [原稿]キーをタッチする



## 原稿の画像セット方向を指定する

### (1) セットした原稿の画像と同じ向き「画像セット方向」のキーをタッチする

この設定が正しくないと、適切な画像が送信されないことがあります。

### (2) [OK]キーをタッチする

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



読み込み終了の確認画面に表示されている[設定変更]キーをタッチすると、濃度や解像度（画質）、読み込みサイズ／送信サイズを変更することができます。（偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。）



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



- 原稿サイズより小さいサイズで送信することはできません。
- A4、B5、A5サイズ以外の原稿では2in1を使用できません。
- 原稿の読み込みサイズを数値で指定している場合、この機能は使用できません。
- ファクスモード：  
この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。




2in1を解除するには…

手順4の画面で[2in1]キーをタッチして反転表示を解除してください。

# 通信結果表のプリント設定を変更して送信する (通信結果表)

通信に失敗したときや同報送信が行われた場合、自動的に通信結果をプリントすることができます。通信結果表には、通信の内容（日付、開始時刻、相手先名、所要時間、枚数、通信結果など）がプリントされます。

 [通信結果欄の内容について](#)（174ページ）



この機能は、インターネットFaxモードとファクスモードで使用できます。

通信結果表は、システム設定で設定された条件に従ってプリントされますが、送信ごとに条件を変更することができます。送信時に通信結果表のプリント条件を変更するときは、次の操作を行ってください。

1

## 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

## 送信先を指定する

 [2. 送信先の入力方法について](#)（25ページ）

3

## 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。


### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### (2) [特別機能]キーをタッチする

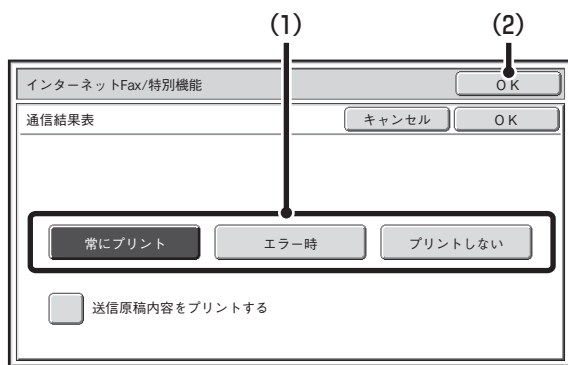
### (3) キーで画面を切り替える

### (4) [通信結果表]キーをタッチする

 [特別機能の種類について](#)（87ページ）



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。



## 通信結果表のプリント条件を設定する

(1) プリント条件を選択する

(2) [OK]キーをタッチする



- 通信結果表のプリント条件は次のとおりです。  
「常にプリント」: 送信が成功または失敗しても通信結果表をプリントします。  
「エラー時」: 送信が失敗したときに通信結果表をプリントします。  
「プリントしない」: 通信結果表をプリントしません。
- [送信原稿内容をプリントする]チェックボックスをタッチして  にすると、通信結果表といっしょに、送信した原稿内容の一部がプリントされます。
- ファクスモード:  
[送信原稿内容をプリントする]チェックボックスが  の状態でも、オンフックダイヤル、直接送信、ポーリング受信を行ったときは原稿の内容をプリントできません。

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。  
「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台(ガラス面)に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。  
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。  
「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



同報送信を行った場合は、変更した通信結果表のプリント条件がすべての送信先に適用されます。



通信結果表を解除するには…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。



### システム設定 (管理者): 通信結果表プリント設定

通信結果表をプリントする条件を設定します。

工場出荷時は  のときにプリントするように設定されています。

通常送信時: 常にプリント /  / プリントしない

同報送信時:  / 送信失敗宛先 / プリントしない

受信時: 常にプリント / エラー時 /

親展受信時 (ファクスモード): プリントしない /

### システム設定 (管理者): 送信時の原稿内容プリント設定

送信した原稿の一部を通信結果表にプリントするように設定できます。

# 発信元情報を付けずに送信する（発信元印字）

この機能は、インターネットFaxモードとファクスモードで使用できます。

- ☞ [インターネットFaxモード](#)（下記参照）
- [ファクスモード](#)（122ページ）

## インターネットFaxモード

送信原稿の上部中央に発信元情報（日付、時刻、発信元名、送信ページ数）を付けて送信します。  
工場出荷時の設定では、発信元情報を常に付けて送信するように設定されています。

### 発信元情報のプリント例



- (1) 日付・時刻：送信時の日付と時間                      (2) 発信元名：本機の発信元名  
(3) 送信ページ数：送信ページ数／総ページ数

発信元情報を付けずに送信したい場合は、次の手順で発信元印字機能を解除してください。



発信元情報を付けないように設定して同報送信を行うと、すべての相手先に発信元情報を付けずに送信されます。

1

### 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

### 送信先を指定する

- ☞ [2. 送信先の入力方法について](#)（25ページ）

3

### 特別機能を選択する

基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

#### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

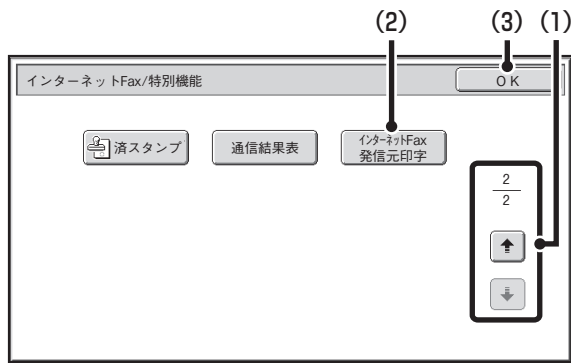
#### (2) [特別機能]キーをタッチする

- ☞ [特別機能の種類について](#)（87ページ）



送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。





## 発信元印字を解除する

- (1) [↑][↓]キーで画面を切り替える
- (2) [インターネットFax 発信元印字]キーをタッチして反転表示を解除する
- (3) [OK]キーをタッチする

## [スタート]キー (⊕) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (⊕) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



### • 発信元情報の登録や設定について

日付・時刻： システム設定の「日付・時刻設定」で設定します。

発信元名： システム設定（管理者）「インターネットFax設定」の「発信元登録」で登録します。

発信元アドレス： システム設定（管理者）「インターネットFax設定」の「発信元登録」で登録します。

送信ページ数： システム設定（管理者）「インターネットFax設定」の「ページ数印字」で印字するかしないかを設定します。

### • 発信元情報の添付位置について

発信元情報は、読み込んだ送信データの上部に追加されます。そのため、送信データが読み込みサイズよりも長くなるので、相手機でプリントされるときに縮小または分割される場合があります。



発信元情報を付けて送信するように設定するときは…

手順4の画面で[インターネットFax発信元印字]キーをタッチして反転表示させてください。



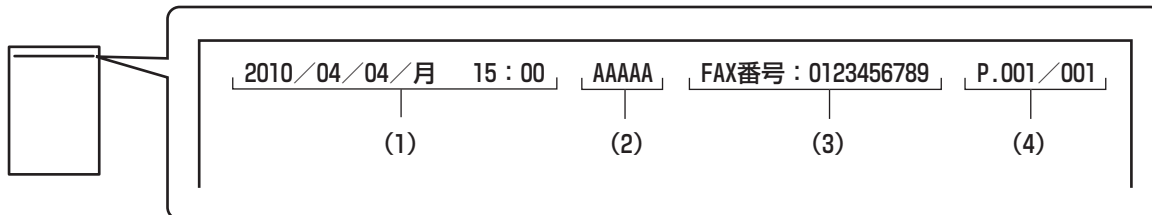
システム設定（管理者）：デフォルト日付発信元送出（インターネットFax送信設定）

インターネットFax送信する場合、常に発信元情報を付けるかどうかを設定します。

# ファクスモード


送信原稿の端部に発信元情報（日付、時刻、発信元名、発信元番号、送信ページ数）を付けて送信します。工場出荷時の設定では、発信元情報を常に付けて送信するように設定されています。

## 発信元情報のプリント例



- (1) 日付・時刻 : 送信時の日付と時間
- (2) 発信元名 : 本機の発信元名
- (3) 発信元番号 : 本機の発信元番号
- (4) 送信ページ数 : 送信ページ数／総ページ数（総ページ数はメモリー送信時のみ印字されます。）

発信元情報を付けずに送信したい場合は、次の手順で発信元印字機能を解除してください。

 発信元情報を付けないように設定して順次同報送信を行うと、すべての相手先に発信元情報を付けずに送信されます。

1

## 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

## 送信先を指定する

 [2. 送信先の入力方法について](#)（25ページ）

3


## 特別機能を選択する


基本画面が表示されていない場合は、[基本設定]キーをタッチしてください。

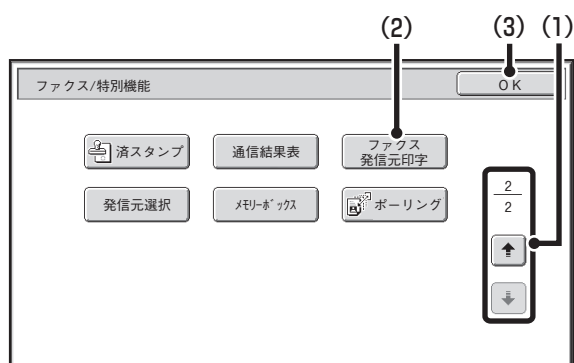
### (1) 使用するモードが選択されていることを確認する

使用するモードが選択されていない場合は、使用するモードのタブをタッチしてください。

### (2) [特別機能]キーをタッチする

 [特別機能の種類について](#)（87ページ）

 送信先を指定してから基本画面に戻ると、指定した送信先のモードの基本画面が表示されます。



## 発信元印字を解除する

- (1) [↑][↓]キーで画面を切り替える
- (2) [ファクス発信元印字]キーをタッチする  
[ファクス発信元印字]キーの反転表示が解除されます。
- (3) [OK]キーをタッチする

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

- Ⓢ 原稿の読み込みを中止するには…  
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。

- ✎ **発信元情報の登録や設定について**
- 日付・時刻 : 日付・時刻の設定は、管理者ガイドを参照してください。
  - 発信元名、発信元番号 : システム設定（管理者）の「発信元登録」で登録します。
  - 送信ページ数 : システム設定（管理者）の「ページ数印字」で印字する／しないを設定します。ページ番号／総ページ数を表示します。「手動送信」、「クイックオンライン送信」で送信した場合はページ番号のみプリントします。

- ⌂ **発信元情報を付けて送信するように設定するときは…**  
手順4の画面で[ファクス発信元印字]キーをタッチして反転表示させてください。

- ⚙️ **システム設定（管理者）：デフォルト日付発信元送付（ファクス送信設定）**  
ファクスを送信する場合、常に発信元情報を付ける／付けないを設定します。
- ⚙️ **システム設定（管理者）：日付・発信元印字位置設定**  
送信されたときの発信元情報の印字位置を設定します。発信元情報は読み込んだ原稿の外にプリントする（読み込みデータ外）、読み込んだ原稿の中にプリントする（読み込みデータ内）から選びます。

読み込みデータ外（工場出荷時）	読み込みデータ内
<p>発信元情報 原稿</p>	<p>発信元情報 原稿</p>
<p>発信元情報＋原稿の長さで送信されます。相手機でプリントするときに、縮小または分割される場合があります。</p>	<p>発信元情報が原稿内に印字されるので、原稿の長さで送信されます。発信元情報と重なる原稿部分は欠けてしまいますのでご注意ください。</p>

# ファクスの発信元情報を一時的に変更する（発信元選択）

発信元印字で使用する発信元情報を別途登録されている中から選択して一時的に変更します。



この機能は発信元印字が有効のときに使用できます。また、発信元情報を変更した送信が終わると解除されます。

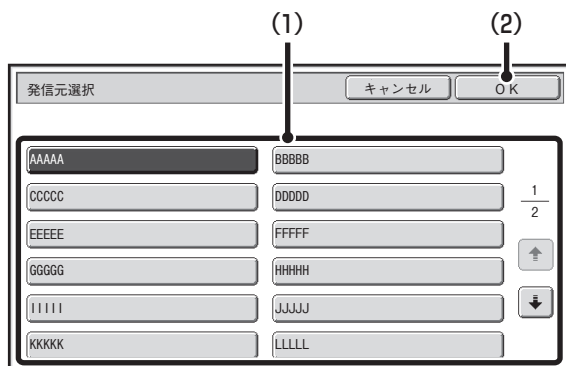
1

## 特別機能を選択する

- (1) [ファクス]タブをタッチする
- (2) [特別機能]キーをタッチする
- (3) キーで画面を切り替える
- (4) [発信元選択]キーをタッチする

[特別機能の種類について](#)（87ページ）

2



## 発信元情報を選択する

- (1) 発信元に指定する発信元情報のキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

3



## [OK]キーをタッチする



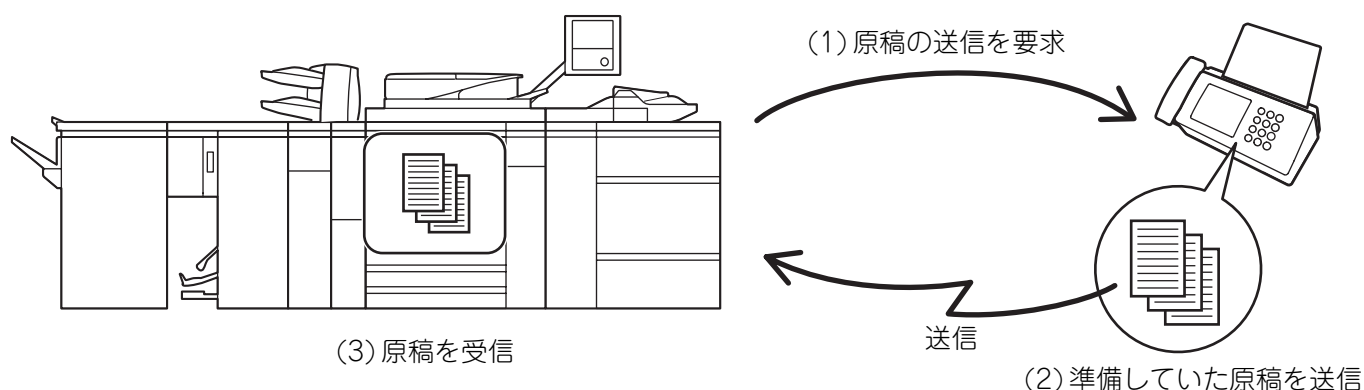
システム設定（管理者）：発信元選択登録  
発信元選択で使用する発信元情報を登録します。


# 5 ファクス特有の通信機能について

ポーリングやFコード通信、外部電話機の使用など、ファクスモード特有の機能について説明しています。  
この章では、ファクスモードが選択されていること（送信モード切り替えタブで[ファクス]タブがタッチされた状態）を前提に説明しています。

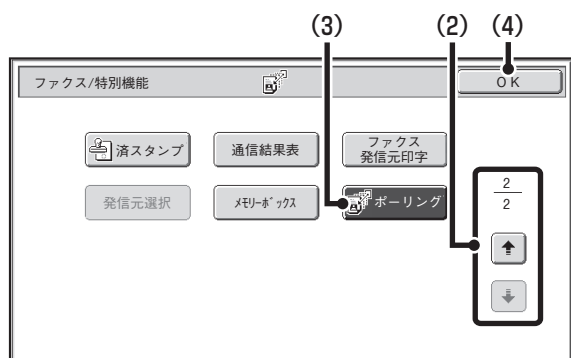
## こちらの操作で相手の原稿を受信する (ポーリング受信)

受信側（本機）の操作で相手機に準備されている原稿を送信させることを「ポーリング」と呼びます。  
ここでは、相手機の原稿を本機からの操作で受信するので「ポーリング受信」と呼びます。






 ポーリング受信の操作を行うときは、本機に原稿をセットしないでください。

1



### ポーリング受信を設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする  
 [特別機能の種類について](#) (87ページ)
- (2)   キーで画面を切り替える
- (3) [ポーリング]キーをタッチして反転表示にする
- (4) [OK]キーをタッチする

## 相手先番号を入力する

 2. 送信先の入力方法について (25ページ)

2



- **複数の相手先番号が入力できます。**

複数の相手先番号を入力すると、入力した順番にポーリング受信を行います。

複数の相手先からポーリング受信することを「順次ポーリング」と呼びます。

最大500件までの相手先番号が入力できます。ここでは、サブアドレスやパスコードが含まれているワンタッチキーは使用できません。

- 複数の相手先を入力するときは、入力した相手先番号に続けて[次宛先]キーをタッチして次の相手先番号を入力してください。

- システム設定（管理者）でファクス宛先確認機能を設定している場合は、複数の相手先を入力することはできません。

3

### [スタート]キー（）を押す

相手機と通信後、原稿を受信します。



- 時刻指定通信と組み合わせて、不在時や夜間など任意の時刻にポーリング受信することができます。
- この機能は相手機がスーパー G3またはG3対応機で、ポーリング機能を持っている場合に使用できます。
- ポーリング受信時の電話料金は、受信する側（こちら側）にかかります。



#### ポーリング受信の設定を解除するときは…

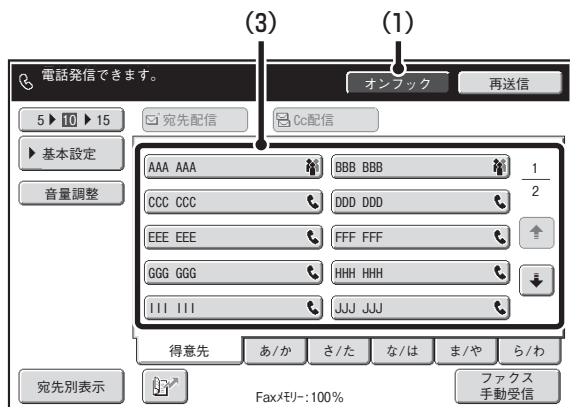
手順1の画面で[ポーリング]キーをタッチして反転表示を解除してください。

# 手動操作でポーリング受信する



- ポーリング受信の操作を行うときは、本機に原稿をセットしないでください。
- この機能は、複数の相手先にポーリング受信（順次ポーリング）できません。

1



## 相手先番号を入力する

### (1) [オンフック]キーをタッチする

「ツ」という発信音が本機のスピーカーから聞こえます。

### (2) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

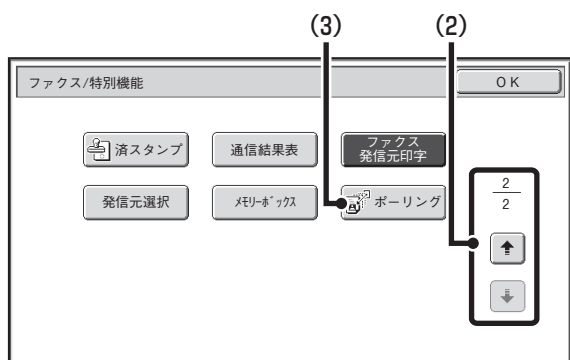
### (3) 相手先のワンタッチキーをタッチする

グループダイヤルが登録されているワンタッチキーは使用できません。



- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[2. 送信先の入力方法について](#)」(25ページ)を参照してください。
- [オンフック]キーをタッチしたあとに、[音量調整]キーをタッチしてスピーカーから聞こえる音の音量を調節することができます。[音量調整]キーをタッチするごとに音量が切り替わります。お好みの音量に調節してください。

2



## 原稿（データ）を受信する

### (1) [特別機能]キーをタッチする

[特別機能の種類について](#) (87ページ)

### (2) キーで画面を切り替える

### (3) 「ピー」音が聞こえたら、[ポーリング]キーをタッチする

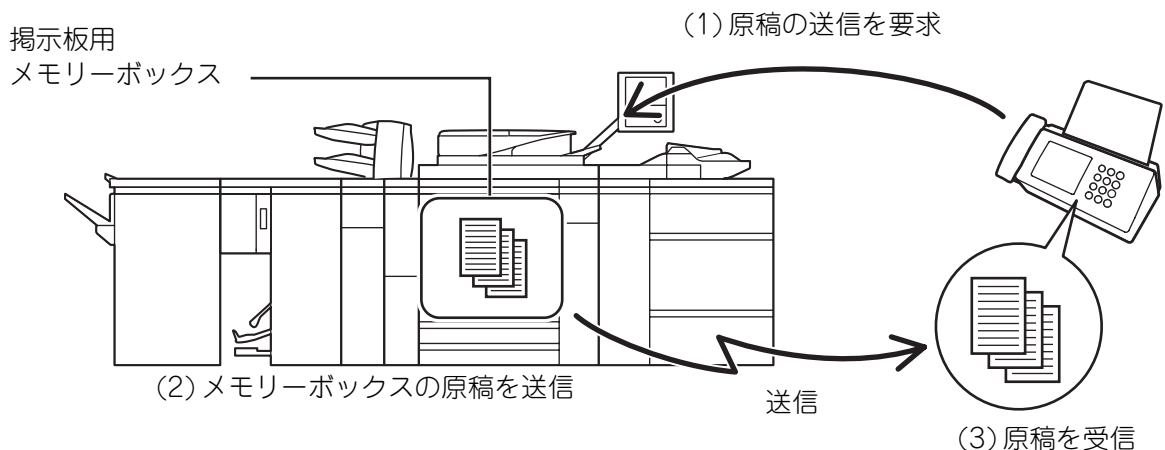
原稿（データ）を受信します。



- この機能は相手機がスーパー G3またはG3対応機で、ポーリング機能を持っている場合に使用できます。
- ポーリング受信時の電話料金は、受信する側（こちら側）にかかります。

# 相手からの操作でこちらの原稿を送信する (掲示板)

相手側の操作で本機のメモリーに読み込んでいる原稿を送信することを「掲示板」と呼びます。  
相手側に送信する原稿は、あらかじめ掲示板用のメモリーボックスに読み込んでおきます。  
この機能は相手機がスーパー G3またはG3対応機で、ポーリング機能を持っている場合に使用できます。



## 掲示板を利用できる相手を限定する (ポーリング保護)

本機に登録しているポーリング許可番号と原稿の送信を要求してきた相手側の発信元電話番号が一致した場合に、掲示板が利用できるように設定できます。これを「ポーリング保護」と呼びます。  
この機能を使用するときは、システム設定で本機にポーリング許可番号（相手機の発信元番号）を登録して、ポーリング保護を設定してください。



ポーリング保護は10局までの相手先に対して設定できます。




**システム設定 (管理者) : ポーリング保護設定**

ポーリング保護を設定します。また、ポーリング許可番号を登録します。



# 掲示板用の原稿をメモリーボックスに読み込む

相手に送信する掲示板用の原稿を本機のメモリーボックス（フリーエリア）に読み込みます。


 フリーエリアが通信中の場合、フリーエリアに原稿を読み込めません。

## 1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

## 2 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

 [特別機能の種類について](#)（87ページ）

(2)   キーで画面を切り替える

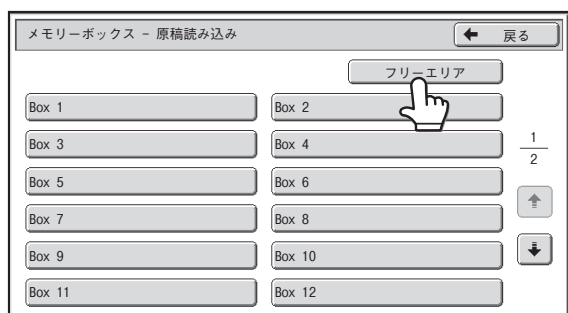
(3) [メモリーボックス]キーをタッチする

3



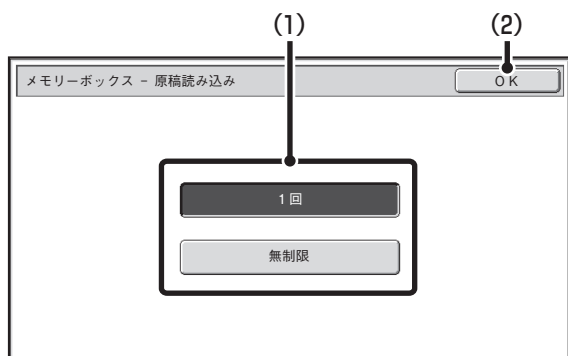
[原稿読み込み]キーをタッチする

4



[フリーエリア]キーをタッチする

5



原稿の送信回数を設定する

(1) 送信回数のキーをタッチする

原稿を送信後消去するときは[1回]キーを、原稿を繰り返し送信するときは[無制限]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする



## 読み込む原稿の設定や特別機能を設定する



- ここでは、プログラム、時刻指定、通信結果表、ポーリング、ドキュメントファイリングが設定できません。
- [メモリーボックスリスト]キーをタッチすると手順4の画面に戻ります。

## [スタート]キー (⏪) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。  
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (⏪) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。



### 原稿の読み込みを中止するときは…


原稿読み込み中に[ストップ]キー (⏸) を押してください。



他の原稿がメモリーボックス（フリーエリア）に残っていた場合、残っている原稿のあとに追加して保存されます。その際、原稿の送信回数の設定は、あとから設定した回数になります。




# 掲示板用に保存した原稿をプリントする

本機のメモリーボックス（フリーエリア）に保存されている掲示板用の原稿をプリントして内容を確認します。

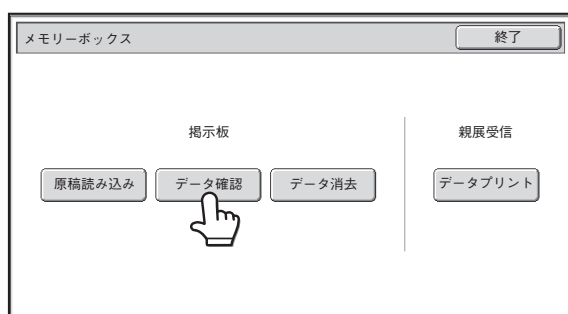
 フリーエリアが通信中の場合、フリーエリアの原稿データをプリントできません。

## 特別機能を選択する

1

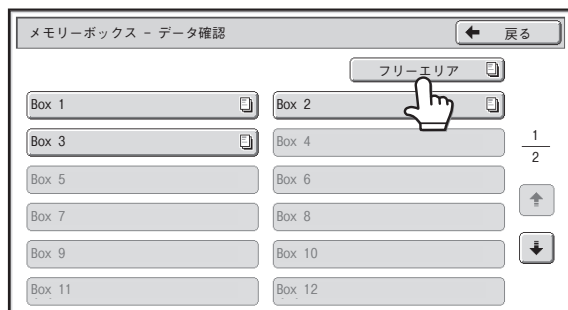
- (1) [特別機能]キーをタッチする  
 [特別機能の種類について](#)（87ページ）
- (2)   キーで画面を切り替える
- (3) [メモリーボックス]キーをタッチする

2




[データ確認]キーをタッチする

3




[フリーエリア]キーをタッチする

 フリーエリアに原稿が保存されていないときは、[フリーエリア]キーがグレー表示されています。

4


## [スタート]キー（）を押す

保存されている原稿がプリントされます。

 原稿のプリントを中止するときは…  
タッチパネルの[プリント中止]キーをタッチしてください。




# 掲示板用に保存した原稿を消去する

本機のメモリーボックス（フリーエリア）に保存されている掲示板用の原稿が不要な場合は消去します。

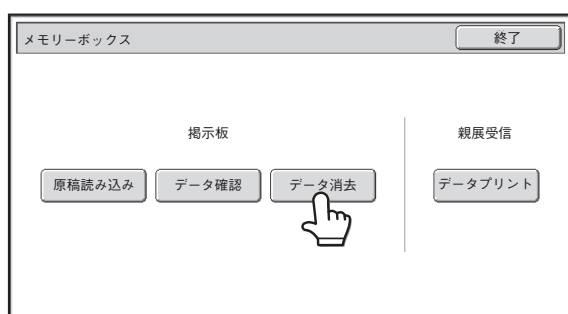
 フリーエリアが通信中の場合、フリーエリアの原稿データを削除できません。

## 特別機能を選択する

1

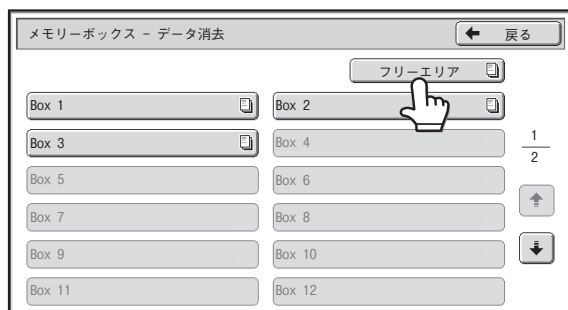
- (1) [特別機能]キーをタッチする  
 [特別機能の種類について](#)（87ページ）
- (2)   キーで画面を切り替える
- (3) [メモリーボックス]キーをタッチする

2




[データ消去]キーをタッチする

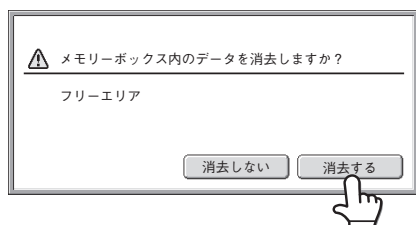
3



[フリーエリア]キーをタッチする


 フリーエリアに原稿が保存されていないときは、[フリーエリア]キーがグレー表示されています。

4



[消去する]キーをタッチする

保存されている原稿が消去され、手順3の画面に戻ります。

 原稿の消去を中止するときは…  
[消去しない]キーをタッチしてください。手順3の画面に戻ります。

# Fコード通信について

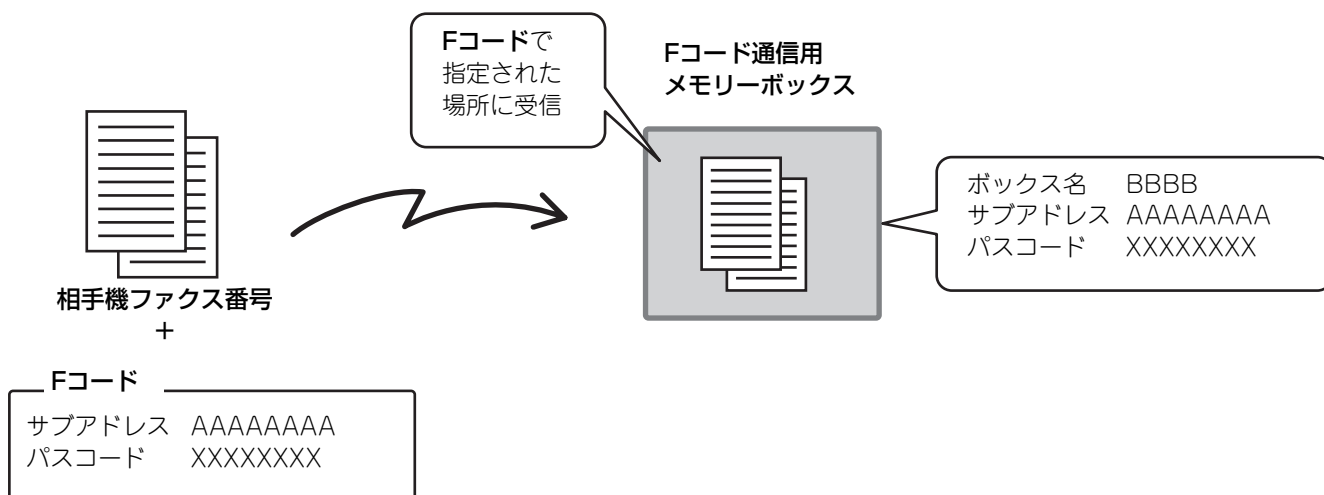
Fコード通信機能を持つ相手機との間で、機密文書のやりとり（親展通信）、情報の取り出し（ポーリング）や配信（掲示板通信）、情報の複数の相手先への配信（中継同報通信）ができます。

通信の際にFコード※を付けることにより、より安全な通信を行うことができます。

※ FコードとはITU-TのG3規格に基づく通信機能です。

## Fコード通信のしくみ

Fコードを付けて送信されたファクスは、相手機のFコード通信用メモリーボックスのFコード（サブアドレス、パスコード）で指定された場所に受信されます。Fコードが合わないと相手機は受信しません。



サブアドレスやパスコードなどの名称は他社の製品によって異なる場合があります。相手先にサブアドレスやパスコードをお聞きになるときは、通信機械工業会で使用している表現（下表）を参考にしてください。

本機	通信機械工業会		
	Fコード掲示板ボックス	Fコード親展ボックス	Fコード中継同報機能
サブアドレス	SEP	SUB	SUB
パスコード	PWD	SID	SID



Fコードとは、サブアドレスとパスコードのことで、共に20桁以内の数字で設定します。

# 本機にFコード通信専用のメモリーボックスを作成する

本機でFコード通信するためには、あらかじめシステム設定「Fコードメモリーボックス」で専用のメモリーボックスを作成しておく必要があります。

メモリーボックスにはボックス名とFコード（サブアドレス、パスコードなど）を設定し、登録しておきます。登録したメモリーボックスのサブアドレスとパスコードは、Fコード通信を行う相手に伝えてください。

## Fコード通信用 メモリーボックス



- ボックス名
- サブアドレス
- パスコード
- 転送先（Fコード中継同報送信のみ）
- プリントパスコード（Fコード親展受信のみ）

次のFコード通信の機能を使用する場合、本機にメモリーボックスを作成してください。

Fコード親展受信（親展）、Fコード掲示板送信（掲示板）、Fコード中継同報送信（中継同報）  
次のFコード通信の機能を使用する場合、相手側にメモリーボックスが必要です。

Fコード親展送信、Fコードポーリング受信、Fコード中継同報指示送信



### システム設定：Fコードメモリーボックス（183ページ）

Fコード通信で使用するメモリーボックスを登録します。

- メモリーボックスは最大100個まで作成できます。
- メモリーボックス名は全角9文字(半角18文字)以内、サブアドレス・パスコードはそれぞれ20桁以内の数字で設定します。

## Fコード通信のダイヤル

Fコード通信するときは、相手機のファクス番号にFコード（サブアドレス、パスコード）を付けてダイヤルします。事前に相手機のメモリーボックスに設定されているFコード（サブアドレス、パスコード）を確認してください。また、あらかじめFコード（サブアドレス、パスコード）をワンタッチダイヤルやグループダイヤルに登録しておくくと便利です。

0123456789 / AAAAAAAA / XXXXXXXX  
相手先ファクス番号 ※ サブアドレス ※ パスコード

※ 「/」は画面の[サブアドレス]キーをタッチして入力してください。

次のFコード通信の機能を使用する場合、本機から相手側にダイヤルします。

Fコード親展送信、Fコードポーリング受信、Fコード中継同報指示送信  
次のFコード通信の機能を使用する場合、相手側から本機にダイヤルします。

Fコード親展受信、Fコード掲示板送信、Fコード中継同報送信



- 送信先がパスコードを設定していない場合、本機からダイヤルするときにパスコードの入力は不要です。
- Fコード（サブアドレス、パスコード）を使用した通信はオンフックダイヤルや手動送信では使用できません。



### システム設定：アドレス帳（178ページ）

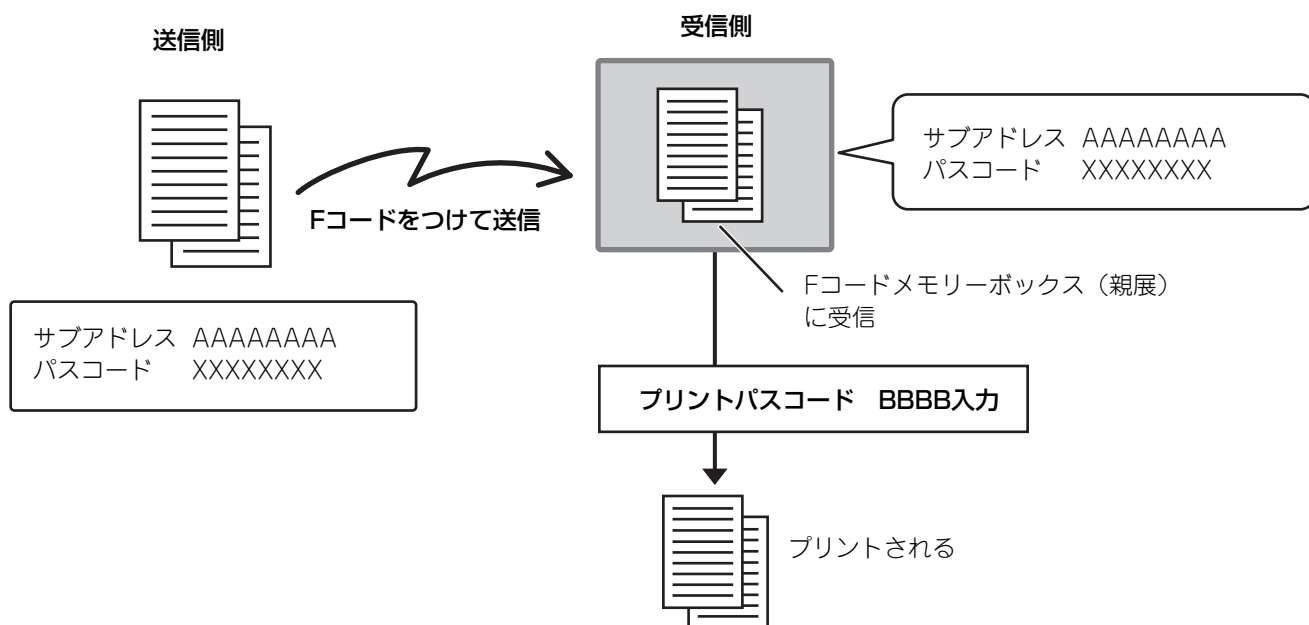
ワンタッチダイヤルやグループダイヤルを登録/変更します。


# Fコードを使って親展通信する


受信側（本機または相手機）で登録されているFコードメモリーボックス（親展）に送信することにより、そのメモリーボックスの利用者宛に特定したファクス送信が行えます。

特定の人以外に見られたくない重要な書類を送信するときや、複数の部門でファクスを共有使用する場合などに便利です。

本機でFコード親展受信した原稿データは、プリントパスコードを入力してプリントします。



 使用するFコードメモリーボックスのFコード（サブアドレス、パスコード）は、本機側と相手側で事前に確認しておいてください。

 **システム設定：Fコードメモリーボックス（183ページ）**  
Fコード親展通信（親展受信）で使用するメモリーボックスを作成します。  
メモリーボックス名、サブアドレス、パスコード、プリントパスコードを設定します。

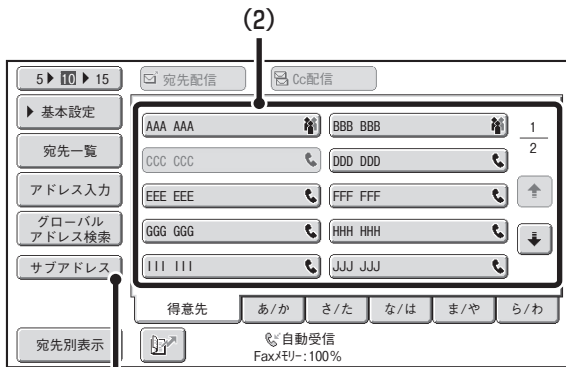
# Fコード親展送信する

相手先ファクス番号にFコード（サブアドレス、パスコード）を付けて送信します。

## 1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

## 2




### 相手先番号を入力する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 相手先のワンタッチキーをタッチする  
アドレス帳のワンタッチキーに登録されていない相手先は、数字キーで相手先番号を入力してください。

ワンタッチキーにサブアドレスとパスコードが登録されている場合は、以下の操作は不要です。手順3へ進んでください。


- (3) [サブアドレス]キーをタッチする  
「/」が入力されます。
- (4) 数字キーでサブアドレスを入力する
- (5) [サブアドレス]キーをタッチする  
「/」が入力されます。
- (6) 数字キーでパスコードを入力する


 送信相手先のメモリーボックスでパスコードが省略されている場合は、(5)(6)の操作は不要です。

## 3

### [スタート]キー（）を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー（）を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

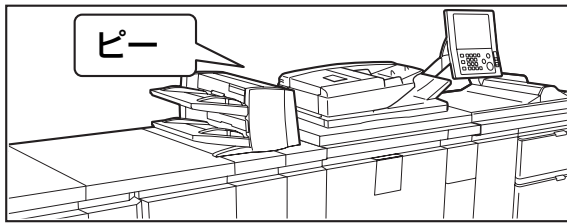
 この機能は、順次同報送信や時刻指定通信と組み合わせて使用できます。また、プログラムに登録することができます。



# Fコード親展受信した受信データをプリントする

相手側から送られてきたファクスはFコードで指定されたメモリーボックスに受信します。受信データをプリントするときは、プリントパスコードを入力してプリントします。

1



## 呼出音が鳴り、受信する

受信が終わると「ピー」音が鳴ります。

2

## 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

🔊 [特別機能の種類について](#) (87ページ)

(2) キーで画面を切り替える

(3) [メモリーボックス]キーをタッチする

3



## [データプリント]キーをタッチする

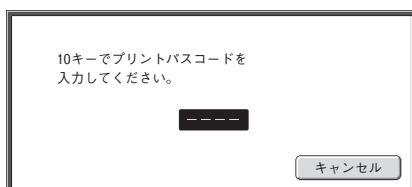
4



## 親展受信したメモリーボックスのキーをタッチする

受信したデータが入っているメモリーボックスのキーに が表示されます。データが入っていないメモリーボックスのキーはグレー表示され、選択できません。

5



## 数字キーでプリントパスコードを入力する

数字を入力すると「-」の表示が「\*」に変わります。



プリントパスコードを確認して正しく入力してください。間違えていた場合はメッセージを表示して入力画面に戻ります。[キャンセル]キーをタッチすると手順4に戻ります。

6

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す



- 親展受信したデータのプリントは自動的に優先されます。

- プリントすると受信データが消去されます。

- **プリントパスコードを忘れたときは…**

設定されているプリントパスコードは、本機で再確認することができません。取扱いには十分注意してください。万一、忘れてたりして再確認が必要な場合はお買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご相談ください。

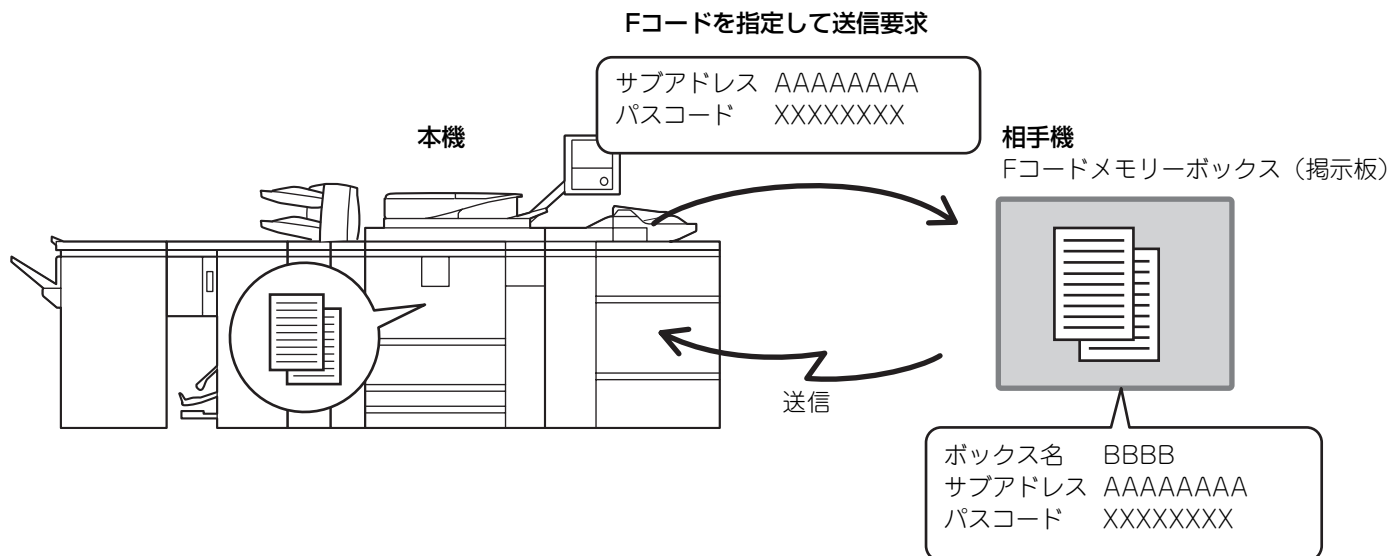


**システム設定 (管理者) : 通信結果表プリント設定 (ファクス初期設定)**

Fコード親展受信すると、通信結果表を自動的にプリントするように設定できます。

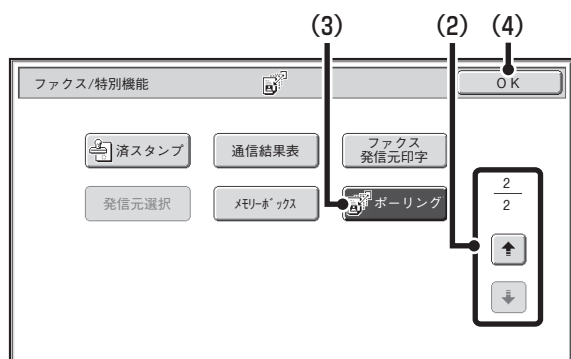
# Fコードを使ってポーリング受信する

相手機のFコードメモリーボックス（掲示板）に保存されている原稿データを本機からの操作で送信させて、これを受信する機能です。その際、相手機で保存している原稿データのFコード（サブアドレス、パスコード）を正しく指定しないと相手機側から送信されません。



- あらかじめ相手機のFコードメモリーボックスのFコード（サブアドレス、パスコード）を確認しておいてください。
- この機能を使用するときは、本機に原稿をセットしないでください。
- 電話料金は受信側（本機）にかかります。

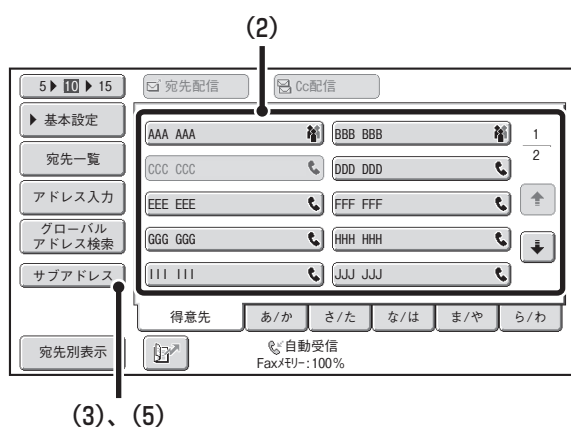
1



## ポーリングを設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする  
☞ [特別機能の種類について](#) (87ページ)
- (2) ↓ ↑ キーで画面を切り替える
- (3) [ポーリング]キーをタッチして反転表示にする
- (4) [OK]キーをタッチする

## 2



### 相手先番号を入力する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

アドレス帳のワンタッチキーに登録されていない相手先は、数字キーで相手先番号を入力してください。

ワンタッチキーにサブアドレスとパスコードが登録されている場合は、以下の操作は不要です。手順3へ進んでください。

(3) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(4) 数字キーでサブアドレスを入力する

(5) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(6) 数字キーでパスコードを入力する



送信相手先のメモリーボックスでパスコードが省略されている場合は、(5)(6)の操作は不要です。

## 3

### [スタート]キー (Ⓢ) を押す

相手機と通信後、原稿を受信します。



- 複数の相手先とポーリング受信を行う（順次ポーリング）ことはできません。
- Fコードポーリング受信は、時刻指定通信と組み合わせて使用できます。その際、設定できるのは1件のみです。  
☞ [時刻を決めて通信する（時刻指定通信）](#)（98ページ）



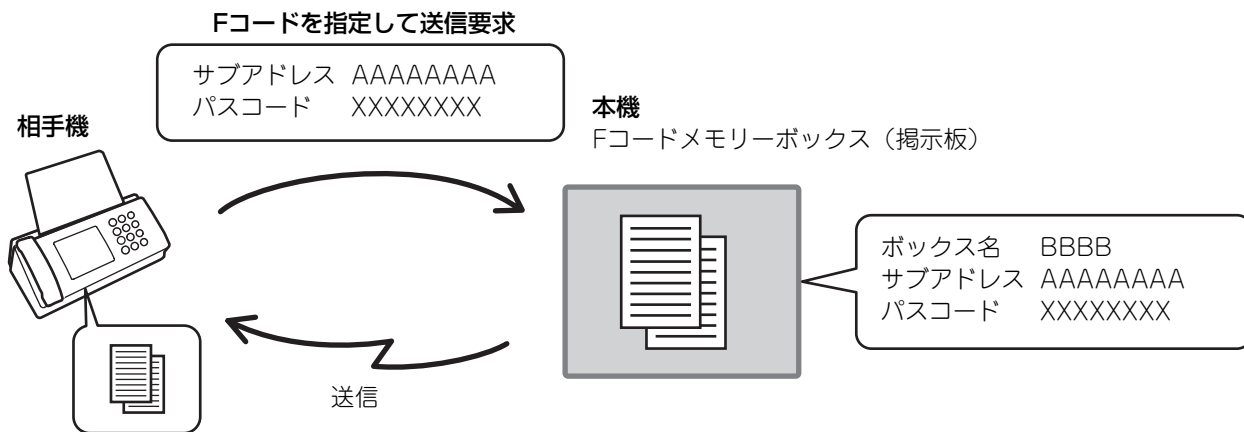
#### ポーリングを解除するときは…

手順1の操作で[ポーリング]キーをタッチして反転表示を解除してください。

# Fコードを使って掲示板送信する

本機のFコードメモリーボックス（掲示板）に保存している原稿データを、相手機から送信要求を受けた場合に相手機へ送信する機能です。その際、本機で設定している原稿データのFコード（サブアドレス、パスコード）を相手機が正しく指定しなかった場合は送信しません。

送信する原稿は、Fコードメモリーボックス（掲示板）に読み込んでおきます。



## システム設定：Fコードメモリーボックス（183ページ）

Fコード掲示板送信で使用するメモリーボックス（掲示板）を作成します。  
メモリーボックス名、サブアドレス、パスコードを設定します。

# Fコード掲示板用の原稿をメモリーボックスに読み込む

相手に送信するFコード掲示板用の原稿を本機のFコードメモリーボックス（掲示板）に読み込みます。



通信中のメモリーボックスに原稿を読み込むことはできません。

1

## 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

## 特別機能を選択する

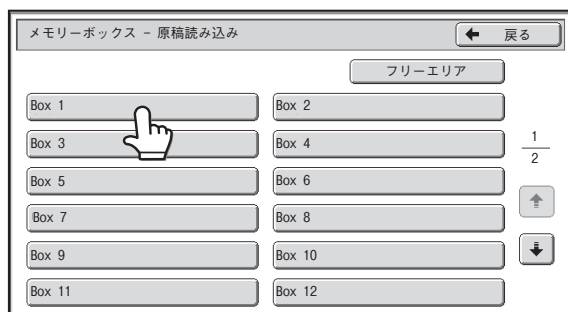
- (1) [特別機能]キーをタッチする  
🔊 [特別機能の種類について](#)（87ページ）
- (2) ⏴ ⏵ キーで画面を切り替える
- (3) [メモリーボックス]キーをタッチする

3



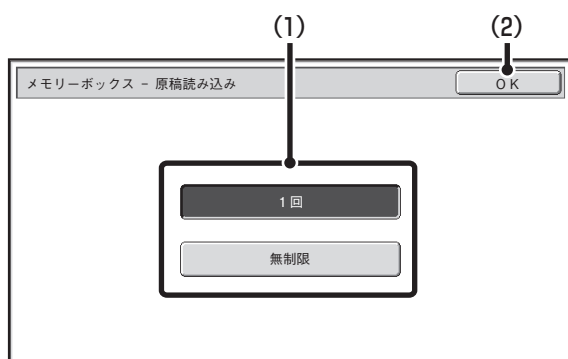
[原稿読み込み]キーをタッチする

4



Fコード掲示板用メモリーボックスのキーをタッチする

5



原稿の送信回数を設定する

(1) 送信回数のキーをタッチする

原稿を送信後消去するときは[1回]キーを、原稿を繰り返し送信するときは[無制限]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

6



読み込む原稿の設定や特別機能を設定する



- ここでは、プログラム、時刻指定、通信結果表、ポーリング、ドキュメントファイリングが設定できません。
- [メモリーボックスリスト]キーをタッチすると手順4の画面に戻ります。

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。  
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。



### 原稿の読み込みを中止するときは…


原稿読み込み中に[ストップ]キー (Ⓢ) を押してください。



- すでに他の原稿がメモリーボックスに保存されている場合、保存されている原稿のあとに追加登録されます。
- 工場出荷時は、相手機に送信した原稿は自動的に消去するように設定されています。




# Fコード掲示板用に保存した原稿をプリントする

Fコードメモリーボックス（掲示板）に保存されている原稿データをプリントして確認します。

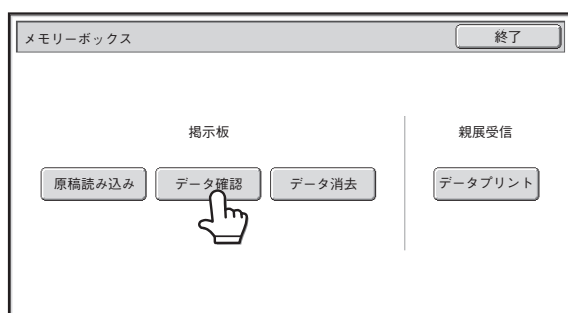
 通信中のメモリーボックス内の原稿データはプリントできません。

## 特別機能を選択する

1

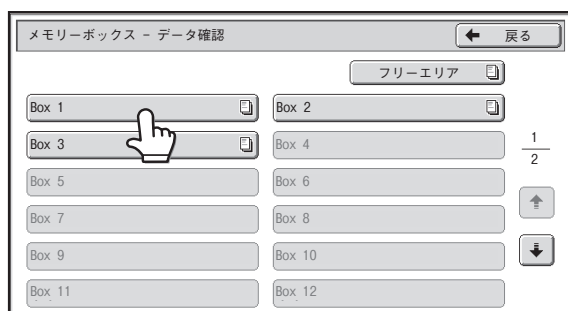
- (1) [特別機能]キーをタッチする  
 [特別機能の種類について](#)（87ページ）
- (2)   キーで画面を切り替える
- (3) [メモリーボックス]キーをタッチする

2




[データ確認]キーをタッチする

3




プリントしたい原稿が保存されているFコード掲示板用メモリーボックスのキーをタッチする

原稿が保存されているキーには  が表示されています。

4

## [スタート]キー（）を押す

選んだメモリーボックスの原稿をプリントします。

-  原稿のプリントを中止するときは…  
[プリント中止]キーをタッチしてください。






# Fコード掲示板用に保存した原稿を削除する

新しい原稿を保存する場合など、Fコードメモリーボックス（掲示板）に保存されている原稿を消去します。

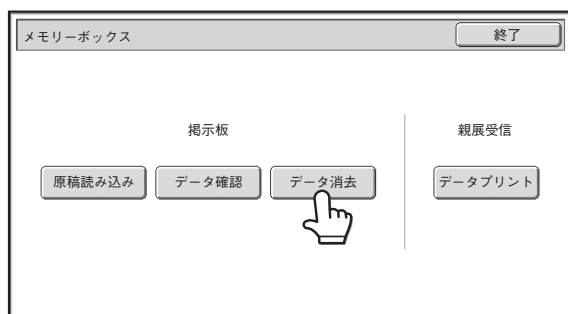
 通信中のメモリーボックス内の原稿データは削除できません。

## 特別機能を選択する

1

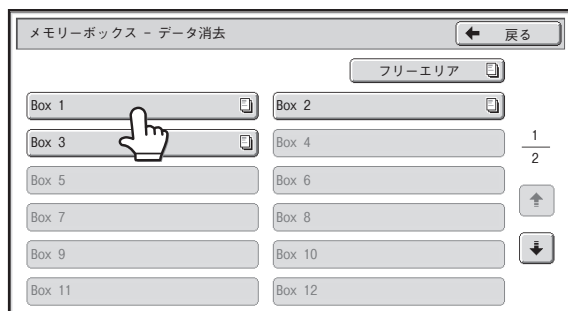
- (1) [特別機能]キーをタッチする  
 [特別機能の種類について](#)（87ページ）
- (2)   キーで画面を切り替える
- (3) [メモリーボックス]キーをタッチする

2




[データ消去]キーをタッチする

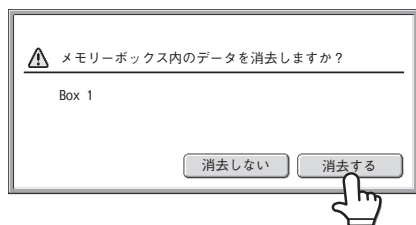
3



削除したい原稿が保存されているFコード  
掲示板用メモリーボックスのキーをタッチ  
する

原稿が保存されているキーにはが表示されています。

4



[消去する]キーをタッチする

選んだメモリーボックスの原稿を消去し、手順3の画面に戻ります。



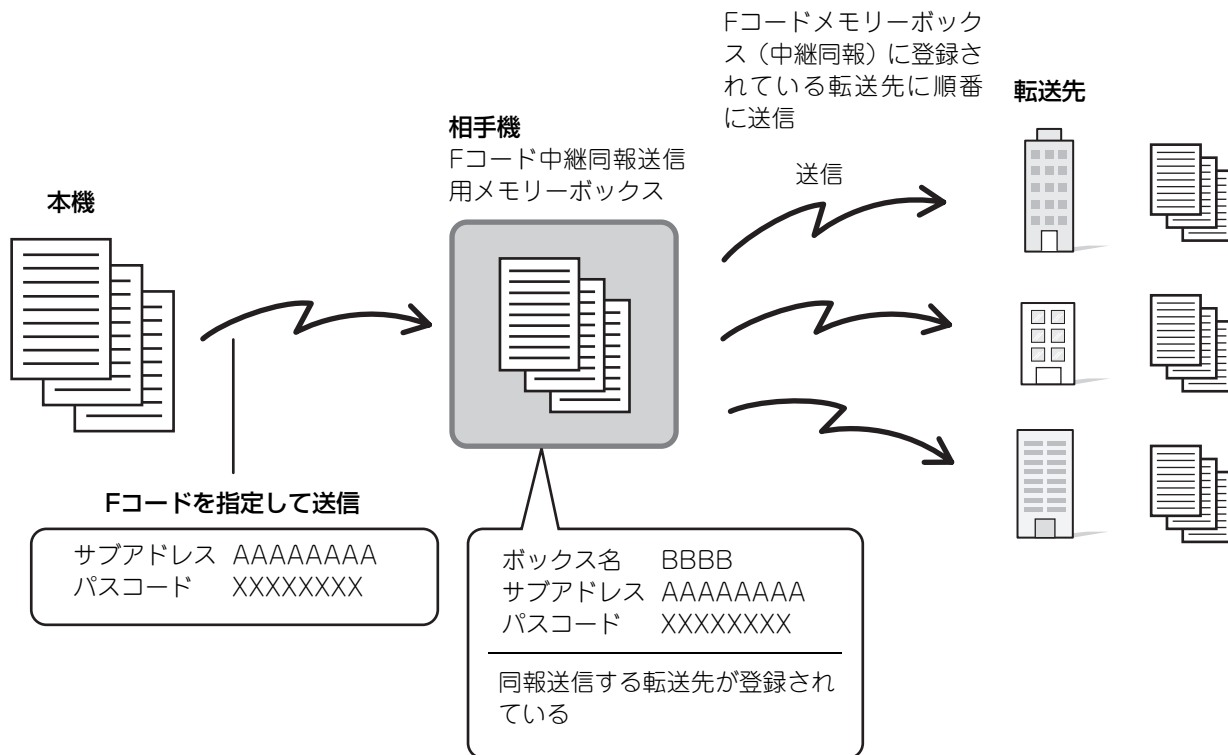
原稿の消去を中止するときは…

[消去しない]キーをタッチしてください。原稿を消去しないで、手順3に戻ります。

# Fコードを使って中継同報指示送信する

中継局となる相手機のFコードメモリーボックス(中継同報)に原稿を送信し、相手機から複数の転送先に送信させます。例えば、転送先の多くが遠距離の場合に転送先に近い相手機を選んで送信し、その相手機から中継すると通信料金が節約できます。また、時刻指定通信と組み合わせて夜間などに利用するとさらに経済的です。

📞 時刻を決めて通信する(時刻指定通信)(98ページ)

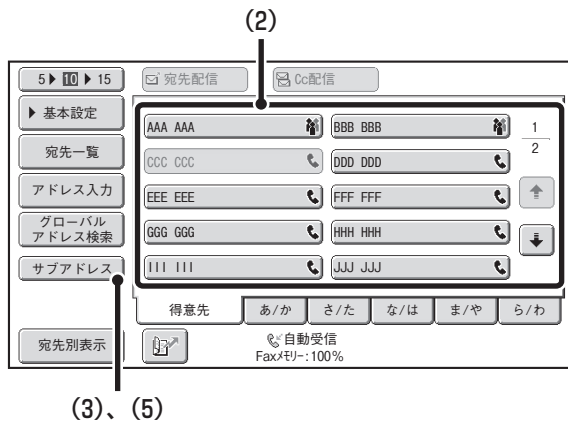


- 相手のFコードメモリーボックス(中継同報)のFコード(サブアドレス、パスコード)および転送先について、あらかじめ相手側に確認しておいてください。
- 転送先はあらかじめ相手のFコードメモリーボックス(中継同報)に登録しておいてください。
- 転送先はFコードに対応していなくても送信できます。
- この機能は、順次同報送信や時刻指定通信と組み合わせて使用できます。また、プログラムに登録することができます。
- 本機(中継指示局)にかかる通信料金は相手機(中継局)への送信のみで、各転送先への通信料金は相手機(中継局)にかかります。

⚙️ **システム設定：Fコードメモリーボックス(183ページ)**  
Fコード中継同報指示送信で使用するメモリーボックス(中継同報)を作成します。  
メモリーボックス名、サブアドレス、パスコード、転送先を設定します。

## 1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台(ガラス面)の場合は下向きにセットしてください。



## 相手先番号を入力する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

アドレス帳のワンタッチキーに登録されていない相手先は、数字キーで相手先番号を入力してください。

ワンタッチキーにサブアドレスとパスコードが登録されている場合は、以下の操作は不要です。手順3へ進んでください。

(3) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(4) 数字キーでサブアドレスを入力する

(5) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(6) 数字キーでパスコードを入力する



送信相手先のメモリーボックスでパスコードが省略されている場合は、(5)(6)の操作は不要です。

## [スタート]キー (Ⓢ) を押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[スタート]キー (Ⓢ) を押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

相手機で原稿を受信すると、登録されている転送先に自動的に送信します。

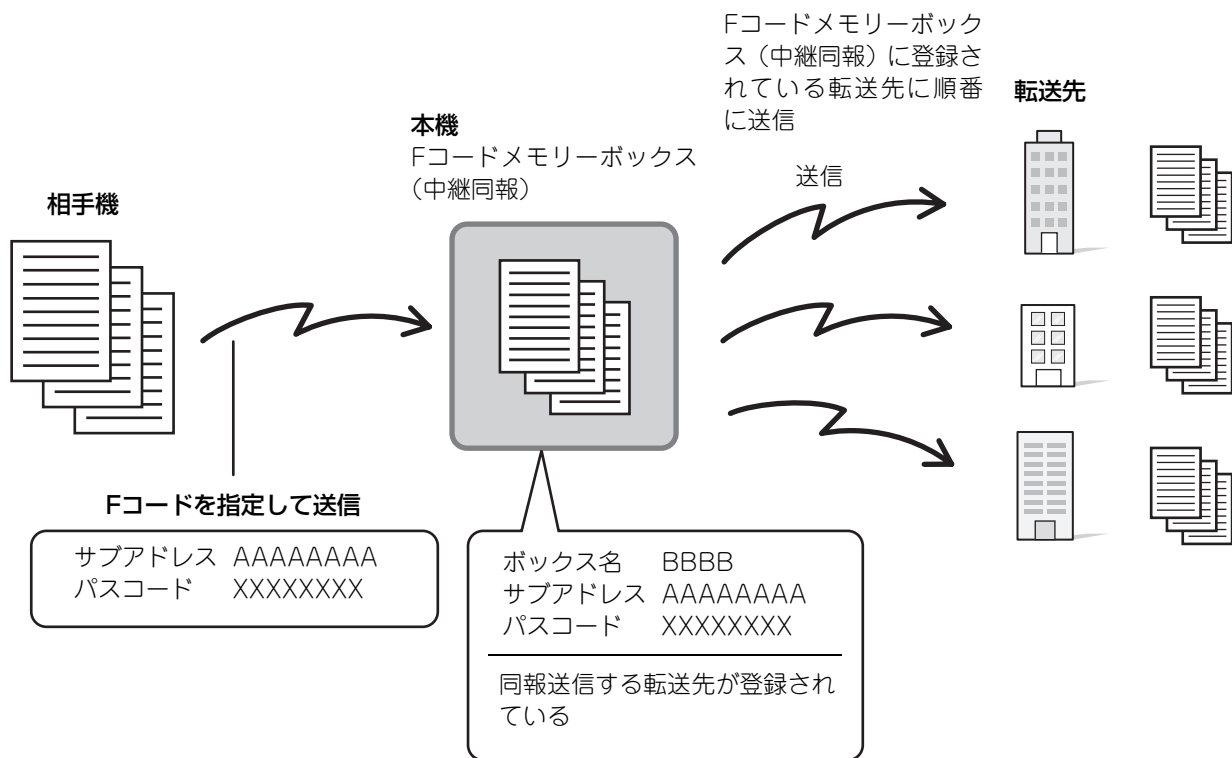


原稿の読み込みを中止するときは…

原稿読み込み中に[ストップ]キー (Ⓢ) を押してください。

# Fコードを使って中継同報送信する

本機に対してFコード中継同報指示送信が行われた場合、本機のFコードメモリーボックス（中継同報）に受信します。受信した原稿データは本機から登録されている複数の転送先に転送します。本機から転送先への送信は自動的に行われます。



- 本機のFコードメモリーボックス（中継同報）のサブアドレスとパスコードおよび転送先について、あらかじめ本機に対してFコード中継同報指示送信を行う相手側に伝えておいてください。
- 転送先は本機のFコードメモリーボックス（中継同報）作成時に登録しておいてください。  
☞ [Fコードメモリーボックス](#)（183ページ）
- 転送先はFコードに対応していなくても送信できます。
- 相手機（中継指示局）にかかる通信料金は本機（中継局）への送信のみで、各転送先への通信料金は本機（中継局）にかかります。

# 外部電話機を使用する

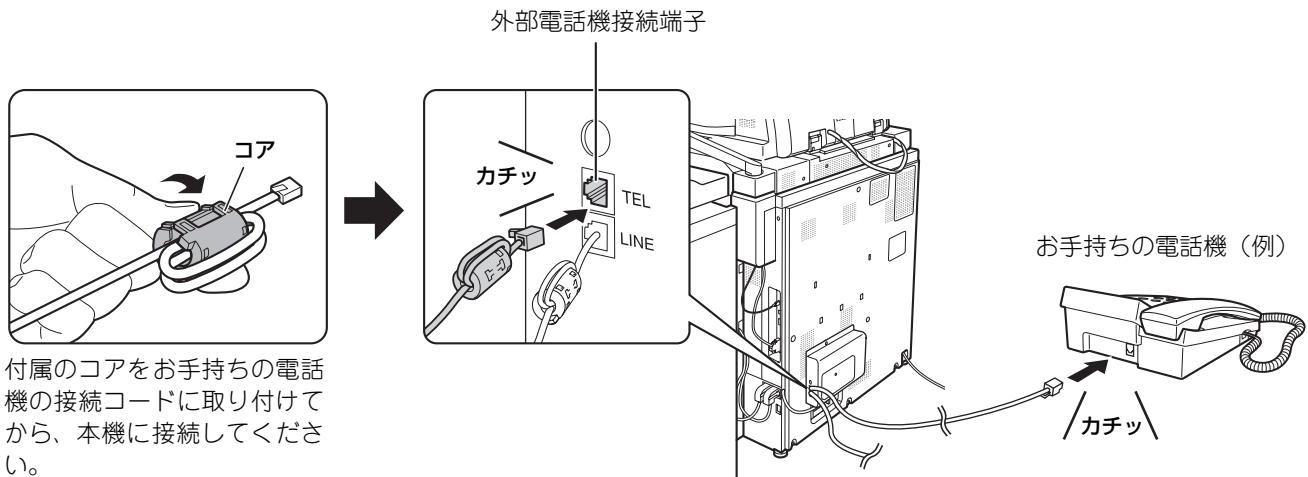
お持ちの電話機で相手の方と話してから送信をする方法や、電話機として使用する方法について説明しています。

## お手持ちの電話機を接続して使う（外部電話機接続）

お手持ちの電話機を本機に接続して使用することができます。


電話機としてお使いいただけるだけでなく、本機のファクス受信の操作を行うことができます。

下図のようにお手持ちの電話機を接続してください。接続後にシステム設定（管理者）の「外部電話接続」の設定を行ってください。



付属のコアをお手持ちの電話機の接続コードに取り付けてから、本機に接続してください。


- お手持ちの電話機からファクスを送信できません。
- お手持ちの電話機を使用するときは、着信を判別して電話／ファクスを自動的に切り替える「電話／ファクス自動切替設定」（下記）を設定すると便利です。
- 接続する電話機はモジュラージャック式のものをお使いください。また、接続は2芯線をお使いください。2芯線以外を使用すると接続した電話機が正しくはたらかないことがあります。
- 接続コードの形が合わないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご相談ください。

 **システム設定（管理者）：外部電話接続**  
外部電話機を使用する設定を行います。

## 着信を判別し自動的に電話／ファクスを切り替える

着信が電話の場合は呼出音で呼び出し、ファクスの場合は自動受信します。

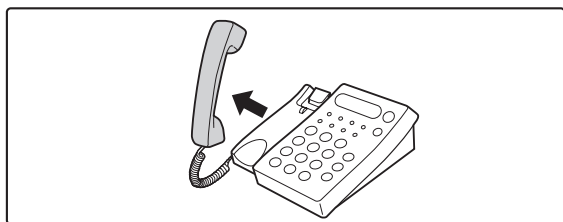
電話に出て相手のかたと通話したときは、ファクスをリモート受信してください。

- **システム設定（管理者）：電話／ファクス自動切替設定**  
電話／ファクスの自動切替を行うように設定します。工場出荷時は、呼出音が6回鳴ると自動的にファクス受信に切り替わるように設定されています。呼出音の回数は変更できます。
- **システム設定：受信設定**  
電話／ファクス自動切替を使用する場合は、「自動受信」に設定してください。  
 [受信／転送設定](#)（185ページ）

# 接続した電話機で電話に出てファクスを受信する（リモート受信）

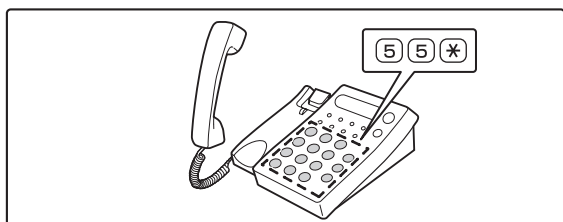
かかってきた電話に出て相手のかたと通話してから原稿を受信します。  
回線ダイヤル回線をお使いの場合、お手持ちの電話機をトーン信号が発信できる状態にして操作してください。  
ファクス受信の詳細については、「[ファクスを受信する](#)」（154ページ）を参照してください。

1



呼出音が鳴っているあいだに受話器を取り上げて通話する

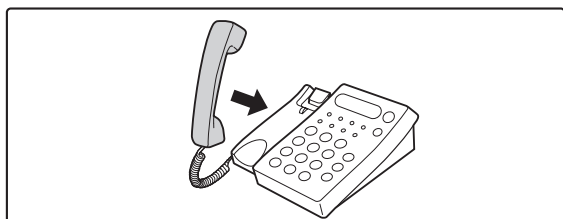
2



本機をファクス受信に切り替える

お手持ちの電話機で **5 5 \*** とダイヤルしてください。

3



受話器を戻す

本機で受信が終わると「ピー」音が鳴ります。



• システム設定：受信設定（ファクス設定）

リモート受信する場合は、「手動受信」に設定してください。

☎ [受信/転送設定](#)（185ページ）

• システム設定（管理者）：リモート切替番号設定

本機をファクス受信に切り替えるリモート番号を変更できます。工場出荷時設定は、「55」に設定されています。

## 留守番電話を使用する（留守接続）

電話がかかってくるとお手持ちの留守番機能付き電話機で呼出音が鳴ってから相手のかたのメッセージを録音することができます。

ファクスが送信されてきている場合、お手持ちの留守番機能付き電話機で呼出音が鳴ってから、自動的に本機でファクスを受信します。

お手持ちの電話機が、設定している回数以内で留守番機能がはたらくように設定しておいてください。



- **システム設定（管理者）：留守番電話接続設定**

留守番機能がある電話機を接続したときに設定します。呼出音が鳴る回数を変更できます。工場出荷時は8回に設定されています。

- **システム設定：受信設定**

この機能を使用するときは、「留守接続」に設定してください。

☎ [受信/転送設定](#)（ファクス設定）（185ページ）

## 電話をかける／受ける

電話をかける／受ける操作は、お手持ちの電話機で電話をかける／受ける場合と同じです。

# 6 受信機能について

この章では、受信のしかたや受信したデータの転送機能について説明しています。

## インターネットFaxを受信する

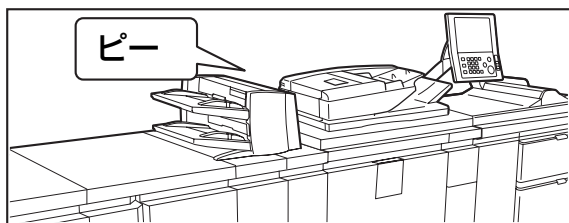
インターネットFaxは、定期的※にメールサーバ（POP3サーバ）に接続して着信の有無を確認し、着信していれば自動的に受信してプリントします。

※ 工場出荷時は、5分間隔で確認するように設定されています。



- 夜間などに受信する場合は、本機の主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。
- ファクス受信については、「[ファクスを受信する](#)」（154ページ）を参照してください。

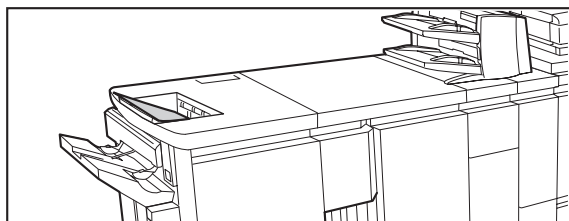
1



### 自動的に受信する

受信が終わると「ピー」音が鳴ります。

2




### 自動的にプリントする

プリントされずにパスワード入力画面が表示されたときは、受信データをプリントするためにパスワードが設定されています。「[パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）](#)」（156ページ）を参照してください。



用紙切れや受信データをプリントするサイズ用の紙がセットされていないときは、タッチパネルにメッセージが表示されません。メッセージの指示に従い、適切な用紙をセットしてください。



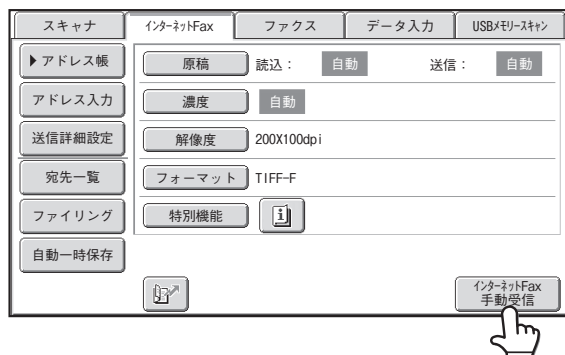
- **システム設定：受信/転送設定（インターネットFax設定）（185ページ）**  
用紙切れやトナー切れで受信データをプリントできないときは、あらかじめ登録しておいた他のインターネットFaxに受信データを転送してプリントすることができます。
- **システム設定（管理者）：インターネットFax初期設定**  
[電源]キー（）を“切”（主電源スイッチは“入”）にしたときの受信データの扱い、受信が終わったときに鳴る「ピー」音（受信音）の音量、受信したメールの本文をプリントするかどうかの設定ができます。
- **システム設定（管理者）：インターネットFax受信設定**  
受信確認の間隔、両面受信の設定、排紙設定、自動縮小プリントなどインターネットFaxの受信に関する設定ができます。
- **システム設定（管理者）：特定アドレス/ドメイン受信可否設定**  
登録したアドレス/ドメインに対して受信の許可/拒否を設定できます。





# インターネットFaxを手動で受信する

受信間隔を長めに設定しているときなど、ただちに受信の有無を確認したいときは、手動で受信操作を行うことができます。

インターネットFaxモードの基本画面にある[インターネットFax手動受信]キーをタッチすると、メールサーバに接続して新着データの受信を開始します。



 WebページからPOP3サーバを設定していない場合、[インターネットFax手動受信]キーは薄く表示され、タッチできません。

 **システム設定：受信/転送設定（インターネットFax設定）（185ページ）**  
インターネットFaxモードの基本画面に[インターネットFax手動受信]キーを表示させないように設定できます。[インターネットFax手動受信]キーを表示させないように設定したときは、「受信/転送設定」→「インターネットFax設定」の画面上にある[今すぐ受信]キーをタッチして手動受信してください。

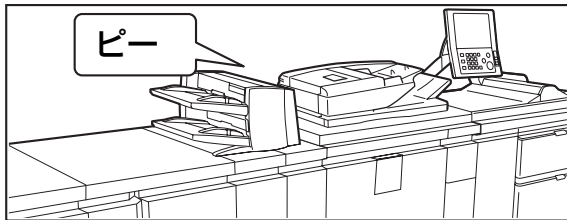
# ファクスを受信する

本機でファクスを受信するときは、ファクス受信モードを「自動受信」でお使いいただくとファクスを自動的に受信してプリントします。



夜間などに受信する場合は、本機の主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。

1



## 呼出音が鳴り、自動的に受信が開始される

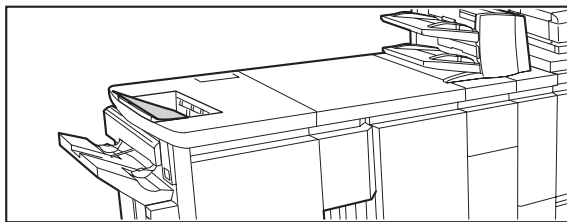
受信が終わると「ピー」音が鳴ります。



### システム設定（管理者）：自動受信コール回数設定

着信までの呼出音の回数を変更できます。0回に設定すると呼出音を鳴らさずに受信できます。

2



## 自動的にプリントされる

プリントされずにパスワード入力画面が表示されたときは、受信データをプリントするためにパスワードが設定されています。「[パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）](#)」（156ページ）を参照してください。



### 排紙するトレイやステーブル（フィニッシャー／サドルフィニッシャー装着時）を設定することができます。

受信したデータをプリントする際に、部数を設定することができます。フィニッシャー装着時／サドルフィニッシャー装着時には、プリントする部数、排紙するトレイ、ステーブルを設定することができます。詳細は、管理者ガイドを参照してください。




- 受信したデータをプリントする際に、コピー機能やプリンタ機能などのプリントジョブが実行中の場合、先に予約されているジョブが終了してから受信したデータをプリントします。
- 用紙切れや受信データをプリントするサイズ用の紙がセットされていないときは、タッチパネルにメッセージが表示されます。メッセージの指示に従い、適切な用紙をセットしてください。



### システム設定：受信/転送設定（ファクス設定）（185ページ）

用紙切れやトナー切れで受信データをプリントできないときは、あらかじめ登録しておいた他のファクスに受信データを転送してプリントすることができます。

#### システム設定（管理者）：ファクス初期設定

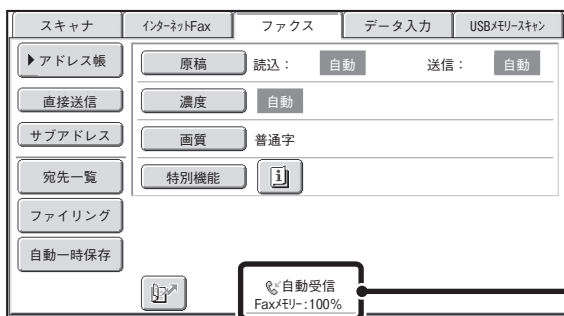
[電源]キー（）を“切”（主電源スイッチは“入”）にしたときの受信データの扱い、受信が終わったときに鳴る「ピー」音（受信音）の音量などの設定ができます。

#### システム設定（管理者）：ファクス受信設定



両面受信の設定、排紙設定、自動縮小プリントなどファクスの受信に関する設定ができます。

# ファクスの受信モードについて

ファクスの受信モードは基本画面に表示されています。通常は「自動受信」に設定してお使いください。「留守接続」は留守番電話機を外部電話機として接続しているときに設定してください。



現在のファクス受信モードとメモリー残量を表示しています。

- 受信中でもメモリー送信モードで送信の操作を行うと、送信予約することができます。  
▶ [メモリー送信モードで送信する](#) (54ページ)
- 受信したファクスをプリントするために本機用の紙トレイに必要な用紙をセットしておいてください。A4サイズとB5サイズの縦向き（）と横向き（）の違いは受信時に自動的に調整されますので両方の向きに用紙をセットしておく必要はありません。  
A4サイズより小さな原稿を受信したとき、プリントされる用紙サイズは送信側の原稿セット方向（縦向き／横向き）によって異なります。
- **システム設定：受信設定**  
ファクス受信モードを切り替えます。  
▶ [受信/転送設定](#)（ファクス設定）（185ページ）
- **システム設定（管理者）：特定番号受信拒否設定**  
あらかじめ登録しておいた番号からのファクスを受信拒否できます。

# ファクスを手動で受信する

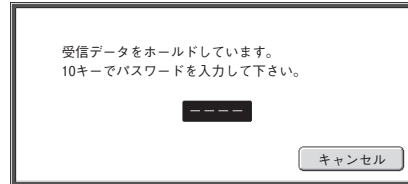
送信されてきたファクスをタッチパネルの操作で受信することができます。電話が鳴っているあいだに基本画面の[オンフック]キーをタッチし、表示される[ファクス手動受信]キーをタッチしてください。





- [オンフック]キーをタッチして電話に出たときは、相手側の声は聞こえますがこちらから話すことはできません。
- 外部電話機を使って応答したときはタッチパネルを使っての受信はできません。外部電話機を操作して受信してください。  
▶ [接続した電話機で電話に出てファクスを受信する（リモート受信）](#)（150ページ）

# パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）

システム設定（管理者）の「受信データ印字ホールド設定」で、受信データをプリントせずにメモリーに保存し、パスワードを使用してプリントするように設定できます。この機能を使用している場合、インターネットFaxやファクスを受信するとタッチパネルにパスワード入力画面が表示されます。



あらかじめ登録されたパスワード（4桁の数字）を数字キーで入力すると、プリントが開始されます。[キャンセル]キーをタッチするとパスワード入力画面が消えますが、保存データがあることをお知らせするキー（) がタッチパネル上で点滅表示されます。点滅しているキー（) をタッチするか、モードを切り替えるとパスワード入力画面が再び表示されます。



- 受信データは、自動受信、手動受信にかかわらずメモリーに保存されます。受信時に通信結果表をプリントするように設定しているときは、通信結果表もいっしょに保存されます。
- システム設定の「受信/転送設定」で受信データを他機へ転送する場合、メモリーに保存されているデータも転送されます。その際、プリント時と同様のパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力しないと転送することはできません。

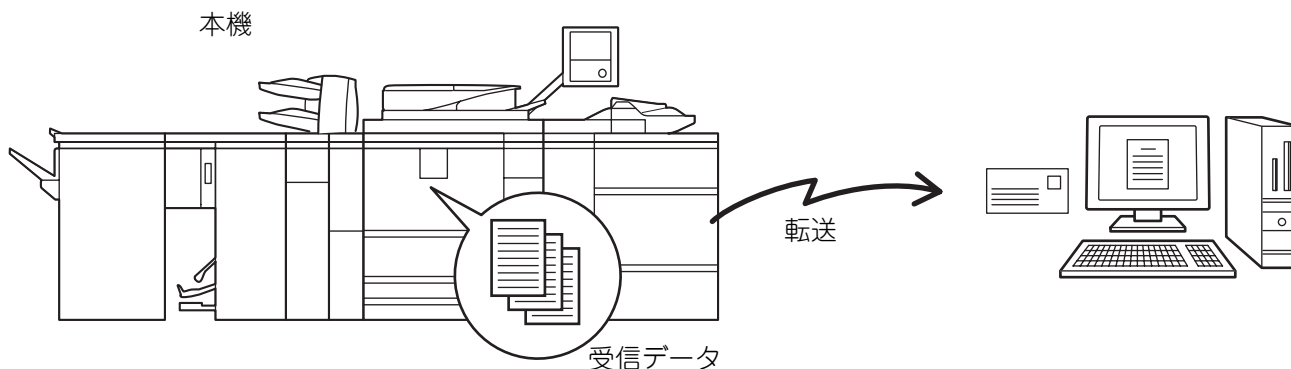


## システム設定（管理者）：受信データ印字ホールド設定

受信データをプリントせずにメモリーに保存し、パスワードを使用してプリントするように設定できます。パスワードの登録もここで行います。

# 受信したデータをE-mailアドレスに転送する (受信データのE-mail転送設定)

インターネットFaxやファクスの受信データを、E-mailアドレスに自動的に転送することができます。この機能を設定すると、受信データをプリントせずに、指定したE-mailアドレスへ転送するという使いかたができます。



- この機能を使用するには、ネットワークスキャナ拡張キットが必要です。
- 親展受信したデータは、この機能を使用できません。

## 受信データのE-mail転送設定を行う

受信データのE-mail転送設定は、すべてWebページで行います。Webページへのアクセス方法については、かんたん操作ガイドを参照してください。

以降の説明は、管理者権限でWebページにアクセスしていることを前提にしています。

受信データのE-mail転送を行うには、次の手順で設定を行ってください。

The screenshot shows a web interface for '管理設定' (Management Settings). At the top, there are buttons for '登録(U)' (Register) and '更新(R)' (Update). Below this is the '受信データのE-mail転送設定' (E-mail Transfer Settings) section. It includes a dropdown menu for '受信データのE-mail転送' (E-mail Transfer of Received Data) set to '有効' (Effective). There are three checkboxes: '転送テーブルの登録禁止' (Prohibit registration of transfer tables), '転送テーブルの変更/削除禁止' (Prohibit modification/deletion of transfer tables), and '転送許可の変更の禁止' (Prohibit change of transfer permission). Below these is the '受信データのプリント設定' (Print Settings for Received Data) section with two radio buttons: '常にプリント' (Always print) and 'エラー時のみプリント' (Print only in error cases). At the bottom, there are buttons for '登録(U)' (Register) and '更新(R)' (Update).

### 受信データのE-mail転送設定機能を有効にする

- (1) Webページメニューで[アプリケーション設定] → [受信データのE-mail転送設定] → [管理設定] をクリックする
- (2) 「受信データのE-mail転送」で[有効]を選択して[登録]ボタンをクリックする

1



この設定画面では、転送テーブルの登録、変更/削除、使用する転送テーブルの指定について、管理者権限のないユーザーの操作を禁止することができます。操作を禁止する場合は、下記項目のチェックボックスを  にしてください。

- 転送テーブルの登録禁止
- 転送テーブルの変更/削除禁止
- 転送許可の変更の禁止

また、受信データを転送する際、本機でプリントを行うかどうかを設定できます。

受信データを常にプリントしてから転送させる場合は、「受信データのプリント設定」で[常にプリント]を選択してください。[エラー時のみプリント]が選択されている場合は、何らかのエラーにより転送できなかったときのみ受信データをプリントします。

これらの設定を行ったあとは、必ず[登録]ボタンをクリックしてください。

## 送信元アドレスを登録する

特定のアドレスから受信したデータのみをE-mail転送の対象とする場合は、対象となる送信元のアドレスを登録してください。ここで登録した送信元アドレスは、転送テーブルを登録する際にリストから選択できるようになります。

(1) Webページの[受信データのE-mail転送設定]メニューにある[送信元番号/アドレスの登録]をクリックする

(2) 「インターネット Fax アドレス」または「ファクス番号」に送信元のアドレスを入力し、[リストへ追加] ボタンをクリックする

入力したアドレスが、「入力されたアドレス」のリストに追加されます。

- アドレスは直接入力してください。(半角 1500 文字まで入力できます。)
- 複数のアドレスを登録する場合は、この操作を繰り返してください。

(3) すべての宛先を入力し終わったら、[登録] ボタンをクリックする



- 登録できる発信元番号/アドレスの件数は最大で500件です。
- 入力したアドレスを削除する場合は、「入力されたアドレス」から削除したいアドレスを選択し、[削除] ボタンをクリックしてください。

## 転送テーブルを登録する

受信データの転送元と、転送先のアドレスを指定して転送テーブルを登録します。

(1) Webページメニューの[受信データのE-mail転送設定]をクリックし、[追加] ボタンをクリックする

(2) 「転送テーブル名」を入力する

(3) 転送の対象となる送信元を選択する

- 受信したすべてのデータを転送する場合は、[すべての受信データを転送する]を選択してください。
- 特定のアドレスからの受信データのみを転送する場合は、[以下の送信元からの受信データを転送する]を選択し、対象となる送信元をリストから選択して[追加] ボタンをクリックしてください。

(4) 転送先を選択する

転送先は、本機のアドレス帳に登録されているE-mailアドレスのみ指定できます。(複数のアドレスを指定することができます。)

(5) [登録] をクリックする



- 転送の対象となる送信元を「送信元番号/アドレスの設定」のリストから選択するときは、キーボードの[Shift]キーや[Ctrl]キーを使って複数選択することができます。
- 登録できる転送テーブルの件数は最大で50件です。

受信データのE-mail転送設定

---

受信データのE-mail転送設定: 有効

表示件数:

転送テーブル名 ▲ ▼	転送許可
<input type="checkbox"/> 転送テーブル1	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 転送テーブル2	<input type="checkbox"/>

総テーブル数 2

前表示(N) 1 / 1

## 使用する転送テーブルを指定する

登録した転送テーブルのうち、使用する転送テーブルを指定して有効にすることで、受信データのE-mail転送が機能します。

- (1) Webページメニューの[受信データのE-mail転送設定]をクリックする
- (2) 使用する転送テーブルの[転送許可]チェックボックスを  にする
- (3) [登録]をクリックする



転送テーブル名の横にあるチェックボックスを  にして [削除] をクリックすると、選択した転送テーブルを削除することができます。

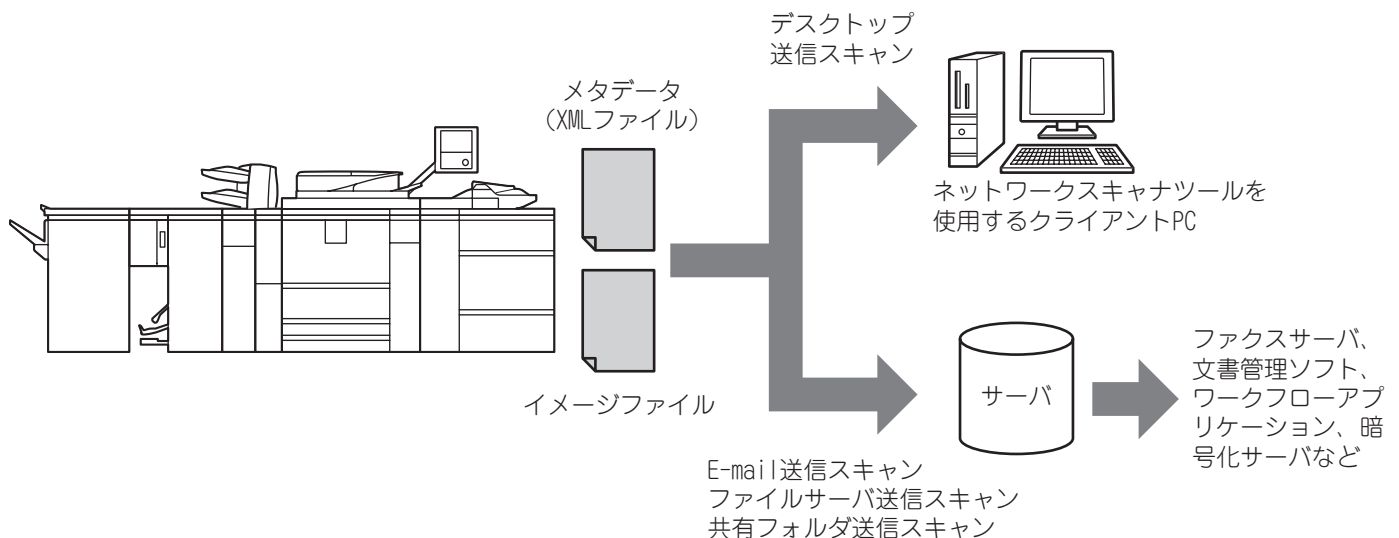
# 7

## メタデータ送信について

この章では、アプリケーション拡張キット装着時に使用できるメタデータ送信について説明しています。

### メタデータ送信（データ入力）とは

アプリケーション拡張キットを装着すると、スキャン送信時に生成される画像ファイルとは別に、あらかじめ登録しておいた情報を元にメタデータ（送信データの属性や処理方法を示すデータ）を生成して送信処理を行うことができます。メタデータはXML形式で作成されます。文書管理ソフト、ワークフローアプリケーション、暗号化サーバなどのアプリケーションプログラムとメタデータを連動させることにより、高度なドキュメントソリューション環境を構築することができます。



アプリケーション拡張キットを使用すると、生成される画像ファイルの情報データをタッチパネルから入力し、画像とともにXMLファイルとして送信することができます。



# メタデータ送信を行うための準備

## Webページで必要な設定・登録を行う


メタデータに関する設定は、すべてWebページで行います。(管理者権限が必要です。)

Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[メタデータ設定]をクリックして行ってください。

その際、必ずメタデータ送信を有効に設定してください。


## メタデータセットを登録する

スキャン時に生成されるXMLファイルに書き込まれる項目(メタデータセット)を登録します。メタデータセットには、最大10件のメタデータ項目を設定できます。登録したメタデータセットは、送信操作時に選択できるようになります。

 メタデータセットを登録する際に、「メタデータの入力を許可する宛先のタイプ」で指定した宛先は、送信操作時にワンタッチキー、手動入力、グローバルアドレス帳検索を使用して送信先を指定することができます。(メタデータの入力が許可されていない宛先は送信先に指定できません。)

## デスクトップ送信スキャンでメタデータ送信を行うときは

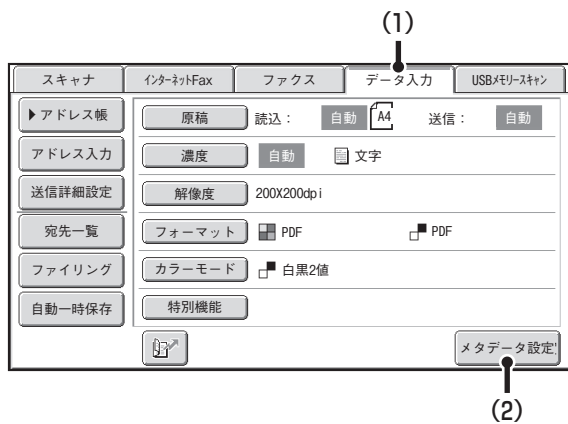
初期設定でネットワークスキャナツールを使用すると、コンピュータ上に新たなファイル名でファイルが生成されるように設定されています。メタデータファイルを他社製アプリケーションソフトへ送信する手段としてネットワークスキャナツールを使用する場合、本機が生成したファイル名を画像ファイルとXMLファイルとで相互に参照できるように、この設定を無効にしておく必要があります。([送信詳細設定]でファイル名を設定するときは、コンピュータ上にある既存のファイルが、同名で送信されたファイルによって上書きされないようにするため、生成されるファイルの名前に独自の識別子(日付など)を含めるなど、重複しないファイル名の設定を必ず行ってください。ファイル名が空欄のときは、本機が自動的に重複しないファイル名を生成します。)

- 
- メタデータを受信するには、ネットワークスキャナツールを使用することをお勧めします。詳しくは、「Sharpdesk/ネットワークスキャナユーティリティ」CD-ROMに収録されているネットワークスキャナツールユーザーガイド(PDF形式)を参照してください。
  - アプリケーション拡張キットに付属のCD-ROMの取り扱いおよび使用許諾契約については、別冊の「Sharpdeskライセンスキット」取扱説明書を参照してください。
  - 他社製アプリケーションソフトの利用について**  
他社製のアプリケーションソフトにはさまざまな種類があり、アプリケーションソフトによってはネットワークスキャナツールから自動的に起動できる場合とできない場合があります。アプリケーションソフトの自動起動機能を有効にしている場合、ネットワークスキャナツールは、ファイル名をパラメータとして「.exe」を起動させます。通常は、画像ファイルとXMLファイルそれぞれのために1回づつ、計2回アプリケーションソフトを起動します。たとえば、ネットワークスキャナツールが「APP.EXE」というアプリケーションを起動するように設定されている状態で、「IMG.TIF」と「IMG.XML」という2つのファイルを受信した場合、次のコマンドが適用されます。  
APP.EXE IMG.TIF  
APP.EXE IMG.XML

# メタデータ送信のしかた

次の手順でメタデータセットを選択して各項目を入力し、メタデータ送信を行ってください。

1



データ入力モードに切り替え、メタデータセット画面を表示する

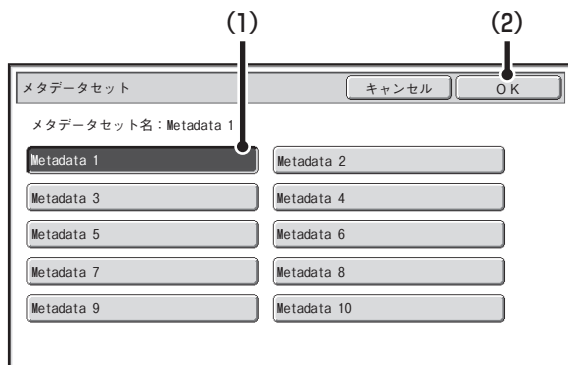
(1) [データ入力]タブをタッチする

(2) [メタデータ設定]キーをタッチする



- メタデータセットが1つも登録されていないときは、[データ入力]タブはタッチできません。Webページでメタデータセットを登録してから送信操作を行ってください。
- 特定のメタデータセットをデフォルトに設定している場合は、手順3へ進んでください。

2



メタデータセットを選択する

(1) 使用するメタデータのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

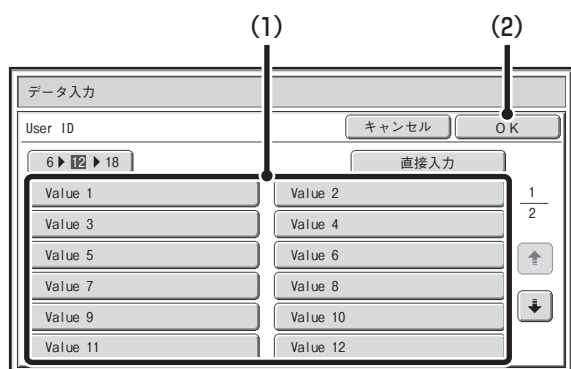
3



メタデータセットに登録されている項目のキーが表示されるので、入力する項目のキーをタッチする



選択するメタデータセットをまちがえたときや、デフォルト設定されている場合に他のメタデータセットを使用するときは、[メタデータセット]キーをタッチしてください。表示されるメッセージ画面の[はい]キーをタッチすると、手順2の画面に戻ります。それまでに入力したメタデータ項目は無効になります。



## 選択したメタデータ項目を入力する

### (1) 入力する値のキーをタッチする

- メタデータ項目の入力値が選択形式で登録されている場合は、選択肢がキーで表示されます。値が編集可能な場合は、[直接入力]キーをタッチして手動で入力することができます。
- 文字入力を必要とするメタデータ項目の場合は、文字入力画面が表示されます。必要な情報を入力してください。

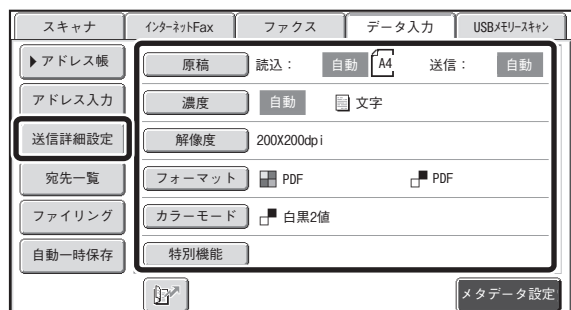
### (2) [OK]キーをタッチする



- 一度に表示する項目の個数を変更するときは、表示件数切り替えキーをタッチしてください。タッチすることによって6件、12件、18件と切り替わります。
- 文字入力のしかたはユーザズガイドの「7. 文字入力について」を参照してください。



## すべての項目を入力したら、[OK]キーをタッチする



## 原稿の読み込み設定などを行い、スキャン送信を行う

- 各種設定や送信操作は、他のモードと同様の操作で行ってください。
- [メタデータ設定]キーを再度タッチすると、選択したメタデータセットの入力画面が表示され、入力した値を修正することができます。



カラー拡張キットを装着していない場合は、[カラーモード]キーは表示されません。



- [データ入力]タブを表示した状態で、メタデータ設定を行わずに送信することはできません。メタデータ送信を行わないときは、それぞれのモードのタブをタッチしてモードを切り替えてから送信操作を行ってください。
- メタデータ設定を行う前は、使用できるすべてのモードの宛先を指定することができます。メタデータ設定後は、選択したメタデータで許可されているモードの宛先のみ指定することができます。
- [データ入力]タブで宛先を指定したときや、メタデータ設定を行ったときは、他のモードに切り替えることはできません。
- ドキュメントファイリング機能を使用してメタデータ送信することができます。ドキュメントファイリングモードの送信設定画面に[データ入力]タブが表示され、メタデータ送信の実行が許可されます。また、Webページの[ファイル操作]からドキュメントファイリング機能を使用してメタデータ送信することもできます。

# メタデータフィールドについて

送信されるXMLファイルには、次の3種類のメタデータが含まれています。

- 本機が自動生成したデータ： これらのデータはXMLファイルに常に含まれていて、自動的にお使いのコンピュータに格納されます。
- あらかじめ定義されたフィールド： これらのフィールドは、本機によって自動的に認識され、適切なXMLタグへ配置されます。これらのフィールドは選択可能で、Webページで設定された場合のみ、XMLファイルに含まれます。
- ユーザー定義のフィールド： XMLファイルにカスタムフィールドを加えることができます。これらのフィールドは選択可能で、Webページで定義することができます。

定義したメタデータフィールドが次のいずれかの場合、入力できないことを知らせるメッセージが表示されます。送信詳細設定画面の関連項目に適切な情報を入力してください。

メタデータフィールドに入力された名前	内容	入力場所
fromName	ジョブを送信したユーザー名です。名前がメタデータとして入力されていないと、送信者を決定する通常の規則により決められた送信者名がメタデータとして適用されます。	[返信先名] (選択された送信者の送信者名)
replyTo	送信結果を送信するためのE-mailアドレスです。	[返信先名] (選択された送信者のE-mailアドレス)
documentSubject	E-mailの「件名」欄に記載されるジョブの件名、またはファクスの表紙に記載されるジョブの件名です。ユーザーが操作パネル上から送信詳細設定画面の[件名]を入力した場合、入力された値はメタデータとして適用されます。	[件名] (送信詳細設定画面で値が設定されるまでは空欄のままです。)
fileName	送信する画像データのファイル名を入力します。	[ファイル名] (Webページのメタデータ設定画面上で[ファイル名の編集を許可する]チェックボックスが <input checked="" type="checkbox"/> になっている場合のみ) (送信詳細設定画面で値が設定されるまでは空欄のままです。)

# 8 通信状況を確認する

送信予約や受信の状況を確認する方法について説明しています。

## ジョブ状況画面について

操作パネルの[ジョブ状況]キーを押すと、ジョブ状況画面が表示されます。ジョブ状況画面はモード別に切り替えることができ、[ジョブ状況]キーを押す前に使用していたモードのジョブ状況画面が表示されます。ここでは、予約された送信や受信をジョブと呼びます。

例：スキャナモードで使用しているとき



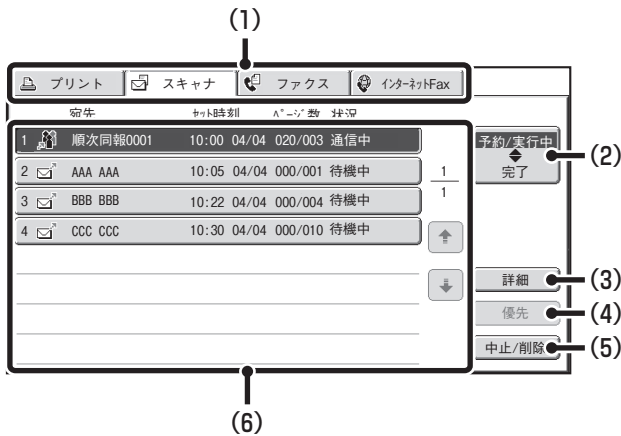
タッチパネルの左下にはジョブ状況表示部があります。ジョブ状況表示部をタッチしてジョブ状況画面を表示することができます。



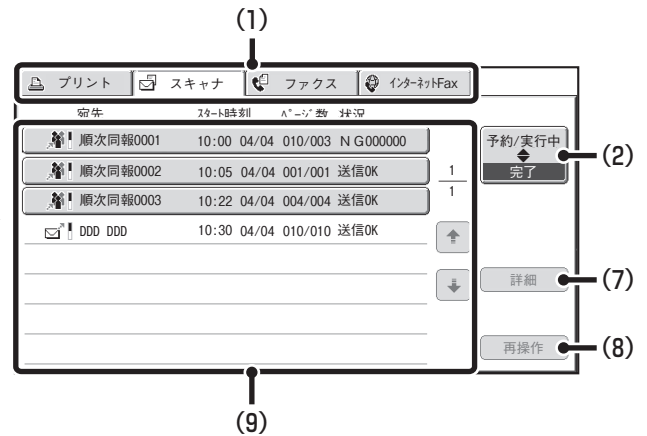
# 予約/実行中画面と完了画面について

ジョブ状況画面は、実行中ジョブや送信予約されたジョブを表示する予約/実行中画面と、送受信が完了したジョブを表示する完了画面に分けられます。それぞれの画面は、ジョブ状況画面切り替えキー（下図(2)）をタッチすることによって切り替わります。

## 予約/実行中画面



## 完了画面



### (1) モード切り替えタブ

各モードのジョブ状況画面に切り替えるときにタッチします。

### (2) ジョブ状況画面切り替えキー

予約/実行中画面と完了画面を切り替えるときにタッチします。

### (3) 予約/実行中画面[詳細]キー

予約/実行中の順次同報送信ジョブの詳しい内容や通信状況を表示します。表示させたいジョブのキーを(6)の予約/実行中画面ジョブリストから選択し、[詳細]キーをタッチしてください。

[予約/実行中ジョブの内容を確認する \(ファクスモード\) \(170ページ\)](#)

### (4) [優先]キー

選択したジョブを優先して実行するときにタッチします。

[あとから送信予約したジョブを優先して送信する \(173ページ\)](#)

### (5) [中止/削除]キー

選択したジョブを中止や削除するときにタッチします。

[通信中や予約中のジョブを中止する \(172ページ\)](#)

### (6) 予約/実行中画面ジョブリスト

予約された順番にジョブをキーで表示します。キーにはジョブの通信内容や現在の状況を表示します。

[ジョブのキー表示について \(167ページ\)](#)

### (7) 完了画面[詳細]キー

完了した順次同報送信ジョブ、ドキュメントファイリング機能を使用したジョブの詳しい通信結果を表示します。表示させたいジョブのキーを(9)の完了画面ジョブリストから選択し、[詳細]キーをタッチしてください。

詳細表示の画面から通信に失敗した相手先に再送信することができます。

[完了ジョブの内容を確認する \(171ページ\)](#)

### (8) [再操作]キー

ドキュメントファイリング機能を使用した送受信の再操作を行うときにタッチします。

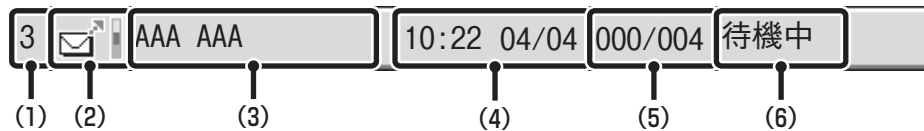
### (9) 完了画面ジョブリスト

送受信が完了したジョブを各モードごとに99件まで表示します。ジョブの通信内容や結果(状況)を表示します。

ドキュメントファイリング機能を使用したジョブ、順次同報送信のジョブ、受信データのE-mail転送ジョブは、キーの状態に表示しています。

# ジョブのキー表示について

ジョブ状況画面に表示される予約/実行中ジョブや完了ジョブのキーには、次の情報が表示されます。



- (1) **予約されているジョブの順番を表示します。**  
通信中のジョブが終了すると順番は繰り上がります。  
完了画面のキーには表示されません。
- (2) **モードアイコン**  
ジョブの種類をアイコンで表示します。完了画面では、そのジョブがカラーか白黒のどちらかで実行されたのかわかるカラーバーがアイコンの横に表示されます。(ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したジョブのキーには、カラーバーのアイコンは表示されません。)
- (3) **通信先名 (宛先)**  
送信の場合は送信先名または送信先アドレスを、受信の場合は相手先アドレスを表示します。  
順次同報送信や順次ポーリングの場合は機能名と同報管理番号 (4桁) を表示します。  
ファクスの送信ジョブは、通常「登録宛先」\*1または「直接入力」\*2と表示されており、キーをタッチすると宛先の選択方法に応じて宛先名や送信先番号が表示されます。  
\*1 アドレス帳に登録されている宛先を選択した場合に表示されます。  
\*2 ファクス番号を数字キーで入力した場合や、グローバルアドレス帳から選択した場合に表示されます。
- (4) **セット時刻/開始時刻**  
予約/実行中画面のジョブキーはジョブが予約された日時が、完了画面ではジョブが開始された日時が表示されます。
- (5) **ページ数**  
送信終了ページ数/原稿の総ページ数を表示します。
- (6) **状況**  
ジョブの状況を表示します。  
• 実行中ジョブの場合

アイコン	ジョブの種類
	E-mail送信スキャンの送信
	ファイルサーバ送信スキャンの送信
	共有フォルダ送信スキャンの送信
	デスクトップ送信スキャンの送信
	インターネットFax送信
	インターネットFax受信
	PCインターネットFax送信
	順次同報送信または順次ポーリング
	ファクス送信
	ファクス受信
	PC-Fax送信

表示	状況
「通信中」	送信先への接続中
「送信中」	データの送信中
「受信中」	受信中
「通話中」	外部電話機を使用して相手先と通話中
「中止」	ジョブを中止している状態
「エラー」	ジョブの実行中にエラーが発生した場合

• 実行待ちのジョブの場合

表示	状況
「待機中」	実行の順番待ちの状態
「再コール」	通信エラーなどにより再コールを行うジョブ
「送信済確認待」	送達確認を設定したインターネットFax送信後、送達確認待ちの状態
曜日と時間を表示している	時刻指定送信のジョブ(指定時刻を表示)

• 完了ジョブの場合

表示	状況
「送信OK」	送信完了
「未出力」	受信のみ完了し、プリントされていない状態（受信データのプリントホールド状態など）
「受信OK」	受信データのプリントが完了
「転送OK」	受信データの転送完了
「中止」	中止操作を行ったジョブ
「送信成功件数 / 全宛先件数 OK」	順次同報送信や順次ポーリングの通信完了 送信成功件数3件 / 全宛先件数5件の場合、「003/005 OK」と表示されます。
「相手無応答」	送信先の無応答によるエラー
「OK返信受領」	送達確認を設定したときに正常に送信が終了し、送信先から送達確認が返信された
「NG返信受領」	送達確認を設定したときに、通信が正しく行われず、送信失敗の送達確認が返信された
「返信なし」	送達確認を設定したときに、送達確認待ちタイムアウト時間内に送達確認を受信できなかった
「E-mail受信」	受信時、添付ファイルがなかったためプリントできなかった
「受信拒否」	受信を拒否している相手先からデータが送られてきた
「NGxxxxxx」	通信エラーのため、送受信が正常に行われなかった（xxxxxxには6桁のエラーコードが表示されます。）
「エラー」	ジョブの実行中にエラーが発生した
「ビジー」	相手先が通信中や通話中で回線がつながらなかったことによるエラー



# 予約/実行中ジョブが完了したときの動作について

通常の送信ジョブは、送信が完了すると完了画面に移動し、状況欄には「送信OK」と表示されます。  
受信ジョブ、時刻指定通信ジョブ、転送ジョブ、再コールについては、ジョブ状況画面で次のように動作します。

## 受信したジョブの動作について

インターネットFaxやファクスを受信しているときは「受信中」と表示されます。  
受信が終了するとジョブの表示は完了画面に移動し「未出力」と表示されます。  
受信データのプリントが終了すると「受信OK」と表示が変わります。

## 時刻指定送信ジョブの動作について

時刻指定されているジョブは、指定時刻になるまでジョブリストの最後に表示されています。  
指定時刻になるとジョブを実行します。他のジョブが実行中の場合は、実行中ジョブの完了後に時刻指定ジョブを実行します。

## 送達確認要求を設定したインターネットFaxの送信ジョブの動作について

送達確認要求が設定されたインターネットFaxの送信ジョブは、送信が完了したあと予約/実行中画面の最下部で待機状態になります。状況欄には「送信済確認待」と表示されます。送信先から送達確認メールを受信した時点、または設定された時間内に送達確認を受信できなかった時点で完了画面に移動します。

## 受信データのE-mail転送設定が設定されているときの受信ジョブの動作について

受信データのE-mail転送設定が設定されているときは、受信データのプリント設定によりジョブの動作が異なります。  
☞ [受信したデータをE-mailアドレスに転送する（受信データのE-mail転送設定）](#)（157ページ）

### • 受信データをプリントしない場合

データを受信中は、「受信中」と表示されます。受信終了後は、スキャナモードのジョブ状況画面に移動して送信待機中のジョブとなります。

### • 受信データをプリントする場合

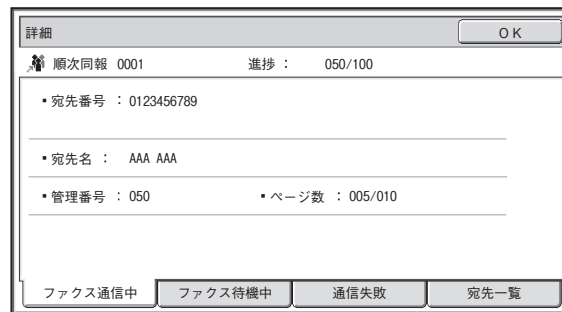
受信が終了すると、完了画面に移動し「未出力」と表示されます。受信データのプリントが終了すると「受信OK」と表示されます。また、スキャナモードのジョブ状況画面に送信待機中のジョブが追加されます。受信データの転送が終了すると「転送OK」と表示されます。

## 再コールジョブの動作について（ファクスモード）

再コールのジョブは、予約/実行中画面でジョブリストの一番最後に表示されます。再コール設定で設定されている時間（再コールの間隔）になるとジョブを実行します。先に予約されているジョブがある場合は、ジョブリストの一番最後に予約されて順番がきたときに実行されます。

# 予約/実行中ジョブの内容を確認する（ファクスモード）

順次同報送信と順次ポーリングのジョブについて、通信の詳しい内容を表示することができます。予約/実行中画面で内容を表示したいジョブのキーを選択（タッチ）して、画面の[詳細]キーをタッチすると、ジョブ確認画面（下記参照）を表示します。

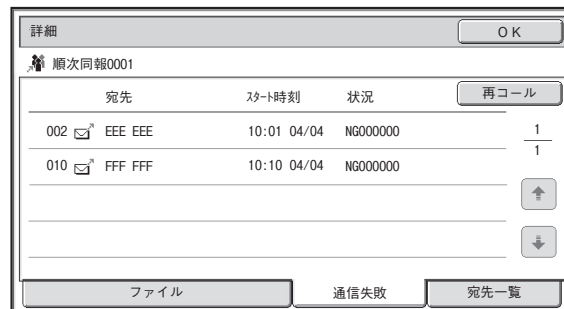


ジョブ確認画面では、画面上部にジョブ名と通信の進行状況（送信済宛先件数/全宛先件数）を表示しています。ジョブの詳しい内容を表示するときは、切替タブをタッチしてください。それぞれのタブで表示される内容は下表のとおりです。

タブ名	表示内容
ファクス通信中	現在通信中の相手先の内容を表示します。 宛先番号：相手先の番号 宛先名：相手先名 管理番号：同報管理番号（3桁） ページ数：通信が終了したページ数／原稿の総ページ数
ファクス待機中	現在待機中の相手先の内容を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名 状況：通信状況
通信失敗	通信に失敗した相手先の内容を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：通信状況
宛先一覧	ジョブで設定されたすべての相手先を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：通信状況

# 完了ジョブの内容を確認する

ドキュメントファイリング機能を使用したジョブ、順次同報送信のジョブ、受信データのE-mail転送ジョブまたは順次ポーリングのジョブについて、送信宛先の一覧や送信に失敗した宛先など、通信の詳しい内容を表示することができます。完了画面で、内容を表示したいジョブのキーをタッチして[詳細]キーをタッチすると、ジョブ確認画面（下記参照）が表示されます。




The screenshot shows a window titled '詳細' (Details) with an 'OK' button. Below the title is a job name '順次同報0001'. The main area contains a table with columns for '宛先' (Recipient), 'スタート時刻' (Start Time), and '状況' (Status). There are also '再コール' (Retry) and '再コール' (Retry) buttons. At the bottom, there are three tabs: 'ファイル' (File), '通信失敗' (Communication Failure), and '宛先一覧' (Recipient List).

宛先	スタート時刻	状況	再コール
002 ⑤ EEE EEE	10:01 04/04	NG000000	1 1
010 ⑤ FFF FFF	10:10 04/04	NG000000	

ジョブ確認画面では、画面上部にジョブ名を表示しています。

ジョブの詳しい内容を表示するときは、切り替えタブをタッチしてください。それぞれのタブで表示される内容は下表のとおりです。

タブ名	表示内容
ファイル	ドキュメントファイリング機能を使用した送受信内容を表示します。 [再操作]キーをタッチしてドキュメントファイリングの再操作を行うことができます。
通信失敗	通信に失敗した宛先の内容を表示します。各送信先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：宛先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：失敗（エラー）の内容 [再コール]キーをタッチすると送信に失敗した宛先に再コールできます。
宛先一覧	ジョブで指定されたすべての宛先を表示します。各送信先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：宛先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：通信結果 [再コール]キーをタッチするとすべての宛先に再コールできます。

 同報送信の宛先にファイルサーバ送信スキャンまたはデスクトップ送信スキャンの宛先が含まれる場合は、再コール機能は使用できません。

# 通信中や予約中のジョブを中止する

送信中や送信予約されているジョブを中止します。

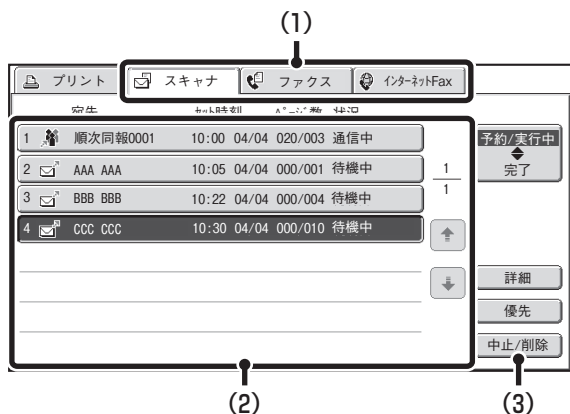
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



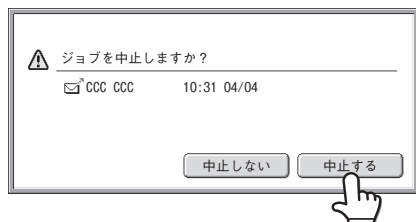
中止するジョブを選択する

(1) 中止したいジョブのモードタブをタッチする

(2) 中止するジョブのキーをタッチする

(3) [中止/削除]キーをタッチする

3



[中止する]キーをタッチする



選んだジョブを中止しないときは…

[中止しない]キーをタッチしてください。

受信データのプリントジョブ、受信中あるいは送達確認待ちのインターネットFaxジョブ、「受信データのE-mail転送設定」で転送設定されているジョブ、Fコード中継同報送信ジョブは中止できません。

受信したデータをE-mailアドレスに転送する (受信データのE-mail転送設定) (157ページ)

# あとから送信予約したジョブを優先して送信する

送信予約されているジョブが複数ある場合、通常は予約されたジョブの順に送信します。ここでは、あとから予約されたジョブの順番を変更して優先的に送信する方法を説明します。

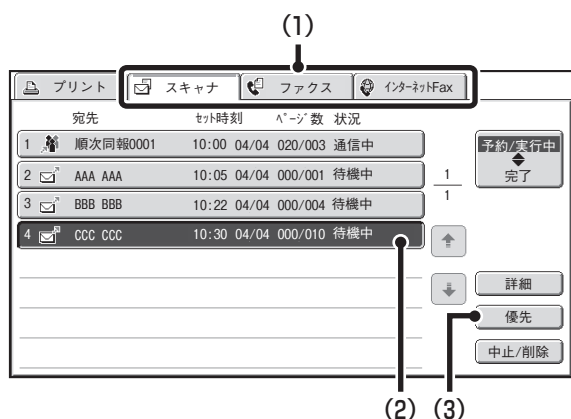
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す


2



## 優先して送信したいジョブを選択する

- (1) 優先したいジョブのモードタブをタッチする
- (2) 優先したいジョブのキーをタッチする
- (3) [優先]キーをタッチする

選択したジョブのキーが現在実行中のジョブの次に移動します。現在実行中のジョブが終了後、選択したジョブが実行されます。

 **ファクスモード：**  
実行中のファクスジョブが「順次同報送信」または「順次ポーリング」の場合、相手先ごとのファクス通信の間に割り込んで優先したファクスジョブを実行します。ただし、優先するファクスジョブが「順次同報送信」または「順次ポーリング」の場合、実行中のファクスジョブが完了してから選択したファクスジョブが実行されます。




# 通信記録を確認する（通信記録表）

## 通信記録表のプリントについて

本機では、過去に行った通信記録（通信日、相手先名、所要時間、通信結果など）をプリントすることができます。通信結果欄には、エラーの種類などのメッセージがプリントされていますので内容を確認してください。

過去の通信記録は、新しいものから199件まで記録されています。

通信記録表は、通信記録が200件に達したときや指定した時刻（1日1回のみ）にプリントすることができます。

-  通信記録はプリントされると消去されますので、再プリントできません。
-  通信記録表は、手動でプリントすることもできます。詳細は管理者ガイドの「リスト／レポートプリント」を参照してください。
-  通信結果欄の内容については、「[通信結果欄の内容について](#)」（174ページ）を参照してください。



### システム設定（管理者）：記録表プリント設定（インターネットFax設定／ファクス設定）

通信記録表をプリントする条件を設定します。工場出荷時はプリントしないように設定されています。通信記録が200件に達したときや指定した時刻（1日1回のみ）にプリントするように設定できます。

## 通信結果欄の内容について

通信結果表／通信記録表の通信結果欄には、エラーの種類などが印字されます。通信結果表や通信記録表がプリントされたときは、通信結果欄の内容で通信結果を確認して対処してください。

### 通信結果欄の印字例

印字	内容
OK	正常に通信が終了した。
OK返信受領	送達確認を設定したときに正常に送信が終了し、送信先から送達確認が返信された。
キャンセル	送信中に通信を停止させた、あるいは送信予約を取り消した。
受信メモリーオーバー	受信中にメモリーオーバーが発生した。
受信拒否	受信を拒否している相手先からデータが送られてきた。
NG返信受領	送達確認を設定したときに、通信が正しく行われず、異常をお知らせする送達確認が返信された。
返信なし	送達確認を設定したときに、送達確認待ちタイムアウト時間内に送達確認を受信できなかった。
NGリミット	送信データサイズが、本機で設定されている送信データの上限值設定の値を超えたために送信できなかった。
e-mail受信	受信時、添付ファイルがTIFF-F以外の形式のため、または添付ファイルがなかったためプリントできなかった。
通信エラー xx (xxxx)	通信エラーのため、送受信が正常に行われなかった。 通信エラー番号の前2桁：00～99のエラーコードが表示されます。 通信エラー番号の下4桁：サービスマンが利用するためのコードです。

## ファクスモードに関する通信結果の印字例

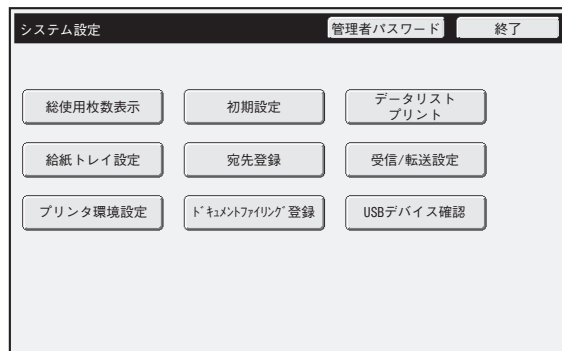
印字	内容
G3	G3モードで通信した。
ECM	G3 ECMモードで通信した。
SG3	スーパー G3モードで通信した。
転送	受信データを転送した。
相手無応答	送信相手先が応答しなかった。
ビジー	相手先が通信中などで送信できなかった。
送信メモリーオーバー	クイックオンライン送信時にメモリーオーバーが発生した。
受信長オーバー	1.5m以上の長さの原稿データが送られてきたため、受信できなかった。
原稿エラー	直接送信または手動送信時に紙づまりが発生し、送信できなかった。
ポーリング許可番号不一致	ポーリング許可番号が合致しなかったため通信を切断した。
相手ポーリング機能なし	ポーリングした相手にポーリング機能がなかった。
ポーリング受け付けず	ポーリングが相手先で受け付けられなかった、または、本機の掲示板にデータがないときにポーリングを受けたため回線を切断した。
Fコードポーリング受け付けず	Fコードポーリングを行ったが相手先にて受け付けられなかった、または、本機Fコード掲示板メモリーボックスにデータがないときにポーリングを受けたため回線を切断した。
Fコード掲示板番号不一致	Fコード掲示板で、設定されていないサブアドレスだったため、回線を切断した。
Fコード掲示板パスコード不一致	Fコード掲示板で、パスコード不一致のため回線を切断した。
BOX NO. NG	Fコード通信を受けたが指定されたサブアドレスのメモリーボックスがなかったため回線を切断した。
Fコードパスコード不一致	Fコード通信を受けたがパスコードが一致しなかったため通信を切断した。
相手Fコード掲示板機能なし	Fコードポーリングをこころみたが、相手先にFコードに対応した掲示板機能がなかった。
相手Fコード機能なし	Fコード通信を行った相手先がFコードに対応していなかった。
Fコード受け付けず	Fコード通信を行ったがサブアドレスの不一致などで相手先で受け付けられなかった。
メモリー BOX:[xxxxxx] *****	親展または中継同報メモリーボックスにデータを受信した場合または掲示板メモリーボックスよりデータを送信した。 [xxxxxx]にはメモリーボックス名、*****にはFコード通信の種別（中継指示受信、掲示板送信、親展のいずれか）がプリントされます。
NG <u>xx</u> <u>xxxx</u> (1) (2)	回線の状態などにより、送信の手順信号や画像信号が乱れて、通信が正常に行われなかった。 (1) 通信エラー番号の前2桁：00～99のエラーコードが表示されます。 (2) 通信エラー番号の下4桁：サービスマンが利用するためのコードです。

# 9 システム設定

この章では一般ユーザーが行えるイメージ送信機能のシステム設定について説明しています。システム設定の操作方法についてはユーザーズガイドを参照してください。また、管理者権限が必要なシステム設定については管理者ガイドを参照してください。

## システム設定を行うには

本機が待機状態になっていることを確認し、操作パネルの[システム設定]キーを押してください。[システム設定]キーを押すと、タッチパネルに以下のメニュー画面が表示されます。



この画面より、設定したい項目をタッチしてそれぞれの設定を行います。設定内容は各項目の説明を参照してください。ここでは、次の設定項目について説明しています。

- [宛先登録 \(178ページ\)](#)
- [受信/転送設定 \(185ページ\)](#)

- システム設定を終了するときは、画面右上の[終了]キーをタッチしてください。
- ユーザー認証設定時の操作方法については、ユーザーズガイドの「ユーザー認証について」を参照してください。
- **Webページについて**  
システム設定は、Webページからも行うことができます。Webページからシステム設定を行うときは、Webページのメニューにある[システム設定]をクリックして行います。



# システム設定リスト

以下は、本書で説明しているシステム設定の項目リストと工場出荷時の設定値です。



本機の仕様や周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。

## ■宛先登録

設定項目	工場出荷時	ページ
■ 宛先登録		178
● アドレス帳	—	178
● ユーザーインデックス	—	181
● プログラム	—	181
● Fコードメモリーボックス	—	183

## ■受信／転送設定

設定項目	工場出荷時	ページ
■ 受信/転送設定		185
● インターネットFax設定		185
▶ 今すぐ受信	—	
▶ 基本画面にも手動受信キーを表示する	有効	
▶ 受信データ転送	—	
● ファクス設定		186
▶ 受信設定	自動受信	
▶ 複数部数印字	無効	
▶ ステープル※1	無効	
▶ 紙折り※2	無効	
▶ 受信データ転送	—	

※1 サドルフィニッシャーまたはフィニッシャー装着時

※2 紙折りユニット装着時

# 宛先登録

ワンタッチキー、グループキー、プログラムキー、ユーザーインデックス、Fコードメモリーボックスの登録および修正／削除を行います。[宛先登録]キーをタッチして各設定を行ってください。

- 設定できる項目は、周辺装置の装着状態によって異なります。
- アプリケーション拡張キットが装着されている場合、ファクス拡張キットが装着されていなくても、ファクス宛先を登録することができます。

## アドレス帳

宛先をあらかじめ登録しておくことにより、かんたんにアドレス帳から呼び出せるようにします。操作パネルの[システム設定]キーを押し、[宛先登録]キー→[アドレス帳]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。

- [新規登録]キー  
宛先を新規に追加します。
- リスト表示  
現在登録されている宛先の一覧が表示されます。各宛先を選択すると、その宛先の修正／削除画面が表示されます。

## 宛先を登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。宛先は合計999件まで登録できます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(179ページ)を参照してください。

- システム設定(管理者)の「本体からの宛先登録の禁止設定」が設定されている場合、該当する機能の宛先は登録できません。
- ファイルサーバ送信スキャン、共有フォルダ送信スキャン、デスクトップ送信スキャンの宛先を登録するには…  
ファイルサーバ送信スキャンと共有フォルダ送信スキャンの宛先はWebページから登録してください。デスクトップ送信スキャンの宛先はネットワークスキャナツールで登録してください。登録できる件数は、3つの宛先を合わせて200件までです。

## 宛先を修正／削除する

上記画面のリストから宛先を選択すると、その宛先の修正／削除画面が表示されます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(179ページ)を参照してください。宛先の削除は[削除]キーで行います。

- ワンタッチキー／グループキーが修正または削除できないときは…
  - 修正または削除しようとしたワンタッチキー／グループキーを使って送信予約(時刻指定も含む)されているときや通信中のときは、通信が終了してから、または送信予約を解除してから操作を行ってください。
  - グループキー／プログラムに、修正または削除しようとしたワンタッチキー／グループキーが含まれている場合は、グループキー／プログラムから登録を解除し、操作を行ってください。
  - システム設定(管理者)の「デフォルト宛先設定」や、Webページの「受信データのE-mail転送設定」／「管理者への転送設定」などが管理者によって設定されていると、修正または削除することができません。それぞれの設定から登録を解除し、操作を行ってください。
  - ファクスモード：  
修正または削除しようとしたワンタッチキー／グループキーが、Fコード中継同報通信の転送先に登録されている場合は、転送先の登録を解除してから操作を行ってください。

## 設定項目一覧

項目	設定内容
<b>共通の登録内容</b>	
宛先のタイプ	<p>アドレス帳に登録する宛先の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• E-mail： E-mailの宛先アドレスをワンタッチキーとして登録します。</li> <li>• インターネットFax：インターネット Fax の宛先アドレスをワンタッチキーとして登録します。</li> <li>• ファクス： ファクスの相手先番号をワンタッチキーとして登録します。</li> <li>• グループ： 複数の宛先を順次同報送信のグループとして登録することができます。</li> </ul>
検索番号	<p>検索時に使用する番号を設定します。空いている若い番号が自動的に入力されます。お好みの番号に変更したいときは、001から999の範囲で数字を入力してください。ただし、すでに登録されている番号は使用できません。</p>
宛先名	<p>宛先の名称を全角18文字（半角36文字）以内で入力します。</p>
検索文字	<p>ひらがな5文字以内で検索文字を入力します。ここで入力する文字により、50音インデックス内での分類とワンタッチキーの表示順が決定されます。</p>
キー名称	<p>宛先名とは別にアドレス帳に表示させたい名称がある場合に入力します。</p>
ユーザーインデックス	<p>ユーザーインデックス表示に切り替えたときに分類されるインデックスを選択します。</p>
得意先インデックスにも登録する	<p>よく使う宛先を[得意先]インデックスに登録しておくことができます。</p>
<b>E-mail宛先登録時に表示される項目</b>	
E-mailアドレス	<p>宛先のE-mailアドレスを64文字以内で入力します。</p>
フォーマット	<p>生成するファイル形式および圧縮形式を、白黒、カラーそれぞれのモードに対して設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル形式： 生成するファイル形式を設定します。カラー拡張キットを装着していない場合は、[JPEG]は表示されません。</li> <li>• 圧縮形式（白黒）： 白黒で送信するときの圧縮形式を選択します。</li> <li>• 圧縮率（カラー／グレースケール）： カラー／グレースケールで送信するときの圧縮率を選択します。カラー拡張キットを装着していない場合は表示されません。</li> </ul>
<b>インターネットFax宛先登録時に表示される項目</b>	
インターネットFaxアドレス	<p>宛先のインターネットFaxアドレスを64文字以内で入力します。</p>
圧縮形式	<p>送信時の圧縮形式を選択します。</p>
送達確認を要求する	<p>送信が完了したとき、確認のメールを要求するかどうかを選択します。</p>
<b>グループ登録時に表示される項目</b>	
アドレス帳	<p>アドレス帳の中から、グループに登録する宛先を選択します。（宛先は最大500件まで登録できます。）</p>
直接入力	<p>アドレス帳に目的の宛先が登録されていない場合、直接宛先を入力することができます。各モードでの宛先登録と同じ要領で宛先を入力してください。ただし、インターネットFaxの宛先を登録する場合、圧縮形式と送達確認の要求は設定できません。また、E-mail宛先を登録する場合、カラー拡張キットを装着していない場合は、「フォーマット」で[JPEG]を設定することができません。</p>
宛先一覧	<p>選択している宛先の一覧を表示します。登録を取りやめたい宛先がある場合は、その宛先を選択して解除することができます。</p>

項目	設定内容
ファクス宛先登録時に表示される項目	
ファクス番号	<p>宛先のファクス番号を64文字以内で入力します。</p> <p><b>番号の途中でポーズ（待ち時間）を入力するときは…</b>          ポーズ（待ち時間）を入力したい場所で[ポーズ]キーをタッチしてください。</p> <p><b>Fコード（サブアドレス、パスコード）を入力するときは…</b></p> <p>(1) 相手先ファクス番号を入力する          (2) [サブアドレス]キーをタッチする          (3) サブアドレス（20桁以内）を入力する          (4) [パスコード]キーをタッチする          (5) パスコード（20桁以内）を入力する</p> <p>相手先がパスコードを設定していない場合、パスコードの入力の操作は不要です。</p> <p>入力できる相手先番号は、すべて含めて64桁ですが、画面に表示されるのは32桁までです。</p>
国際通信モード	<p>登録するファクス送信時の通信速度や国際通信モードの設定をします。適切な設定を行うことで通信エラーを解消することができます。</p> <p><b>通信速度について</b></p> <p>33.6kbps、14.4kbps、9.6kbps、4.8kbpsのいずれかに設定できます。数値が大きいほど高速でファクス通信を行います。</p> <p>海外への通信など、通信回線の回線事情が悪く、あらかじめどの通信速度が最適かわかっているときは、通信速度の設定を変更してください。通信回線の回線事情が不明のときは、通信速度の設定は変更しないでください。</p> <p><b>国際通信モードについて</b></p> <p>なし、モード1、モード2、モード3のいずれかに設定できます。</p> <p>海外へファクスを送信するときは、回線の状態によって画像が乱れたり、通信が中断してしまうことがあります。海外への通信でエラーがよく起きる場合は、モード1～3をそれぞれ試してみて、正常に通信できるモードを設定してください。</p>

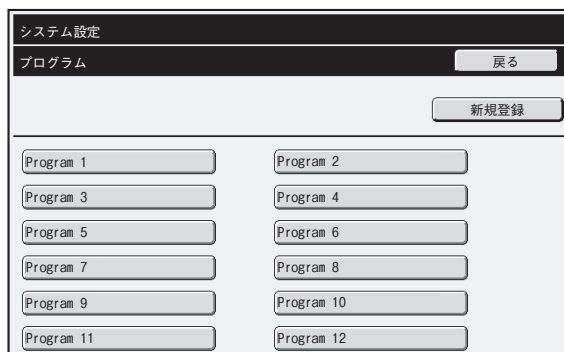
# ユーザーインデックス

ユーザーインデックスを、より使いやすくするために独自の名称に変更することができます。すでに入力されている文字を削除してから、全角3文字（半角6文字）以内で入力してください。工場出荷時は、「ユーザー 1」～「ユーザー 6」の名称で登録されています。

## プログラム

イメージ送信機能でよく使う機能や宛先をあらかじめ登録しておくことにより、かんたんな操作で登録内容呼び出しで通信を行うことができます。

[プログラム]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



- **[新規登録]キー**

プログラムを新規に追加します。

- **リスト表示**

現在登録されているプログラムの一覧が表示されます。各プログラムを選択すると、そのプログラムの修正／削除画面が表示されます。

## プログラムを登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。プログラムは48件まで登録することができます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」（182ページ）を参照してください。



- プログラムに通信を行う時刻を登録する（時刻指定通信）ことはできません。
- ワンタッチキーが1件も登録されていない場合は、登録操作を行うことはできません。

## プログラムを修正／削除する

上記画面のリストからプログラムを選択すると、そのプログラムの修正／削除画面が表示されます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」（182ページ）を参照してください。

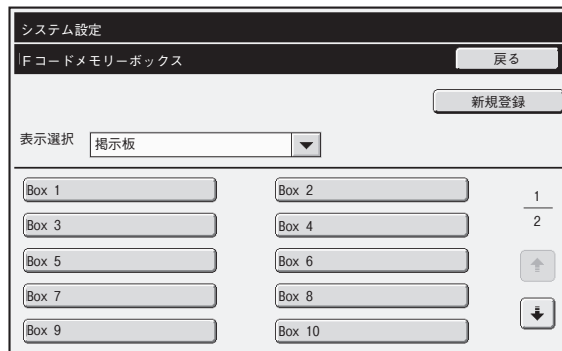
プログラムの削除は[削除]キーで行います。

## 設定項目一覧

項目	設定内容
プログラム番号	プログラムに割り振る番号を設定します。空いている若い番号が自動的に入力されます。お好みの番号に変更したいときは、01から48の範囲で数字を入力してください。ただし、すでに登録されている番号は使用できません。
プログラム名	プログラムの名称を全角9文字（半角18文字）以内で入力します。
アドレス帳	プログラムで使用する宛先を、アドレス帳の中から選択します。プログラム1件に、宛先は500件まで登録できます。（送信先に共有フォルダを選択したときは1件のみ。）
アドレス帳画面	現在登録されている宛先の一覧が表示されます。
宛先一覧	選択している宛先の一覧を表示します。登録を取りやめたい宛先がある場合は、その宛先を選択して解除することができます。
基本設定	宛先に使用するモードを選択します（インターネットFaxやスキャナなど）。選択すると、各モードの設定項目が表示されます。
各モードの設定	各モードでの機能設定と同じ要領で、よく使う設定を登録することができます。詳しくは各機能編の取扱説明書を参照してください。

# Fコードメモリーボックス

Fコードを使用した各種通信を行うためのメモリーボックスを登録します。  
[Fコードメモリーボックス]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



- **[新規登録]キー**

メモリーボックスを新規に追加します。

- **リスト表示**

現在登録されているメモリーボックスの一覧が表示されます。各メモリーボックスを選択すると、そのメモリーボックスの修正／削除画面が表示されます。

## メモリーボックスを登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。Fコードメモリーボックスは、各機能（掲示板、親展、中継同報）の合計で100個まで登録できます。  
設定項目については「[設定項目一覧](#)」（184ページ）を参照してください。

## メモリーボックスを修正／削除する

上記画面のリストからメモリーボックスを選択すると、そのボックスの修正／削除画面が表示されます。  
設定項目については「[設定項目一覧](#)」（184ページ）を参照してください。  
メモリーボックスの削除は[削除]キーで行います。

## 設定項目一覧

項目	設定内容
<b>各属性で共通の項目</b>	
ボックスのタイプ	<p>メモリーボックスの属性を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 掲示板： Fコード掲示板通信を行うためのメモリーボックスを登録します。ここで登録したサブアドレスとパスコードは、相手側が本機に対してFコードポーリング受信の送信要求を行うときに必要になります。</li> <li>• 親展： Fコード親展通信を行うためのメモリーボックスを登録します。また、親展受信したデータをプリントするためのプリントパスコードを登録します。ここで登録したサブアドレスとパスコードは、相手側が本機に対してFコード親展送信を行うときに必要になります。</li> <li>• 中継同報： Fコード中継同報送信を行うためのメモリーボックスを登録します。また、受信したデータの転送先を30件まで登録できます。ここで登録したサブアドレスとパスコードは、相手側が本機に対してFコード中継同報指示送信を行うときに必要になります。</li> </ul>
ボックス名	登録するメモリーボックスの名前を全角9文字（半角18文字）以内で入力します。
サブアドレス／パスコード	<p>サブアドレスとパスコードを入力します。サブアドレスとパスコードは“/”（スラッシュ）で区切ってください。“/”は画面の【パスコード】キーをタッチして入力してください。</p> <p>サブアドレスとパスコードはそれぞれ20桁以内、“/”を含めて41桁以内で入力します。</p>
<b>親展メモリーボックス登録時に表示される項目</b>	
プリントパスコード	親展時のプリントパスコードを設定します。4桁の数字を入力してください。
<b>中継同報メモリーボックス登録時に表示される項目</b>	
転送先	<p>中継同報時の転送先を選択します。アドレス帳より転送先に指定する宛先を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 宛先一覧： 選択している宛先の一覧を表示します。登録を取りやめたい宛先がある場合は、その宛先を選択して解除することができます。</li> <li>• 直接入力： アドレス帳に目的の宛先が登録されていない場合、直接宛先を入力することができます。各モードでの宛先登録と同じ要領で宛先を入力してください。</li> </ul>



- 新しくメモリーボックスを登録するときは、すでに登録されているメモリーボックスと同じサブアドレスを使用することはできません。ただし、パスコードは同じものを使うことができます。
- パスコードの登録は省略することができます。
- サブアドレスの入力には、「\*」「#」を使用できません。
- プリントパスコードは忘れないようにしてください。万一忘れたときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご相談ください。



# 受信/転送設定


受信と転送に関する各種設定を行います。[受信/転送設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## インターネットFax設定

インターネットファクス拡張キットを装着しているときに設定できます。

### 今すぐ受信

メールサーバ（POP3サーバ）に接続して受信の有無を確認し、受信していれば回収してプリントします。


 この設定を行うには、POP3サーバを設定する必要があります。Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[インターネットFax設定]をクリックして表示される画面で、設定を行ってください。


### 基本画面にも手動受信キーを表示する

[インターネットFax手動受信]キーをインターネットFaxモードの基本画面上に表示します。

### 受信データ転送

本機が用紙切れやトナー切れなどでプリントできなくなったときに、受信したデータを他のインターネットFaxに転送することができます。


- 
- 転送先アドレスは、システム設定（管理者）の「受信データ転送先アドレス登録」で登録します。
  - 送信の中止や通信エラーなどで転送できなかった場合は、転送を予定していたデータはふたたび本機でプリント待ち状態に戻ります。
  - プリント中の受信データを転送するときは、プリントできなかったページ以降を転送します。
  - 転送できる受信データがないときや転送先を登録していないときは、転送できません。
  - システム設定（管理者）の「受信データ印字ホールド設定」が有効に設定されている場合、パスワードの入力を要求されます。数字キー（10キー）で正しいパスワードを入力してください。

 **転送を中止するときは…**  
[ジョブ状況]キーを押し、送信の中止操作と同様の操作を行ってください。

# ファクス設定

「ファクス設定」を行う場合の表示内容は次の項目です。

項目	設定内容
受信設定	ファクス受信時の受信方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 自動受信 : 着信があると呼出音を鳴らしてから自動的にファクスを受信します。</li><li>• 手動受信 : お手持ちの電話機（外部電話機）を接続しているときに使用できます。お手持ちの電話機で電話に出た後から手動操作でファクスを受信します。</li><li>• 留守接続 : 留守番電話の機能を持った電話機を接続しているときに使用できます。着信があったときにお手持ちの電話機の留守番電話機能で相手のかたのメッセージを録音します。</li></ul>
複数部数印字	受信データを2部以上プリントするかどうかを設定します。部数の設定はシステム設定（管理者）の「排紙設定」で行います。
ステープル	ステープルするかどうかを設定します。（フィニッシャー／サドルフィニッシャー装着時のみ） 綴じかたの設定はシステム設定（管理者）の「排紙設定」で行います。
紙折り	紙折りをするかどうかを設定します。（紙折リユニット装着時のみ） 紙折りを適用する用紙サイズの選択は、システム設定（管理者）の「排紙設定」で行います。
受信データ転送	本機が用紙切れやトナー切れなどでプリントできなくなったときに、受信したデータをあらかじめ登録されている他のファクスに転送します。

- 
- プリント中の受信データを転送する場合はプリントできなかったページ以降を転送します。
  - 転送したファクスはファクス送信ジョブとなります。送信の中止やエラーなどで送信が中止されると、本機の受信データとなりプリント待ちになります。
  - 受信転送では受信されているデータをすべて転送します。ただし、Fコード通信の親展メモリーボックスの受信データは転送できません。
  - 転送先宛先番号は、システム設定（管理者）の「受信データ転送先電話番号登録」で登録します。
  - 転送できる受信データがないときや転送先を登録していないときは、転送できません。
  - システム設定（管理者）の「受信データ印字ホールド設定」が有効に設定されている場合、パスワードの入力を要求されます。数字キー（10キー）で正しいパスワードを入力してください。

# 10 困ったときは

この章は、イメージ送信に関するよくある質問と解決法を記載しています。以下の目次より、該当するページを参照してください。

## 送信に関して

### 各モードに共通する問題

- 送信できない ..... 189
- 送信先が指定できない ..... 189
- モードを選択できない ..... 189
- 送信先が選択された状態になっている ..... 189
- 指定した時刻に通信が開始できない ..... 189

### スキャナモード、USBメモリースキャンモード、インターネットFaxモード

- 送信できない ..... 190
- 自動でカラーモードを識別しない（カラー拡張キット装着時） ..... 190
- 受け取った画像データを開けない ..... 190
- 送信に時間がかかる ..... 190
- USBメモリーに書き込みできない（USBメモリースキャン時） ..... 190

## スキャン結果に関して

- 読み取った画像が欠ける ..... 191
- 読み取った画像の質が悪い ..... 191
- 白紙でスキャンされる ..... 191
- 読み取った画像の天地が逆になっていたり、横向きになっている ..... 191
- 読み取った画像が白黒になる ..... 192
- ファイル形式でJPEGを選択したがTIFFで生成された ..... 192

## ワンタッチキー／グループキーに関して

- ワンタッチキー（またはグループキー）が登録できない ..... 192
- ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない ..... 192
- ワンタッチキーを修正／削除したいが、どのグループキーに登録されているのか分からない ..... 192
- ワンタッチキー（またはグループキー）を修正／削除したいが、どのプログラムに登録されているのか分からない ..... 193

## 受信に関して

- 受信してもプリントしない ..... 193
- 受信した画像が薄い ..... 193

## ファクス固有の動作に関して

### 送信に関して

- 送信できない . . . . . 194
- 同報送信できない . . . . . 195
- オンフックダイヤルで送信できない . . . . . 195
- 送信した原稿の画像が白紙でプリントされる . . . . . 195
- 送信した原稿の画像が相手側で縮小して受信される . . . . . 195

### 受信に関して

- 受信してもプリントしない . . . . . 195
- 本機がファクス受信に切り替わらない . . . . . 196
- 手動受信／ポーリング受信ができない . . . . . 196

### ワンタッチキー／グループキーに関して

- ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない . . . . . 196

### 電話に関して

- ダイヤルできない . . . . . 197
- 留守番電話機能がはたらかない . . . . . 197
- 相手と通話できない . . . . . 197

### 音に関して



- 音が聞こえにくい（音が鳴らない） . . . . . 197

#### • システム設定について

この章では、下記のようなシステム設定に関する記載があります。

例) → システム設定（管理者）> 「コピー設定」> 「各種設定」> 「回転コピーの設定」>

これは、システム設定での設定方法を省略して表記したものです。「>」は設定の流れを表し、は設定完了後の状態を表します。設定を行う際の参考にしてください。（システム設定（管理者）の詳細な説明は、管理者ガイドを参照してください。）

- 本機および周辺装置に関する各機能共通の問題については、ユーザーズガイドを参照してください。
- これらの対処法で問題が解決しない場合は、[電源]キー（) および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー（) の順で“入”にしてください。
- ※ ジョブの実行中や処理中は、本機の主電源スイッチを切ったり電源プラグを抜き差ししないでください。ハードディスクの破損やデータ消失の原因となることがあります。
- これらの内容をすべて確認しても問題が解決できない場合は、お買いあげの販売店、またはセーフティーガイドに記載のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

# 送信に関して

## 各モードに共通する問題

問題	チェックポイント	解決法
送信できない	送信先（送信先情報）の選択をまちがえていませんか？また、登録されている送信先（E-mailアドレスやFTPサーバの送信先情報）の設定をまちがえていませんか？	正しい送信先（送信先情報）の設定と選択をしてください。E-mail送信（E-mail送信スキャン）でデータが送信先に届かないときは、不達通知などのエラー情報があらかじめ設定されている管理者のE-mailアドレスに届いている場合があります。データが送信先に届かない原因を調べるときの参考にしてください。
	長尺原稿を読み込む際、原稿台（ガラス面）にセットしていませんか？	長尺原稿は、原稿台（ガラス面）からの読み込みはできません。原稿自動送り装置の原稿セット台にセットしてください。
	折りたたまれた状態の原稿をセットしていませんか？	原稿自動送り装置に折りたたまれた状態の原稿をセットした場合、読み込み途中で実際の原稿サイズが検知されると、エラーとなり読み込みを中止します。表示されているメッセージに従って、原稿を伸ばした状態でセットし直し、再度読み込んでください。
	原稿サイズが検知されなかったというメッセージが表示されていませんか？	再度原稿をセットし直してください。それでも原稿サイズが正しく検知されなかった場合は、原稿サイズを手動で指定してください。
送信先が指定できない	管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？	システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。
モードを選択できない		ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。管理者に問い合わせてください。
送信先が選択された状態になっている	システム設定（管理者）で「デフォルト宛先設定」が設定されていませんか？	設定されている送信先と異なる宛先に送信したいときは、[キャンセル]キーをタッチしてください。あなたが管理者の場合で、標準の送信先（デフォルトの宛先）を変更または解除したいときは、「デフォルト宛先設定」で設定を行ってください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「スキャナ設定」> 「デフォルト宛先設定」
指定した時刻に通信が開始できない	本機に内蔵されている時計が現在時刻に設定されていますか？	現在時刻に設定し直してください。 →システム設定 > 「初期設定」> 「日付・時刻設定」> 「時刻設定」
	通信中ではありませんか？	指定した時刻に他の通信が実行中の場合、その通信が終了してから時刻指定した通信を開始します。

## スキャナモード、USBメモリースキャンモード、インターネットFaxモード

問題	チェックポイント	解決法
送信できない	システム設定（管理者）で上限設定されている最大送信データ量をこえていませんか？	管理者によって最大送信データ量に上限値が設定されている場合、上限を超えたデータを送信することはできません。管理者に問い合わせてください。
	メールサーバの管理者によって制限されている最大送信データ量をこえていませんか？ （E-mail送信スキャン時）	1回のE-mail送信のデータ量（読み込む原稿のページ数）を少なくしてください。または、読み込み時の解像度の設定を下げることでデータ量を減らすこともできます。1回のE-mail送信で扱える最大送信データ量はメールサーバの管理者（プロバイダなど）に確認してください。
	送信先に指定したコンピュータのフォルダを書き込みできるように共有設定していますか？ （共有フォルダ送信スキャン時）	送信先のフォルダが共有になっていない場合はフォルダのプロパティで共有に設定してください。フォルダの移動などに伴い、共有が解除されることがあります。
自動でカラーモードを識別しない （カラー拡張キット装着時）	次のような原稿を使用していませんか？ <b>白黒にならない場合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>用紙自体が色味がかっている原稿（わら半紙など）</li> </ul> <b>カラーにならない場合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>色が非常に薄い原稿</li> <li>色が非常に濃く、黒に近い原稿</li> <li>カラー部分が極めて少ない原稿</li> </ul>	カラーモードを「自動」に設定して[スタート]キー（  )を押すと、白黒原稿がカラー原稿かを自動で識別してスキャンしますが、左記のような場合には自動識別が正常にはたらかないことがあります。このようなときは手動で原稿を区別してスキャンしてください。
受け取った画像データを開けない	受信側で使用しているビューワなどのソフトウェアが受け取った画像データの形式に対応していますか？	送信時に選択するファイルタイプと圧縮形式の組み合わせを変更すると開く場合があります。ファイルタイプと圧縮形式の組み合わせに対応したソフトウェアを使用して開いてください。
	パスワードの入力を求められていますか？	受信したデータが暗号化PDFになっています。送信者にパスワードを確認するか、暗号化していない画像形式で再度送信を依頼してください。
送信に時間がかかる	スキャン時の解像度設定は適切ですか？	送信目的に応じた適切な解像度やデータ圧縮の設定を行い、解像度とファイルサイズのバランスがとれた画像データを生成するために以下の点にご注意ください。 解像度のモードについて： 最初は標準値として[200X200dpi]（スキャナ、USBメモリースキャンモード）／[200X100dpi]（インターネットFaxモード）に設定されています。ハーフトーン画像（写真やイラストなど）が含まれない原稿については、標準値で読み込ませるほうがより実用的なスキャン画像が得られます。それより細かい解像度や「中間調」（インターネットFaxモードのみ）は写真などの画像が含まれる原稿で写真部分の画質を優先したい場合にのみ選択してください。その場合、標準値よりもファイルサイズが大きくなりますのでご注意ください。
USBメモリーに書き込みできない （USBメモリースキャン時）	USBメモリーが本機にしっかり接続されていますか？	USBメモリーがしっかり接続されているか確認してください。

# スキャン結果に関して

問題	チェックポイント	解決法
読み取った画像が欠ける	原稿の読み取りサイズ設定で原稿のサイズよりも小さなサイズが設定されていませんか？	実際の原稿サイズを設定してください。 意図的に原稿の実サイズよりも小さなサイズを設定している場合は、設定した読み取りサイズでの原稿セット基準位置を想定して原稿をセットしてください。たとえば原稿台（ガラス面）に実サイズA4の原稿をB5サイズの読み取りサイズ設定でセットする場合は、ガラス面左端の原稿台スケール側を基準としたB5サイズ原稿のセット範囲内に、読み込ませたい画像範囲がおさまるように原稿をセットしてください。 原稿のセット方法については、ユーザーズガイドを参照してください。
読み取った画像の質が悪い	印刷物の原稿を読み取っていませんか？	印刷物の原稿の場合、縞模様（モアレ）が多少発生することがあります。基本画面の[濃度]キーをタッチすると表示される濃度設定画面に[モアレ低減]チェックボックスがあります。このチェックボックスをタッチして <input checked="" type="checkbox"/> にすると、モアレの発生を低減できます（スキャナモード・USBメモリスキャンモードのみ）。また、読み取り解像度を変えたり、原稿台のガラス面に原稿をセットしている場合は、原稿の位置やセット角度を少しずらすとモアレの発生を多少軽減できる場合があります。
	カラー原稿やグレースケールの原稿を読み込むときに、カラーモードが「白黒2値」になっていませんか？	カラーモードが「白黒2値」に設定されていると、原稿で使用されている色を白か黒かに置き換えてスキャンします。文字のみの原稿には適していますが、イラストなどの画像を含む原稿を読み込むときは、カラーモードを[グレースケール]、[フルカラー]または[自動]→[グレースケール]に設定してスキャンしてください。 カラー拡張キットを装着していない場合は白黒でしか読み込めません。
	フォーマットで[TIFF-S]を選択した送信先が含まれていませんか？	スキャナモードの送信先と、フォーマットで[TIFF-S]を選択したインターネットFaxの送信先が含まれた同報送信を行うときは、高解像度の設定を行っていても、解像度は[200X200dpi]に変更されます。スキャナモードの送信先に高解像度で送信したいときは、インターネットFaxの送信先と分けて送信してください。
白紙でスキャンされる	原稿をセットする面をまちがえていませんか？	原稿台（ガラス面）をお使いの場合は送信する面または画像面を下向きに、原稿自動送り装置をお使いの場合は送信する面または画像面を上向きにそれぞれセットしてください。
読み取った画像の天地が逆になっていたり、横向きになっている	インターネットFaxまたはファクスの送信先が含まれていませんか？	宛先にインターネットFaxまたはファクスの送信先が含まれた同報送信を行うときは、インターネットFaxまたはファクスの送信方向が優先されるため、コンピュータでファイルを表示したときに正しい向きで表示されない場合があります。このようなときは、インターネットFaxやファクスの宛先と分けて送信してください。

問題	チェックポイント	解決法
読み取った画像が白黒になる	インターネットFaxまたはファクスの送信先が含まれていませんか？	宛先にインターネットFaxまたはファクスの送信先が含まれていると、白黒でしか読み取れません。
	カラー拡張キットを装着していますか？	カラー拡張キットを装着していない場合は白黒でしか読み取れません。
ファイル形式でJPEGを選択したがTIFFで生成された	カラーモードを[白黒2値]に設定していませんか？	フォーマットを[JPEG]に選択していても、原稿を白黒2値で読み込んだ場合は、TIFFでファイルが生成されます。JPEGでファイルを生成したいときは、カラーモードを[フルカラー]にして[スタート]キー (Ⓢ) を押してください。

## ワンタッチキー／グループキーに関して

問題	チェックポイント	解決法
ワンタッチキー（またはグループキー）が登録できない	登録件数が上限に達していませんか？	使用していないワンタッチキー（またはグループキー）を削除するなどして、登録件数を調整してください。
	管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？	システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。
ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない	修正または削除したいワンタッチキーが、グループキーに含まれていませんか？	グループキーから修正／削除したいワンタッチキーを解除し、修正／削除を行ってください。 →システム設定 > 「宛先登録」> 「アドレス帳」
	修正または削除したいキーに、送信予約中または通信中の宛先が含まれていませんか？	送信予約を解除するか、通信が終了してから修正／削除を行ってください。
	修正または削除したいキーが、プログラムに含まれていませんか？	プログラムから修正／削除したいワンタッチキー（またはグループキー）を解除し、修正／削除を行ってください。 →システム設定 > 「宛先登録」> 「プログラム」
	管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？	システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。
	管理者によって、修正または削除ができなくなる機能が設定されていませんか？	「デフォルト宛先設定」（本体での設定）や「受信データのE-mail転送設定」（Webページでの設定）などが管理者によって設定されていると修正／削除できません。管理者に問い合わせてください。
ワンタッチキーを修正／削除したいが、どのグループキーに登録されているのかわからない	複数のグループキーにワンタッチキーを登録していませんか？	登録しているグループキーが多数にわたるときは、システム設定の「宛先登録リスト」でグループリストをプリントしてください。どこにワンタッチキーを登録しているのかが一覧で確認できます。 →システム設定 > 「データリストプリント」> 「宛先登録リスト」> 「グループリスト」



問題	チェックポイント	解決法
ワンタッチキー（またはグループキー）を修正／削除したいが、どのプログラムに登録されているのか分からない	複数のプログラムにワンタッチキー（またはグループキー）に登録していませんか？	登録しているプログラムが多数にわたるときは、システム設定の「宛先登録リスト」でプログラムリストをプリントしてください。どこにワンタッチキー（またはグループキー）に登録しているのかが一覧で確認できます。 →システム設定 > 「データリストプリント」> 「宛先登録リスト」> 「プログラムリスト」

## 受信に関して

問題	チェックポイント	解決法
受信してもプリントしない	画面に用紙補給警告、トナー補給警告などのメッセージが表示されていませんか？（表示されていると、プリントができない状態にあります。）	メッセージに従って、プリントできる状態に戻してください。
	パスワードの入力画面が表示されていませんか？	「受信データ印字ホールド設定」が有効になっています。数字キー（10キー）でパスワードを入力してください。パスワードが不明なときは、管理者に問い合わせてください。
	Webページで受信データの転送機能が設定されていませんか？	Webページで受信データの転送機能が設定されている場合、受信したデータを自動的に指定のE-mailアドレスに転送します。この設定で「エラー時のみプリント」が選択されていると、受信データはエラー時以外にプリントされません。受信データのプリントが必要な場合は、管理者に依頼してください。
受信した画像が薄い	相手側の送信原稿が薄くありませんか？	相手側に適切な濃度（濃くする）での再送信を依頼してください。

# ファクス固有の動作に関して

## 送信に関して

問題	チェックポイント	解決法
送信できない	電話線がはずれていませんか？	回線端子、モジュラーコンセント、モジュラー延長アダプターなど、すべての接続箇所を確認して、はずれている場合は確実に接続してください。 ☞ <a href="#">ファクスとして使用するための準備</a> （13ページ）
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	システム設定（管理者）の「ダイヤル発呼信号設定」で電話回線の種類を選択することができます。お使いの電話回線に合った設定になっているか、管理者に問い合わせてください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス初期設定」> 「ダイヤル発呼信号設定」
	相手が話し中ではありませんか？	相手が話し中のときは、いったん送信を中止し、のちほど自動的に送信し直します。（工場出荷時：3分間隔で2回） →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス送信設定」> 「宛先ビジー時の再コール設定」 送信を中止するときは、操作パネルの[ジョブ状況]キーを押し、削除したいジョブのキーをタッチして[中止/削除]キーをタッチします。確認メッセージが表示されるので、[中止する]キーをタッチしてください。
	通信エラーが起きていませんか？	何らかの原因でエラーが起こり、送信が正常に行われなかったときは、いったん送信を中止し、のちほど自動的に送信し直します。（工場出荷時：3分間隔で2回） →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス送信設定」> 「通信エラー時の再コール設定」 送信を中止するときは、操作パネルの[ジョブ状況]キーを押し、削除したいジョブのキーをタッチして[中止/削除]キーをタッチします。確認メッセージが表示されるので、[中止する]キーをタッチしてください。 本機はECM（自動誤り再送機能）に対応しており、回線のノイズなどで送信画像が乱れた部分が自動的に送信し直されるように設定されています。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス初期設定」> 「ECM」
	メモリーオーバーをお知らせするメッセージが表示されていませんか？	メモリーがいっぱいになると、その送信はキャンセルされます。再度送信する場合は、複数回に分けて送信するか、直接送信してください。

問題	チェックポイント	解決法
送信できない	送信できなかったという内容が、ジョブ状況画面（完了）や通信結果表に出ていませんか？	あらためて送信し直してください。 「宛先ビジー時の再コール設定」、「通信エラー時の再コール設定」で設定されている再コールが行われても送信できなかった場合、ジョブ状況画面や通信結果表などに送信できなかった内容を表示します。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス送信設定」> 「宛先ビジー時の再コール設定」 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス送信設定」> 「通信エラー時の再コール設定」
	サブアドレスやパスコードをまちがえていませんか？ (Fコード通信時)	相手側に確認して、正しいパスコードやサブアドレスを使って送信してください。
同報送信できない オンフックダイヤルで送信できない	システム設定（管理者）の「ファクス宛先確認機能」が設定されていませんか？	「ファクス宛先確認機能」が設定されている場合は、ファクス宛先を含む同報送信ができません。（ファクス宛先を含むグループキーやプログラムキーは選択できなくなります。）また、オンフックダイヤルでの送信もできなくなります。管理者に問い合わせてください。
送信した原稿の画像が白紙でプリントされる	原稿をセットする面をまちがえていませんか？	原稿台（ガラス面）をお使いの場合は画像面を下向きに、原稿自動送り装置をお使いの場合は画像面を上向きにそれぞれセットして、再度送信してください。
	相手側の記録紙が感熱紙で、表裏逆にセットされていませんか？	相手側に確認してください。
送信した原稿の画像が相手側で縮小して受信される	回転送信が設定されていますか？	「回転送信の設定」が設定されていない（回転送信しない）場合、縦向きにセットした原稿が相手側で縮小される場合があります。「回転送信の設定」を設定して送信してください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス送信設定」> 「回転送信の設定」> <input checked="" type="checkbox"/>

## 受信に関して

問題	チェックポイント	解決法
受信してもプリントしない	システム設定（管理者）で分割プリントが禁止されていませんか？	システム設定（管理者）の「受信データプリント条件設定」で「等倍でプリント（分割禁止）」が設定されている場合、受信した画像と同じサイズ以上の用紙がセットされていないときは、メモリーへの一時保存を行い、プリントしません。（ただし、A3サイズより長いサイズの画像データを受信したときは、複数枚の用紙に分割してプリントします。） 受信した画像と同じサイズの用紙をセットしてください。

問題	チェックポイント	解決法
本機がファクス受信に切り替わらない	システム設定で受信モードが[手動受信]になっていませんか？	受信モードを[手動受信]にしていると、ファクスを自動で受信しません。自動的にファクスを受信させるには、受信モードを[自動受信]に設定してください。 →システム設定 > 「受信/転送設定」> 「ファクス設定」> 「受信設定」 また、システム設定（管理者）の「手動受信から自動受信への切替設定」を設定すると、手動受信モードでファクスの着信があった場合、指定回数の呼出音を鳴らしたあと、自動的に自動受信に切り替えてファクスを受信することができます。 管理者に設定を依頼してください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス受信設定」> 「自動受信への切替設定」> <input checked="" type="checkbox"/>
	メモリーが少なくなっていますか？	親展受信したデータやパスワードで保護されている受信データをプリントしたり、メモリーボックスに保存されているデータを削除するなどして、メモリーの残量を増やしてください。
手動受信／ポーリング受信ができない	メモリーが少なくなっていますか？	親展受信したデータやパスワードで保護されている受信データをプリントしたり、メモリーボックスに保存されているデータを削除するなどして、メモリーの残量を増やしてください。
	F ネットを利用していませんか？	F ネットを利用した通信を行うとき、本機のポーリング受信は使えません。

## ワンタッチキー／グループキーに関して

問題	チェックポイント	解決法
ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない	修正または削除したいキーを、Fコード中継同報送信の転送先に登録していませんか？	転送先として登録されているワンタッチキー（またはグループキー）は、修正／削除することができません。Fコード中継同報送信の転送先から削除し、修正／削除を行ってください。 →システム設定 > 「宛先登録」> 「Fコードメモリーボックス」 登録しているメモリーボックスが多数にわたるときは、システム設定の「宛先登録リスト」でメモリーボックスリストをプリントしてください。どこにワンタッチキーを登録しているのが一覧で確認できます。 →システム設定 > 「データリストプリント」> 「宛先登録リスト」> 「メモリーボックスリスト」

## 電話に関して

問題	チェックポイント	解決法
ダイヤルできない	電話機がはずれていませんか？	回線端子、外部電話機接続端子、モジュラーコンセント、モジュラー延長アダプターなど、すべての接続箇所を確認して、はずれている場合は確実に接続してください。
	システム設定（管理者）で外部電話機が設定されていますか？ （外部電話機接続時）	管理者に依頼して、「外部電話接続」を有効な状態にしてください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス初期設定」> 「外部電話接続」> <input checked="" type="checkbox"/>
留守番電話機能がはたらかない	システム設定（管理者）で留守番電話機能を設定しましたか？	管理者に依頼して、「留守番電話接続設定」を有効な状態にしてから、「受信設定」を「留守接続」に設定してください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス初期設定」> 「留守番電話接続する」> <input checked="" type="checkbox"/> →システム設定 > 「受信/転送設定」> 「ファクス設定」> 「受信設定」
	留守番電話機側の設定は適切ですか？	本機に取り付けている留守番電話機側での呼出音回数の設定を、システム設定（管理者）の「留守番電話接続設定」で設定している回数よりも少なくしてください。回数を少なくしないと、外部電話機の留守番電話機能がはたらく前にファクスを受信してしまいます。システム設定（管理者）の設定については、管理者に問い合わせてください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス初期設定」> 「留守番電話接続設定」
相手と通話できない	オンフックダイヤルで電話をかけていませんか？	オンフックダイヤルで電話をかけた場合、相手の声は聞こえますが、こちらの声は相手に聞こえません。外部電話機の受話器を取ってお話してください。（外部電話機を装着していない場合、相手と通話できません。）

## 音に関して

問題	チェックポイント	解決法
音が聞こえにくい（音が鳴らない） <ul style="list-style-type: none"> <li>• オンフック</li> <li>• 呼出音</li> <li>• 回線モニター</li> <li>• 受信終了音</li> <li>• 送信終了音</li> <li>• 送受信エラー音</li> </ul>	システム設定（管理者）で音量の設定が「小」または「なし」になっていませんか？	管理者に依頼して、「音設定」でそれぞれの音量を調節してください。 →システム設定（管理者）> 「イメージ送信設定」> 「ファクス設定」> 「ファクス初期設定」> 「音設定」



**SHARP**<sup>®</sup>

シャープホームページ <http://www.sharp.co.jp/>